

令和2年度 市民による市政評価 調査結果について（概要版）

企画部総合政策課

1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成18年度から継続的に実施してきました。

平成28年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施し、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めてきたところです。

個別事業評価については、広く市民の皆さんを対象とする調査と、実際に制度を利用されている皆さんなど、生の声を伺うため特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施しました。

2 調査の種別

(1) 市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目（施策）について、「満足度」と「重要度」、「今後さらに推進すべき取り組み」を調査した。また、「あなたが思う大仙市について」として、平成28年度から継続して実施してきた「住みやすさ」等の意識調査も行った。

(2) 個別事業評価

施策に基づき実施されている事業の認知度、利用度、意識等の把握や個別具体の施策を推進するための市民ニーズや意識を把握するため、次の6テーマについて調査した。

①分類A：市民全体を対象とする調査

- 1) 成人式について
- 2) 自殺対策啓発事業について
- 3) 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について
- 4) なかせん千本桜プロジェクトについて

②分類B：制度の利用者など特定の層を対象とする調査

- 5) 地域子育て支援拠点事業について
- 6) 結婚・出産・子育てについて

3 実施方法

市政評価、個別事業評価とも次の方法により実施した。

- (1) 手 法： 郵送アンケート（無記名回答）方式
- (2) 期 間： 令和2年4月23日～5月18日（26日間）

4 調査対象

(1) 市政評価

市内在住で18歳以上85歳未満の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に抽出した市民1,000人。

(2) 個別事業評価

①分類A (1) 市政評価と同じ対象者

②分類B

5) 地域子育て支援拠点事業について

「子育て支援拠点施設」の対象となる、小学校3年生までのお子さんの中から無作為に300人を抽出し、その保護者の方300人。

6) 結婚・出産・子育てについて

次のア)～ウ)を合わせた1,049人。

ア) 市内在住で18歳以上49歳以下の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に抽出した市民300人。

イ) 「市民による市政評価」で抽出された方の中で、18歳以上49歳以下の方449人。

ウ) 「1) 地域子育て支援拠点事業」の対象者300人。

5 回収数・回収率

調査票	送付数	回収数	回収率
市政評価・個別事業評価（分類A）	1,000人	676人	67.6%
個別事業評価（分類B）「地域子育て支援拠点事業」	300人	204人	68.0%
個別事業評価（分類B）「結婚・出産・子育て」	1,049人	610人	58.2%

調査票総送付数 延べ2,349人 回収総数 延べ1,490人 平均回収率 63.4% ※

※ 過去最高

6 市政評価 調査結果の概要

(1) 満足度及び重要度について

〈満足の度合い〉

- ⇒満足度の上位項目は「保健・医療」、「安全・安心体制」、「自然・環境衛生」の順となっており、下位項目は「空き家対策」、「商工業」、「雇用・就労」の順となっている。
- ⇒昨年度と比較すると、全体的に満足度が増加している。施策の効果が浸透してきていると共に、調査票への施策に対する事業等の説明を平成 30 年度からわかりやすく記載したことから、施策の具体性が増したものと考えられる。
- ⇒昨年度と比較して満足度の増減の変化が大きかったのは、満足度 3.63 で 2 位の「安全・安心体制」（前回より 0.19 ポイント増）、満足度 3.25 で 17 位の「道路・河川」（前回より 0.15 ポイント増）、満足度 3.13 で 23 位の「行財政運営」（前回より 0.15 ポイント増）となっている。
- ⇒昨年度から減少している項目は、7 位の「花火産業構想」（前回より 0.04 ポイント減）のみとなっている。

順位		項目	満足度 ※			
R2	R1			R2	R1	増減 (R2-R1)
1	1	保健・医療	↖	3.64	3.57	0.07
2	6	安全・安心体制	↑	3.63	3.44	0.19
3	3	自然・環境衛生	↖	3.59	3.48	0.11
4	3	スポーツ	↖	3.57	3.48	0.09
5	5	子育て	←	3.51	3.47	0.04
5	7	上・下水道	↖	3.51	3.41	0.10
7	2	花火産業構想	←	3.50	3.54	▲ 0.04
8	8	地域情報化	↖	3.44	3.35	0.09
9	10	学校教育	↖	3.41	3.33	0.08
10	11	社会保障	↖	3.38	3.27	0.11
11	12	社会福祉	↖	3.36	3.26	0.10
12	12	生涯学習	↖	3.35	3.26	0.09
12	9	芸術・文化	←	3.35	3.34	0.01
14	14	地域間・国際交流	↖	3.31	3.25	0.06
15	16	住環境	↖	3.30	3.18	0.12
16	14	観光	←	3.29	3.25	0.04
17	22	道路・河川	↑	3.25	3.10	0.15
18	20	地域活性化	↖	3.24	3.12	0.12
19	17	市民協働	↖	3.23	3.16	0.07
20	21	男女共同参画	↖	3.22	3.11	0.11
21	18	農林水産業	↖	3.21	3.15	0.06
22	19	公共交通	↖	3.19	3.13	0.06
23	24	行財政運営	↑	3.13	2.98	0.15
24	23	移住・定住	←	3.11	3.06	0.05
25	26	市街地	↖	3.01	2.92	0.09
26	25	出会い・結婚	↖	3.00	2.93	0.07
27	27	雇用・就労	↖	2.93	2.84	0.09
28	28	商工業	↖	2.91	2.83	0.08
29	29	空き家対策	↖	2.88	2.82	0.06

※満足度の矢印の説明		
上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↙	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

〈重要の度合い〉

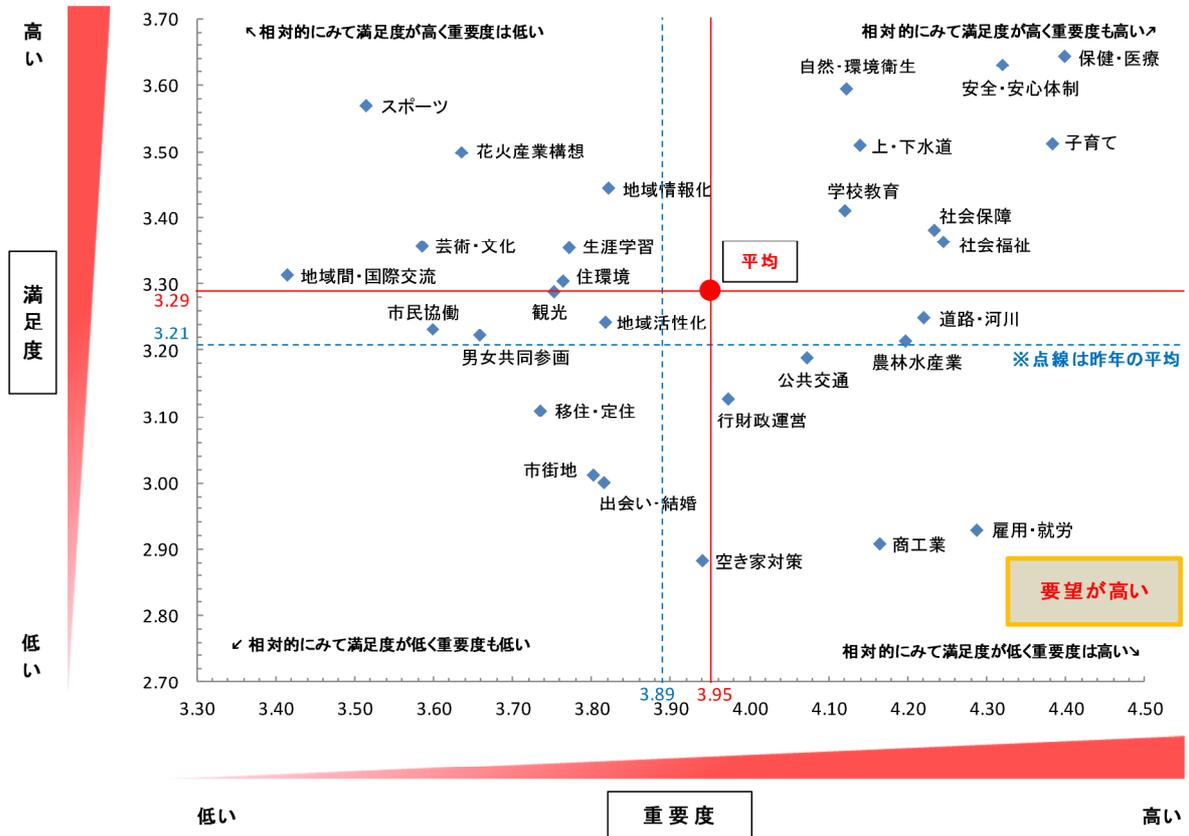
- ⇒重要度の上位項目は、「保健・医療」、「子育て」、「安全・安心体制」の順となっており、下位項目は「地域間・国際交流」、「スポーツ」、「芸術・文化」の順となっている。
- ⇒昨年度と比較すると、全体的に重要度が増加しており、増減の変化が大きかったのは、重要度 4.20 で8位の「農林水産業」（前回より 0.18 ポイント増）となっている。
- ⇒昨年度から減少している項目は、22位の「観光」（前回より 0.11 ポイント減）、25位の「花火産業構想」（前回より 0.06 ポイント減）のみとなっている。

順位		項目	重要度 ※			
R2	R1			R2	R1	増減 (R2-R1)
1	1	保健・医療	←	4.40	4.38	0.02
2	2	子育て	←	4.38	4.35	0.03
3	4	安全・安心体制	↖	4.32	4.26	0.06
4	3	雇用・就労	←	4.29	4.27	0.02
5	5	社会福祉	←	4.25	4.25	0.00
6	7	社会保障	↖	4.23	4.10	0.13
7	6	道路・河川	↖	4.22	4.13	0.09
8	11	農林水産業	↑	4.20	4.02	0.18
9	10	商工業	↖	4.17	4.03	0.14
10	8	上・下水道	↖	4.14	4.04	0.10
11	8	自然・環境衛生	↖	4.12	4.04	0.08
11	11	学校教育	↖	4.12	4.02	0.10
13	11	公共交通	↖	4.07	4.02	0.05
14	14	行財政運営	↖	3.97	3.88	0.09
15	16	空き家対策	↖	3.94	3.83	0.11
16	19	出会い・結婚	↖	3.82	3.73	0.09
16	17	地域情報化	↖	3.82	3.74	0.08
16	17	地域活性化	↖	3.82	3.74	0.08
19	20	市街地	↖	3.80	3.72	0.08
20	23	住環境	↖	3.77	3.69	0.08
20	21	生涯学習	↖	3.77	3.71	0.06
22	15	観光	↙	3.75	3.86	▲ 0.11
23	24	移住・定住	↖	3.74	3.66	0.08
24	25	男女共同参画	↖	3.66	3.59	0.07
25	22	花火産業構想	↙	3.64	3.70	▲ 0.06
26	26	市民協働	↖	3.60	3.53	0.07
27	28	芸術・文化	↖	3.59	3.51	0.08
28	27	スポーツ	←	3.52	3.52	0.00
29	29	地域間・国際交流	↖	3.42	3.34	0.08

※重要度の矢印の説明	
上昇	↑ 前年比+0.15以上
やや上昇	↖ 前年比+0.05以上 +0.15未満
横ばい	← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↙ 前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓ 前年比-0.15以下

〈要望が高い施策〉

⇒相対的に見て、要望度が高い施策（重要度は高いが満足度は低い）は「雇用・就労」、「商工業」となっている。



(2) 今後、さらに推進すべき取り組みについて

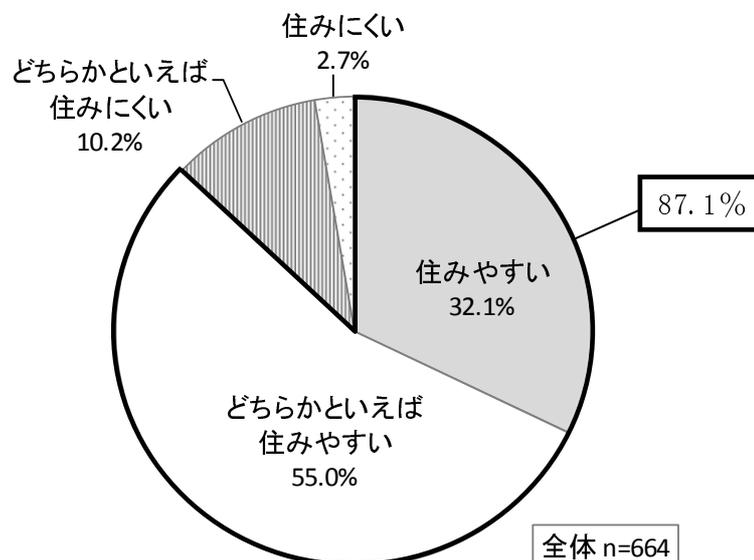
今後さらに推進すべき取り組みとして、各分野で回答数が多い上位3項目は次のとおり。

分野	順位	取り組み内容	回答数
産業分野	1	農業の担い手確保、育成	443
	2	雇用・就労への支援	412
	3	若者の起業支援	310
出会い・結婚・子育て分野	1	子育てに関わる経済的負担の軽減	378
	2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	365
	3	子育て支援サービスの充実	340
健康福祉・スポーツ分野	1	介護サービス基盤等の整備	324
	2	地域医療体制の整備	317
	3	からだの健康づくりの推進	304
環境・安全分野	1	除排雪体制の充実	369
	2	空き家の管理と利活用の推進	299
	3	交通安全、防犯体制の強化	283
都市基盤分野	1	生活道路の整備	366
	2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	256
	3	主要道路網・幹線道路の整備促進	252
教育・交流分野	1	生きる力を育む学校教育の推進	376
	2	学校と地域の交流・連携	273
	3	学校施設の整備	253
地域活性化・市民との協働・行政運営分野	1	若者が活躍できる環境づくり	402
	2	小規模集落・高齢化集落への支援	286
	3	移住・定住への支援	236

(3) あなたが思う大仙市について

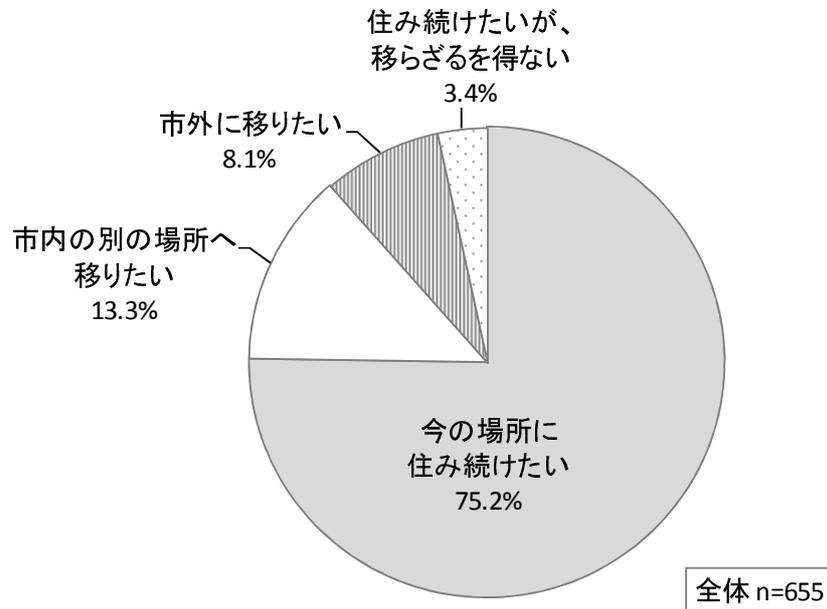
〈大仙市は住みやすいか〉

⇒「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の割合を合わせると、87.1%で、9割近くを占めている。(昨年度の82.0%より5.1ポイント増)



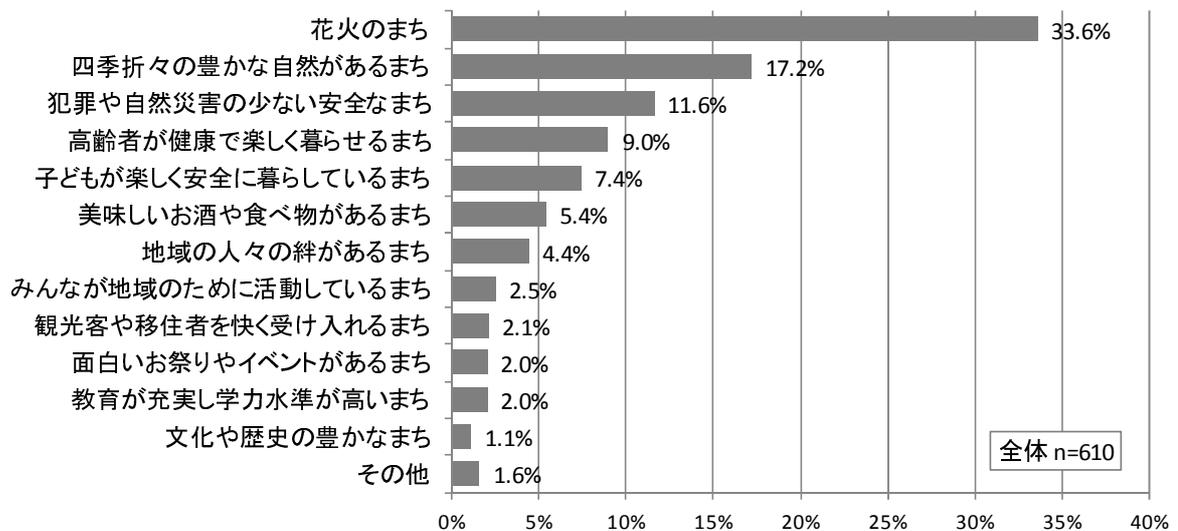
〈大仙市に住み続けたいか〉

⇒「今の場所に住み続けたい」と回答した方の割合は75.2%で、7割以上を占めている。
 (昨年度の71.8%より3.4ポイント増)



〈10年後、大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介したいか（単一回答）〉

⇒「花火のまち」と回答した方が突出して最も多く33.6%となっている。次いで「四季折々の豊かな自然があるまち」が17.2%、「犯罪や自然災害の少ない安全なまち」が11.6%となっている。



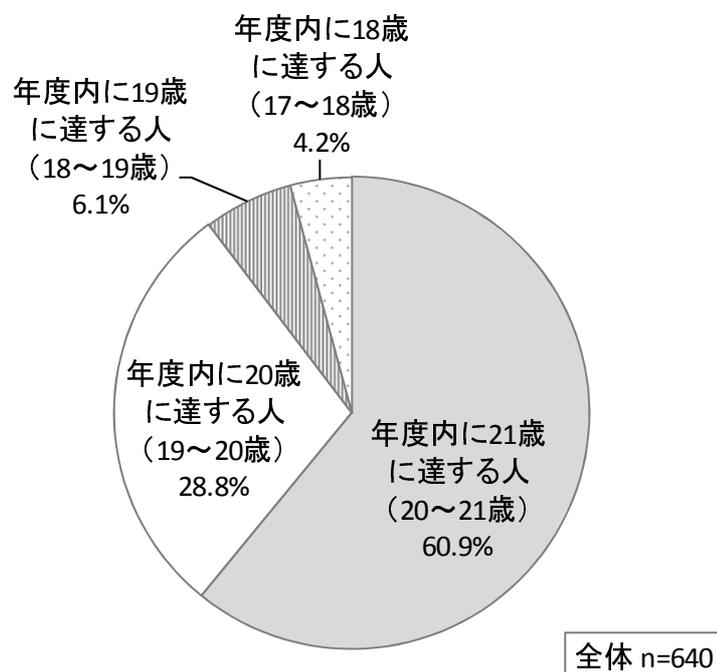
7 個別事業評価 調査結果の概要

(1) 成人式について

調査目的：民法の一部改正により、令和4年4月1日から成人の対象年齢が20歳から18歳に引き下げられるため、成人式の対象年齢や開催時期などについて調査し、令和4年度以降の成人式に向けての参考とする。

〈令和4年度以降、成人式を行う対象年齢としてどの年代が望ましいと思いますか。〉

⇒「年度内に21歳に達する人（20～21歳）」と回答した方が60.9%で最も多く、次いで「年度内に20歳に達する人（19～20歳）」が28.8%となっている。

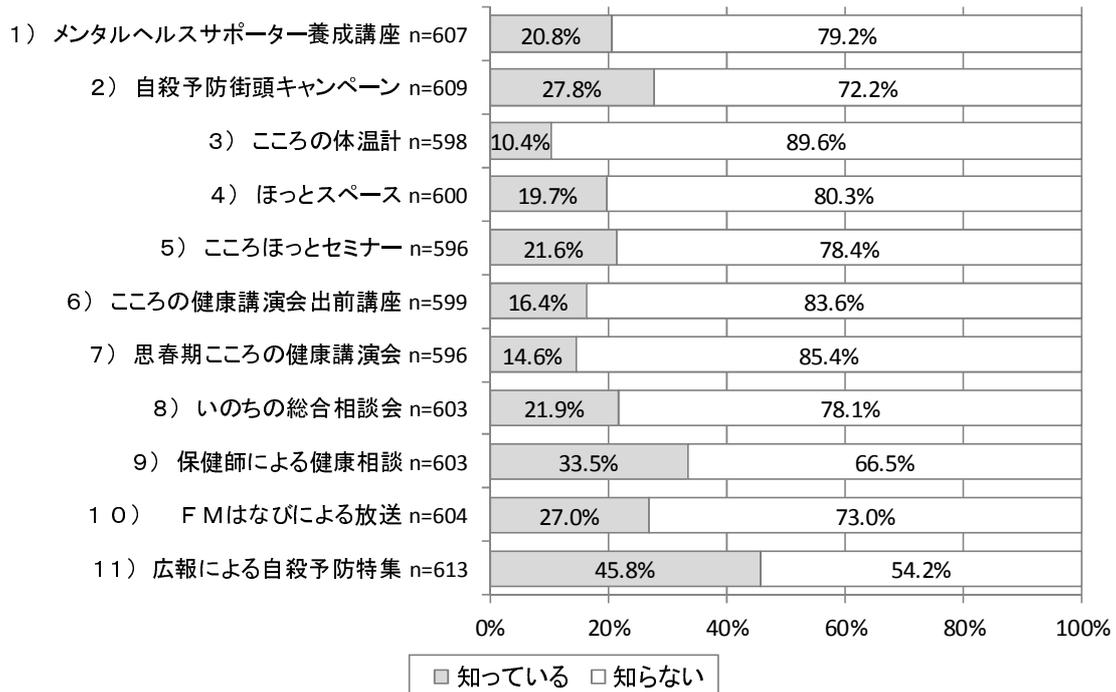


(2) 自殺対策啓発事業について

調査目的：市の自殺対策やこころの健康に関する取り組みについて調査し、今後、効果的に自殺対策啓発事業を展開していくための参考とする。

〈市で行っている自殺対策やこころの健康に関する取り組みを知っていますか。〉

⇒全ての項目で「知らない」の方の割合が大きくなっている。
⇒項目別で見ると、「知っている」と回答した方の割合は「広報による自殺予防特集」で最も高い45.8%となっており、次いで「保健師による健康相談」が33.5%となっている。それ以外の項目では全て7割以上が「知らない」と回答している。



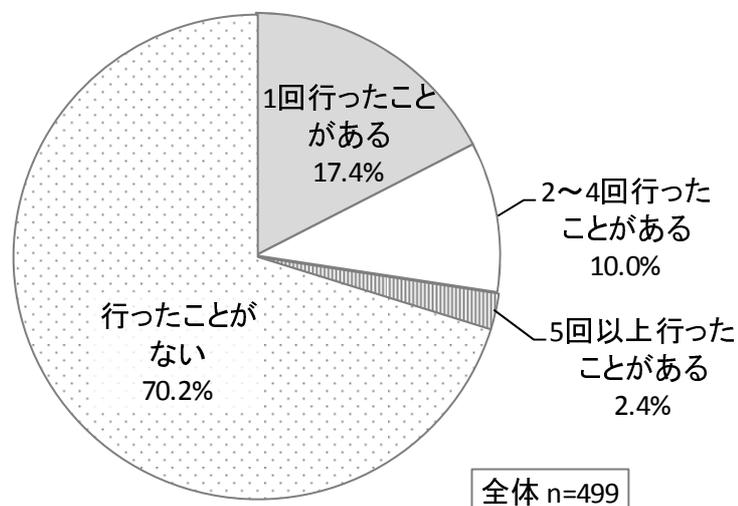
(3) 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について

調査目的：花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」の利用状況等を調査し、今後の施設運営の参考とする。

〈3・4階の「花火資料館エリア」をご覧になるために「はなび・アム」を訪れたことはありますか。また、訪れたことがある場合は、何回来館されましたか。〉

⇒「行ったことがない」と回答した方が70.2%で最も多く、7割以上を占めている。

⇒行ったことがあると回答した方の中で最も多かったのは「1回行ったことがある」の17.4%で、行ったことがあると回答した方の中では6割近くを占めている。

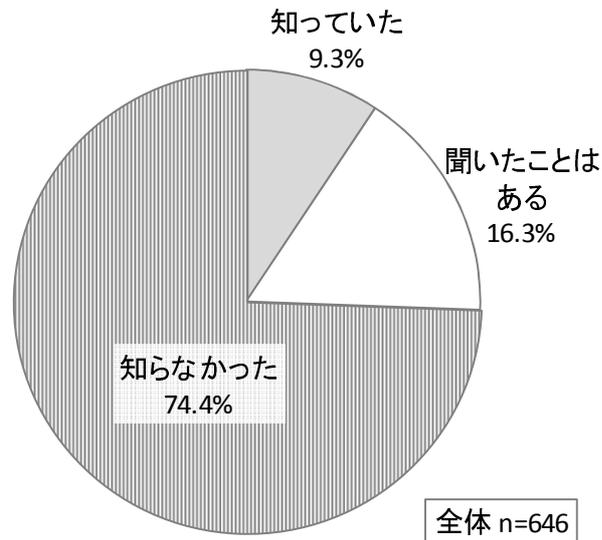


(4) なかせん千本桜プロジェクトについて

調査目的：なかせん千本桜プロジェクトの認知度や地域の桜や桜まつりについて調査し、今後、効果的に観光PR事業を展開していくための参考とする。

〈なかせん千本桜プロジェクト〉を知っていましたか。〉

- ⇒ 「知らなかった」と回答した方が74.4%で最も多く、7割以上を占めている。
- ⇒ 「知っていた」と回答した方は9.3%となっている。

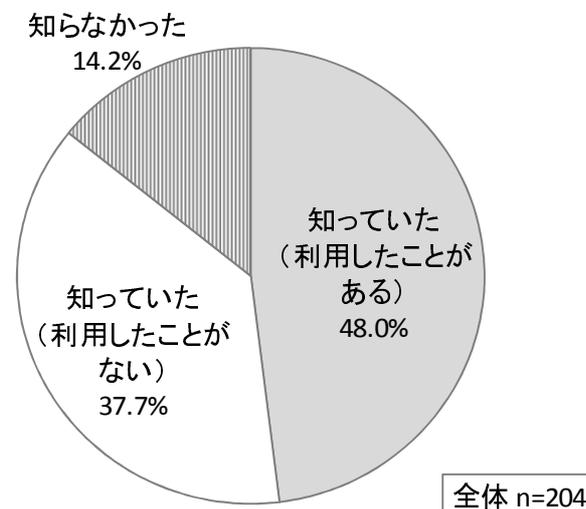


(5) 地域子育て支援拠点事業について

調査目的：子育て支援拠点施設の利用状況等について調査し、今後の施設運営や子育て支援事業を推進していくための参考とする。

〈市の「子育て支援拠点施設」を知っていましたか。〉

- ⇒ 「知っていた（利用したことがある）」または「知っていた（利用したことがない）」と回答した方の割合を合わせると85.7%で、8割以上が知っていたと回答している。
- ⇒ 「知っていた（利用したことがある）」と回答した方は48.0%で、約半数が実際に利用したことがあると回答している。

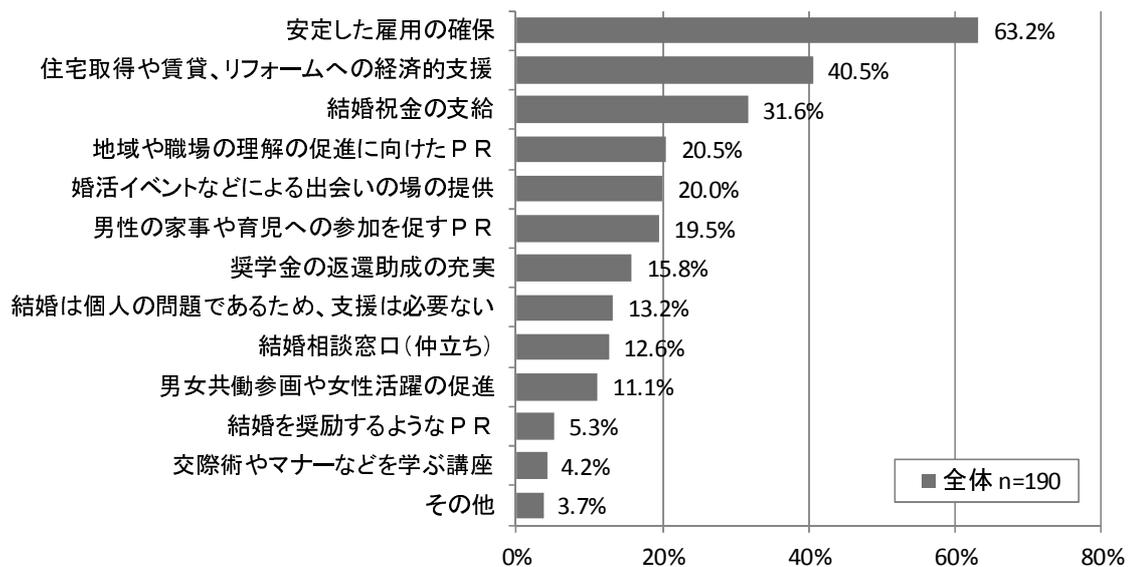


(6) 結婚・出産・子育てについて

調査目的：平成27年度に行った結婚・出産・子育てに関する意識の追跡調査を行い、第2期総合戦略の推進や、子育て等支援制度の設計、見直しをするための参考とする。

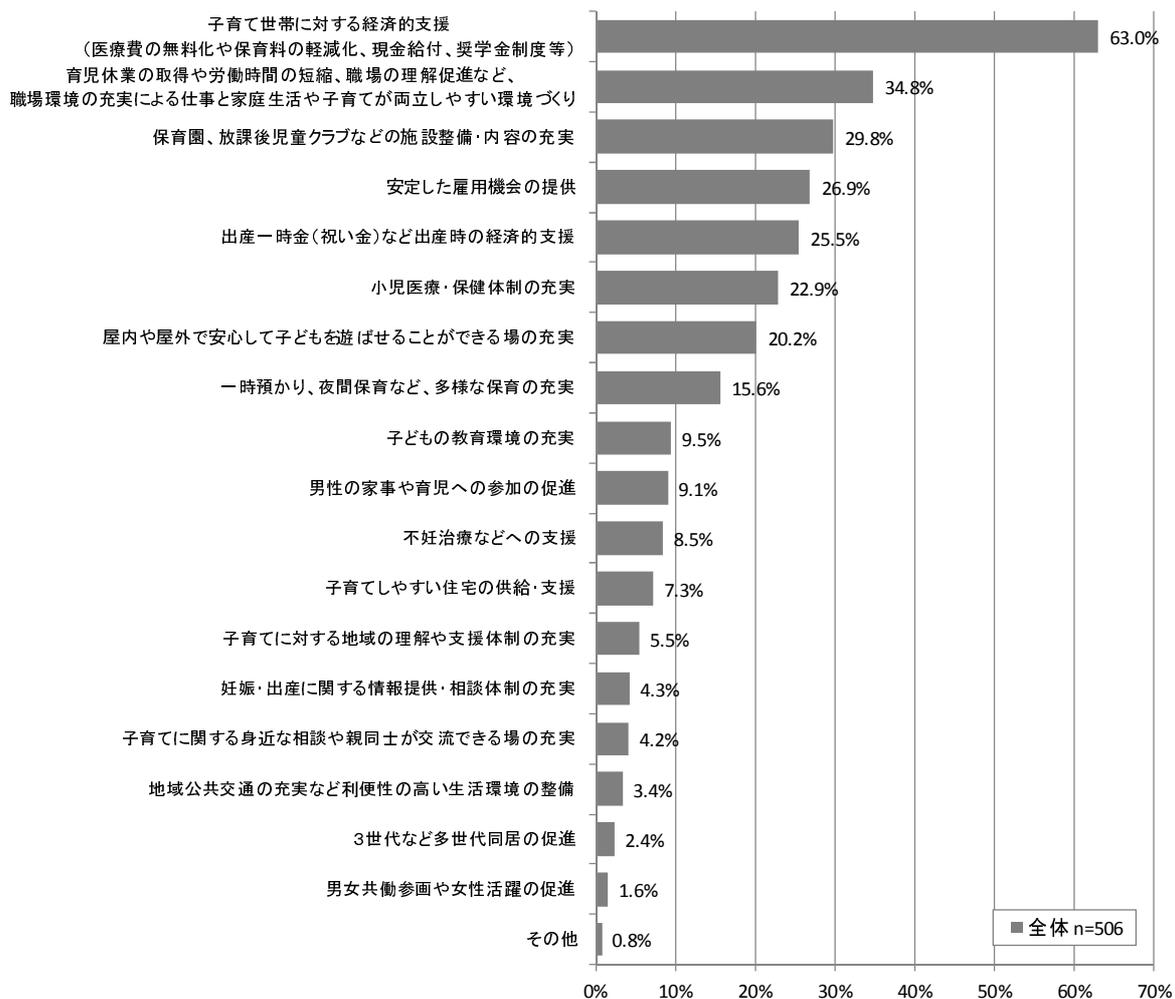
〈結婚に関する支援策として、どのような取り組みが重要だと思いますか。(3つまで)〉

⇒「安定した雇用の確保」と回答した方が63.2%で最も多く、次いで「住宅取得や賃貸、リフォームへの経済的支援」が40.5%、「結婚祝金の支給」が31.6%となった。



〈出産・子育て支援において、どのような取り組みが重要だと思いますか。(3つまで)〉

⇒「子育て世帯に対する経済的支援（医療費の無料化や保育料の軽減化、現金給付、奨学金制度等）」と回答した方が63.0%で最も多く、次いで「育児休業の取得や労働時間の短縮、職場の理解促進など、職場環境の充実による仕事と家庭生活や子育てが両立しやすい環境づくり」が34.8%、「保育園、放課後児童クラブなどの施設整備・内容の充実」が29.8%となった。



令和2年度

**「市民による市政評価」
結果報告書**

令和2年10月

大仙市 企画部 総合政策課

目次

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回収率	4
2.3 回答者の属性	4
2.4 満足度及び重要度	6
2.4.1 満足の度合い	6
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	8
2.4.3 満足度における属性別比較	9
2.4.4 重要の度合い	13
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	15
2.4.6 重要度における属性別比較	16
2.4.7 項目別要望度	20
2.4.8 満足度、重要度の総括	22
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	23
2.5 さらに推進すべき取り組み	25

2.5.1	産業分野に関する設問について	25
2.5.2	出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	28
2.5.3	健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	31
2.5.4	環境安全分野に関する設問について	34
2.5.5	都市基盤分野に関する設問について	37
2.5.6	教育・交流分野に関する設問について	40
2.5.7	地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	43
2.5.8	さらに推進すべき取り組みの総括	46
2.6	あなたが思う大仙市について	49
2.6.1	市内在住の経緯に関する設問について	49
2.6.2	「住みやすさ」に関する設問について	51
2.6.3	社会活動・地域活動に関する設問について	56
2.6.4	未来のまちの姿に関する設問について	58
2.7	経年比較	59
3	市民による個別事業評価	
3.1	市民全体を調査対象とした個別事業評価	73
3.1.1	成人式について	73
3.1.2	自殺対策啓発事業について	79
3.1.3	花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について	91
3.1.4	なかせん千本桜プロジェクトについて	104
3.2	制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価	116
3.2.1	地域子育て支援拠点事業について	116
3.2.2	結婚・出産・子育てについて	141
4	自由意見	180
5	資料	

令和2年度「市民による市政評価」調査票

令和2年度「市民による個別事業評価」【地域子育て支援拠点事業】調査票

令和2年度「市民による個別事業評価」【結婚・出産・子育て】調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成18年度から継続的に実施している。

平成28年度からは、個別事業に関する評価や意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施し、市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

個別事業評価については、広く市民の皆さんを対象とする調査と、制度の利用者など特定の層を対象とする調査に区分し、前者を市政評価に組み込み実施している。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」、「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- ◆満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- ◆重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか）
- ◆今後さらに推進すべき取り組み
- ◆あなたが思う大仙市について

(2) 市民による個別事業評価

施策に基づき市が実施している事業の認知度、利用度、意識等の把握や、個別具体の施策を推進するための市民ニーズや意識を把握するため、次のテーマについて調査した。

分類A：市民全体（年代・性別を問わない）を対象とする調査 4テーマ

分類B：制度の利用者など特定の層を対象とする調査 2テーマ

No.	分類	事業名
1	A	成人式について
2	A	自殺対策啓発事業について
3	A	花火伝統文化継承資料館（はなび・アム）について
4	A	なかせん千本桜プロジェクトについて
5	B	地域子育て支援拠点事業について
6	B	結婚・出産・子育てについて

1.3 調査の手法

郵送アンケート（無記名回答）方式

1.4 調査票

本調査は、次の3種類の調査票により、それぞれの対象者に対して実施した。

- ◆令和2年度「市民による市政評価」（「市民による個別事業評価」の分類Aの4事業を含む）
- ◆令和2年度「市民による個別事業評価」 「地域子育て支援拠点事業」
- ◆令和2年度「市民による個別事業評価」 「結婚・出産・子育て」

1.5 調査期間

令和2年4月23日（木）～5月18日（月）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 本調査では、各調査の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の調査項目においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、各設問により母数となる回答数「n」は異なっている。
- 各区分における集計では不明者を除いているため、区分ごとの集計対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しないことがある。
- 市政評価での満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他設問での構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

18歳以上、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

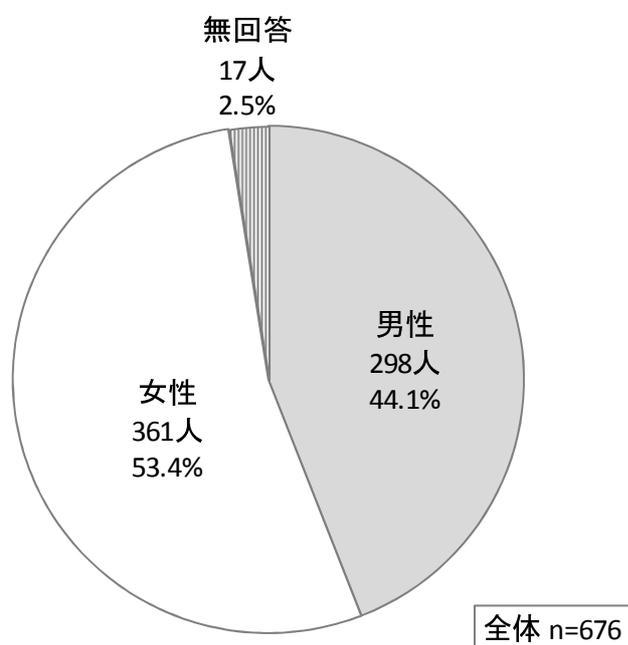
2.2 回収率

回収数・・・676

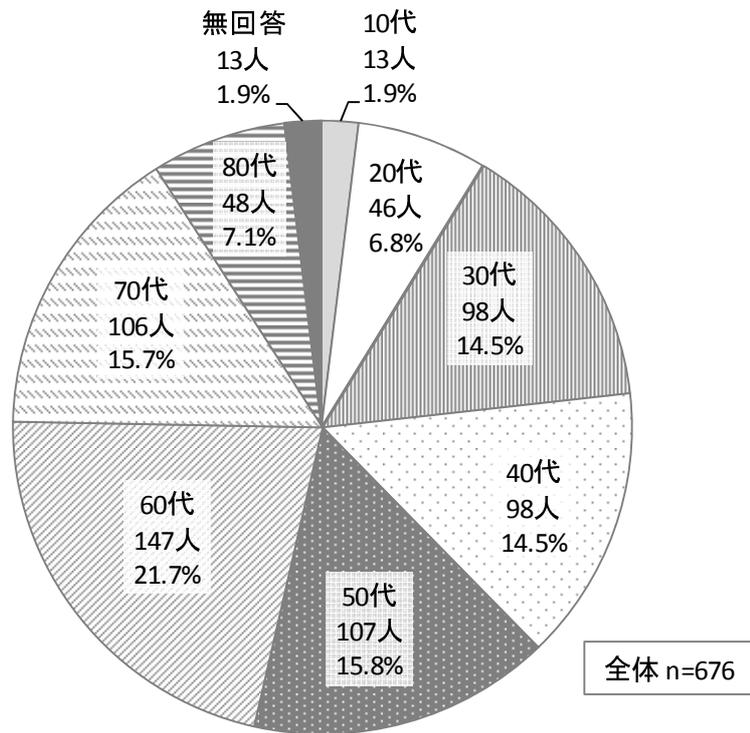
回収率・・・67.6%

2.3 回答者の属性

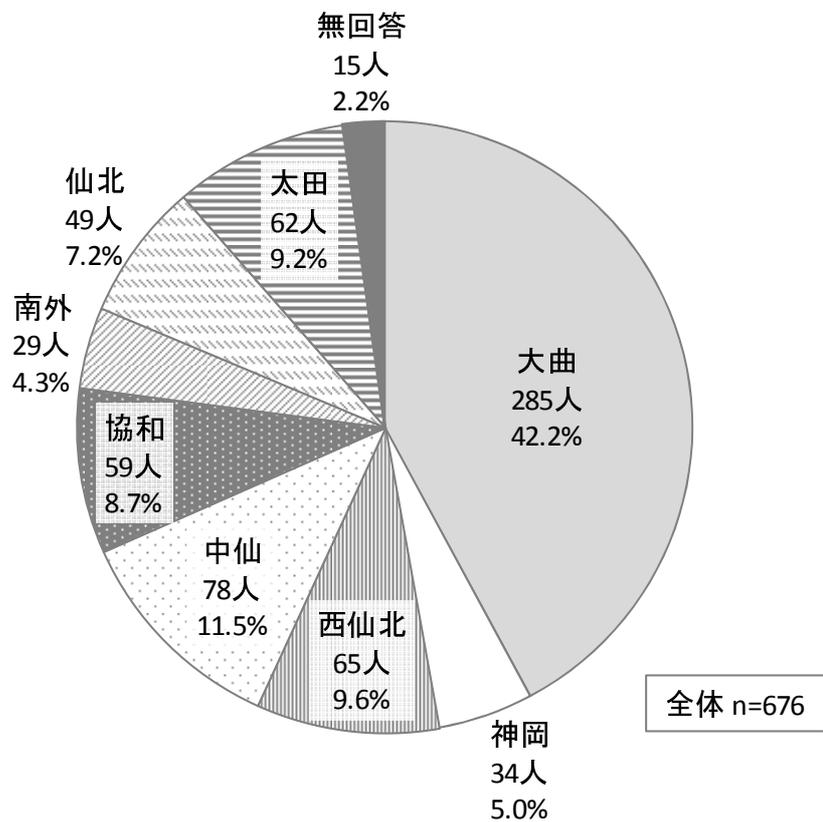
図表1 回答者の性別の内訳



図表 2 回答者の年齢の内訳



図表 3 回答者の居住地の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.64（昨年度3.57）、「安全・安心体制」が3.63（昨年度3.44）、「自然・環境衛生」が3.59（昨年度3.48）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「空き家対策」が2.88（昨年度2.82）、「商工業」が2.91（昨年度2.83）、「雇用・就労」が2.93（昨年度2.84）の順となっている。

昨年度と比較すると、「上昇」あるいは「やや上昇」となった項目が29項目中24項目と多く、全体的に満足度が増加している。これは、多くの項目で「まあ満足」の回答率が増加し、「やや不満」の回答率が減少したことによるものと考えられる。

昨年度と比較して満足度の増加が大きかった（前年比0.15ポイント以上増）のは、満足度3.63で2位の「安全・安心体制」（前回より0.19ポイント増）、満足度3.25で17位の「道路・河川」（前回より0.15ポイント増）、満足度3.13で23位の「行財政運営」（前回より0.15ポイント増）となっている。満足度の減少が大きかった（前年比0.15ポイント以上減）項目はないが、満足度3.50で7位の「花火産業構想」（前回より0.04ポイント減）のみ微減となっている。

図表 4 満足度（点数順）

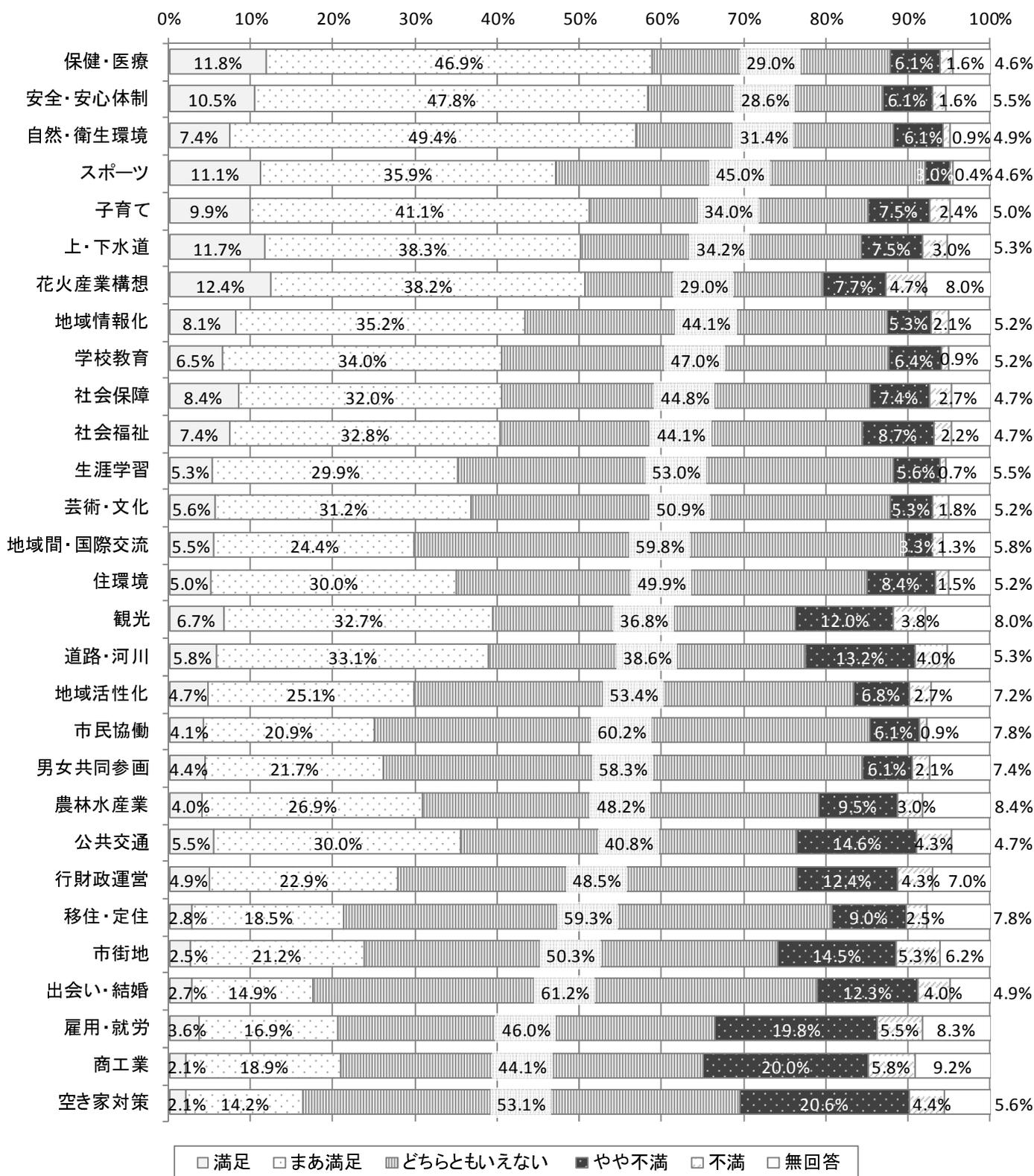
順位		項目	満足度 ※			
R2	R1			R2	R1	増減 (R2-R1)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↖	3.64	3.57	0.07
2	6	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↑	3.63	3.44	0.19
3	3	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↖	3.59	3.48	0.11
4	3	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↖	3.57	3.48	0.09
5	5	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	←	3.51	3.47	0.04
5	7	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↖	3.51	3.41	0.10
7	2	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	3.50	3.54	▲0.04
8	8	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↖	3.44	3.35	0.09
9	10	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	↖	3.41	3.33	0.08
10	11	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↖	3.38	3.27	0.11
11	12	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↖	3.36	3.26	0.10
12	12	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	↖	3.35	3.26	0.09
12	9	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.35	3.34	0.01
14	14	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	↖	3.31	3.25	0.06
15	16	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↖	3.30	3.18	0.12
16	14	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	←	3.29	3.25	0.04
17	22	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↑	3.25	3.10	0.15
18	20	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↖	3.24	3.12	0.12
19	17	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↖	3.23	3.16	0.07
20	21	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	↖	3.22	3.11	0.11
21	18	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↖	3.21	3.15	0.06
22	19	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↖	3.19	3.13	0.06
23	24	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	↑	3.13	2.98	0.15
24	23	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	3.11	3.06	0.05
25	26	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	↖	3.01	2.92	0.09
26	25	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↖	3.00	2.93	0.07
27	27	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↖	2.93	2.84	0.09
28	28	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↖	2.91	2.83	0.08
29	29	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↖	2.88	2.82	0.06

※満足度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表5 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、全般的に女性の満足度の方が高い。男女とも多少の上下はあるものの、項目の順序は概ね同様の傾向となっている。男性の上位5位に挙げられている項目は全体の上位5位に挙げられている項目と同じだが、女性は「スポーツ」が上位5位から外れており（同順6位）、同順4位に「花火産業構想」が挙げられている。全体で4位となっている「スポーツ」は、男性では1位となっている。

下位項目については、男女とも全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、30代以上の年代で「保健・医療」が挙げられており、年代が上がるにつれて順位も上がっている。また、全年代で「安全・安心体制」、30代から60代までは「スポーツ」が挙げられている。また、20代では「地域情報化」も挙げられている。

下位項目については、全年代において「空き家対策」、「商工業」、「出会い・結婚」が挙げられており、10代以外の年代で「雇用・就労」、80代以外の年代で「市街地」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全地域で「保健・医療」、神岡地域以外の地域で「安全・安心体制」、西仙北地域以外の地域で「自然・衛生環境」が挙げられている。

下位項目については、全地域において「空き家対策」、南外地域以外の地域で「商工業」が挙げられている。また、協和地域では「公共交通」も挙げられている。

図表6 性別による満足度

■男性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	スポーツ	3.58	25	市街地	3.02
	保健・医療	3.58	26	出会い・結婚	2.94
3	安全・安心体制	3.56	27	雇用・就労	2.88
4	自然・衛生環境	3.54	28	商工業	2.83
5	子育て	3.46	29	空き家対策	2.80

■女性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.69	25	出会い・結婚	3.05
2	安全・安心体制	3.68	26	市街地	3.00
3	自然・衛生環境	3.63	27	商工業	2.97
	子育て	3.56	28	雇用・就労	2.95
4	花火産業構想	3.56	29	空き家対策	2.94

図表7 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	4.38
	芸術・文化	4.38
3	安全・安心体制	4.31
	上・下水道	4.31
	生涯学習	4.31

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.69
	商工業	3.69
	空き家対策	3.69
28	出会い・結婚	3.62
29	公共交通	3.38

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	3.71
2	安全・安心体制	3.69
3	自然・衛生環境	3.62
4	上・下水道	3.61
5	地域情報化	3.56

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.07
26	市街地	3.04
27	雇用・就労	2.98
28	商工業	2.91
29	空き家対策	2.87

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.63
2	自然・衛生環境	3.59
3	スポーツ	3.58
4	子育て	3.57
5	保健・医療	3.49

(下位)

順位	項目	満足度
24	出会い・結婚	2.96
	行財政運営	2.96
26	市街地	2.79
27	雇用・就労	2.74
28	商工業	2.72
29	空き家対策	2.70

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	スポーツ	3.64
2	安全・安心体制	3.63
3	自然・衛生環境	3.60
	保健・医療	3.60
	花火産業構想	3.60

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.01
26	市街地	3.00
27	空き家対策	2.94
28	雇用・就労	2.92
29	商工業	2.84

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.60
2	保健・医療	3.47
3	安全・安心体制	3.42
4	スポーツ	3.39
5	花火産業構想	3.38

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.95
26	市街地	2.88
27	空き家対策	2.86
28	商工業	2.80
29	雇用・就労	2.72

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.72
2	安全・安心体制	3.65
	スポーツ	3.65
4	上・下水道	3.49
	子育て	3.49

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.04
26	出会い・結婚	2.92
27	雇用・就労	2.90
28	商工業	2.89
29	空き家対策	2.82

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.81
2	上・下水道	3.69
3	子育て	3.64
4	自然・衛生環境	3.63
5	安全・安心体制	3.61
	花火産業構想	3.61

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.07
	商工業	3.07
27	出会い・結婚	3.04
28	雇用・就労	3.02
29	空き家対策	2.92

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.98
2	上・下水道	3.95
3	安全・安心体制	3.81
4	自然・衛生環境	3.73
5	社会福祉	3.71

(下位)

順位	項目	満足度
25	雇用・就労	3.32
26	商工業	3.24
	移住・定住	3.24
28	出会い・結婚	3.15
29	空き家対策	3.05

図表 8 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.72
2	保健・医療	3.71
3	自然・衛生環境	3.61
4	スポーツ	3.60
	花火産業構想	3.60

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.08
26	市街地	2.99
27	商工業	2.93
	雇用・就労	2.93
29	空き家対策	2.84

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.94
2	保健・医療	3.77
	子育て	3.77
4	スポーツ	3.71
5	自然・衛生環境	3.65

(下位)

順位	項目	満足度
24	行財政運営	3.06
	移住・定住	3.06
26	商工業	3.03
27	空き家対策	2.97
	市街地	2.97
29	雇用・就労	2.94

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.73
2	上・下水道	3.58
3	安全・安心体制	3.57
4	花火産業構想	3.55
5	スポーツ	3.53

(下位)

順位	項目	満足度
25	男女共同参画	3.02
26	出会い・結婚	2.97
27	空き家対策	2.88
28	商工業	2.80
29	雇用・就労	2.76

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.58
2	スポーツ	3.56
3	保健・医療	3.49
4	安全・安心体制	3.48
5	生涯学習	3.39

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	2.96
26	空き家対策	2.91
27	雇用・就労	2.82
28	出会い・結婚	2.80
29	商工業	2.77

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.75
2	保健・医療	3.65
3	スポーツ	3.63
4	自然・衛生環境	3.60
	安全・安心体制	3.60

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.96
	市街地	2.96
27	空き家対策	2.87
28	商工業	2.85
29	出会い・結婚	2.83

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.71
2	社会保障	3.63
3	保健・医療	3.61
	安全・安心体制	3.61
	スポーツ	3.57
5	自然・衛生環境	3.57
	子育て	3.57
	花火産業構想	3.57

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	3.11
	市街地	3.11
27	雇用・就労	3.07
28	移住・定住	3.04
	空き家対策	3.04

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.53
2	自然・衛生環境	3.52
3	上・下水道	3.45
	安全・安心体制	3.43
4	保健・医療	3.43
	学校教育	3.43

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.02
26	出会い・結婚	3.00
27	空き家対策	2.80
28	商工業	2.78
	雇用・就労	2.78

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.71
2	自然・衛生環境	3.68
3	保健・医療	3.55
4	子育て	3.52
5	上・下水道	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	商工業	3.04
	行財政運営	3.04
27	出会い・結婚	2.98
28	市街地	2.97
29	空き家対策	2.96

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が4.40（昨年度4.38）、「子育て」が4.38（昨年度4.35）、「安全・安心体制」が4.32（昨年度4.26）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.42（昨年度3.34）、「スポーツ」が3.52（昨年度3.52）、「芸術・文化」が3.59（昨年度3.51）の順となっている。

昨年度と比較すると、全体的に重要度が増加しており、増加が大きかった（前年比0.15ポイント以上増）のは、重要度4.20で8位の「農林水産業」（前回より0.18ポイント増）となっている。重要度の減少が大きかった（前年比0.15ポイント以上減）項目はないが、重要度3.75で22位の「観光」（前回より0.11ポイント減）、重要度3.64で25位の「花火産業構想」（前回より0.06ポイント減）のみ微減となっている。

図表 9 重要度（点数順）

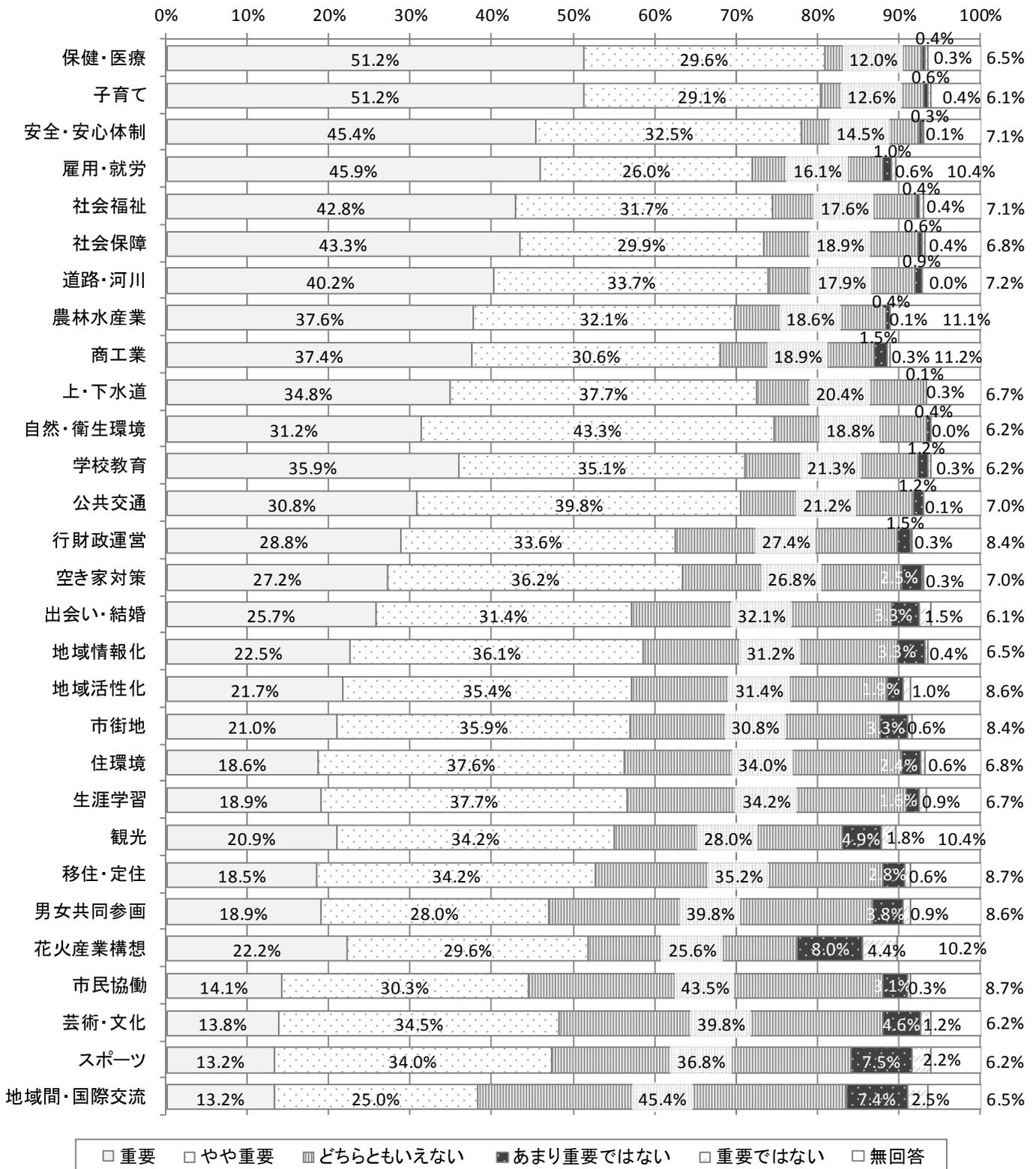
順位		項目	重要度 ※			
R2	R1			R2	R1	増減 (R2-R1)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	4.40	4.38	0.02
2	2	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	←	4.38	4.35	0.03
3	4	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↔	4.32	4.26	0.06
4	3	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	←	4.29	4.27	0.02
5	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	4.25	4.25	0.00
6	7	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↔	4.23	4.10	0.13
7	6	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↔	4.22	4.13	0.09
8	11	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↑	4.20	4.02	0.18
9	10	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↔	4.17	4.03	0.14
10	8	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↔	4.14	4.04	0.10
11	8	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↔	4.12	4.04	0.08
11	11	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	↔	4.12	4.02	0.10
13	11	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↔	4.07	4.02	0.05
14	14	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	↔	3.97	3.88	0.09
15	16	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↔	3.94	3.83	0.11
16	19	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝い、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↔	3.82	3.73	0.09
16	17	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↔	3.82	3.74	0.08
16	17	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↔	3.82	3.74	0.08
19	20	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	↔	3.80	3.72	0.08
20	23	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↔	3.77	3.69	0.08
20	21	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	↔	3.77	3.71	0.06
22	15	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↔	3.75	3.86	▲ 0.11
23	24	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↔	3.74	3.66	0.08
24	25	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	↔	3.66	3.59	0.07
25	22	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↔	3.64	3.70	▲ 0.06
26	26	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	↔	3.60	3.53	0.07
27	28	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↔	3.59	3.51	0.08
28	27	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	3.52	3.52	0.00
29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	↔	3.42	3.34	0.08

※重要度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↖	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	←	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↙	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 10 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、男女とも多少の上下はあるものの、項目の順序は概ね同様の傾向となっている。上位項目については、男性では、全体の上位5位に挙げられていない「農林水産業」が5位となっており、女性でも同様に「社会保障」が5位となっている。

下位項目については、男性は全体の項目と同じだが、女性では、全体の下位5位に挙げられていない「男女共同参画」が同順26位となっている。

年代別で見ると、上位項目については、全年代で「安全・安心体制」が挙がっており、10代以外の年代で「保健・医療」、80代以外の年代で「子育て」が挙がっている。また、30代では「学校教育」、40代では「商工業」、60代から80代までの年代では「道路・河川」も挙げられている。

下位項目については、全年代で「スポーツ」、80代以外の年代で「地域間・国際交流」が挙げられている。また、10代から30代までは「出会い・結婚」、40代と60代以上の年代では「花火産業構想」も挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全地域で「保健・医療」、「子育て」が挙がっており、西仙北地域では「道路・河川」、協和地域では「上・下水道」、南外地域では「公共交通」も挙げられている。

下位項目については、全地域で「地域間・国際交流」、協和地域以外の地域で「スポーツ」が挙げられている。また、協和地域では「住環境」、南外地域では「出会い・結婚」も挙げられている。

図表 11 性別による重要度

■男性 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	子育て	4.38			
2	保健・医療	4.36	25	花火産業構想	3.49
3	安全・安心体制	4.32		市民協働	3.49
4	雇用・就労	4.31	27	スポーツ	3.45
5	農林水産業	4.22	28	芸術・文化	3.44
			29	地域間・国際交流	3.33

■女性 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.44	25	芸術・文化	3.70
2	子育て	4.39	26	男女共同参画	3.68
3	安全・安心体制	4.32		市民協働	3.68
4	社会福祉	4.28	28	スポーツ	3.57
5	社会保障	4.27	29	地域間・国際交流	3.49

図表 12 年代による重要度

■10代 (上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.85
2	子育て	4.77
3	社会福祉	4.69
	社会保障	4.69
	雇用・就労	4.69
	行財政運営	4.69

(下位)

順位	項目	重要度
20	公共交通	4.46
	生涯学習	4.46
	地域活性化	4.46
	移住・定住	4.46
	男女共同参画	4.46
	市民協働	4.46
26	出会い・結婚	4.31
	芸術・文化	4.31
	地域間・国際交流	4.31
29	スポーツ	4.23

■20代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.49
2	安全・安心体制	4.47
3	子育て	4.42
4	社会保障	4.40
5	社会福祉	4.36

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.78
26	芸術・文化	3.73
27	出会い・結婚	3.71
	地域間・国際交流	3.71
29	スポーツ	3.53

■30代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.64
2	保健・医療	4.46
3	雇用・就労	4.29
4	学校教育	4.27
5	安全・安心体制	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
24	男女共同参画	3.75
	出会い・結婚	3.75
26	芸術・文化	3.66
27	市民協働	3.60
28	スポーツ	3.54
29	地域間・国際交流	3.34

■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.45
2	雇用・就労	4.43
3	保健・医療	4.40
4	安全・安心体制	4.34
5	商工業	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.54
26	市民協働	3.48
27	芸術・文化	3.46
28	スポーツ	3.41
29	地域間・国際交流	3.27

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.42
2	保健・医療	4.40
3	安全・安心体制	4.37
4	子育て	4.28
	社会福祉	4.28

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.50
	市民協働	3.50
27	スポーツ	3.44
28	芸術・文化	3.43
29	地域間・国際交流	3.28

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.35
2	保健・医療	4.30
3	安全・安心体制	4.24
4	雇用・就労	4.23
5	道路・河川	4.21

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.53
	市民協働	3.53
27	スポーツ	3.50
28	花火産業構想	3.48
29	地域間・国際交流	3.33

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.49
2	道路・河川	4.33
3	安全・安心体制	4.31
4	上・下水道	4.27
5	子育て	4.26
	社会保障	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
25	移住・定住	3.65
26	男女共同参画	3.64
27	花火産業構想	3.62
28	スポーツ	3.58
29	地域間・国際交流	3.55

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	上・下水道	4.36
2	社会福祉	4.27
	安全・安心体制	4.27
4	道路・河川	4.26
	保健・医療	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.59
26	スポーツ	3.56
27	芸術・文化	3.55
28	観光	3.50
29	花火産業構想	3.27

図表 13 地域による重要度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.51
2	保健・医療	4.48
3	安全・安心体制	4.40
4	雇用・就労	4.38
5	社会福祉	4.36

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.77
26	市民協働	3.69
27	芸術・文化	3.59
28	スポーツ	3.56
29	地域間・国際交流	3.51

■神岡地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.52
2	安全・安心体制	4.48
3	子育て	4.45
4	社会福祉	4.42
5	雇用・就労	4.39
	社会保障	4.39

(下位)

順位	項目	重要度
25	観光	3.74
26	スポーツ	3.71
27	男女共同参画	3.68
28	花火産業構想	3.61
29	地域間・国際交流	3.42

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.35
2	道路・河川	4.33
3	安全・安心体制	4.30
4	社会保障	4.27
5	雇用・就労 子育て	4.26

(下位)

順位	項目	重要度
25	観光	3.67
26	市民協働	3.64
27	スポーツ	3.53
28	花火産業構想	3.49
29	地域間・国際交流	3.38

■中仙地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.39
2	保健・医療	4.34
3	安全・安心体制	4.18
4	自然・衛生環境 社会福祉	4.09

(下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.49
26	スポーツ	3.45
27	市民協働	3.42
28	地域間・国際交流	3.31
29	花火産業構想	3.21

■協和地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.41
2	安全・安心体制	4.28
3	子育て	4.24
4	社会保障	4.23
5	上・下水道	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.57
26	芸術・文化	3.56
27	市街地	3.54
28	男女共同参画	3.46
29	地域間・国際交流	3.40

■南外地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.29
2	社会保障 公共交通	4.18
4	保健・医療 農林水産業	4.14

(下位)

順位	項目	重要度
24	出会い・結婚 花火産業構想	3.43
26	市民協働	3.32
27	スポーツ	3.29
28	男女共同参画 地域間・国際交流	3.25

■仙北地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.52
2	保健・医療	4.36
3	商工業	4.30
4	子育て	4.26
5	農林水産業	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.52
26	男女共同参画	3.47
27	市民協働	3.30
28	スポーツ	3.26
29	地域間・国際交流	3.15

■太田地域 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療 安全・安心体制	4.26
3	社会保障 農林水産業	4.22
5	子育て	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
25	観光	3.52
26	スポーツ	3.50
27	芸術・文化	3.43
28	地域間・国際交流	3.40
29	花火産業構想	3.38

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.36（昨年度1.43）、「商工業」が1.26（昨年度1.20）、「空き家対策」が1.06（昨年度1.01）の順となっており、昨年度と1位、2位は変わらなかった。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が-0.05（昨年度0.04）、「地域間・国際交流」が0.11（昨年度0.09）、「花火産業構想」が0.14（昨年度0.16）の順となっており、22位以下の順位は昨年度と変わらなかった。

昨年度と比較すると、満足度と重要度のどちらも全体的に増加したことから、要望度に大きな変化は見られなかった。

その中でも、昨年度と比較して変化が大きかった項目は、要望度0.99の「農林水産業」（昨年度0.87、9位）が4位に大きく順位を上げた。また、要望度0.46の「観光」（昨年度0.61、18位）は昨年度より0.15ポイント大きく減少したが、順位は21位で大きな変化はなかった。

図表 14 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位	R2	R1	項目	要望度 ※			
					R2	R1	増減 (R2-R1)
1	1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↕	1.36	1.43	▲ 0.07
2	2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↔	1.26	1.20	0.06
3	4	4	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↔	1.06	1.01	0.05
4	9	9	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	↔	0.99	0.87	0.12
5	3	3	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	↕	0.97	1.03	▲ 0.06
6	5	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↕	0.89	0.99	▲ 0.10
7	7	7	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	←	0.88	0.89	▲ 0.01
8	8	8	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	←	0.87	0.88	▲ 0.01
9	10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	←	0.85	0.83	0.02
10	6	6	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	↕	0.84	0.90	▲ 0.06
11	13	13	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	←	0.82	0.80	0.02
12	13	13	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	←	0.79	0.80	▲ 0.01
13	12	12	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↕	0.76	0.81	▲ 0.05
14	15	15	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	0.71	0.69	0.02
15	11	11	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↕	0.69	0.82	▲ 0.13
16	16	16	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	0.63	0.63	0.00
16	19	19	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	←	0.63	0.60	0.03
18	17	17	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	←	0.58	0.62	▲ 0.04
19	20	20	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	←	0.53	0.56	▲ 0.03
20	21	21	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	0.47	0.51	▲ 0.04
21	18	18	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↓	0.46	0.61	▲ 0.15
22	22	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	0.44	0.48	▲ 0.04
23	23	23	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	0.42	0.45	▲ 0.03
24	24	24	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	←	0.38	0.39	▲ 0.01
25	25	25	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	0.37	0.37	0.00
26	26	26	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	↔	0.24	0.17	0.07
27	27	27	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	0.14	0.16	▲ 0.02
28	28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	0.11	0.09	0.02
29	29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	↕	-0.05	0.04	▲ 0.09

※要望度の矢印の説明

上昇	↑	前年比+0.15以上
やや上昇	↗	前年比+0.05以上+0.15未満
横ばい	↔	前年比-0.05より大きく+0.05未満
やや下降	↘	前年比-0.05以下-0.15未満
下降	↓	前年比-0.15以下

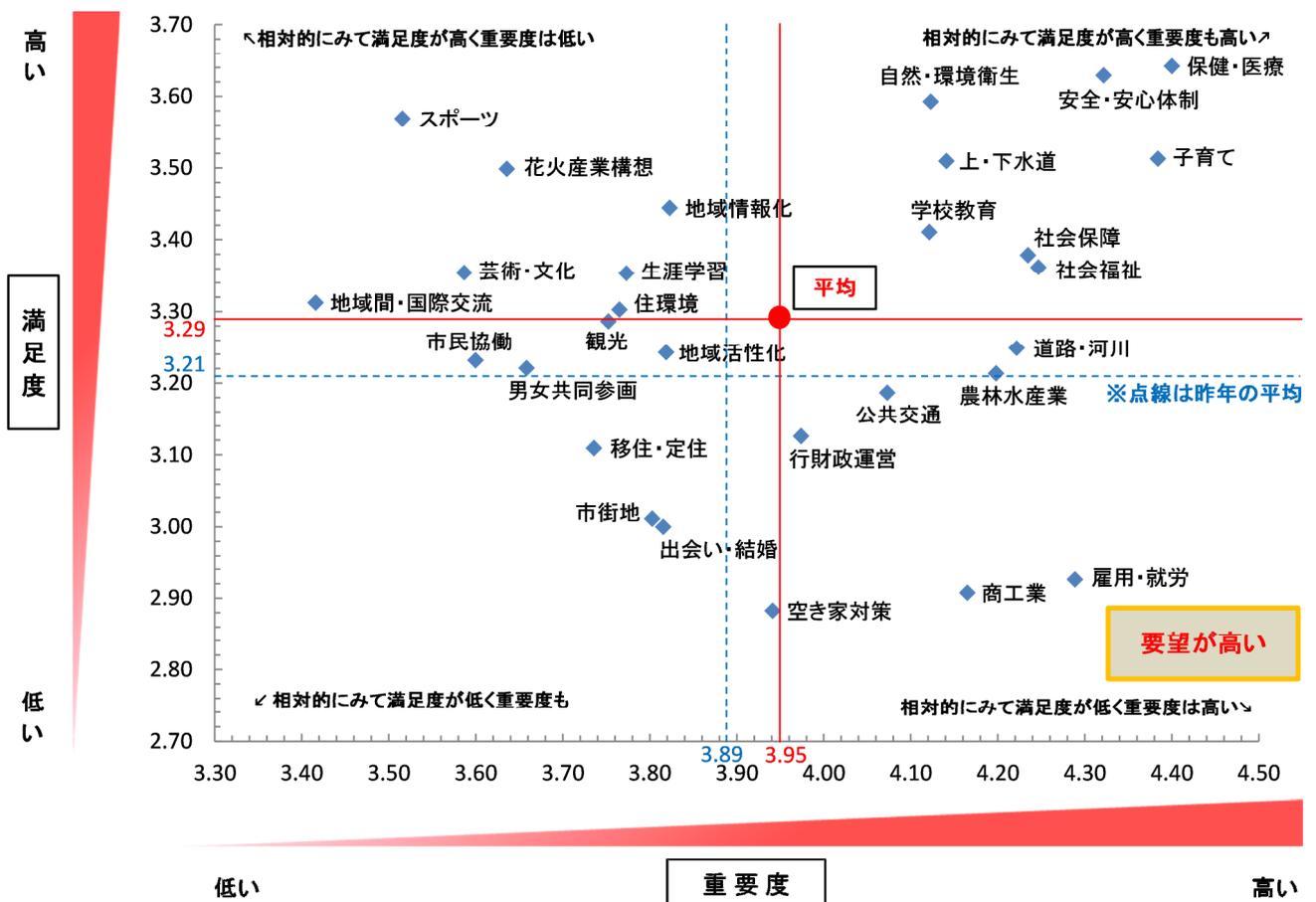
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望の高さを示した散布図を作成した。図表15は、29項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど重要度が高く満足度も高い項目となり、逆に図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目となっている。重要度が高く満足度が低い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望が高い項目となっている。

今回の満足度、要望度の結果から相対的に要望が高い項目は、「雇用・就労」、「商工業」となっている。

図表 15 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

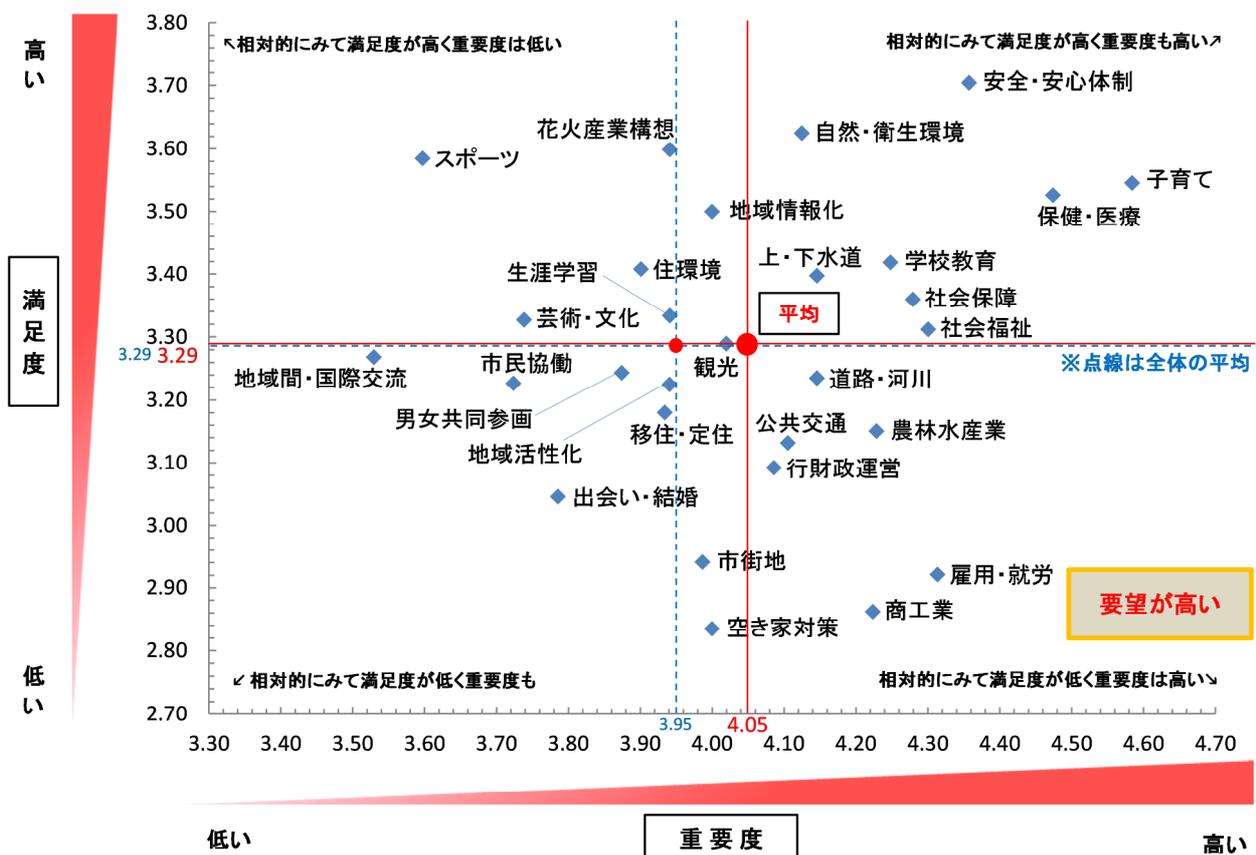
満足度を縦軸、重要度を横軸として各項目の要望の高さを示した散布図について、18歳から39歳まで(図表16)、40歳から64歳まで(図表17)、65歳以上(図表18)の3つの年齢層別で作成した。

18歳から39歳までの年齢層では、全般的に重要度が高くなっている。他の年齢層と比較すると、散布図右上の「相対的にみて満足度が高く重要度が高い」にあたる位置に分布する項目が少ない。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「商工業」となっている。

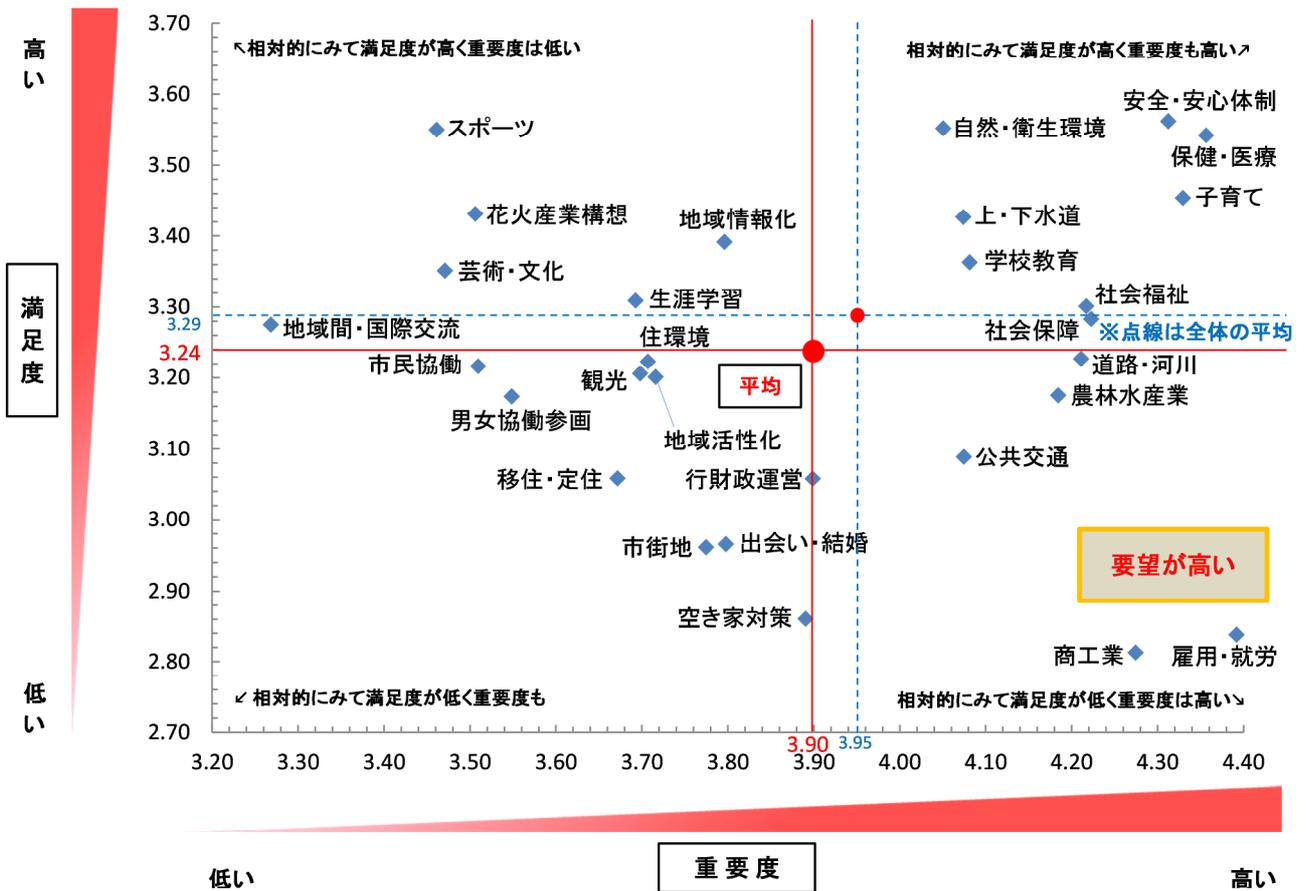
40歳から64歳までの年齢層では、全般的に満足度、重要度が低くなっている。散布図左下の「相対的にみて満足度が低く重要度も低い」にあたる位置に分布する項目が多い。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「商工業」となっている。

65歳以上の年齢層では、全般的に満足度が高くなっている。「保健・医療」の重要度は全体及び各年齢層と大きな差はないが(重要度:全体4.40、65歳以上4.40)、満足度は非常に高い(満足度:全体3.64、65歳以上3.84)。相対的に要望が高い項目は「雇用・就労」、「空き家対策」、「道路・河川」となっている。

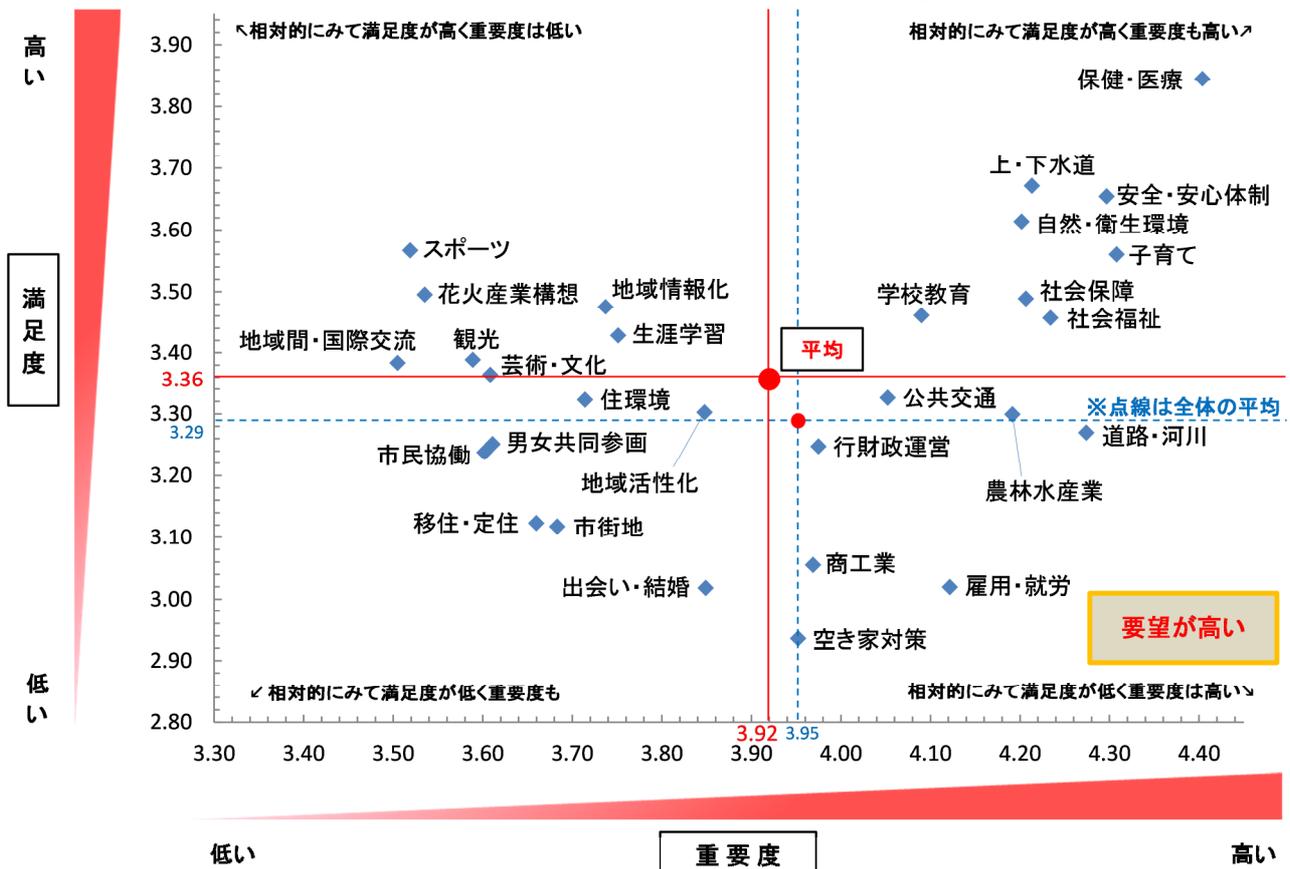
図表16 満足度・重要度の項目別比較(18歳から39歳)



図表 17 満足度・重要度の項目別比較（40歳から64歳）



図表 18 満足度・重要度の項目別比較（65歳以上）



2.5 さらに推進すべき取り組み

2.5.1 産業分野に関する設問について

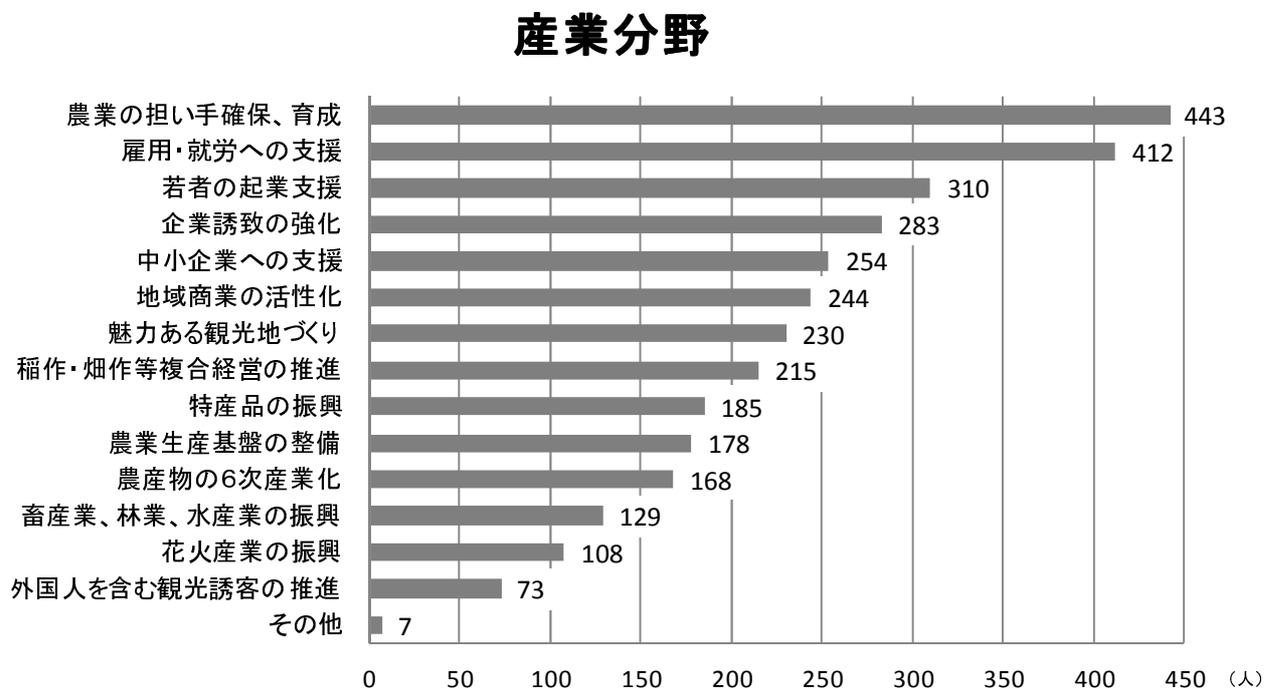
さらに推進すべき取り組みの上位は、「農業の担い手確保、育成」、「雇用・就労への支援」、「若者の起業支援」の順となっている。

一方、下位は「外国人を含む観光誘客の推進」、「花火産業の振興」、「畜産業・林業・水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、20代以下では「魅力ある観光地づくり」、60代以上では「稲作・畑作等複合経営の推進」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、神岡・西仙北地域では「魅力ある観光地づくり」、神岡・中仙地域では「稲作・畑作等複合経営の推進」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 19 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 20 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	11
2	魅力ある観光地づくり	10
3	若者の起業支援	7
4	雇用・就労への支援	6
4	花火産業の振興	6

■20代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	28
1	雇用・就労への支援	28
3	魅力ある観光地づくり	21
4	若者の起業支援	20
5	中小企業への支援	15
5	特産品の振興	15

■30代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	59
2	雇用・就労への支援	56
3	中小企業への支援	44
4	若者の起業支援	42
5	企業誘致の強化	41

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	69
2	雇用・就労への支援	65
3	地域商業の活性化	47
4	企業誘致の強化	44
5	若者の起業支援	38

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	76
2	農業の担い手確保、育成	65
3	企業誘致の強化	56
4	中小企業への支援	48
5	地域商業の活性化	39
5	若者の起業支援	39

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	94
2	農業の担い手確保、育成	90
3	若者の起業支援	69
4	稲作・畑作等複合経営の推進	58
5	企業誘致の強化	57

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	75
2	若者の起業支援	63
3	雇用・就労への支援	56
4	企業誘致の強化	49
5	稲作・畑作等複合経営の推進	45

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	39
2	若者の起業支援	26
3	雇用・就労への支援	25
4	稲作・畑作等複合経営の推進	23
5	中小企業への支援	20

図表 21 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	189
2	雇用・就労への支援	176
3	若者の起業支援	143
4	企業誘致の強化	130
5	地域商業の活性化	120

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	23
2	雇用・就労への支援	21
3	企業誘致の強化	15
4	農産物の6次産業化	14
5	魅力ある観光地づくり 稲作・畑作等複合経営の推進	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	39
2	農業の担い手確保、育成	37
3	若者の起業支援	25
4	企業誘致の強化	20
5	魅力ある観光地づくり	20

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	51
2	雇用・就労への支援	42
3	若者の起業支援	39
4	稲作・畑作等複合経営の推進	32
5	特産品の振興	31

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	38
2	雇用・就労への支援	34
3	若者の起業支援	29
4	企業誘致の強化	26
5	地域商業の活性化	23

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	20
2	農業の担い手確保、育成	19
3	企業誘致の強化	13
4	若者の起業支援 地域商業の活性化 中小企業への支援	11
		11

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	38
2	雇用・就労への支援	36
3	中小企業への支援	22
4	若者の起業支援	21
5	企業誘致の強化 地域商業の活性化	20
		20

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	40
2	雇用・就労への支援	37
3	企業誘致の強化	28
4	若者の起業支援	27
5	農業生産基盤の整備	25

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

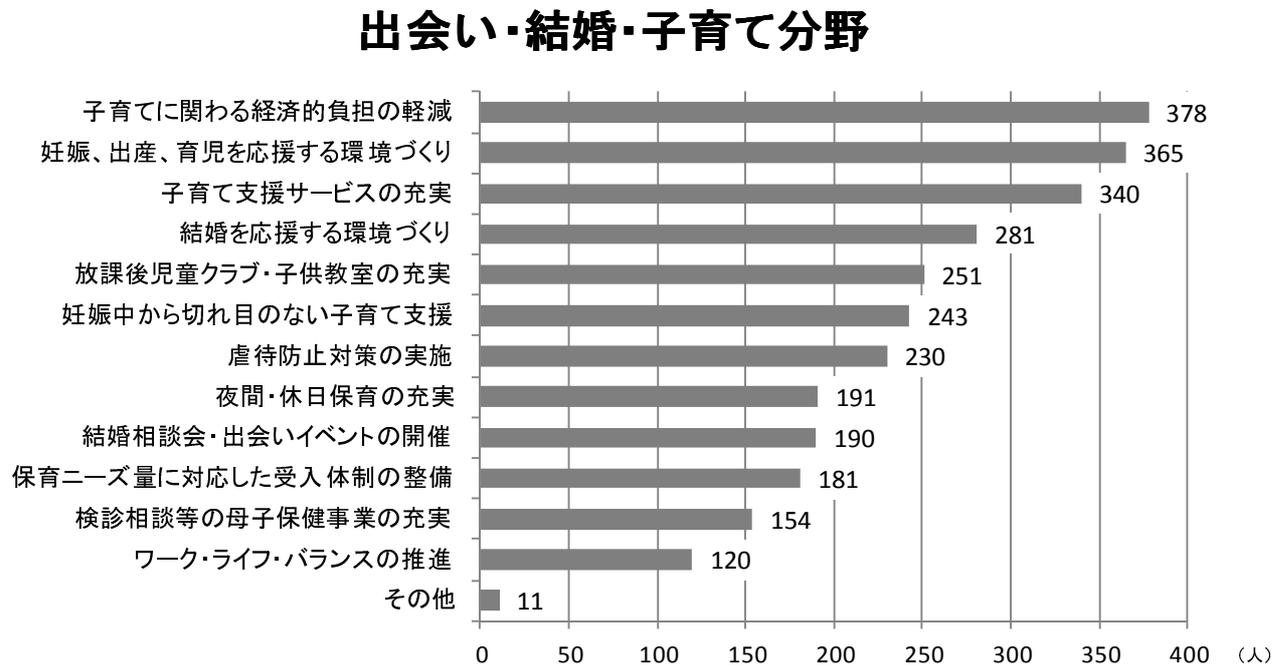
さらに推進すべき取り組みの上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」、「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、「子育て支援サービスの充実」の順となっている。

一方、下位は「ワーク・ライフ・バランスの推進」、「検診相談等の母子保健事業の充実」、「保育ニーズ量に対応した受入体制の整備」の順となっている。

年代別で見ると、40代以下及び80代では「妊娠中から切れ目のない子育て支援」、70代以上では「虐待防止対策の実施」が他の年代にはなく上位に入っている。また、10代では「ワーク・ライフ・バランスの推進」も上位に入っている。

地域別で見ると、西仙北地域では「夜間・休日保育の充実」、協和地域では「結婚相談会・出会いイベントの開催」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	10
2	子育て支援サービスの充実	8
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	7
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	6
5	結婚を応援する環境づくり	5
	ワーク・ライフ・バランスの推進	5

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
2	子育て支援サービスの充実	31
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	21
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	14

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	71
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	65
3	子育て支援サービスの充実	55
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	43
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	43

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	53
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	53
3	子育て支援サービスの充実	47
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	39
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	35

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	61
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	60
3	子育て支援サービスの充実	50
4	結婚を応援する環境づくり	45
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	40

■60代

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	76
2	結婚を応援する環境づくり	74
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	68
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	65
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	56

■70代以上

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	56
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	54
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	51
4	子育て支援サービスの充実	47
5	虐待防止対策の実施	37

■80代以上

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
2	結婚を応援する環境づくり	24
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
4	虐待防止対策の実施	22
5	子育て支援サービスの充実	20
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	20
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	20

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	171
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	162
3	子育て支援サービスの充実	145
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	121
5	結婚を応援する環境づくり	116

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	17
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	16
	結婚を応援する環境づくり	16
4	子育て支援サービスの充実	15
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	37
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	35
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	30
4	結婚を応援する環境づくり	25
5	夜間・休日保育の充実	24

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
3	結婚を応援する環境づくり	35
4	子育て支援サービスの充実	34
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	32

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	28
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	26
3	子育て支援サービスの充実	24
4	結婚を応援する環境づくり	23
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	20
5	結婚相談会・出会いイベントの開催	20
	虐待防止対策の実施	20

■南外地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	16
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	13
2	子育て支援サービスの充実	13
	結婚を応援する環境づくり	13
5	虐待防止対策の実施	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	27
2	子育て支援サービスの充実	26
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
4	結婚を応援する環境づくり	20
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	20

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育て支援サービスの充実	39
	子育てに関わる経済的負担の軽減	39
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	37
4	結婚を応援する環境づくり	27
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	27

2. 5. 3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

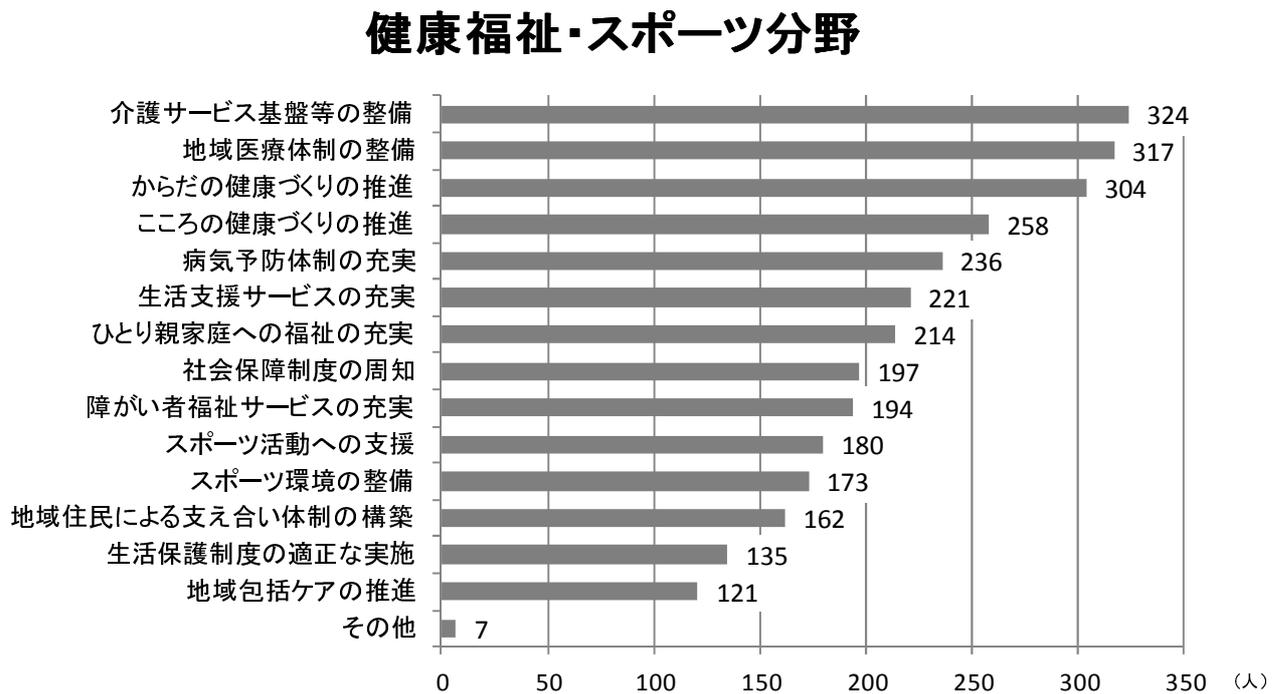
さらに推進すべき取り組みの上位は、「介護サービス基盤等の整備」、「地域医療体制の整備」、「からだの健康づくりの推進」の順となっている。

一方、下位については「地域包括ケアの推進」、「生活保護制度の適正な実施」、「地域住民による支え合い体制の構築」の順となっている。

年代別で見ると、20代から40代までは「地域医療体制の整備」、60代以上では「からだの健康づくりの推進」が最も多くなっている。

地域別で見ると、西仙北、協和、南外地域では「生活支援サービスの充実」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 25 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	8
	からだの健康づくりの推進	8
3	こころの健康づくりの推進	7
	病気予防体制の充実	7
5	ひとり親家庭への福祉の充実	6

■20代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	19
	スポーツ環境の整備	19
3	介護サービス基盤等の整備	16
	からだの健康づくりの推進	16
	生活支援サービスの充実	16

■30代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	44
2	からだの健康づくりの推進	43
3	こころの健康づくりの推進	41
4	介護サービス基盤等の整備	40
5	ひとり親家庭への福祉の充実	37

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	46
2	介護サービス基盤等の整備	38
3	からだの健康づくりの推進	37
4	こころの健康づくりの推進	34
	スポーツ活動への支援	34

■50代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	61
2	地域医療体制の整備	58
3	こころの健康づくりの推進	44
4	からだの健康づくりの推進	38
	生活支援サービスの充実	38

■60代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	74
2	介護サービス基盤等の整備	72
3	地域医療体制の整備	65
4	病気予防体制の充実	61
5	こころの健康づくりの推進	57

■70代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	56
2	介護サービス基盤等の整備	54
3	地域医療体制の整備	51
4	病気予防体制の充実	38
	こころの健康づくりの推進	38

■80代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	30
2	介護サービス基盤等の整備	28
3	病気予防体制の充実	25
4	地域医療体制の整備	23
	こころの健康づくりの推進	23
	生活支援サービスの充実	23
	障がい者福祉サービスの充実	23

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくりの推進	136
2	地域医療体制の整備	135
3	介護サービス基盤等の整備	132
4	こころの健康づくりの推進	105
5	病気予防体制の充実	99

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	18
2	からだの健康づくりの推進	15
	介護サービス基盤等の整備	15
4	病気予防体制の充実	13
5	こころの健康づくりの推進	12
	スポーツ活動への支援	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	34
2	地域医療体制の整備	28
3	生活支援サービスの充実	27
4	からだの健康づくりの推進	26
5	こころの健康づくりの推進	23

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	37
	地域医療体制の整備	37
3	こころの健康づくりの推進	33
4	からだの健康づくりの推進	32
5	病気予防体制の充実	27

■協和地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	30
2	からだの健康づくりの推進	29
3	地域医療体制の整備	28
4	生活支援サービスの充実	26
5	こころの健康づくりの推進	22
	病気予防体制の充実	22

■南外地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の整備	17
2	生活支援サービスの充実	16
3	介護サービス基盤等の整備	15
4	からだの健康づくりの推進	11
	病気予防体制の充実	11

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	病気予防体制の充実	23
	地域医療体制の整備	21
2	からだの健康づくりの推進	21
	こころの健康づくりの推進	21
5	介護サービス基盤等の整備	20

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の整備	33
2	からだの健康づくりの推進	31
3	こころの健康づくりの推進	29
4	地域医療体制の整備	27
5	病気予防体制の充実	21

2.5.4 環境安全分野に関する設問について

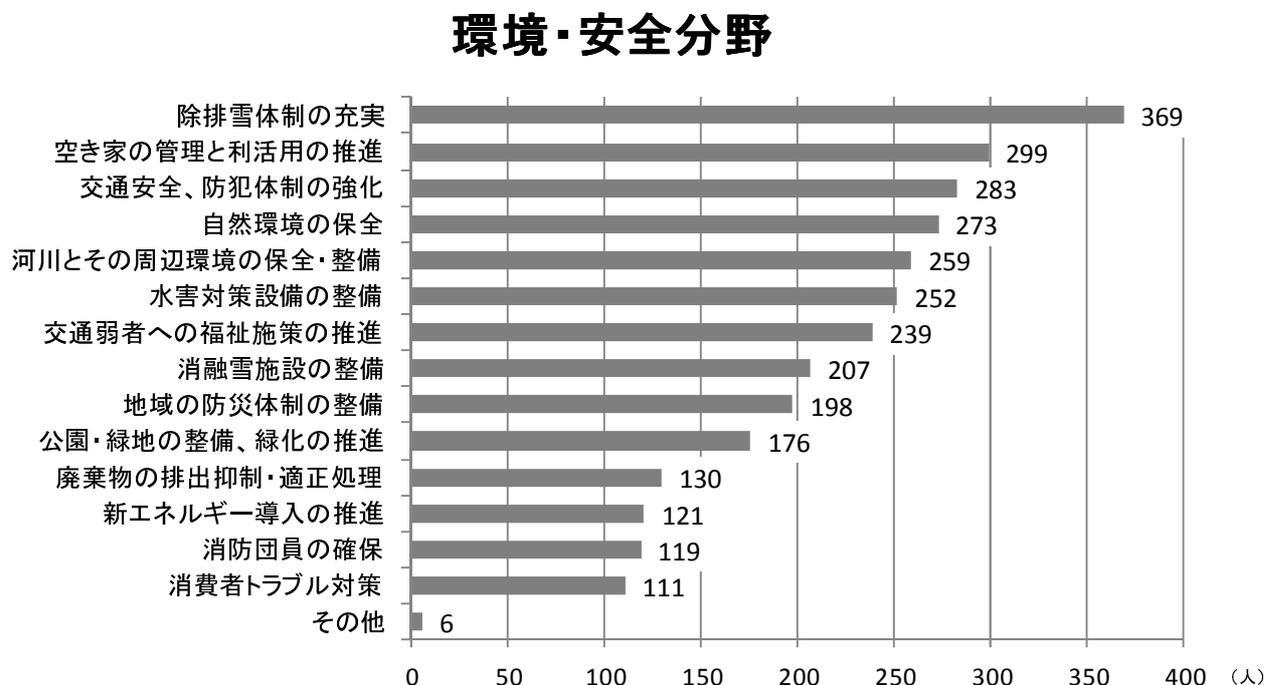
さらに推進すべき取り組みの上位は、「除排雪体制の充実」、「空き家の管理と利活用の推進」、「交通安全、防犯体制の強化」の順となっている。

一方、下位は「消費者トラブル対策」、「消防団員の確保」、「新エネルギー導入の推進」の順となっている。

年代別で見ると、70代以外の年代では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、70代では「自然環境の保全」が最も多くなっている。また、20代以下では「公園・緑地の整備、緑化の推進」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、南外地域以外の地域では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、南外地域では「空き家の管理と利活用の推進」が最も多くなっている。また、神岡、西仙北、南外地域では「水害対策設備の整備」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 28 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	9
2	自然環境の保全	6
	交通弱者への福祉施策の推進	6
4	交通安全、防犯体制の強化	5
	河川とその周辺環境の保全・整備	5
	地域の防災体制の整備	5
	公園・緑地の整備、緑化の推進	5

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
	交通安全、防犯体制の強化	22
3	公園・緑地の整備、緑化の推進	18
4	自然環境の保全	17
5	水害対策設備の整備	15

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	62
2	空き家の管理と利活用の推進	48
3	交通安全、防犯体制の強化	46
4	消融雪施設の整備	41
5	水害対策設備の整備	39

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	52
2	空き家の管理と利活用の推進	39
3	交通安全、防犯体制の強化	35
	河川とその周辺環境の保全・整備	35
5	水害対策設備の整備	33

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	63
2	空き家の管理と利活用の推進	58
3	自然環境の保全	42
4	交通弱者への福祉施策の推進	38
5	交通安全、防犯体制の強化	37
	水害対策設備の整備	37

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	70
2	自然環境の保全	64
3	交通安全、防犯体制の強化	62
4	河川とその周辺環境の保全・整備	61
5	空き家の管理と利活用の推進	59

■70代

順位	項目	回答数
1	自然環境の保全	57
2	除排雪体制の充実	55
3	河川とその周辺環境の保全・整備	51
4	空き家の管理と利活用の推進	49
	交通弱者への福祉施策の推進	49

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	30
2	交通安全、防犯体制の強化	28
3	河川とその周辺環境の保全・整備	27
4	水害対策設備の整備	25
5	自然環境の保全	24

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	163
2	交通安全、防犯体制の強化	122
3	空き家の管理と利活用の推進	120
4	自然環境の保全	113
5	河川とその周辺環境の保全・整備	108

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	19
	交通安全、防犯体制の強化	19
	水害対策設備の整備	19
4	空き家の管理と利活用の推進	17
	自然環境の保全	17

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	34
2	空き家の管理と利活用の推進	29
3	交通安全、防犯体制の強化	27
4	水害対策設備の整備	26
	自然環境の保全	26
	交通弱者への福祉施策の推進	26

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	42
2	空き家の管理と利活用の推進	36
3	河川とその周辺環境の保全・整備	34
4	自然環境の保全	30
5	交通安全、防犯体制の強化	28
	交通弱者への福祉施策の推進	28

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	32
2	自然環境の保全	30
3	空き家の管理と利活用の推進	28
4	交通安全、防犯体制の強化	25
5	河川とその周辺環境の保全・整備	23
	交通弱者への福祉施策の推進	23

■南外地域

順位	項目	回答数
1	空き家の管理と利活用の推進	16
2	除排雪体制の充実	15
3	水害対策設備の整備	12
4	河川とその周辺環境の保全・整備	10
	交通弱者への福祉施策の推進	10
	消融雪施設の整備	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	23
	交通安全、防犯体制の強化	23
3	空き家の管理と利活用の推進	20
	地域の防災体制の整備	20
5	河川とその周辺環境の保全・整備	19

■太田地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	34
2	自然環境の保全	32
3	交通安全、防犯体制の強化	28
4	空き家の管理と利活用の推進	26
	交通弱者への福祉施策の推進	26

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

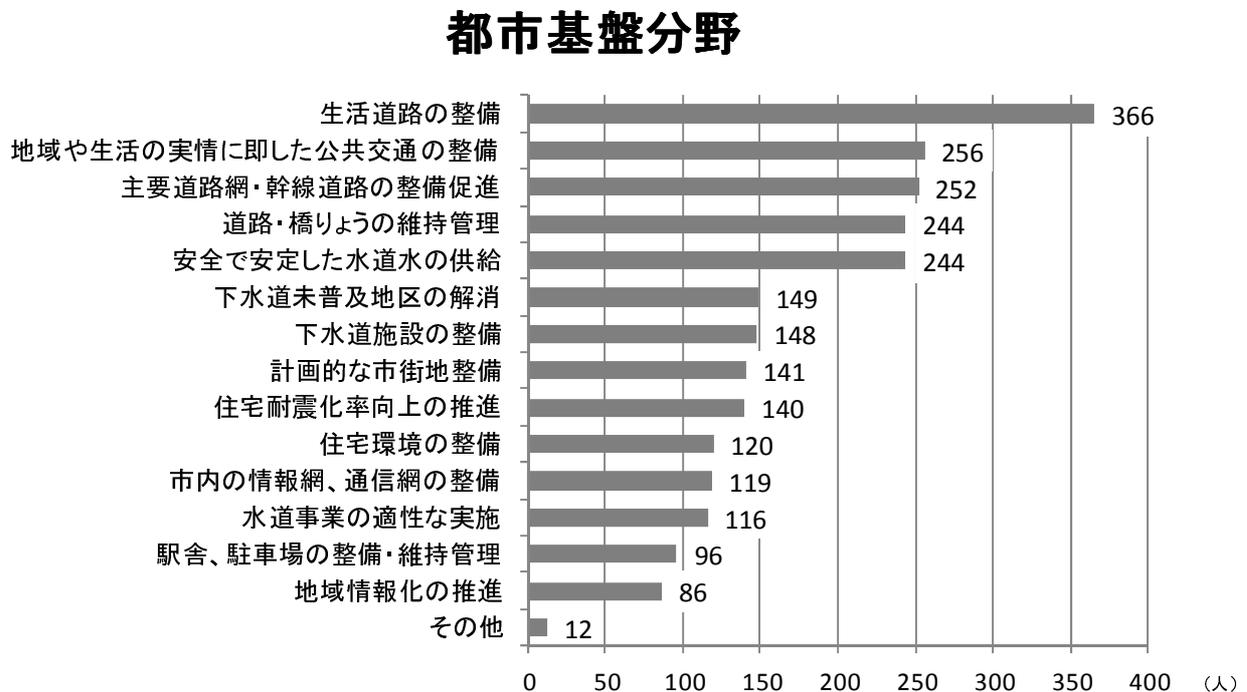
さらに推進すべき取り組みの上位は「生活道路の整備」、「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」、「主要道路網・幹線道路の整備促進」の順となっている。

一方、下位については、「地域情報化の推進」、「駅舎・駐車場の整備・維持管理」、「水道事業の適性な実施」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」が最も多くなっている。また、10代では「市内の情報網、通信網の整備」、「地域情報化の推進」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、南外地域以外の地域では「生活道路の整備」が最も多くなっており、南外地域では「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が最も多くなっている。また、仙北地域では「計画的な市街地整備」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 31 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	7
2	市内の情報網、通信網の整備	6
	地域情報化の推進	6
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	5
	主要道路網・幹線道路の整備促進	5
	住宅耐震化率向上の推進	5
	駅舎、駐車場の整備・維持管理	5

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	27
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	20
3	安全で安定した水道水の供給	13
4	駅舎、駐車場の整備・維持管理	12
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	11
5	住宅環境の整備	11
	計画的な市街地整備	11

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	53
2	道路・橋りょうの維持管理	42
3	安全で安定した水道水の供給	39
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	31
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	30

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	43
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	43
3	安全で安定した水道水の供給	35
4	道路・橋りょうの維持管理	32
5	主要道路網・幹線道路の整備促進	27

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	58
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	46
3	安全で安定した水道水の供給	44
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	38
5	道路・橋りょうの維持管理	37

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	84
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	58
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	56
4	道路・橋りょうの維持管理	54
5	安全で安定した水道水の供給	52

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	56
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	45
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	41
4	道路・橋りょうの維持管理	40
5	安全で安定した水道水の供給	32

■80代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	32
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	27
3	道路・橋りょうの維持管理	23
4	安全で安定した水道水の供給	21
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	19
5	住宅耐震化率向上の推進	19
	下水道未普及地区の解消	19

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	147
2	安全で安定した水道水の供給	118
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	106
4	主要道路網・幹線道路の整備促進	104
5	道路・橋りょうの維持管理	103

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
2	安全で安定した水道水の供給	18
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	13
	道路・橋りょうの維持管理	13
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	38
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	24
4	道路・橋りょうの維持管理	22
5	安全で安定した水道水の供給	19

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	45
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	28
	道路・橋りょうの維持管理	28
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	27
5	安全で安定した水道水の供給	19

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	30
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	30
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	25
	安全で安定した水道水の供給	25
5	道路・橋りょうの維持管理	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	13
2	生活道路の整備	12
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	10
4	安全で安定した水道水の供給	9
	道路・橋りょうの維持管理	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	27
2	道路・橋りょうの維持管理	21
3	主要道路網・幹線道路の整備促進	17
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
5	安全で安定した水道水の供給	12
	計画的な市街地整備	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	39
2	主要道路網・幹線道路の整備促進	27
3	道路・橋りょうの維持管理	25
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	23
5	安全で安定した水道水の供給	19

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

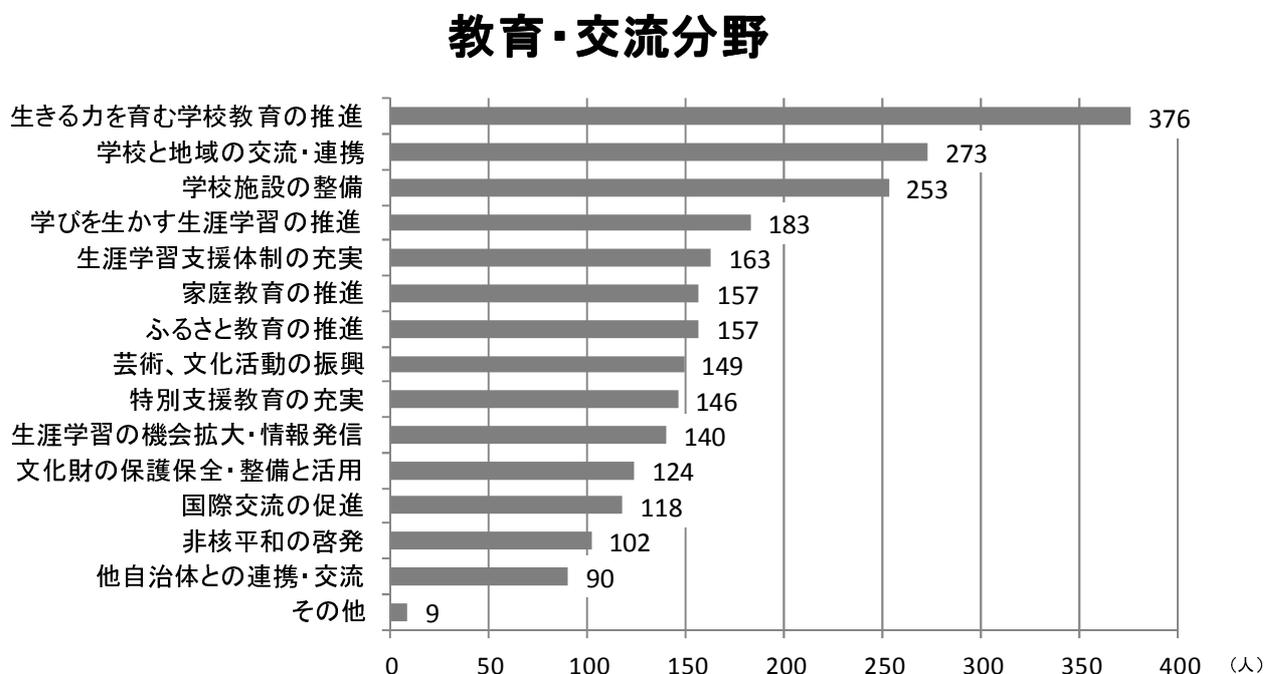
さらに推進すべき取り組みの上位は、「生きる力を育む学校教育の推進」、「学校と地域の交流・連携」、「学校施設の整備」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」、「非核平和の啓発」、「国際交流の促進」の順となっている。

年代別で見ると、10代以外の年代では「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっており、10代では「学校と地域の交流・連携」が最も多くなっている。また、20代以下では「国際交流の促進」、80代では「文化財の保護保全・整備と活用」、「非核平和の啓発」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別では、全ての地域で「生きる力を育む学校教育の推進」が最も多くなっている。また、中仙地域では「ふるさと教育の推進」、協和地域では「文化財の保護保全・整備と活用」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 34 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	学校と地域の交流・連携	9
2	生きる力を育む学校教育の推進	8
3	学校施設の整備	6
	国際交流の促進	6
5	家庭教育の推進	5
	特別支援教育の充実	5

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	21
2	学校施設の整備	19
3	学びを生かす生涯学習の推進	14
4	学校と地域の交流・連携	13
	国際交流の促進	13

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	65
2	学校施設の整備	51
3	学校と地域の交流・連携	38
4	学びを生かす生涯学習の推進	30
5	特別支援教育の充実	26

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	53
2	学校と地域の交流・連携	44
3	学校施設の整備	38
4	学びを生かす生涯学習の推進	25
5	特別支援教育の充実	18
	芸術、文化活動の振興	18

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	56
2	学校施設の整備	47
3	学校と地域の交流・連携	34
4	芸術、文化活動の振興	28
5	家庭教育の推進	26

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	87
2	学校と地域の交流・連携	62
3	生涯学習の機会拡大・情報発信	43
4	学校施設の整備	42
5	ふるさと教育の推進	40

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	62
2	学校と地域の交流・連携	47
3	生涯学習支援体制の充実	34
4	学校施設の整備	31
5	ふるさと教育の推進	30
	家庭教育の推進	30
	学びを生かす生涯学習の推進	30

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	22
2	学校と地域の交流・連携	21
3	生涯学習支援体制の充実	20
4	学びを生かす生涯学習の推進	18
	文化財の保護保全・整備と活用	18
	非核平和の啓発	18

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	175
2	学校と地域の交流・連携	112
3	学校施設の整備	104
4	学びを生かす生涯学習の推進	84
5	家庭教育の推進	80

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	20
2	学校施設の整備	13
3	学校と地域の交流・連携	11
4	学びを生かす生涯学習の推進	9
	生涯学習支援体制の充実	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	31
2	学校と地域の交流・連携	25
3	学校施設の整備	20
4	芸術、文化活動の振興	17
5	学びを生かす生涯学習の推進	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	38
2	学校と地域の交流・連携	33
3	学校施設の整備	32
4	学びを生かす生涯学習の推進	20
	特別支援教育の充実	17
5	ふるさと教育の推進	17
	生涯学習支援体制の充実	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	32
2	学校と地域の交流・連携	27
3	生涯学習支援体制の充実	20
4	学校施設の整備	18
	文化財の保護保全・整備と活用	18

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	16
2	学校施設の整備	13
3	学校と地域の交流・連携	11
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	7
5	生涯学習支援体制の充実	6
	芸術、文化活動の振興	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	28
2	学校施設の整備	21
3	学校と地域の交流・連携	19
4	家庭教育の推進	15
5	学びを生かす生涯学習の推進	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育の推進	34
2	学校と地域の交流・連携	30
3	学校施設の整備	27
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	18
5	特別支援教育の充実	17

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

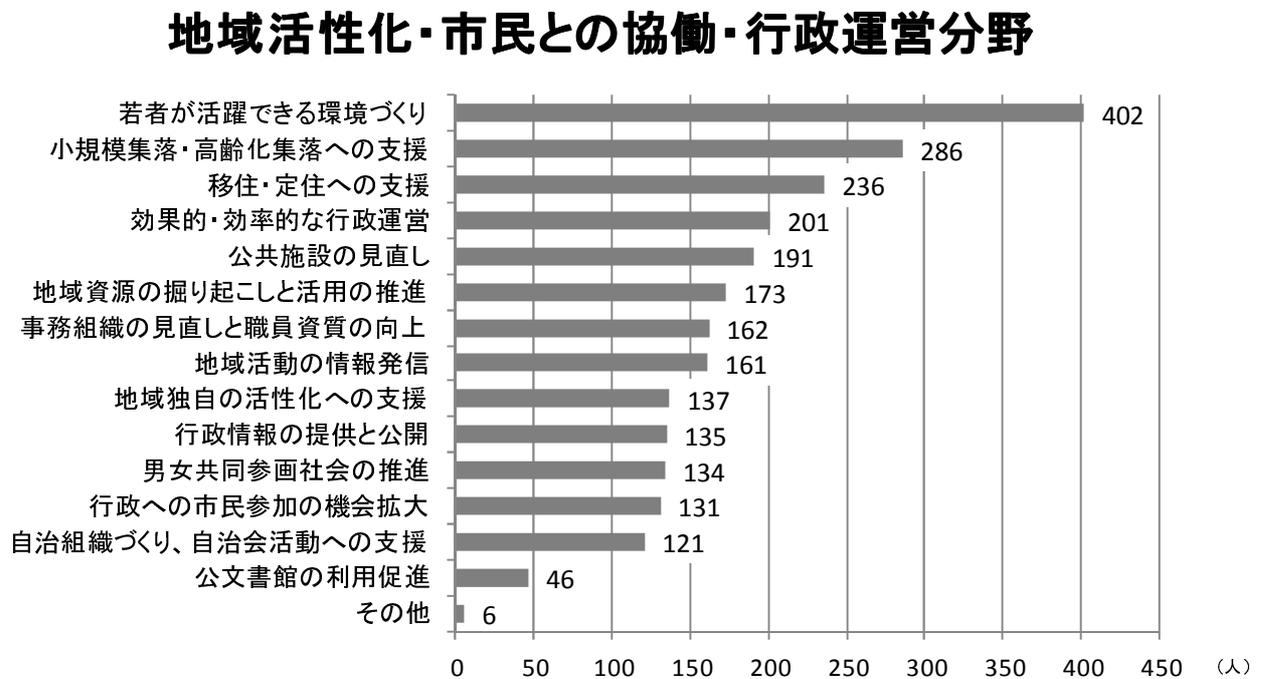
さらに推進すべき取り組みの上位は、「若者が活躍できる環境づくり」、「小規模集落・高齢化集落への支援」、「移住・定住への支援」の順となっている。

一方、下位は、「公文書館の利用促進」、「自治組織づくり、自治会活動への支援」、「行政への市民参加の機会拡大」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっている。また、10代では「地域活動の情報発信」が他の年代に比べ順位が高く、80代では「自治組織づくり、自治会活動への支援」、「地域独自の活性化への支援」が他の年代にはなく上位に入っている。

地域別で見ると、協和、南外地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が最も多くなっており、それ以外の地域では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっている。また、協和地域では「地域独自の活性化への支援」、南外地域では「自治組織づくり、自治会活動への支援」が他の地域にはなく上位に入っている。

図表 37 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	13
2	地域活動の情報発信	9
3	移住・定住への支援	7
	行政への市民参加の機会拡大	7
	小規模集落・高齢化集落への支援	6
5	効果的・効率的な行政運営	6
	地域資源の掘り起こしと活用の推進	6

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	32
2	移住・定住への支援	17
3	小規模集落・高齢化集落への支援	16
4	男女共同参画社会の推進	13
	公共施設の見直し	13

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	60
2	移住・定住への支援	39
3	小規模集落・高齢化集落への支援	32
4	公共施設の見直し	31
5	地域活動の情報発信	25

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	51
2	小規模集落・高齢化集落への支援	39
3	効果的・効率的な行政運営	34
4	移住・定住への支援	29
5	公共施設の見直し	22
	事務組織の見直しと職員資質の向上	22

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	61
2	移住・定住への支援	47
3	小規模集落・高齢化集落への支援	46
4	効果的・効率的な行政運営	40
5	公共施設の見直し	30

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	89
2	小規模集落・高齢化集落への支援	62
3	移住・定住への支援	46
4	公共施設の見直し	38
	地域資源の掘り起こしと活用の推進	38

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	66
2	小規模集落・高齢化集落への支援	56
3	公共施設の見直し	37
4	効果的・効率的な行政運営	34
5	行政情報の提供と公開	33

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	25
	小規模集落・高齢化集落への支援	25
3	自治組織づくり、自治会活動への支援	22
4	行政への市民参加の機会拡大	19
5	地域独自の活性化への支援	18
	地域活動の情報発信	18

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	189
2	移住・定住への支援	105
3	小規模集落・高齢化集落への支援	103
4	効果的・効率的な行政運営	87
5	公共施設の見直し	85

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	20
2	小規模集落・高齢化集落への支援	15
3	効果的・効率的な行政運営	13
4	地域活動の情報発信	11
	事務組織の見直しと職員資質の向上	11

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	34
2	小規模集落・高齢化集落への支援	33
3	移住・定住への支援	23
4	効果的・効率的な行政運営	21
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	42
2	小規模集落・高齢化集落への支援	36
3	移住・定住への支援	25
4	効果的・効率的な行政運営	22
	公共施設の見直し	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	37
2	若者が活躍できる環境づくり	34
3	地域資源の掘り起こしと活用の推進	24
4	地域活動の情報発信	23
5	地域独自の活性化への支援	22

■南外地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	17
2	若者が活躍できる環境づくり	14
3	移住・定住への支援	10
4	公共施設の見直し	8
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	6
	事務組織の見直しと職員資質の向上	6
	効果的・効率的な行政運営	6
	自治組織づくり、自治会活動への支援	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	28
2	移住・定住への支援	16
3	小規模集落・高齢化集落への支援	14
4	地域資源の掘り起こしと活用の推進	13
	事務組織の見直しと職員資質の向上	13
	効果的・効率的な行政運営	13

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	35
2	小規模集落・高齢化集落への支援	25
3	移住・定住への支援	22
4	公共施設の見直し	21
5	地域資源の掘り起こしと活用の推進	17
	効果的・効率的な行政運営	17

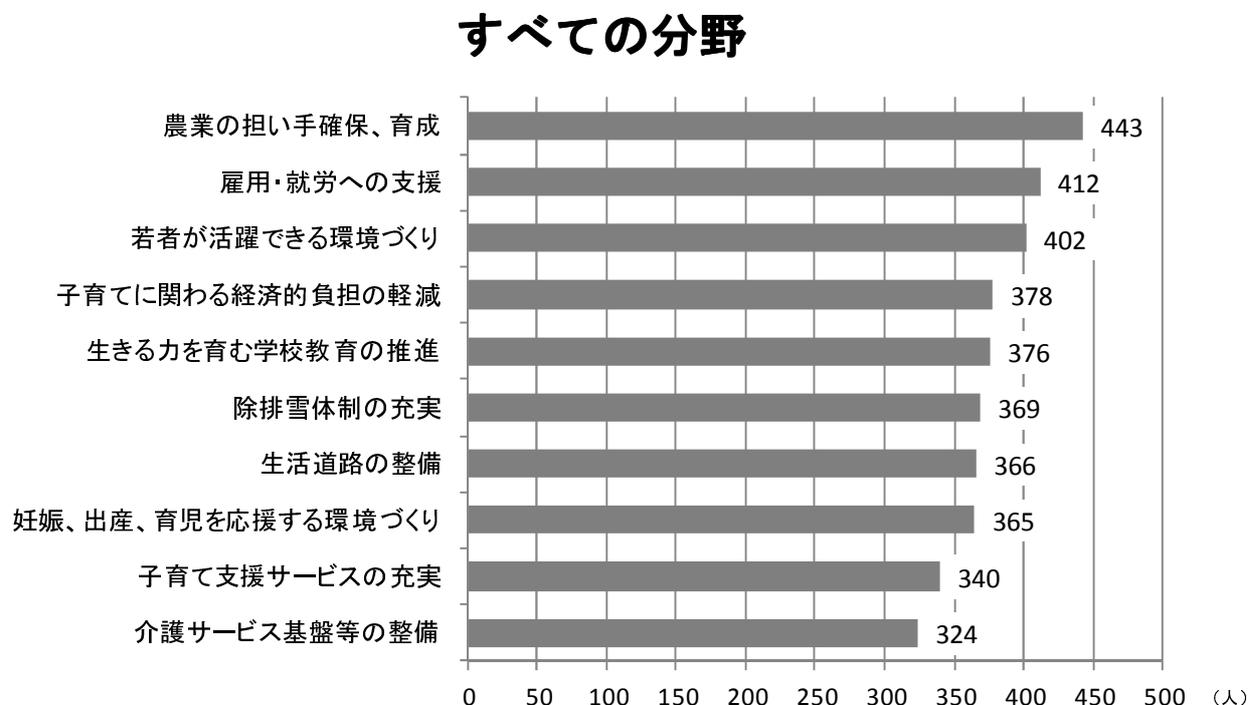
2.5.8 さらに推進すべき取り組みの総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取り組みの上位となっているのは、「農業の担い手確保、育成」、「雇用・就労への支援」、「若者が活躍できる環境づくり」、「子育てに関わる経済的負担の軽減」、「生きる力を育む学校教育の推進」の順となっている。

年代別で見ると、10代では「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、20代、30代では子育てに関する項目、40代から60代では「雇用・就労への支援」、70代では若者支援に関する項目、80代では道路整備や健康、環境・安全分野に関する項目が他の年代よりも高くなっている。

地域別で見ると、大曲地域では「若者が活躍できる環境づくり」、協和、南外地域では「小規模集落・高齢化集落への支援」が他の地域よりも高くなっている。また、大曲、西仙北、中仙、仙北、太田地域では子育てに関する項目が他の地域よりも高くなっている。

図表 40 さらに推進すべき取り組み（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	13
2	農業の担い手確保、育成	11
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	10
	魅力ある観光地づくり	10
	除排雪体制の充実	9
5	学校と地域の交流・連携	9
	地域活動の情報発信	9
	生きる力を育む学校教育の推進	8
8	子育て支援サービスの充実	8
	介護サービス基盤等の整備	8
	からだの健康づくりの推進	8

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	33
2	若者が活躍できる環境づくり	32
3	子育て支援サービスの充実	31
	農業の担い手確保、育成	28
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
	雇用・就労への支援	28
7	生活道路の整備	27
	除排雪体制の充実	22
8	交通安全、防犯体制の強化	22
	魅力ある観光地づくり	21
10	生きる力を育む学校教育の推進	21
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	21

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	71
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	65
	生きる力を育む学校教育の推進	65
4	除排雪体制の充実	62
5	若者が活躍できる環境づくり	60
6	農業の担い手確保、育成	59
7	雇用・就労への支援	56
8	子育て支援サービスの充実	55
9	生活道路の整備	53
10	学校施設の整備	51

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	69
2	雇用・就労への支援	65
	子育てに関わる経済的負担の軽減	53
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	53
	生きる力を育む学校教育の推進	53
6	除排雪体制の充実	52
7	若者が活躍できる環境づくり	51
8	子育て支援サービスの充実	47
	地域商業の活性化	47
10	地域医療体制の整備	46

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	76
2	農業の担い手確保、育成	65
3	除排雪体制の充実	63
	子育てに関わる経済的負担の軽減	61
4	若者が活躍できる環境づくり	61
	介護サービス基盤等の整備	61
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	60
	地域医療体制の整備	58
8	生活道路の整備	58
	空き家の管理と利活用の推進	58

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	94
2	農業の担い手確保、育成	90
3	若者が活躍できる環境づくり	89
4	生きる力を育む学校教育の推進	87
5	生活道路の整備	84
6	子育て支援サービスの充実	76
7	結婚を応援する環境づくり	74
	からだの健康づくりの推進	74
9	介護サービス基盤等の整備	72
10	除排雪体制の充実	70

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	75
2	若者が活躍できる環境づくり	66
3	若者の起業支援	63
4	生きる力を育む学校教育の推進	62
5	自然環境の保全	57
	雇用・就労への支援	56
	生活道路の整備	56
6	結婚を応援する環境づくり	56
	からだの健康づくりの推進	56
	小規模集落・高齢化集落への支援	56

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	39
2	生活道路の整備	32
3	からだの健康づくりの推進	30
	除排雪体制の充実	30
5	介護サービス基盤等の整備	28
	交通安全、防犯体制の強化	28
	子育てに関わる経済的負担の軽減	27
7	河川とその周辺環境の保全・整備	27
	主要道路網・幹線道路の整備促進	27
10	若者の起業支援	26

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取り組み」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	189
	若者が活躍できる環境づくり	189
3	雇用・就労への支援	176
4	生きる力を育む学校教育の推進	175
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	171
6	除排雪体制の充実	163
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	162
8	生活道路の整備	147
9	子育て支援サービスの充実	145
10	若者の起業支援	143

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	23
2	雇用・就労への支援	21
	生活道路の整備	21
4	若者が活躍できる環境づくり	20
	生きる力を育む学校教育の推進	20
	除排雪体制の充実	19
6	交通安全、防犯体制の強化	19
	水害対策設備の整備	19
9	地域医療体制の整備	18
	安全で安定した水道水の供給	18

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	39
2	生活道路の整備	38
3	農業の担い手確保、育成	37
	子育て支援サービスの充実	37
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	35
	若者が活躍できる環境づくり	34
6	除排雪体制の充実	34
	介護サービス基盤等の整備	34
9	小規模集落・高齢化集落への支援	33
10	生きる力を育む学校教育の推進	31

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	51
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
3	生活道路の整備	45
	雇用・就労への支援	42
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
	若者が活躍できる環境づくり	42
	除排雪体制の充実	42
8	若者の起業支援	39
9	生きる力を育む学校教育の推進	38
10	介護サービス基盤等の整備	37
	地域医療体制の整備	37

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	38
2	小規模集落・高齢化集落への支援	37
3	雇用・就労への支援	34
	若者が活躍できる環境づくり	34
5	除排雪体制の充実	32
	生きる力を育む学校教育の推進	32
	生活道路の整備	30
7	介護サービス基盤等の整備	30
	自然環境の保全	30
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	30

■南外地域

順位	項目	回答数
1	雇用・就労への支援	20
2	農業の担い手確保、育成	19
3	小規模集落・高齢化集落への支援	17
	地域医療体制の整備	17
	生きる力を育む学校教育の推進	16
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	16
	空き家の管理と利活用の推進	16
	生活支援サービスの充実	16
9	除排雪体制の充実	15
	介護サービス基盤等の整備	15

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	38
2	雇用・就労への支援	36
3	生きる力を育む学校教育の推進	28
	若者が活躍できる環境づくり	28
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	27
	生活道路の整備	27
7	子育て支援サービスの充実	26
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
	除排雪体制の充実	23
9	病気予防体制の充実	23
	交通安全、防犯体制の強化	23

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	40
	生活道路の整備	39
2	子育て支援サービスの充実	39
	子育てに関わる経済的負担の軽減	39
5	雇用・就労への支援	37
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	37
7	若者が活躍できる環境づくり	35
8	生きる力を育む学校教育の推進	34
	除排雪体制の充実	34
10	介護サービス基盤等の整備	33

2.6 あなたが思う大仙市について

2.6.1 市内在住の経緯に関する設問について

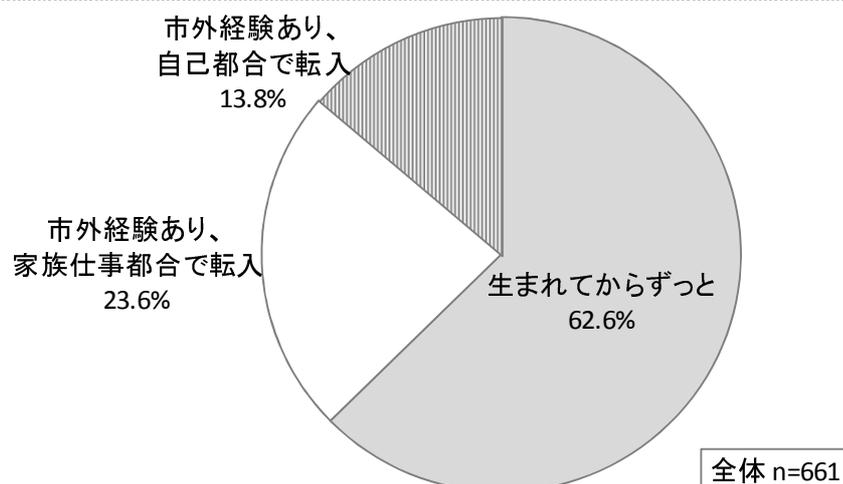
現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる」が62.6%、「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」が23.6%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た」が13.8%となっている。

属性別では、性別で見ると、「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方は男性が69.8%、女性が57.1%となっており、男性の方が12.7ポイント大きくなっている。「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方は、男性が18.6%、女性が27.8%となっており、女性の方が9.2ポイント大きくなっている。

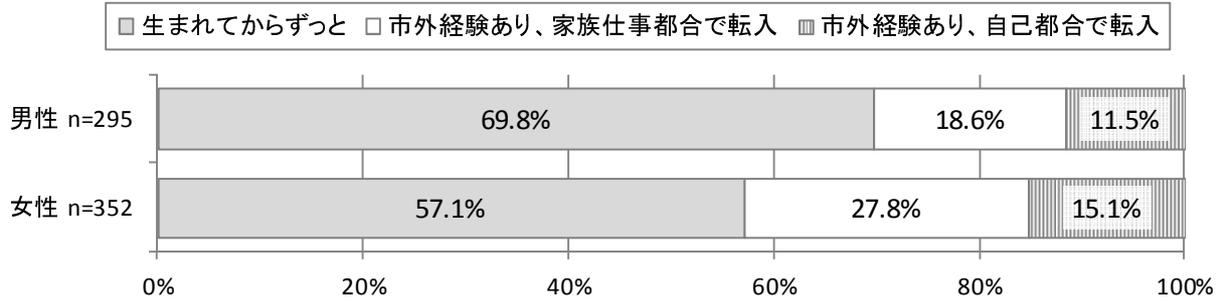
年代別で見ると、「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方の割合が最も大きいのは10代と20代を合わせた年代で81.4%となっている。一方、最も小さいのは30代で49.0%となっており、30代以降は、40代を除き年代が上がるにつれて割合が大きくなり、80代で71.1%となっている。「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方の割合が最も大きいのは30代で37.8%、最も小さいのは10代と20代を合わせた年代で13.6%となっている。「市外に住んだことがあり、自分の意思で引っ越して来た」と回答した方の割合が最も大きいのは50代で18.3%、最も小さいのは10代と20代を合わせた年代で5.1%となっている。

地域別で見ると、南外地域では「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方の割合が最も小さく、「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と「市外に住んだことがあり、自分の意思で引っ越して来た」と回答した方の割合はどちらも最も大きくなっている。「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方の割合が最も大きいのは西仙北地域で74.6%となっている。

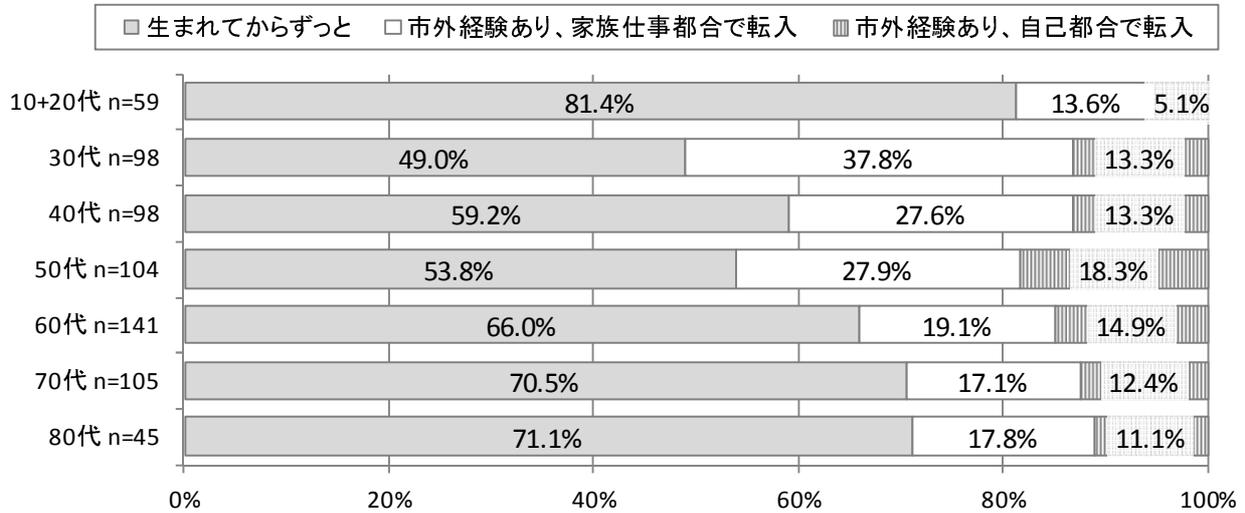
図表 43 大仙市に住んでいる経緯は



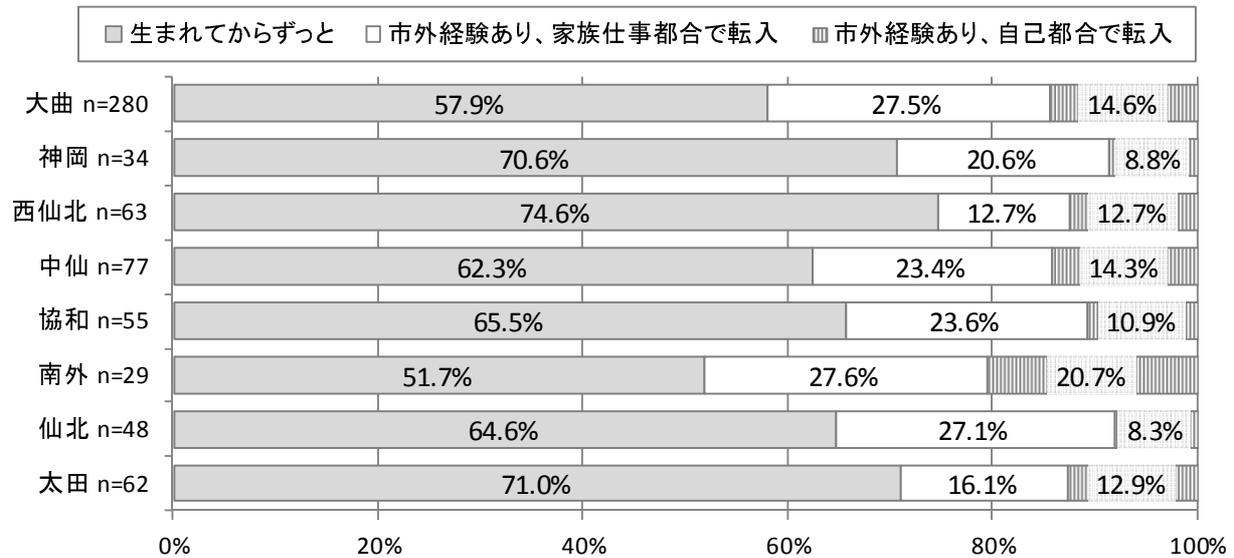
図表 44 大仙市に住んでいる経緯は（性別）



図表 45 大仙市に住んでいる経緯は（年代別）



図表 46 大仙市に住んでいる経緯は（地域別）



2.6.2 「住みやすさ」に関する設問について

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか、という設問について、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方が55.0%で最も多く、次いで「住みやすい」が32.1%となっている。「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の割合を合わせると、87.1%で、9割近くを占めている。

また、これからも大仙市に住み続けたいと思いますか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」と回答した方が75.2%で最も多く、7割以上を占めている。

属性別では、性別で見ると、「住みやすいか」では大きな違いは見られないが、「住み続けたいか」では、「市内の別の場所へ移りたい」と回答した方は男性が9.2%、女性が16.9%となっており、女性の方が7.7ポイント大きくなっている。

年代別で見ると、「住みやすいか」については、「住みやすい」と回答した方の割合が最も大きいのは80代で45.7%だが、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が最も大きいのは70代で90.4%となっている。「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合が最も大きいのは30代で19.4%となっている。

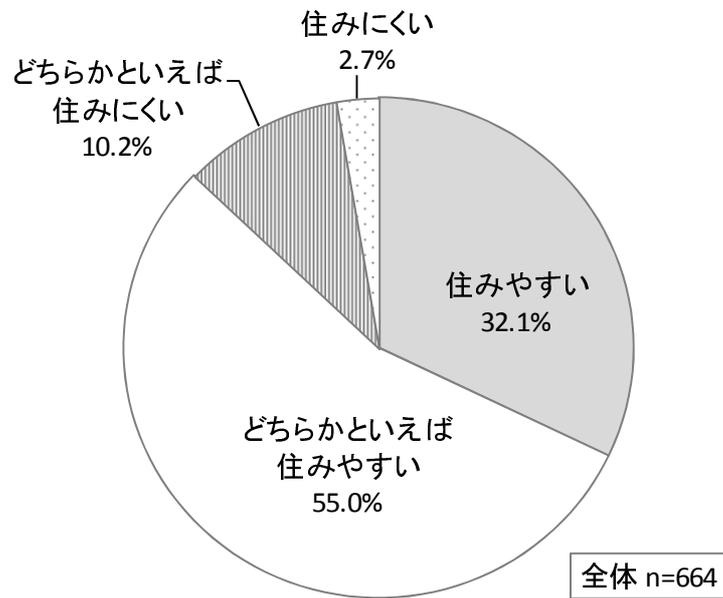
また、「住み続けたいか」については、「今の場所に住み続けたい」と回答した方の割合は年代が上がるにつれて大きくなり、80代が86.4%で最も大きくなっている。「市内の別の場所へ移りたい」は大きな変化はないが、「市外に移りたい」と「住み続けたいが、移らざるを得ない」の割合は年代が下がるにつれて大きくなる傾向となっている。

地域別で見ると、「住みやすいか」については、「住みやすい」と回答した方の割合は南外地域で13.8%となっており、他の地域に比べて小さくなっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が最も大きいのは仙北地域で95.8%となっている。「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」は、仙北地域では他の地域に比べどちらも小さくなっており、2つを合わせた割合は4.2%となっている。

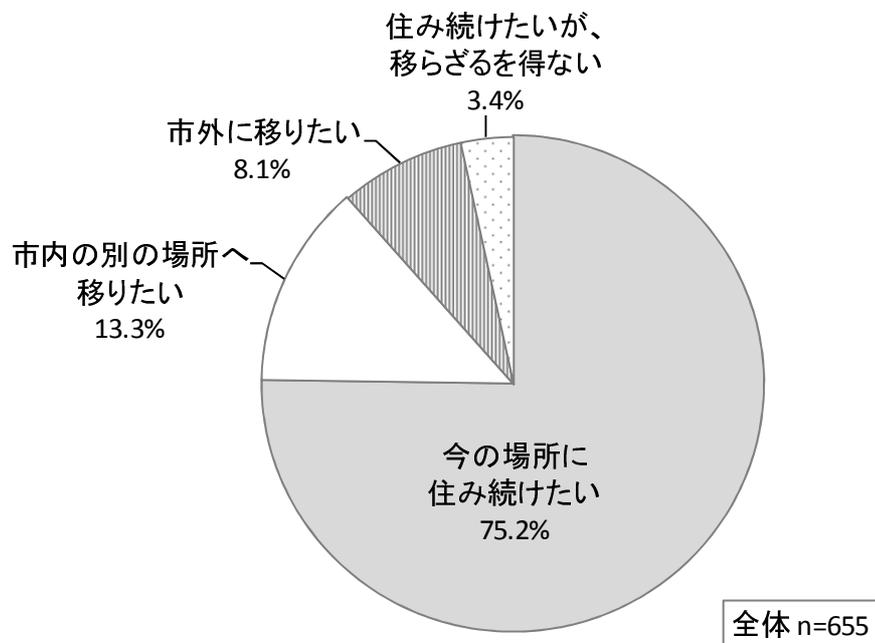
また、「住み続けたいか」については、「今の場所に住み続けたい」は仙北地域の85.4%、「市内の別の場所へ移りたい」は南外地域の28.6%、「市外に移りたい」と「住み続けたいが、移らざるを得ない」はどちらも協和地域でそれぞれ14.3%、8.9%が最も大きくなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た」と回答した方は、「住みやすいか」については「住みやすい」、「住み続けたいか」については「今の場所に住み続けたい」と回答した方の割合がどちらも最も小さくなっている。

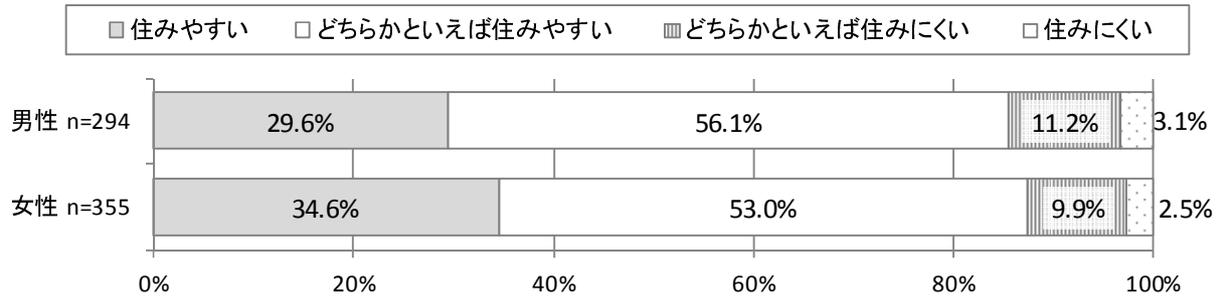
図表 47 大仙市は住みやすいか



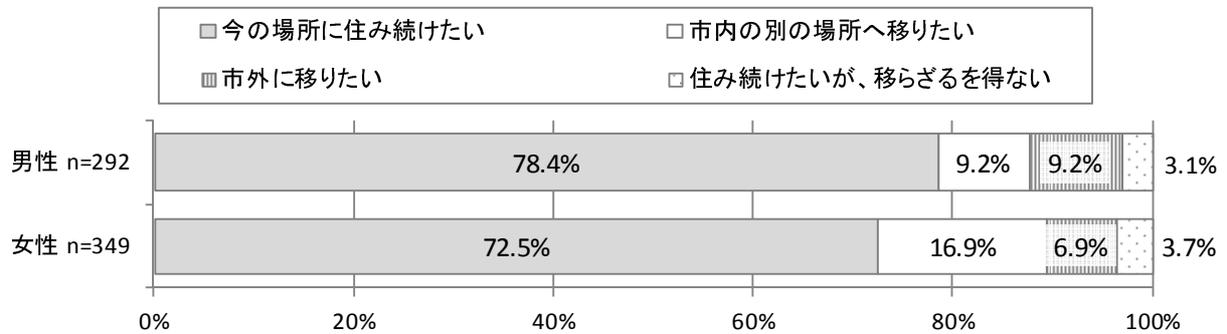
図表 48 大仙市に住み続けたいか



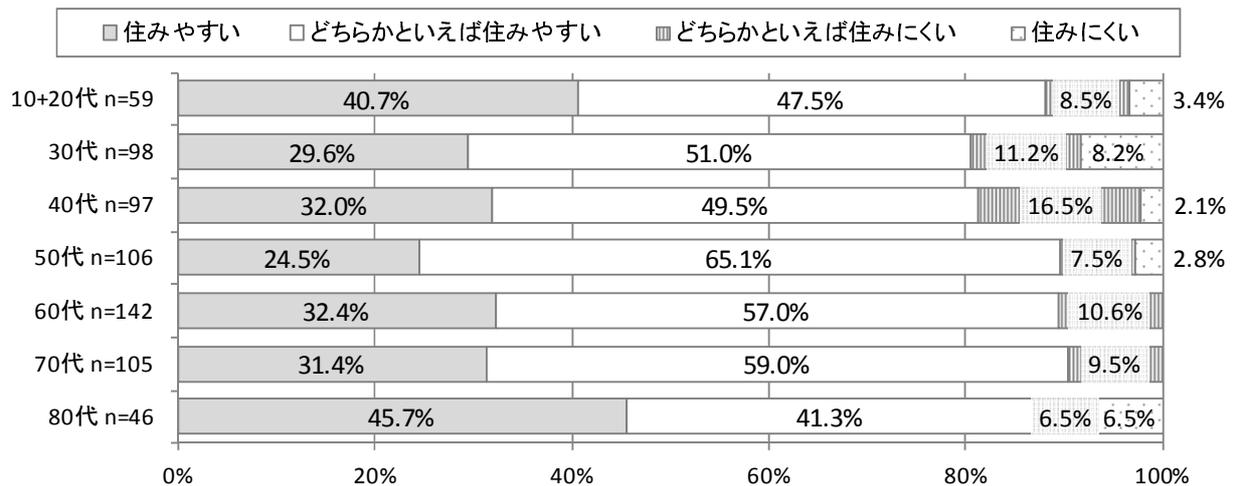
図表 49 大仙市は住みやすいか（性別）



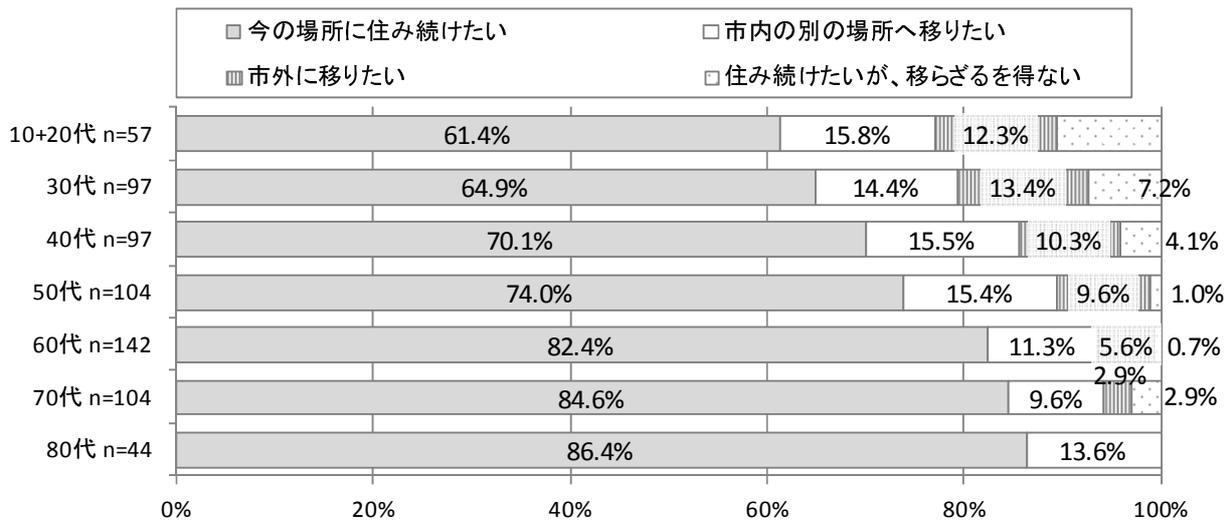
図表 50 大仙市に住み続けたいか（性別）



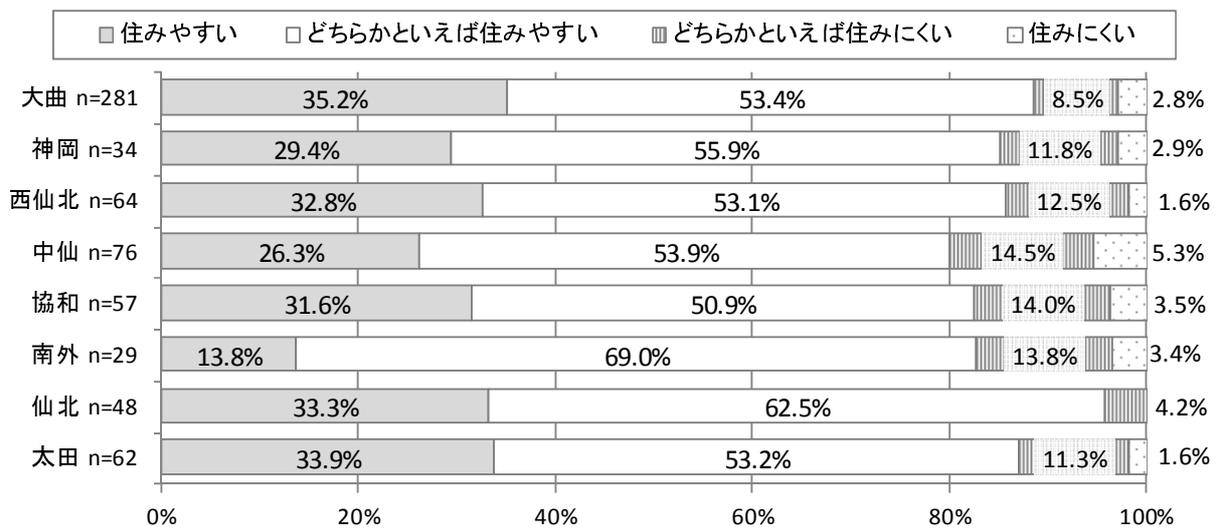
図表 51 大仙市は住みやすいか（年代別）



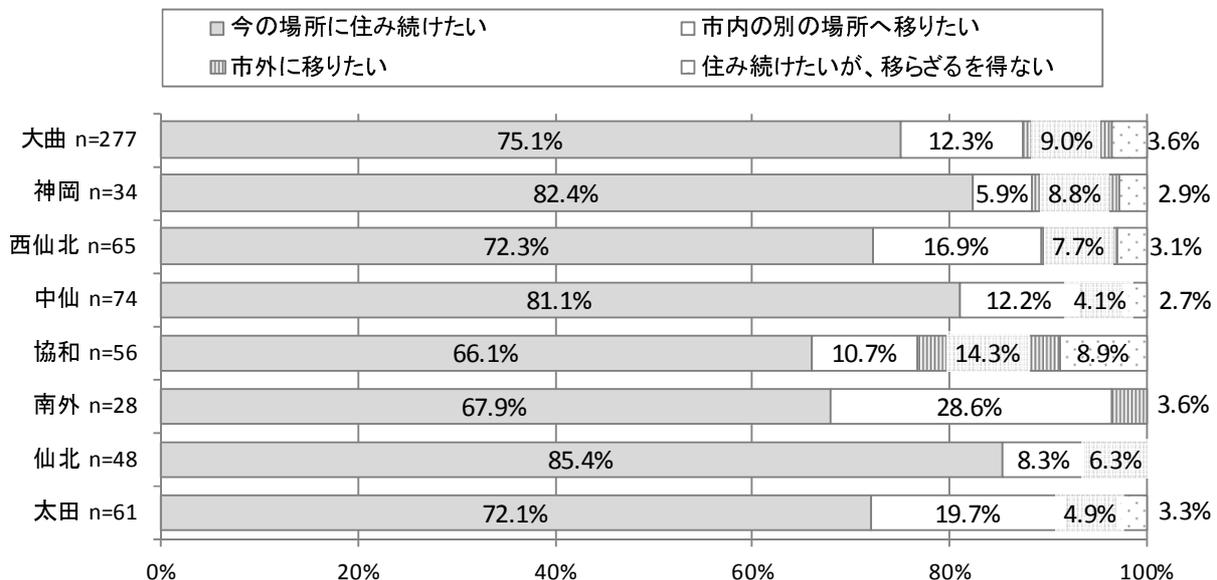
図表 52 大仙市に住み続けたいか（年代別）



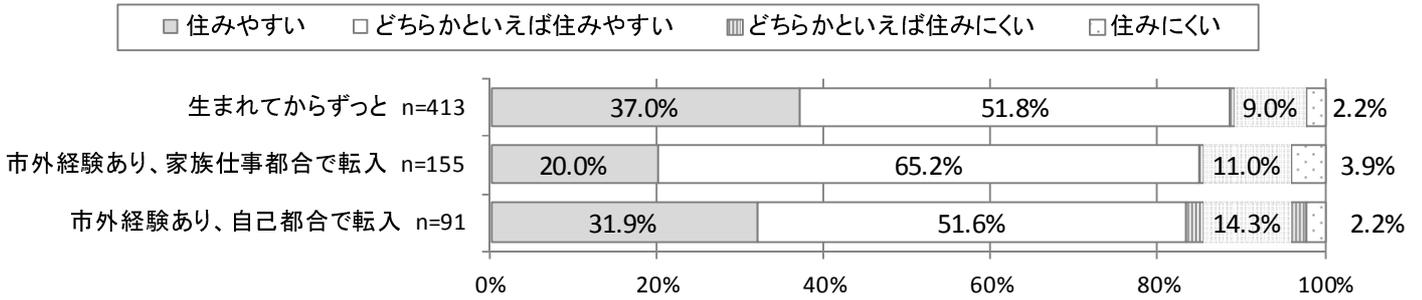
図表 53 大仙市は住みやすいか（地域別）



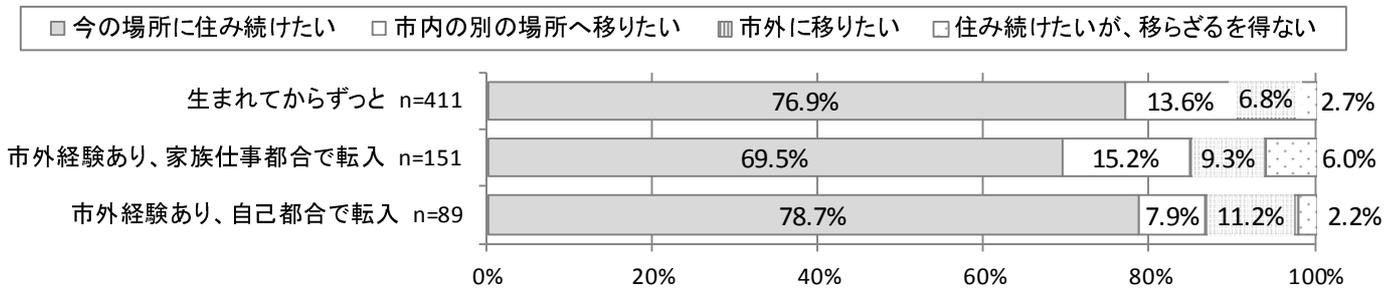
図表 54 大仙市に住み続けたいか（地域別）



図表 55 大仙市は住みやすいか（住んでいる経緯別）



図表 56 大仙市に住み続けたいか（住んでいる経緯別）



2.6.3 社会活動・地域活動に関する設問について

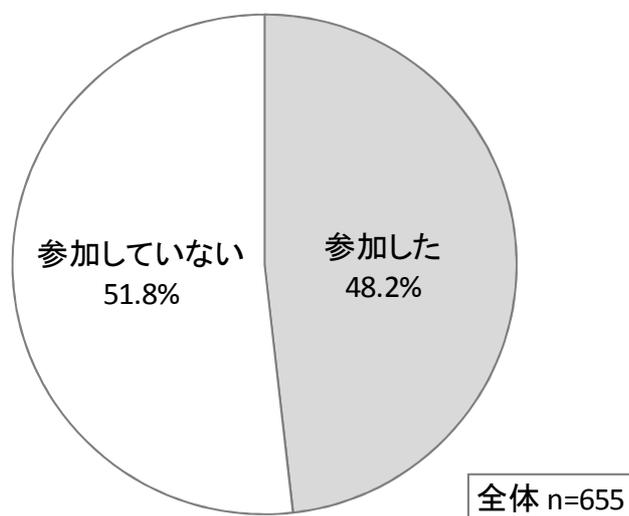
ここ1年間で、仕事以外で社会活動や地域活動（自治会、PTA、環境保全、見守り活動など）に参加したかについては、「参加した」と「参加していない」とでは概ね半数ずつとなっている。

属性別では、性別で見ると、「参加した」と回答した方は男性が55.4%、女性が42.2%となっており、男性の方が13.2ポイント大きくなっている。

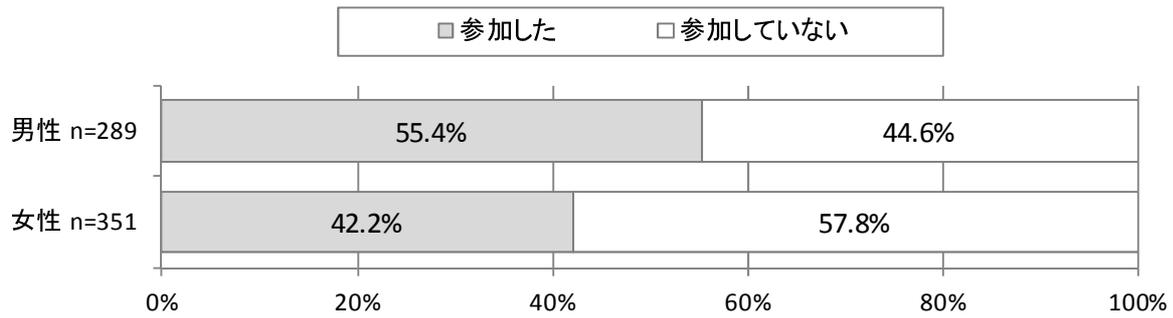
年代別で見ると、「参加した」と回答した方の割合は、10代と20代を合わせた年代が10.2%で最も小さくなっており、30代から50代までは4割前後、60代以上では6割前後となっている。

地域別では、「参加した」と回答した方は大曲地域以外では全て半数以上となっており、大曲地域では33.7%と最も小さくなっている。

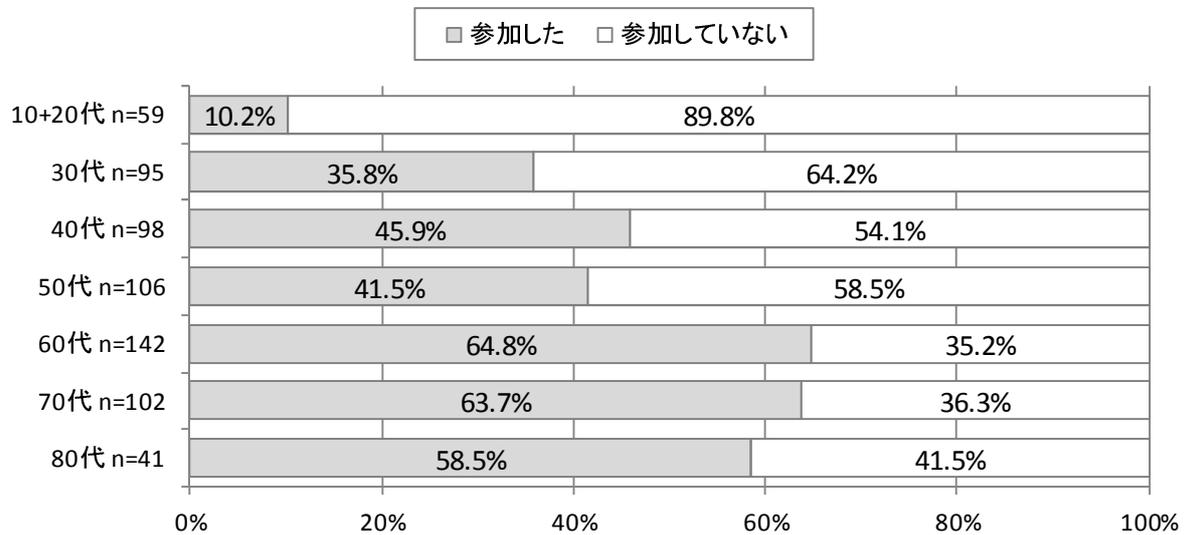
図表 57 社会活動、地域活動に参加したか



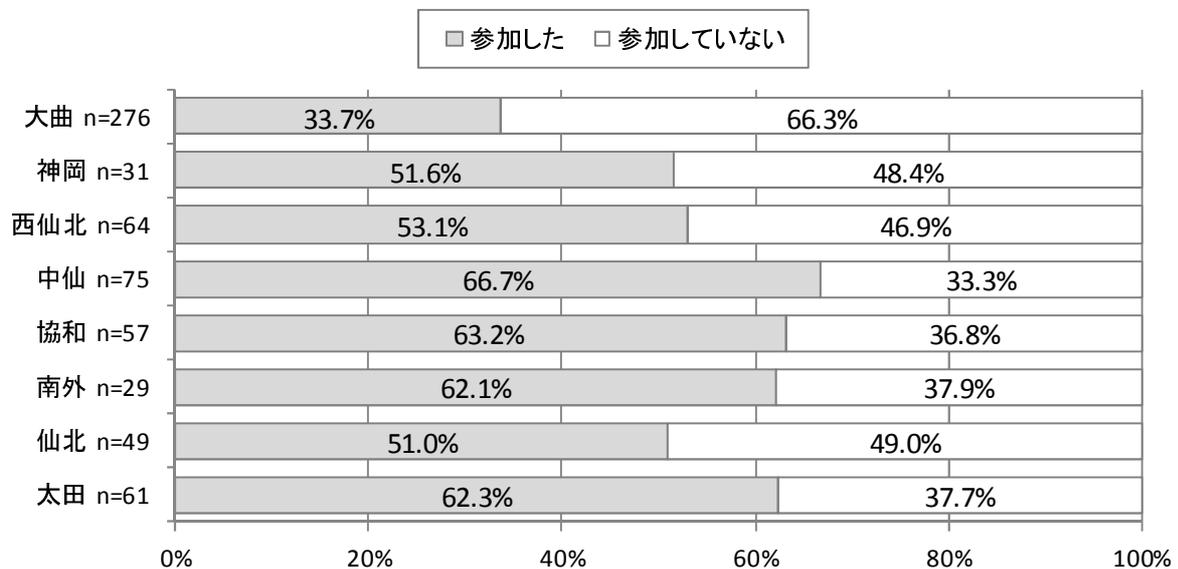
図表 58 社会活動、地域活動に参加したか（性別）



図表 59 社会活動、地域活動に参加したか（年代別）



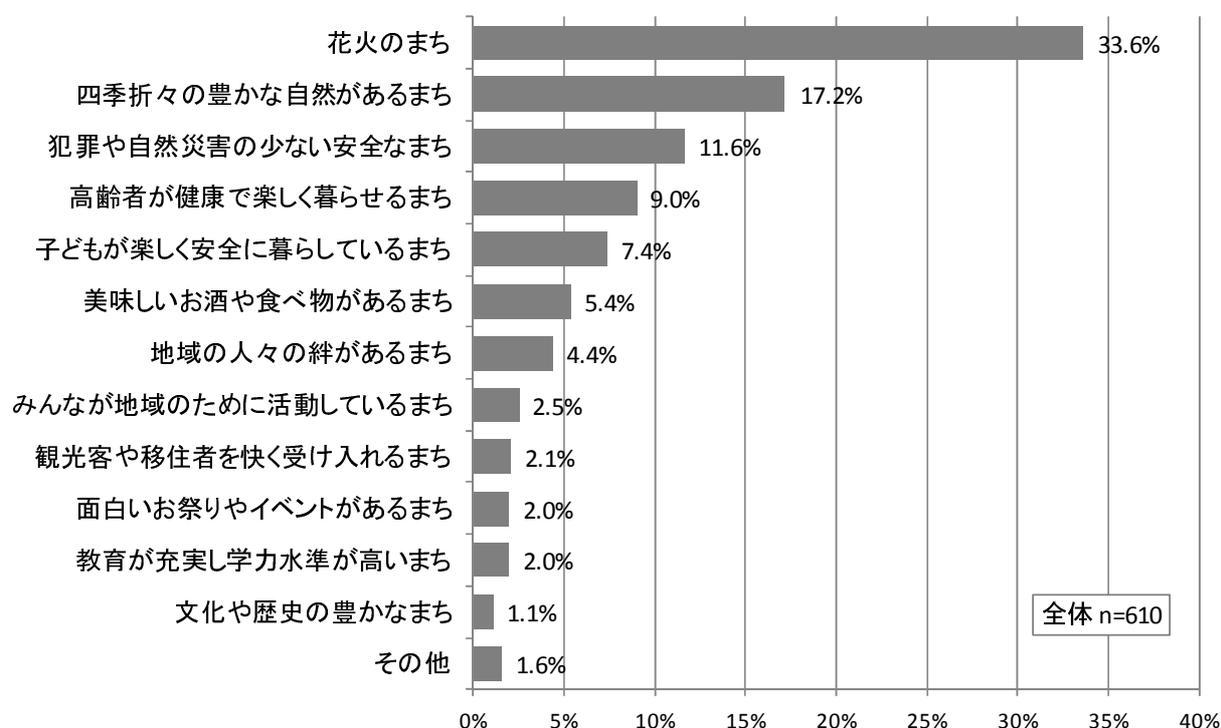
図表 60 社会活動、地域活動に参加したか（地域別）



2.6.4 未来のまちの姿に関する設問について

10年後、大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介していきたいか（回答は一つ）という設問に対して、「花火のまち」と回答した方が33.6%で突出して最も多く、次いで「四季折々の豊かな自然があるまち」が17.2%、「犯罪や自然災害の少ない安全なまち」が11.6%となっている。

図表 61 「大仙市」を知人へどのように紹介するか



■その他の回答

- 障がい者も安心して暮らせるまち（50代／女性／西仙北）
- 子育てに対する支援が手厚いまち（30代／男性／大曲）
- 地域に遊べる場所がたくさんある町（30代／男性／中仙）
- すべての市民が明るく健康に暮らしている町（60代／男性／大曲）
- 良くもなく悪くもなく便利な町（50代／男性／中仙）

2.7 経年比較

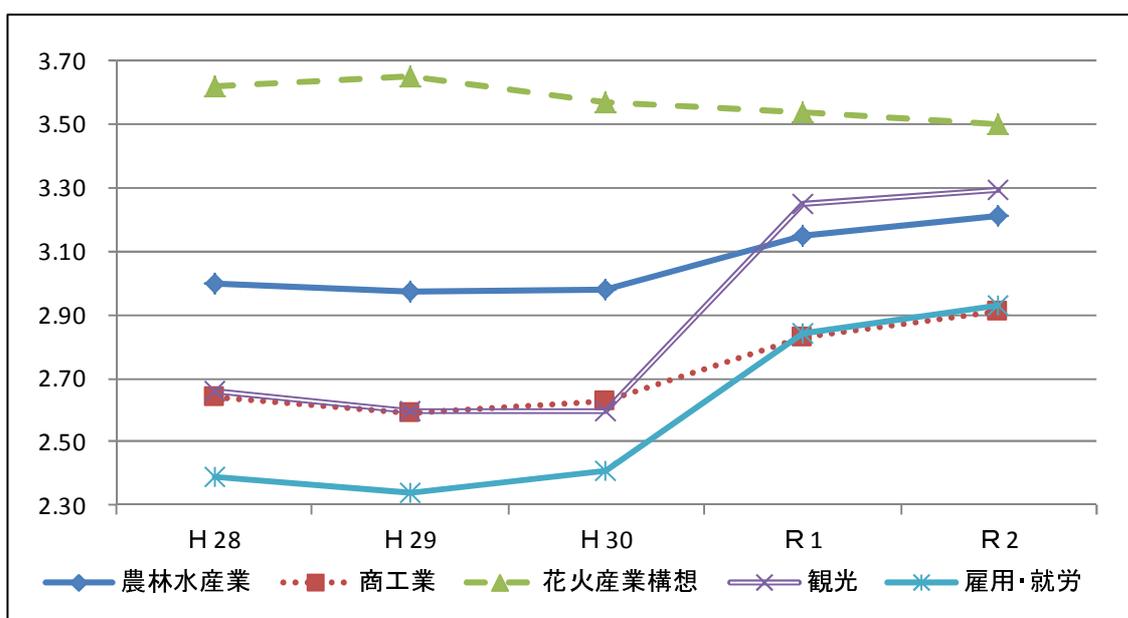
平成28年度から令和2年度までの過去5年間における満足度、重要度及び要望度についての推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての4年間の推移をまとめた。

なお、満足度、重要度については、平成27年までは大仙市総合計画基本計画、平成28年からは第2次大仙市総合計画基本構想に基づいた設問項目での調査となっているため、経年比較できない項目については「—」で示してある。

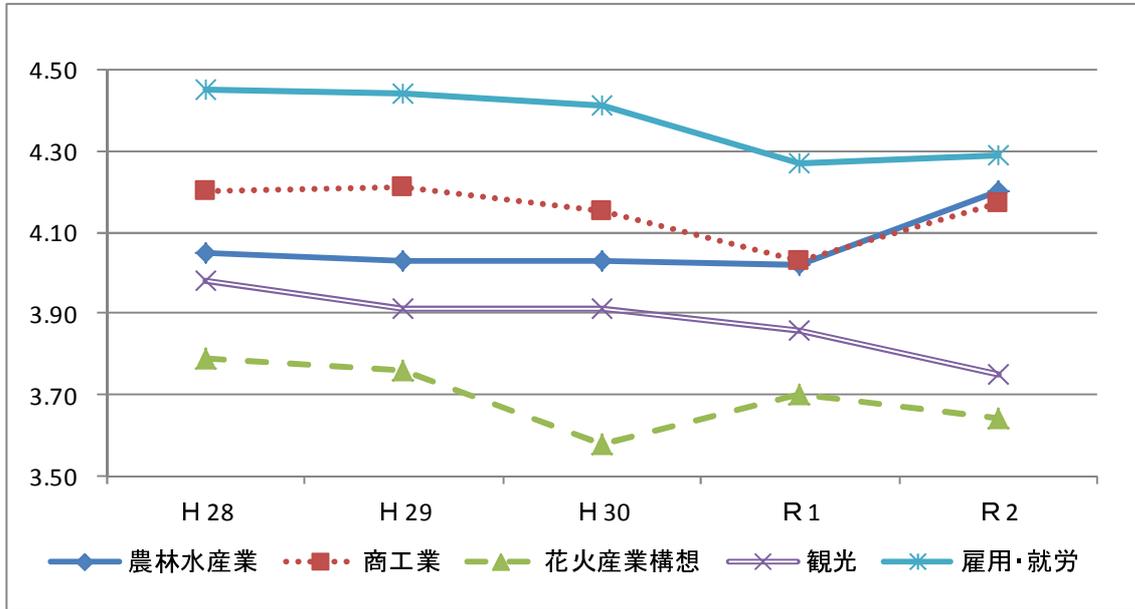
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度では、「花火産業構想」のみ減少傾向となっているが、それ以外近年は増加傾向となっている。重要度及び要望度は、全体的に横ばいまたは減少傾向となっているが、「農林水産業」と「商工業」についてはどちらも今年度は増加している。

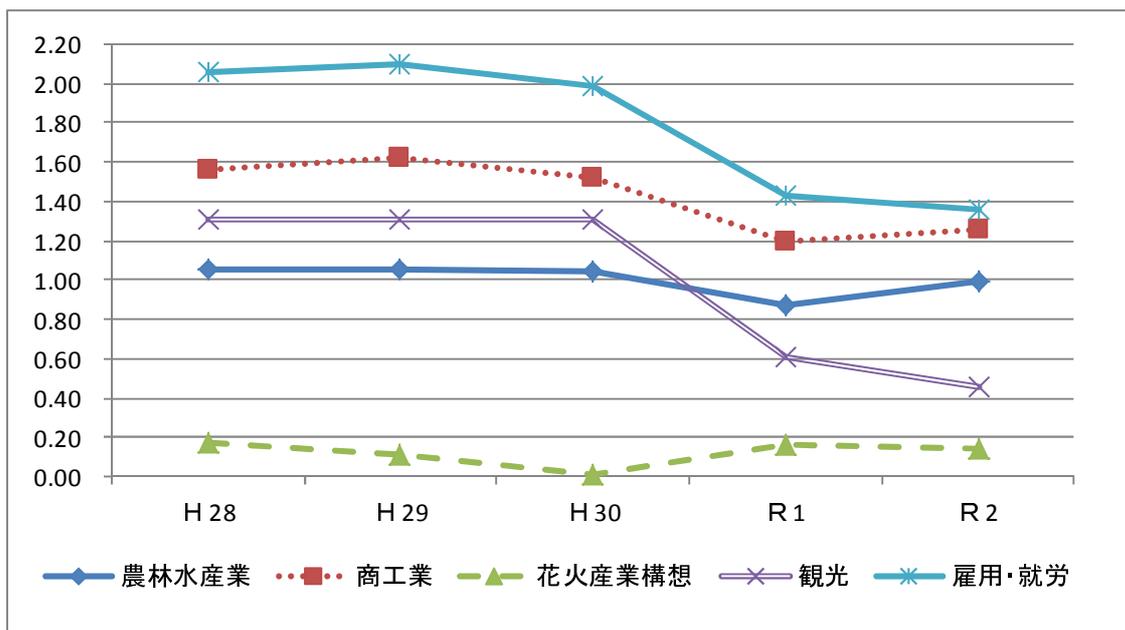
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
農林水産業	3.00	2.97	2.98	3.15	3.21
商工業	2.64	2.59	2.63	2.83	2.91
花火産業構想	3.62	3.65	3.57	3.54	3.50
観光	2.66	2.60	2.60	3.25	3.29
雇用・就労	2.39	2.34	2.41	2.84	2.93



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
農林水産業	4.05	4.03	4.03	4.02	4.20
商工業	4.20	4.21	4.15	4.03	4.17
花火産業構想	3.79	3.76	3.58	3.70	3.64
観光	3.98	3.91	3.91	3.86	3.75
雇用・就労	4.45	4.44	4.41	4.27	4.29



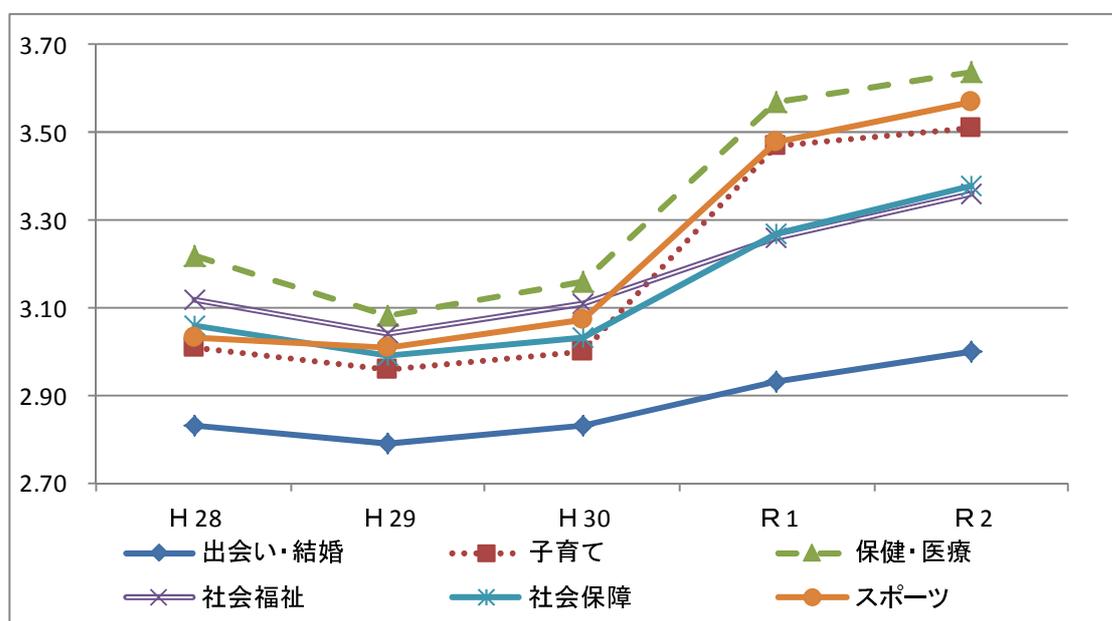
要望度	H28	H29	H30	R1	R2
農林水産業	1.05	1.06	1.04	0.87	0.99
商工業	1.56	1.62	1.52	1.20	1.26
花火産業構想	0.17	0.11	0.01	0.16	0.14
観光	1.31	1.31	1.31	0.61	0.46
雇用・就労	2.06	2.10	1.99	1.43	1.36



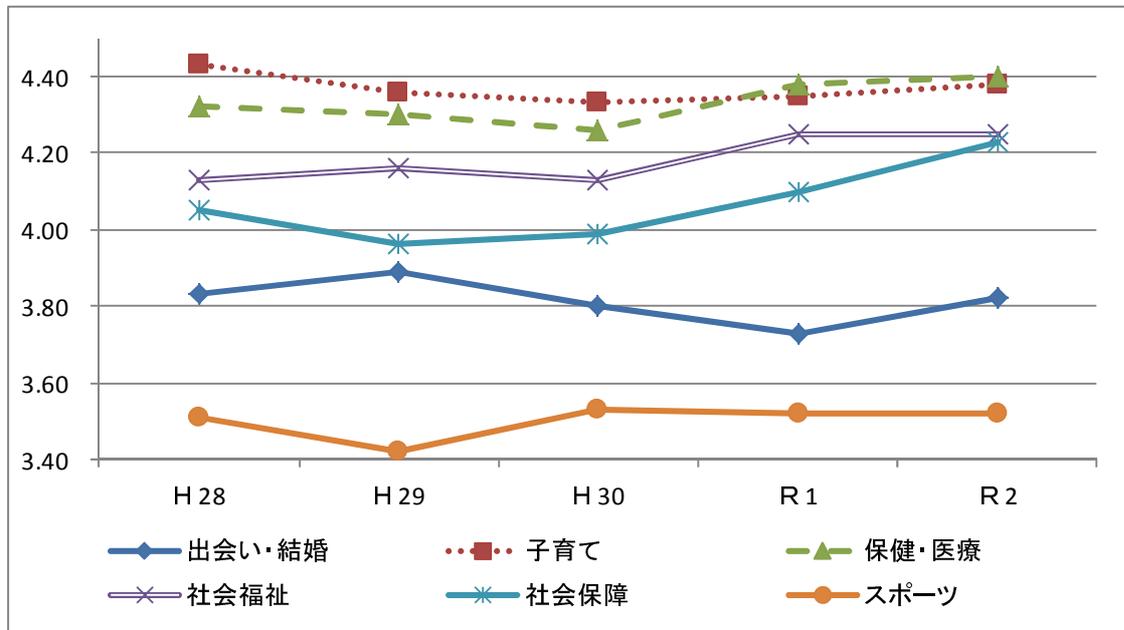
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は平成 29 年度からは毎年増加しており、重要度は横ばい、要望度は減少傾向となっている。また、満足度については、「出会い・結婚」以外は平成 30 年度以降大きく増加しているが、「出会い・結婚」は他に比べ緩やかな増加となっている。

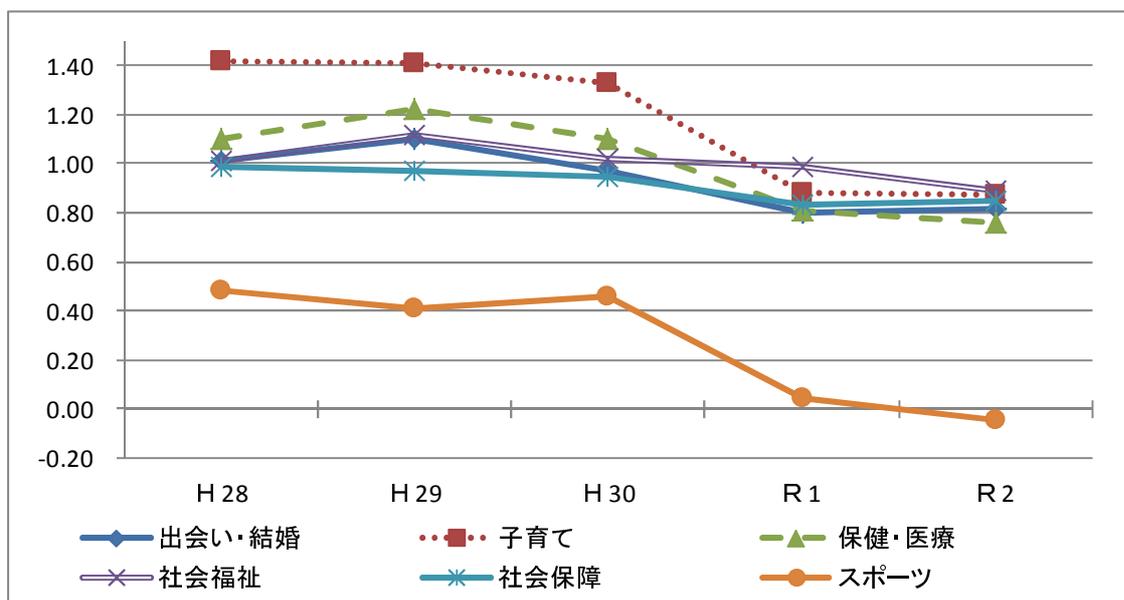
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
出会い・結婚	2.83	2.79	2.83	2.93	3.00
子育て	3.01	2.96	3.00	3.47	3.51
保健・医療	3.22	3.08	3.16	3.57	3.64
社会福祉	3.12	3.04	3.11	3.26	3.36
社会保障	3.06	2.99	3.03	3.27	3.38
スポーツ	3.03	3.01	3.07	3.48	3.57



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
出会い・結婚	3.83	3.89	3.80	3.73	3.82
子育て	4.43	4.36	4.33	4.35	4.38
保健・医療	4.32	4.30	4.26	4.38	4.40
社会福祉	4.13	4.16	4.13	4.25	4.25
社会保障	4.05	3.96	3.99	4.10	4.23
スポーツ	3.51	3.42	3.53	3.52	3.52



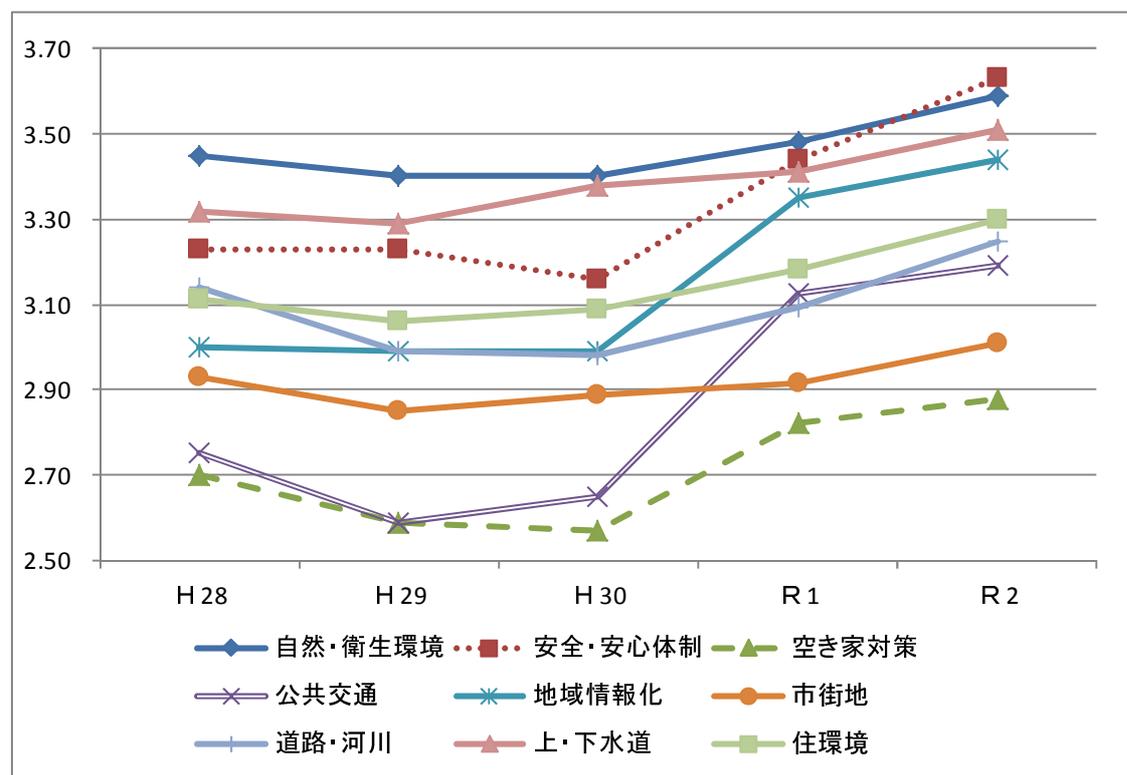
要望度	H28	H29	H30	R1	R2
出会い・結婚	1.01	1.10	0.97	0.80	0.82
子育て	1.42	1.41	1.33	0.88	0.87
保健・医療	1.10	1.22	1.10	0.81	0.76
社会福祉	1.01	1.12	1.02	0.99	0.89
社会保障	0.99	0.97	0.95	0.83	0.85
スポーツ	0.48	0.41	0.46	0.04	-0.05



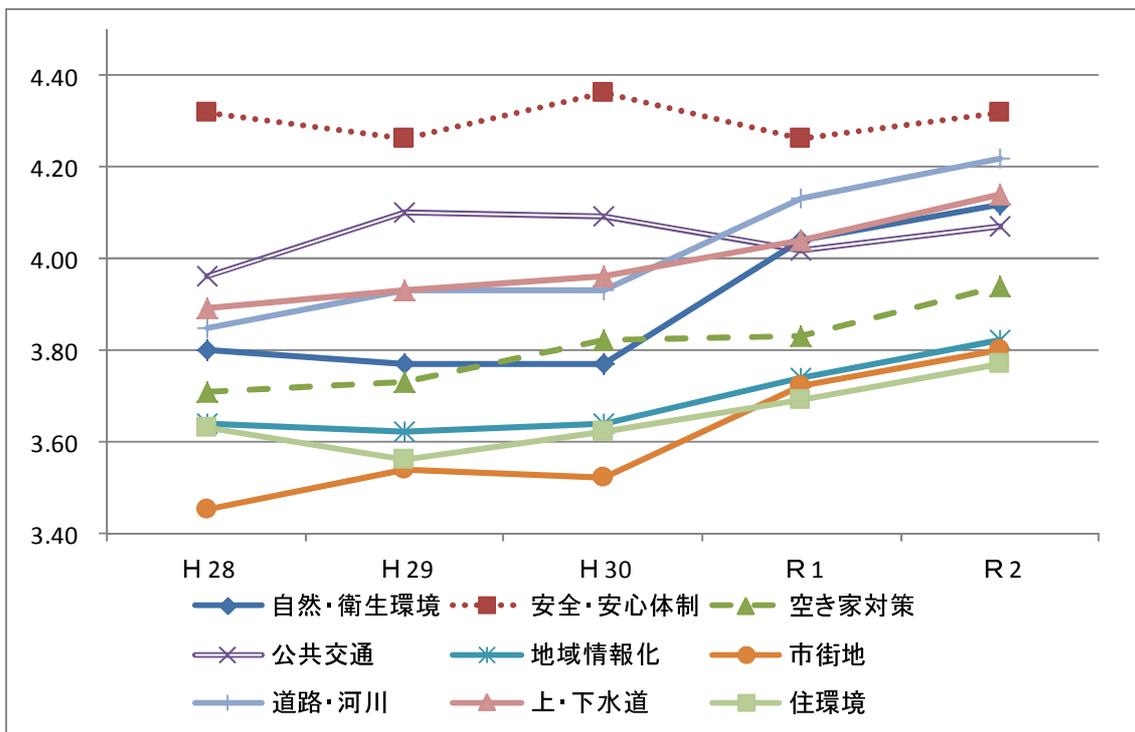
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は増加傾向となっており、平成30年度から大きく増加している。重要度も増加傾向であるが、「安全・安心体制」は横ばいとなっている。要望度は横ばいまたは減少傾向となっている項目が多いが、「自然・衛生環境」、「道路・河川」と「市街地」は増加傾向となっている。

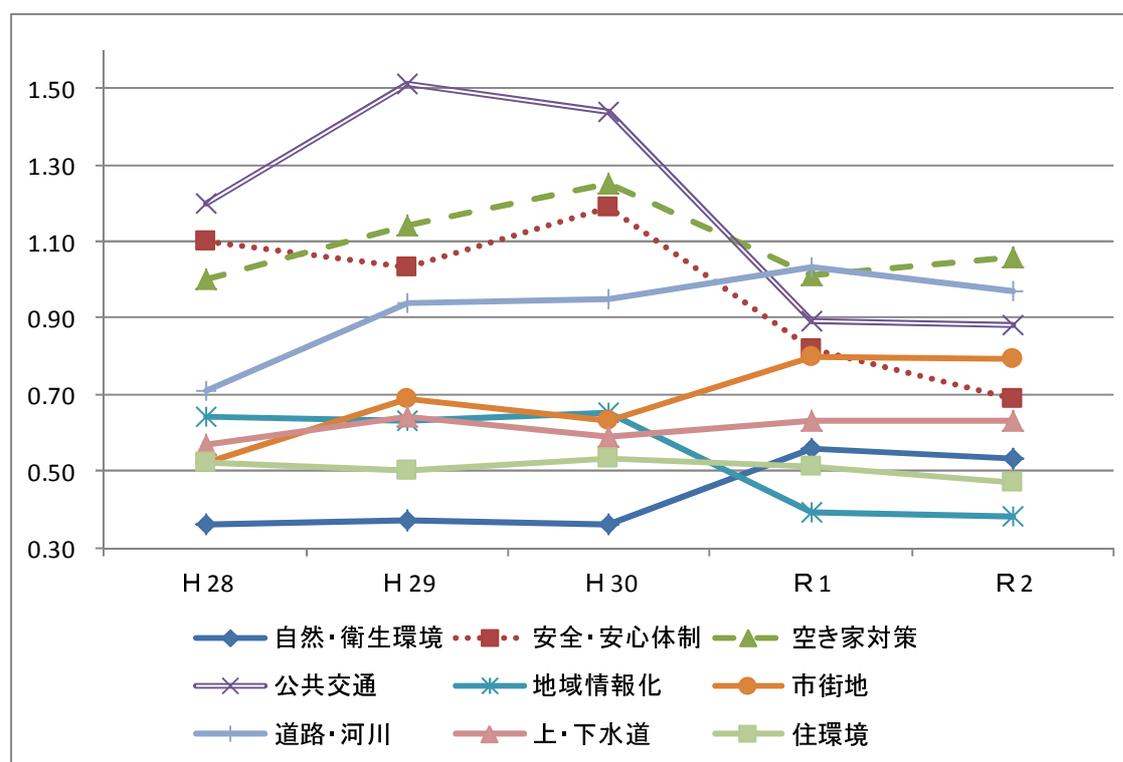
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
自然・衛生環境	3.45	3.40	3.40	3.48	3.59
安全・安心体制	3.23	3.23	3.16	3.44	3.63
空き家対策	2.70	2.59	2.57	2.82	2.88
公共交通	2.75	2.59	2.65	3.13	3.19
地域情報化	3.00	2.99	2.99	3.35	3.44
市街地	2.93	2.85	2.89	2.92	3.01
道路・河川	3.14	2.99	2.98	3.10	3.25
上・下水道	3.32	3.29	3.38	3.41	3.51
住環境	3.11	3.06	3.09	3.18	3.30



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
自然・衛生環境	3.80	3.77	3.77	4.04	4.12
安全・安心体制	4.32	4.26	4.36	4.26	4.32
空き家対策	3.71	3.73	3.82	3.83	3.94
公共交通	3.96	4.10	4.09	4.02	4.07
地域情報化	3.64	3.62	3.64	3.74	3.82
市街地	3.45	3.54	3.52	3.72	3.80
道路・河川	3.85	3.93	3.93	4.13	4.22
上・下水道	3.89	3.93	3.96	4.04	4.14
住環境	3.63	3.56	3.62	3.69	3.77



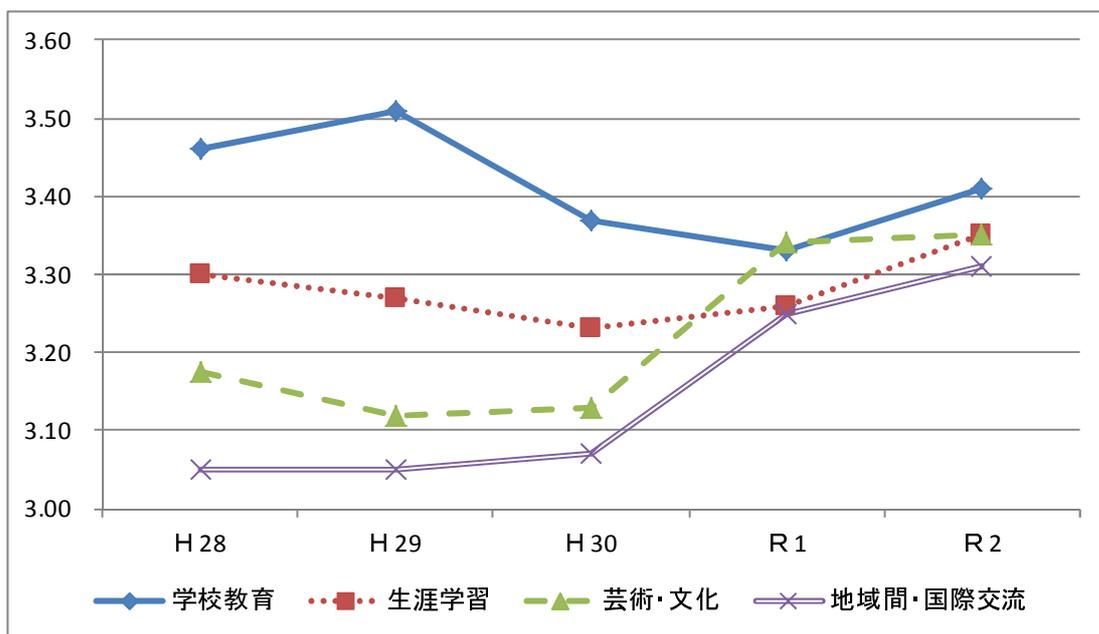
要望度	H28	H29	H30	R1	R2
自然・衛生環境	0.36	0.37	0.36	0.56	0.53
安全・安心体制	1.10	1.03	1.19	0.82	0.69
空き家対策	1.00	1.14	1.25	1.01	1.06
公共交通	1.20	1.51	1.44	0.89	0.88
地域情報化	0.64	0.63	0.65	0.39	0.38
市街地	0.52	0.69	0.63	0.80	0.79
道路・河川	0.71	0.94	0.95	1.03	0.97
上・下水道	0.57	0.64	0.59	0.63	0.63
住環境	0.52	0.50	0.53	0.51	0.47



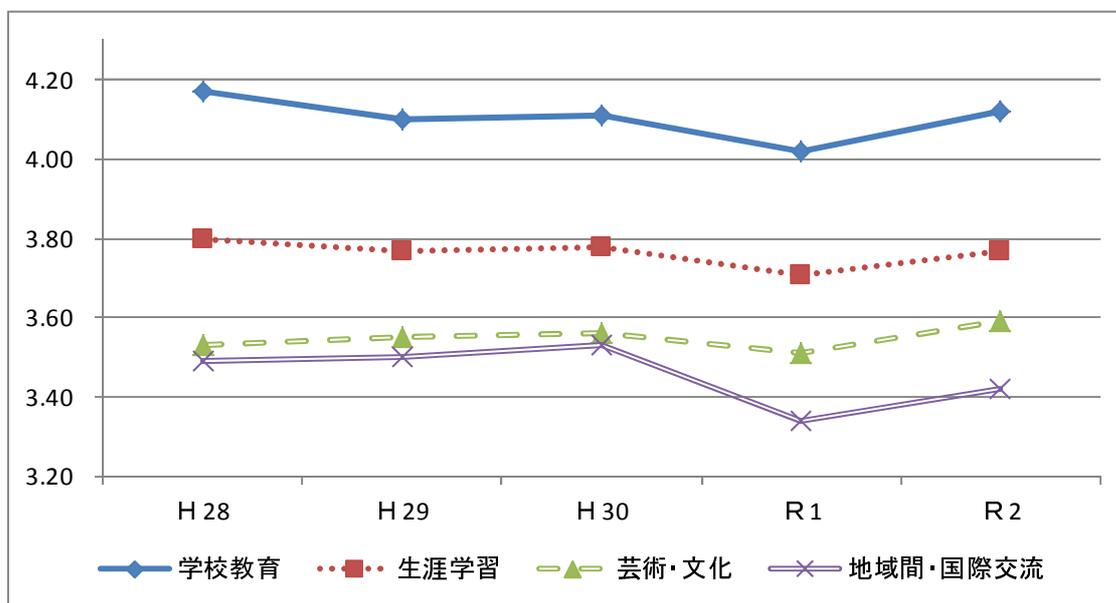
IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は平成30年度以降、増加又は横ばい傾向にあり、今年度は全項目増加している。重要度も今年度は全項目増加している。要望度は横ばいまたは減少傾向となっている。

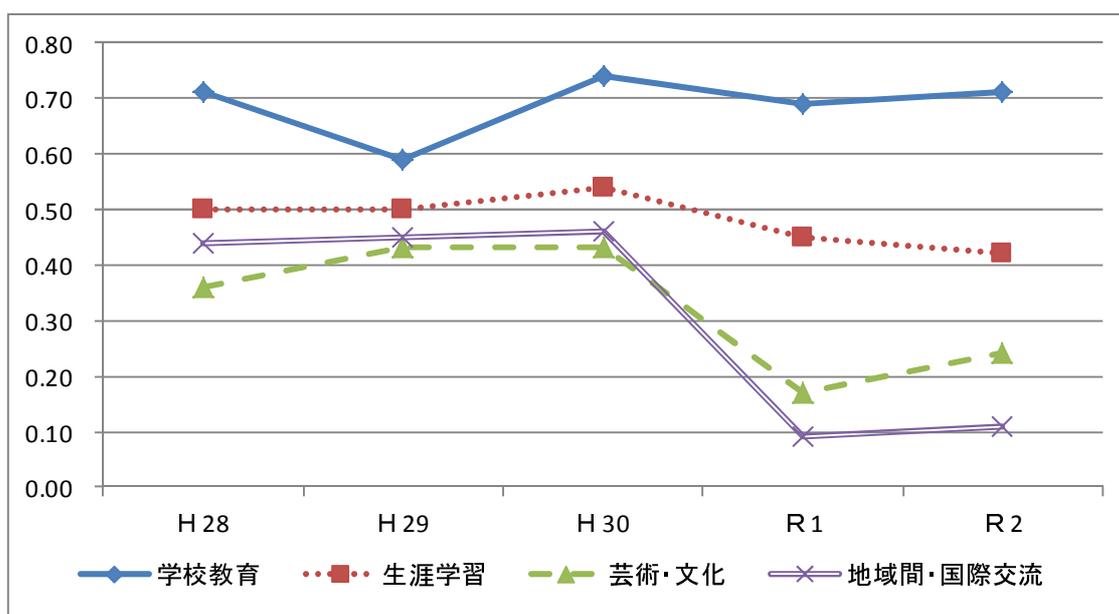
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
学校教育	3.46	3.51	3.37	3.33	3.41
生涯学習	3.30	3.27	3.23	3.26	3.35
芸術・文化	3.17	3.12	3.13	3.34	3.35
地域間・国際交流	3.05	3.05	3.07	3.25	3.31



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
学校教育	4.17	4.10	4.11	4.02	4.12
生涯学習	3.80	3.77	3.78	3.71	3.77
芸術・文化	3.53	3.55	3.56	3.51	3.59
地域間・国際交流	3.49	3.50	3.53	3.34	3.42



要望度	H28	H29	H30	R1	R2
学校教育	0.71	0.59	0.74	0.69	0.71
生涯学習	0.50	0.50	0.54	0.45	0.42
芸術・文化	0.36	0.43	0.43	0.17	0.24
地域間・国際交流	0.44	0.45	0.46	0.09	0.11

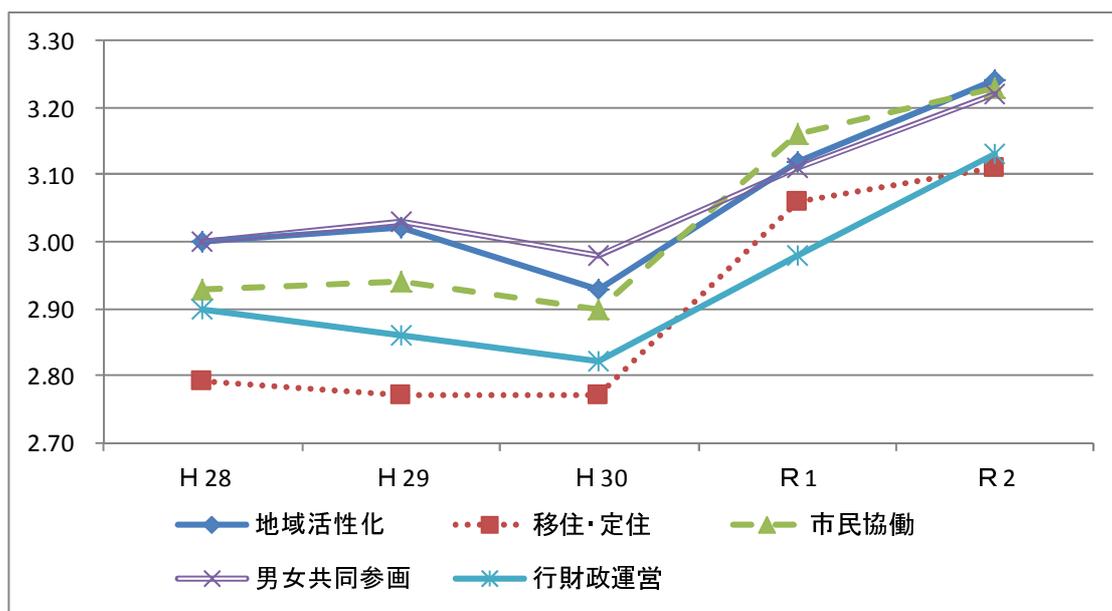


V 時代に合った地域を創ります！

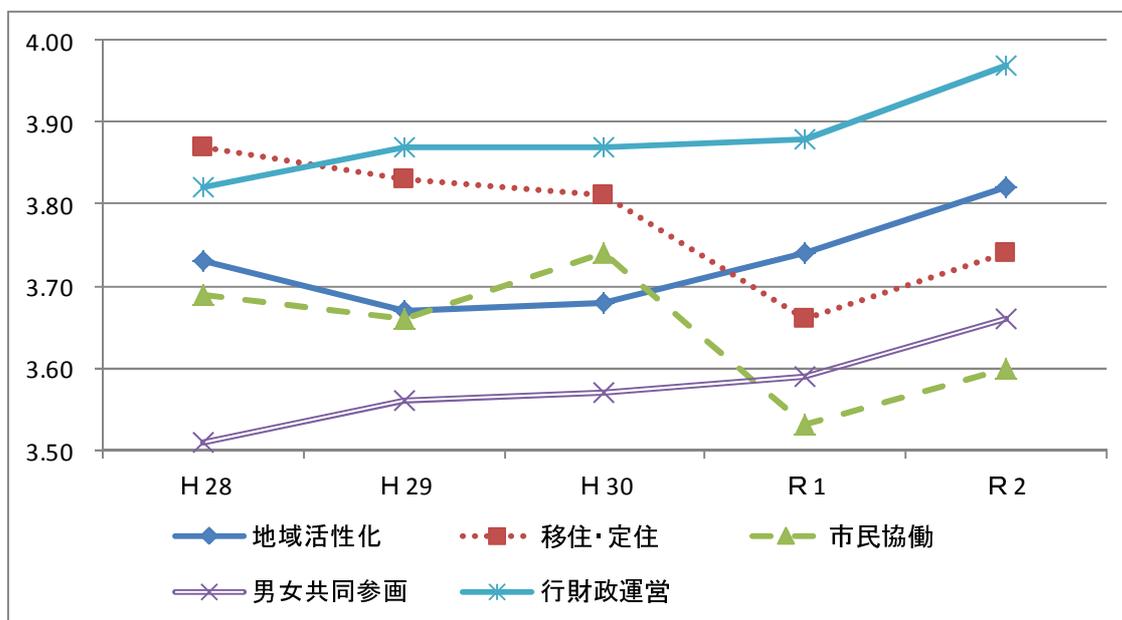
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は全項目で近年は増加傾向となっている。重要度は「移住・定住」、「市民協働」は減少傾向であったが、今年度は増加しており、それ以外は増加傾向となっている。要望度は「移住・定住」、「市民協働」は昨年度大きく減少したが、今年度は横ばいとなっている。それ以外は概ね横ばい傾向となっている。

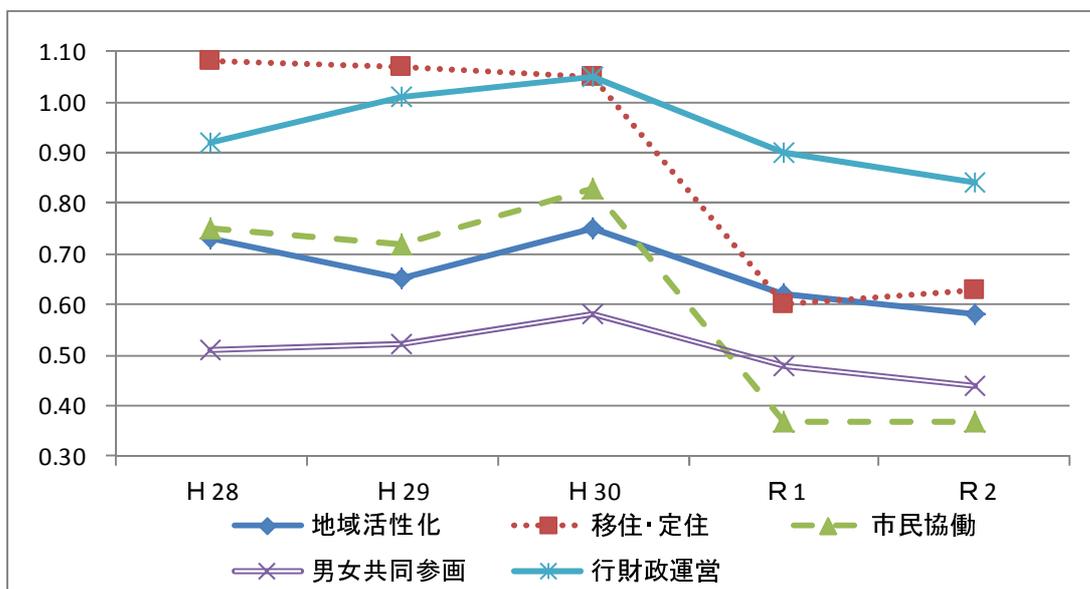
満足度	H28	H29	H30	R1	R2
地域活性化	3.00	3.02	2.93	3.12	3.24
移住・定住	2.79	2.77	2.77	3.06	3.11
市民協働	2.93	2.94	2.90	3.16	3.23
男女共同参画	3.00	3.03	2.98	3.11	3.22
行財政運営	2.90	2.86	2.82	2.98	3.13



重要度	H28	H29	H30	R1	R2
地域活性化	3.73	3.67	3.68	3.74	3.82
移住・定住	3.87	3.83	3.81	3.66	3.74
市民協働	3.69	3.66	3.74	3.53	3.60
男女共同参画	3.51	3.56	3.57	3.59	3.66
行財政運営	3.82	3.87	3.87	3.88	3.97



要望度	H28	H29	H30	R1	R2
地域活性化	0.73	0.65	0.75	0.62	0.58
移住・定住	1.08	1.07	1.05	0.60	0.63
市民協働	0.75	0.72	0.83	0.37	0.37
男女共同参画	0.51	0.52	0.58	0.48	0.44
行財政運営	0.92	1.01	1.05	0.90	0.84



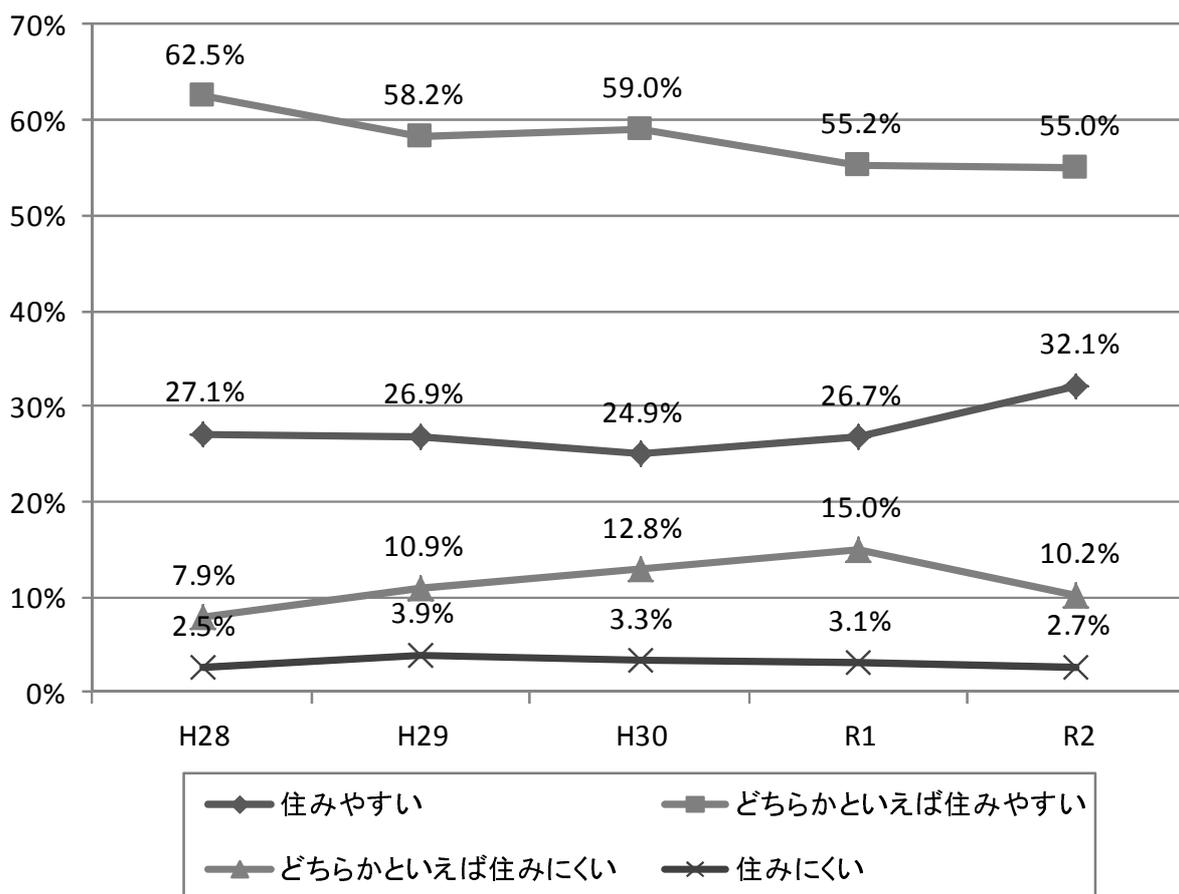
大仙市の住みやすさについて

「大仙市に住みやすいか」について

「住みやすい」は過去5年で最も大きい割合となっている。「どちらかといえば住みにくい」は増加傾向で推移していたが、今年度は減少している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30	R1	R2
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%	26.7%	32.1%
どちらかといえば住みやすい	62.5%	58.2%	59.0%	55.2%	55.0%
どちらかといえば住みにくい	7.9%	10.9%	12.8%	15.0%	10.2%
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%	3.1%	2.7%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した

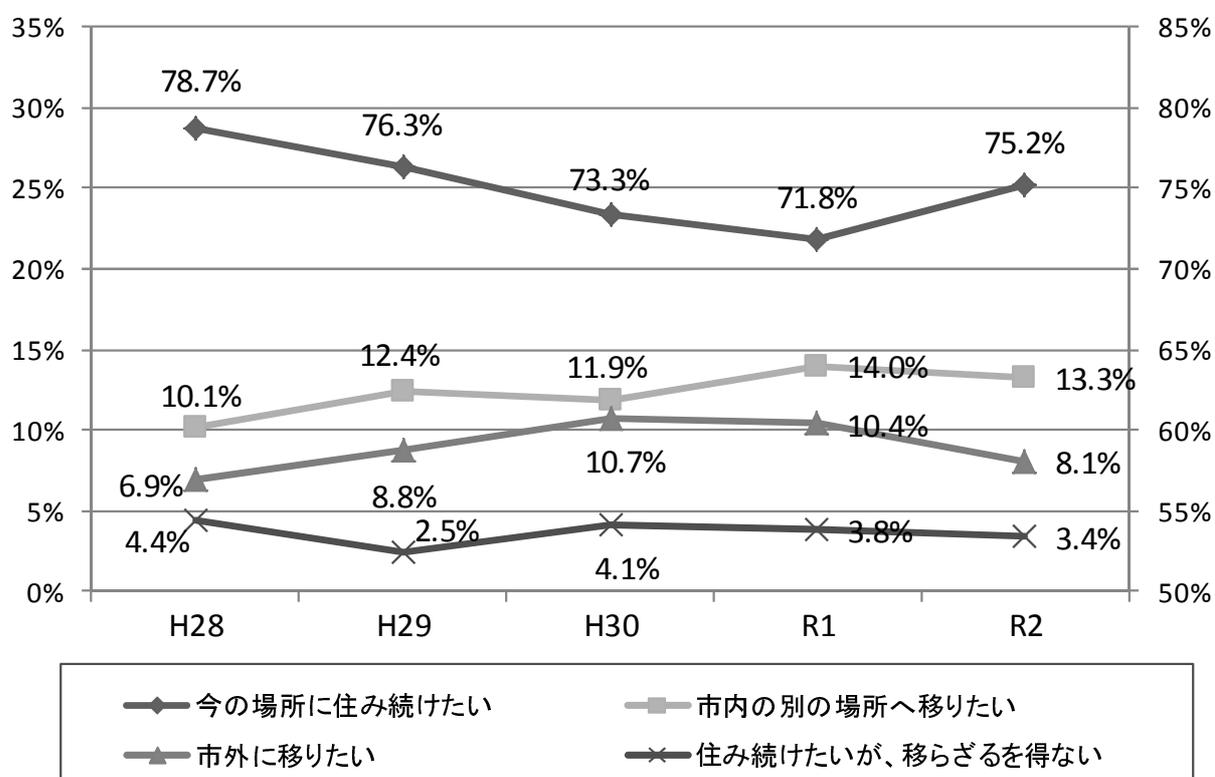


「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は減少傾向で推移していたが、今年度は大きく増加している。
 「市内の他の場所へ移りたい」、「市外に移りたい」は増加傾向で推移していたが、今年度はどちらも減少している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30	R1	R2
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%	71.8%	75.2%
市内の別の場所へ移りたい	10.1%	12.4%	11.9%	14.0%	13.3%
市外に移りたい	6.9%	8.8%	10.7%	10.4%	8.1%
住み続けたいが、移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%	3.8%	3.4%

※経年比較のため、H28,H29 調査における割合は無回答を省いた数で求め直した



3 市民による個別事業評価

3 市民による個別事業評価

3.1 市民全体を調査対象とした個別事業評価

調査対象を市民全体（年代・性別を問わない）とした個別事業評価については、「2 市民による市政評価」の調査票に合冊し、併せて実施した。

従って、調査対象、回答率、回答者の属性については、市民による市政評価の結果と同じ（p 4・5を参照）になっている。

3.1.1 成人式について

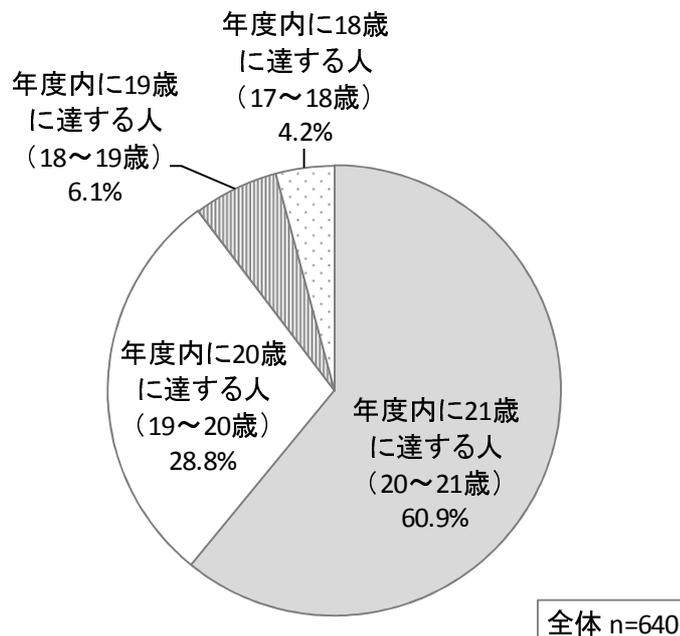
（生涯学習部生涯学習課）

- ◆ **調査目的：** 市では、成人を迎える市内中学校卒業生及び市内在住者を対象に、毎年成人式を開催している。成人式は、各地方自治体の判断で実施されているが、民法の一部改正により、令和4年4月1日から成人の対象年齢が20歳から18歳に引き下げられるため、成人式の対象年齢や開催時期などについて市民の意向を調査し、令和4年度以降の成人式の在り方についての参考とする。

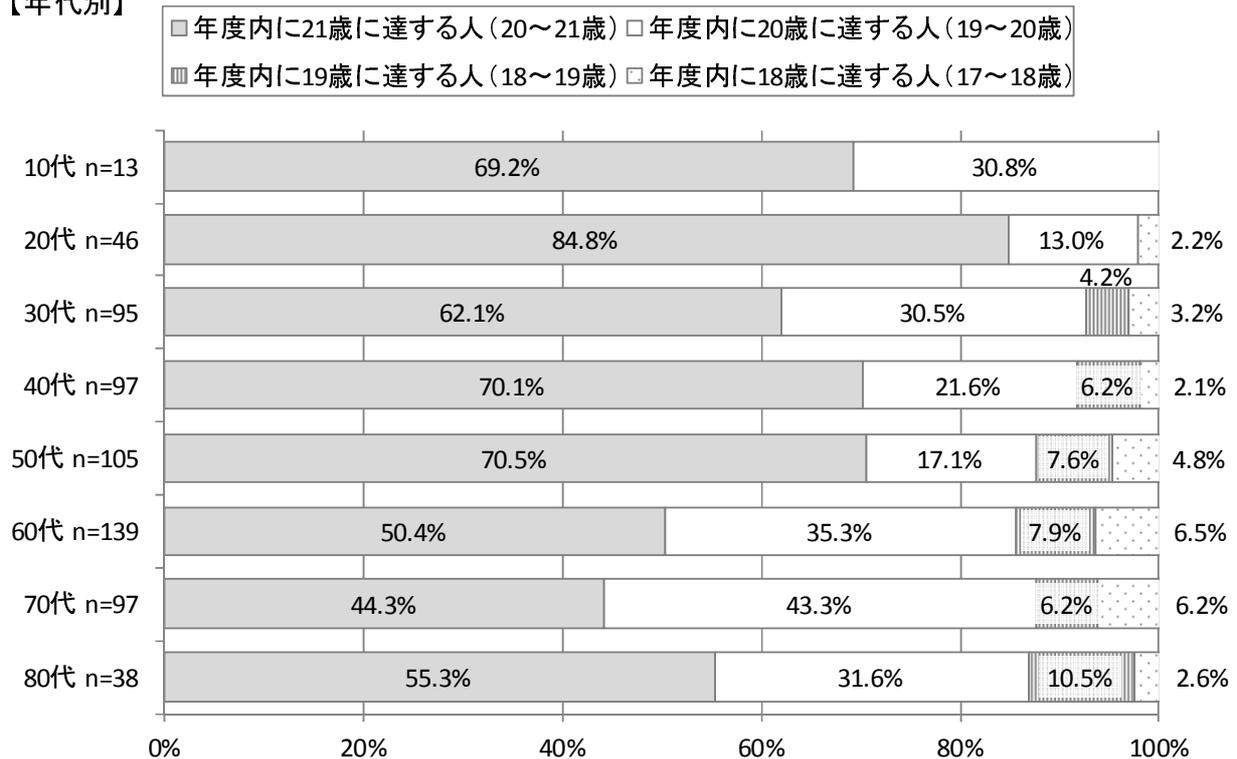
【問1】 令和4年度以降、成人式を行う対象年齢としてどの年代が望ましいと思いますか。

- 全体では、「年度内に21歳に達する人（20～21歳）」と回答した方が60.9%で最も多く、次いで「年度内に20歳に達する人（19～20歳）」が28.8%となっており、現行の対象年齢が6割以上を占め、最も多い回答となった。
- 年代別で見ると、全ての年代で「年度内に21歳に達する人（20～21歳）」と回答した方が最も多く、20代の84.8%が他の年代よりも突出して最も大きくなっている。また、「年度内に19歳に達する人（18～19歳）」と「年度内に18歳に達する人（17～18歳）」を合わせた割合は、10代では0.0%、20代では2.2%しかないが、50代以上では1割以上を占めている。

【全体】



【年代別】

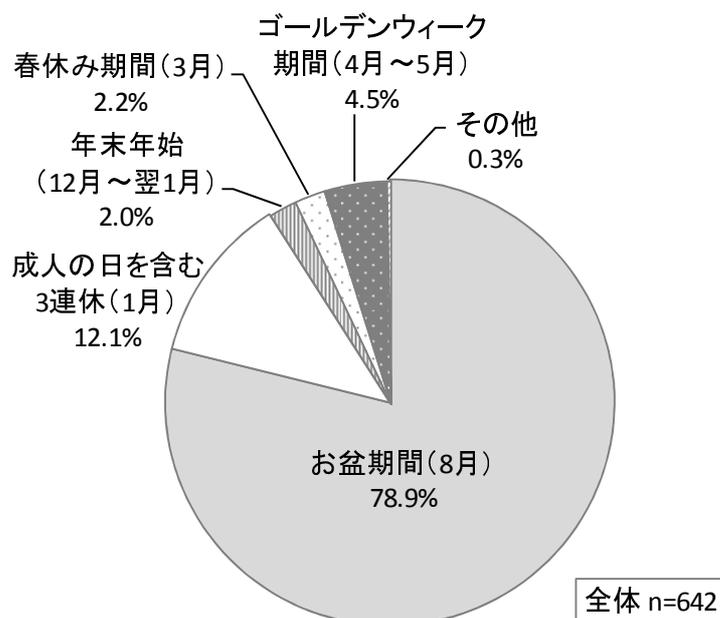


【問2】成人式の開催時期はいつが望ましいと思いますか。

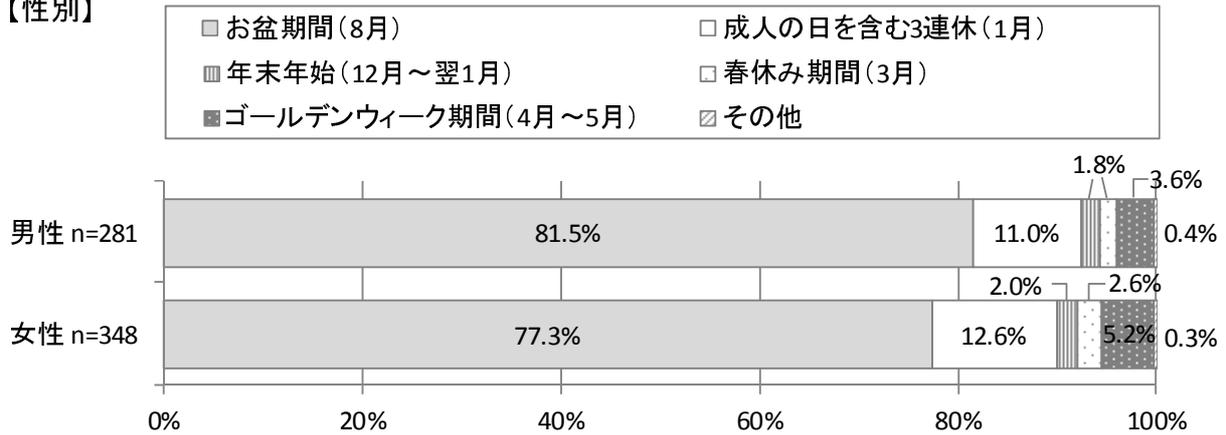
○全体では、「お盆期間（8月）」と回答した方が78.9%で最も多く、次いで「成人の日を含む3連休（1月）」が12.1%となっており、現行の開催期間が8割近くを占め、最も多い回答となった。

○性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっており、男女とも「お盆期間（8月）」と回答した方が約8割を占め、最も多くなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

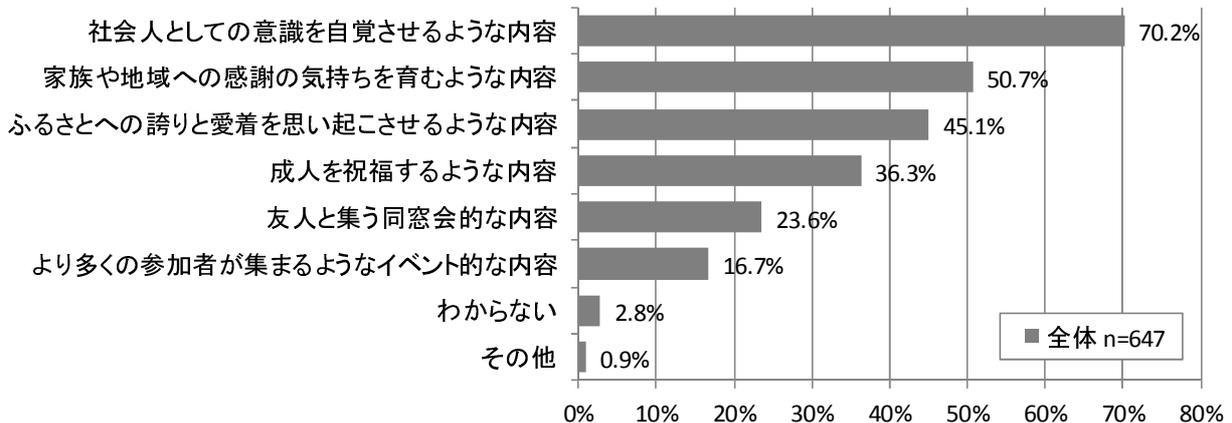
- 花火前日近く (60代/男性/大曲)
- 秋田市在住だったので、ピンとこない。ずっと市内在住だったら回答しやすいが (30代/女性/大曲)

【問3】 今後、成人式の内容として重視すべきものは何だと思えますか。(複数回答可)

○全体では、「社会人としての意識を自覚させるような内容」と回答した方が70.2%で最も多く、次いで、「家族や地域への感謝の気持ちを育むような内容」が50.7%、「ふるさとへの誇りと愛着を思い起こさせるような内容」が45.1%となった。

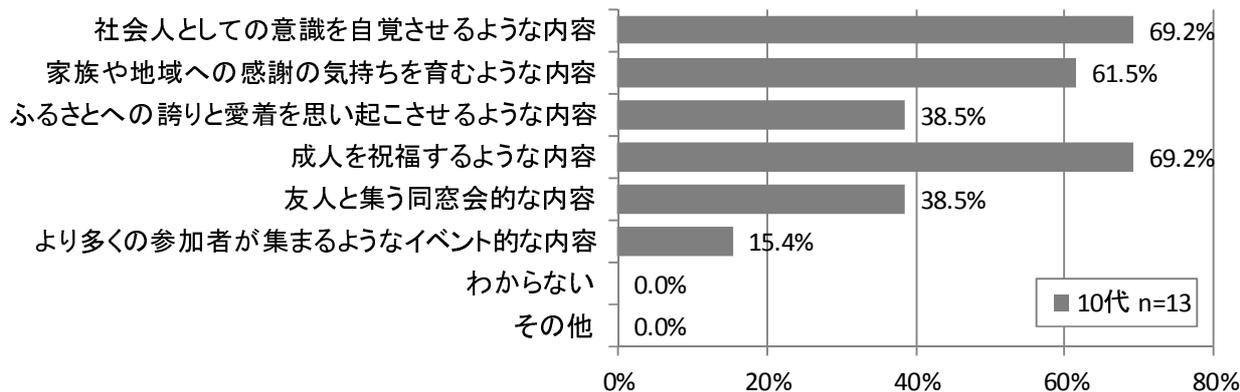
○年代別で見ると、全ての年代で「社会人としての意識を自覚させるような内容」と回答した方が最も多く、10代では「成人を祝福するような内容」も同じく最も多くなっている。次いで多いのは、30代以上は「家族や地域への感謝の気持ちを育むような内容」または「ふるさとへの誇りと愛着を思い起こさせるような内容」となっているが、20代では「成人を祝福するような内容」となっている。

【全体】

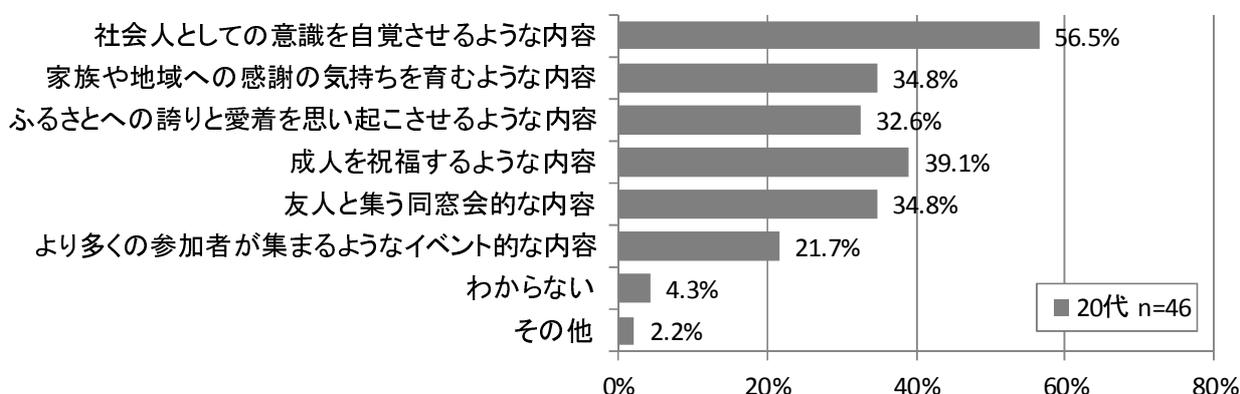


【年代別】

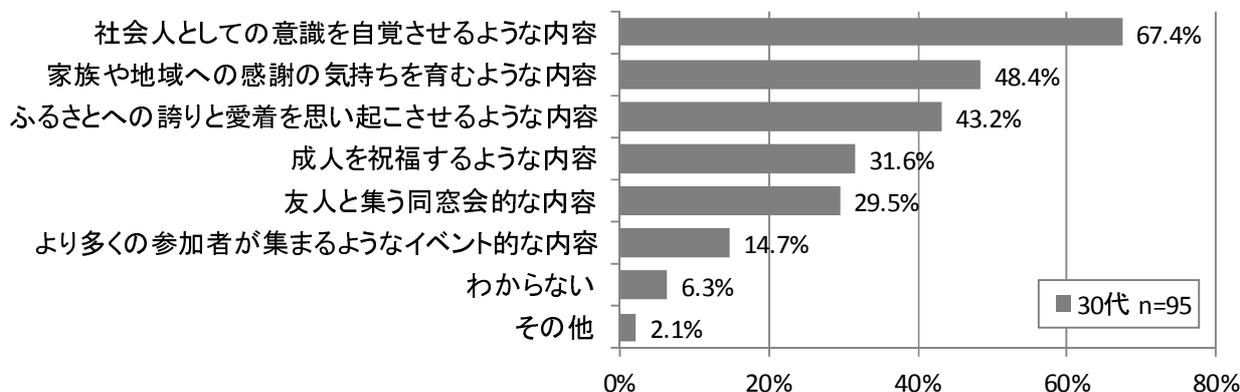
■ 10代



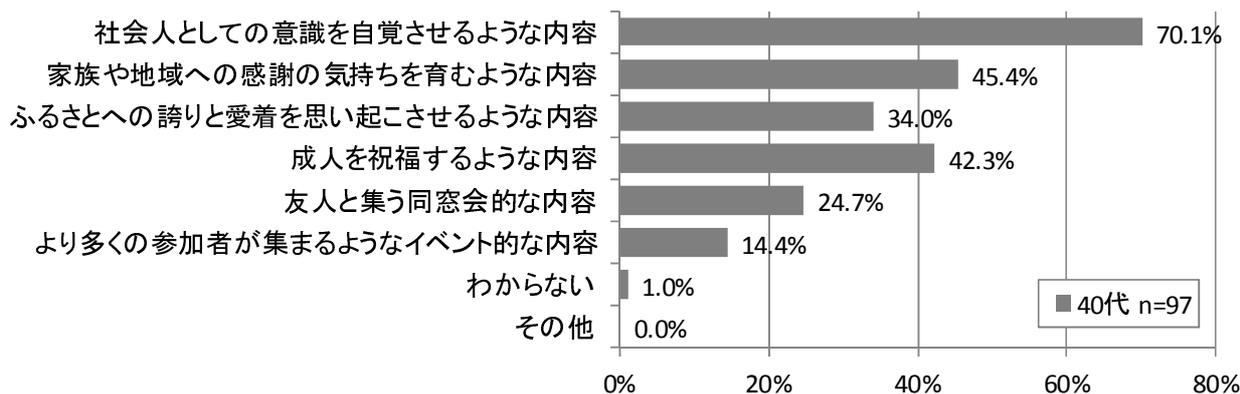
■ 20代



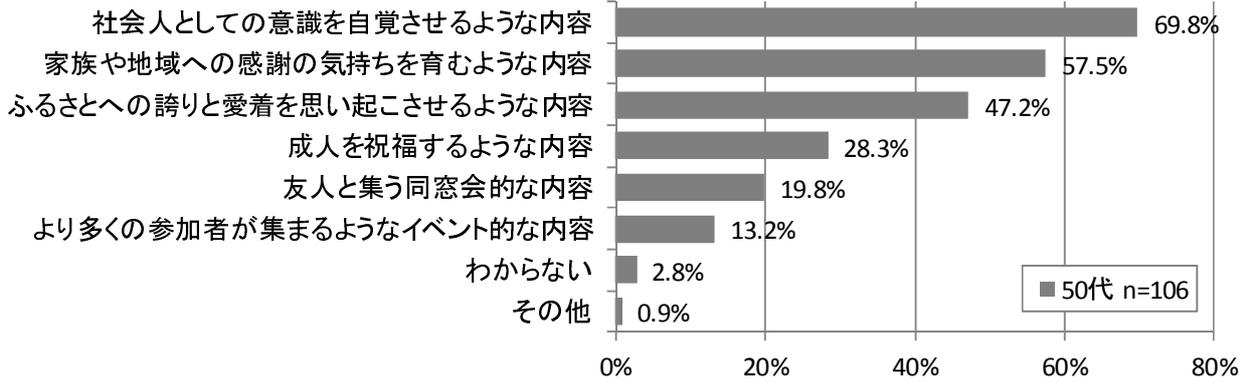
■ 30代



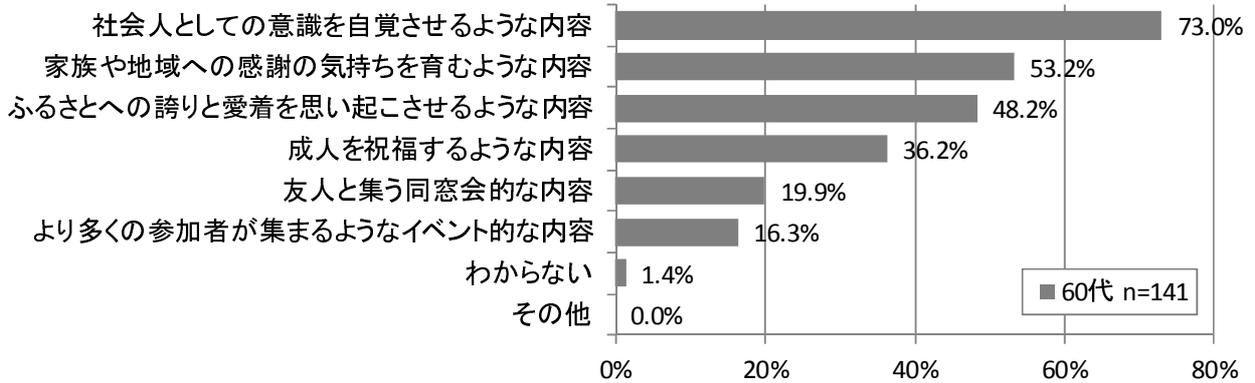
■ 40代



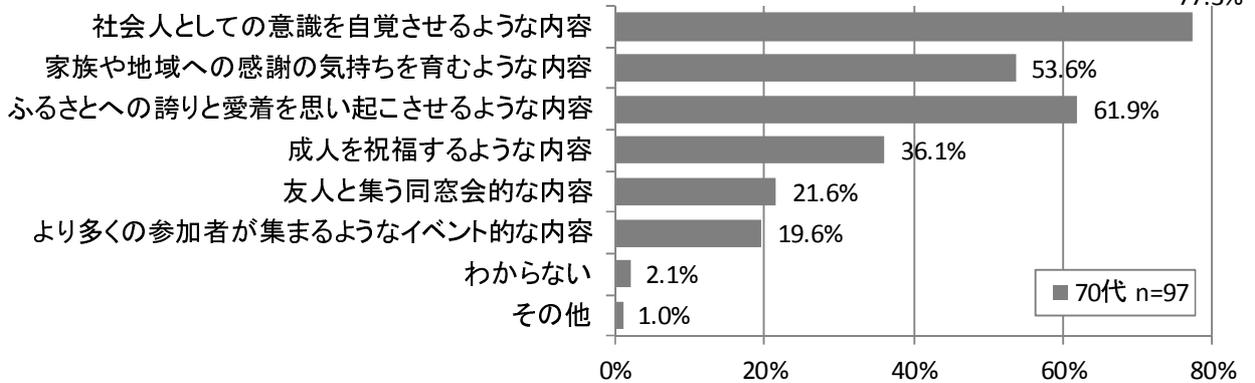
■ 50代



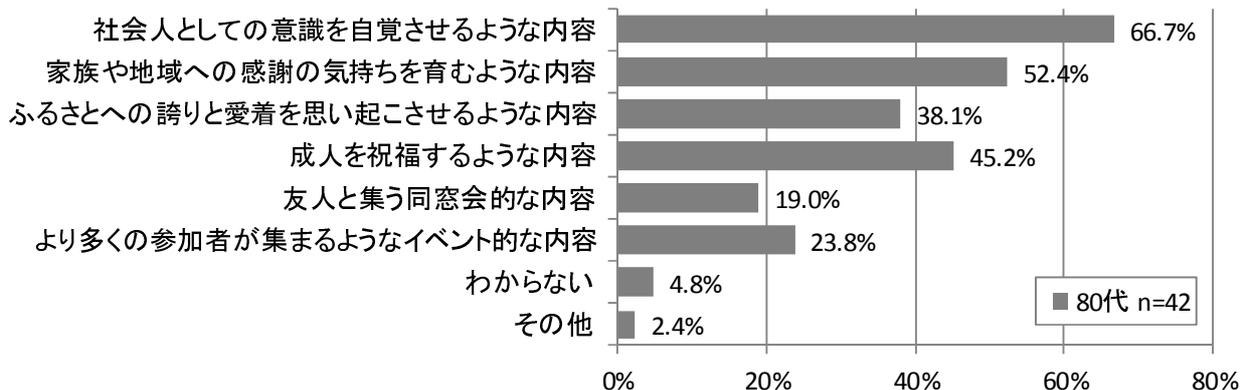
■ 60代



■ 70代



■ 80代



■その他の回答

- 必要ないと思います（50代／男性／大曲）
- なくてもよい（30代／男性／太田）
- 一人の人間として、健康で健全な日々を過ごしてほしいです。（80代以上／性別不明／大曲）
- ふるさと納税の周知、簡単に手続きできることも必要。SNSを利用して（20代／女性／大曲）
- 社会人になり、自分の行動や言動に責任を持たなければいけないと自覚させる（30代／女性／太田）
- 十人十色だと思うので1～6をうまくおこなわせて（70代／女性／大曲）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○成人式を行う対象年齢は、「年度内に21歳に達する人（20歳～21歳）」と回答した方が60.9%で最も多く、次いで「年度内に20歳に達する人（19～20歳）」が28.8%となっており、民法の一部改正により成人年齢が18歳に引き下がっても89.7%の方が20歳の節目に成人式を行うことが望ましいと考えている。

○成人式の開催時期については、現行の「お盆時期（8月）」が78.9%を占めている。

○成人式の内容として重視すべきものとして、「社会人としての意識を自覚させるような内容」が70.2%で最も多く、次いで「家族や地域への感謝の気持ちを育むような内容」が50.7%、「ふるさとへの誇りと愛着を思い起こさせるような内容」が45.1%となっており、幅広い年代から成人式がこのような機会として求められていることが伺える。また、10代の回答では「社会人としての意識を自覚させるような内容」と並んで「成人を祝福するような内容」が69.2%の最も多い回答を得ており、これから成人式を迎える年代にとって期待を感じさせる事業であることが伺える。

○今般の調査から民法の一部改正に伴う成人年齢の引き下げが行われても、市民の多くは対象年齢を変更せず、これまでどおりの成人式の形式による開催を望んでいることがわかった。今回の調査結果を踏まえ、これまでの事業内容の見直しも図りながら、令和4年度以降の成人式の在り方を検討していく。

3. 1. 2 自殺対策啓発事業について

(健康福祉部健康増進センター)

◆ 調査目的：市では、平成31年3月に「大仙市いのち支える自殺対策計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない大仙市の実現」を目指して、自殺対策を総合的に推進している。市の自殺対策やこころの健康に関する取り組みについて調査し、今後、効果的に自殺対策啓発事業を展開していくための参考とする。

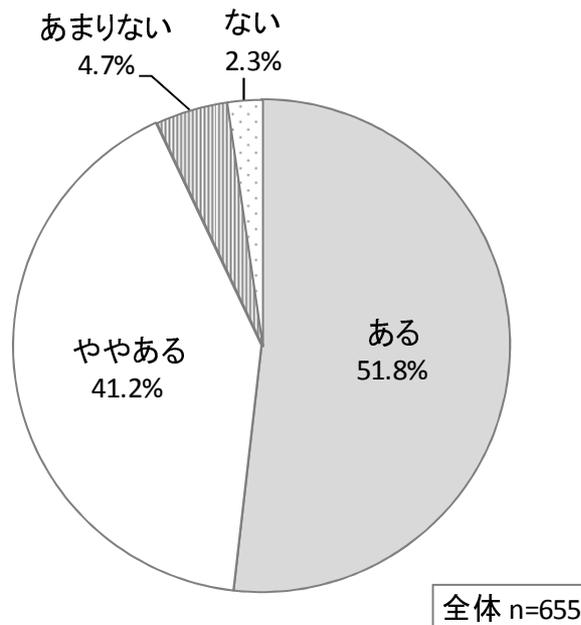
【問1】あなたは、こころの健康に関心がありますか。

○全体では、「ある」と回答した方が51.8%で最も多く、「ある」と「ややある」を合わせた割合は93.0%となっており、9割以上が関心があると回答している。

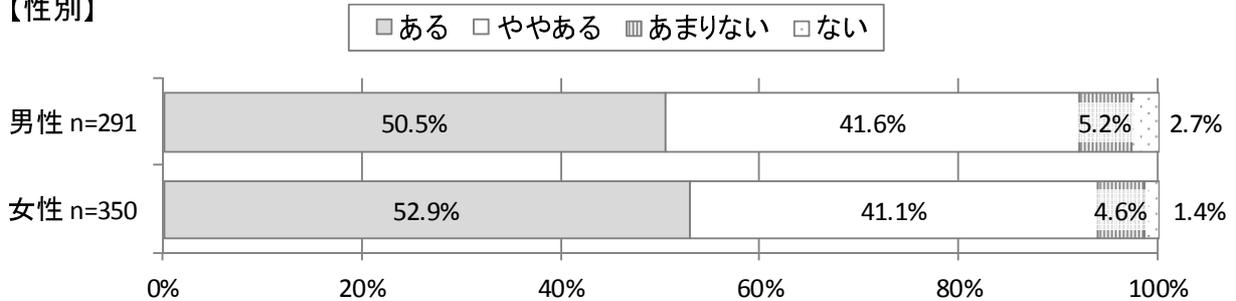
○性別で見ると、男女とも「ある」と「ややある」を合わせた割合が9割以上となっており、大きな違いは見られない。

○年代別で見ると、「ある」と「ややある」を合わせた割合は、80代では87.5%となっており、80代以外の全ての年代では9割以上となっている。

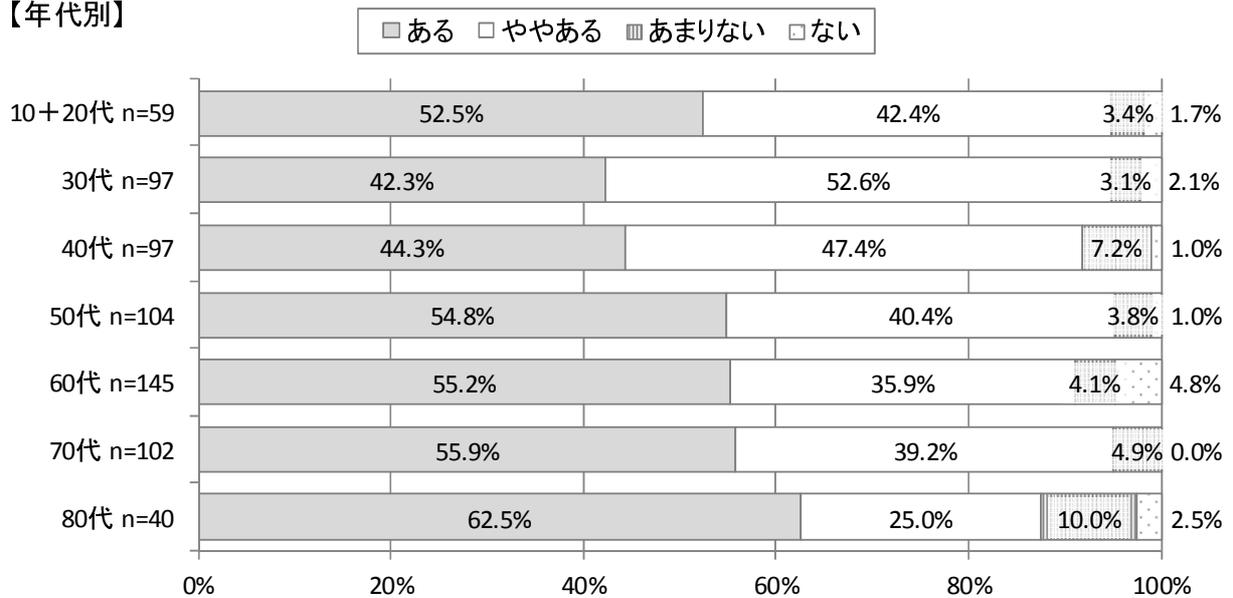
【全体】



【性別】



【年代別】



■ 「3. あまりない」、「4. ない」の理由

- 悩みは最終的に自分で解決するものと思ってます。心が弱いと生きてゆくのが大変だから。(60代/女性/大曲)
- 言葉では簡単ですが、「お金」の問題とかは助けることができない。仕方ないと思うことが多いです。(50代/男性/大曲)
- こころの健康はその人個人の心の持ちようだから。(40代/女性/南外)
- 生きている限り必ず悩みがある為、心の健康を考えてもしょうがないと感じてしまう。(20代/女性/大曲)
- 興味がない(40代/男性/中仙)
- 心に問題がなくても、自殺する人はいるし、心に問題があっても死なない人もいる(30代/男性/中仙)
- 今の生活に満足しているから。夫婦はうまくいっていないけれど・・・(60代/女性/太田)
- 身内・家族に自死した人がいないので(60代/男性/大曲)
- 考えたことすらない(30代/男性/中仙)
- 体の健康には常に気を付けていますが、心まではまだ考えていません。(50代/女性/太田)
- 自分は楽天的な性格で、あまり思うところはない(40代/男性/仙北)
- 自殺等考えたことがないので(60代/女性/太田)
- 精神は強いので全く関心はない(30代/男性/太田)
- 自分自身や周囲にこころの健康が重度に悪い人がいないと感じるから(30代/女性/大曲)
- 死を選ぶことは、絶対にダメです。(60代/女性/大曲)
- 人は生きている限りいろんなことが起こるがたとえそれが自分にとって負的なものであっても、統括しその中から負を正にとらえることにできる自分自身であるから(60代/男性/中仙)
- 今は心の健康よりも自身の体の健康を考えています。(60代/男性/中仙)
- 今まで、精神的に強度な悩みを持ったことがないため(60代/男性/神岡)

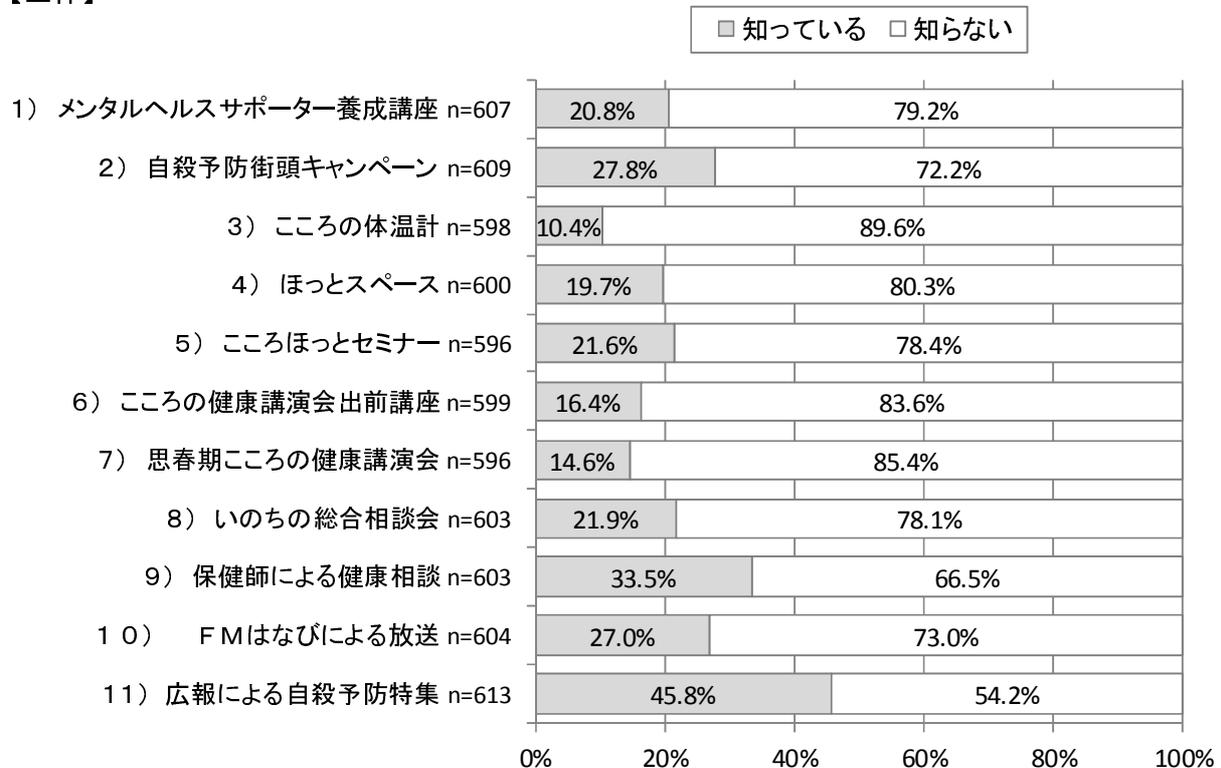
【問2】市で行っている自殺対策やこころの健康に関する取り組みを知っていますか。

○全体では、全ての項目で「知らない」と回答した方の割合が大きくなっている。項目別で見ると、「知っている」と回答した方の割合は「広報による自殺予防特集」の45.8%が最も大きくなっており、次いで「保健師による健康相談」が33.5%となっている。それ以外の項目では全て7割以上が「知らない」と回答している。

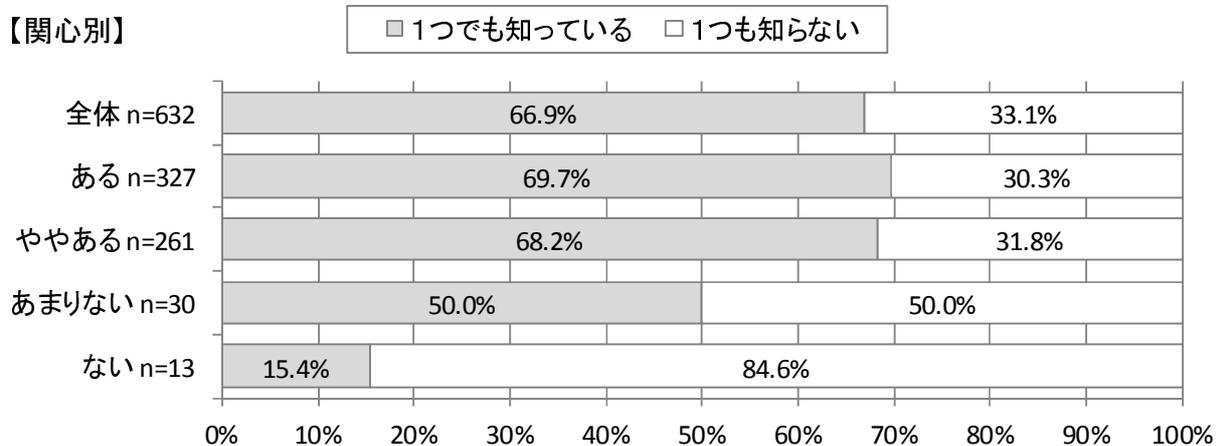
○問1の関心別で、市で行っている事業について「1つでも知っている」または「1つも知らない」で分析したところ、「ある」または「ややある」と回答した方は、どちらも7割近くが市の事業を「1つでも知っている」と回答している。

また、関心の度合いが低くなるにつれ、「1つでも知っている」の割合が小さくなっており、「あまりない」ではちょうど半数となっているが、「ない」では15.4%と大幅に減少しており、関心の有無が市の事業の認知度にも影響していることがわかる。

【全体】



【関心別】



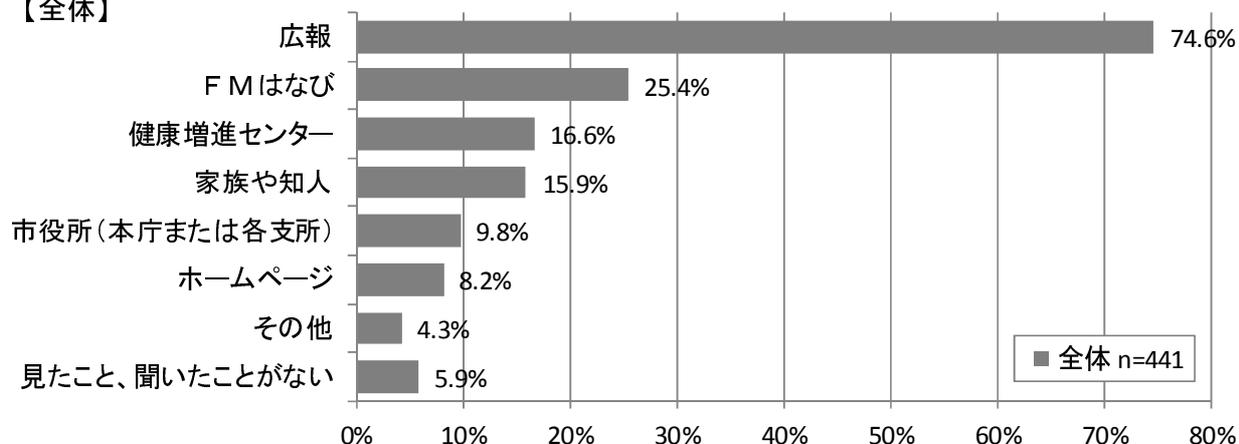
【問3】市の自殺対策やこころの健康に関する情報をどこで見たり、聞いたりしましたか。

(複数回答可) (問2で1つでも「a) はい(知っている)」と回答した方)

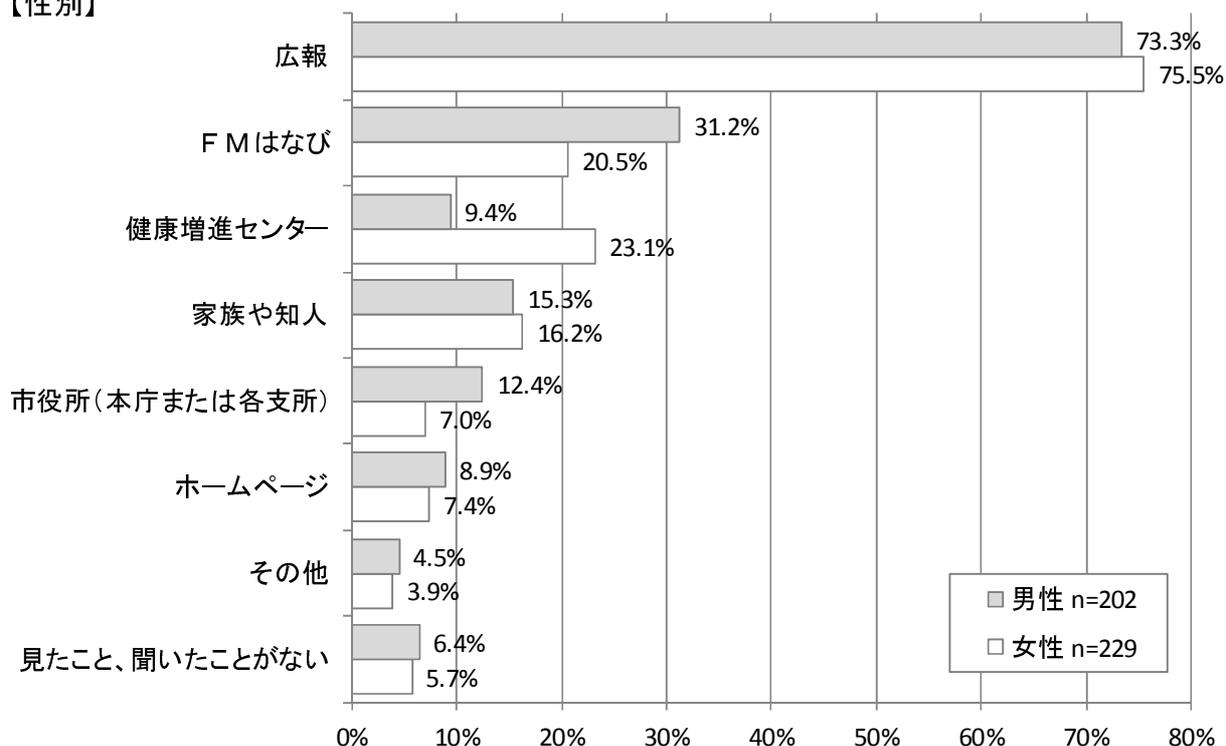
○全体では、「広報」と回答した方が74.6%で突出して最も多く、次いで「FMはなび」が25.4%、「健康増進センター」が16.6%となっている。

○性別で見ると、男女とも「広報」が7割以上で最も多くなっている。次いで多い回答は、男性では31.2%の「FMはなび」となっており、女性では23.1%の「健康増進センター」となっている。男性は通勤や勤務において、女性は各種検診等において情報を得ているものと考えられる。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- ポスター（30代／男性／西仙北、20代／女性／大曲）
- 職場（40代／男性／大曲、年代・性別・地域不明）
- 学校（10代／男性／大曲、10代／男性／太田、10代／女性／大曲 2名、20代／男性／大曲、40代／男性／大曲）
- 何から知ったか忘れた（60代／男性／大曲）
- 保健所（60代／女性／大曲）
- 街頭（30代／男性／仙北、30代／女性／大曲）
- 街のどこかで、のぼりが立っていた（70代／女性／大曲）
- テレビ（40代／女性／大曲、60代／男性／協和）
- 新聞（50代／女性／西仙北）
- なんとなく（40代／女性／大曲）

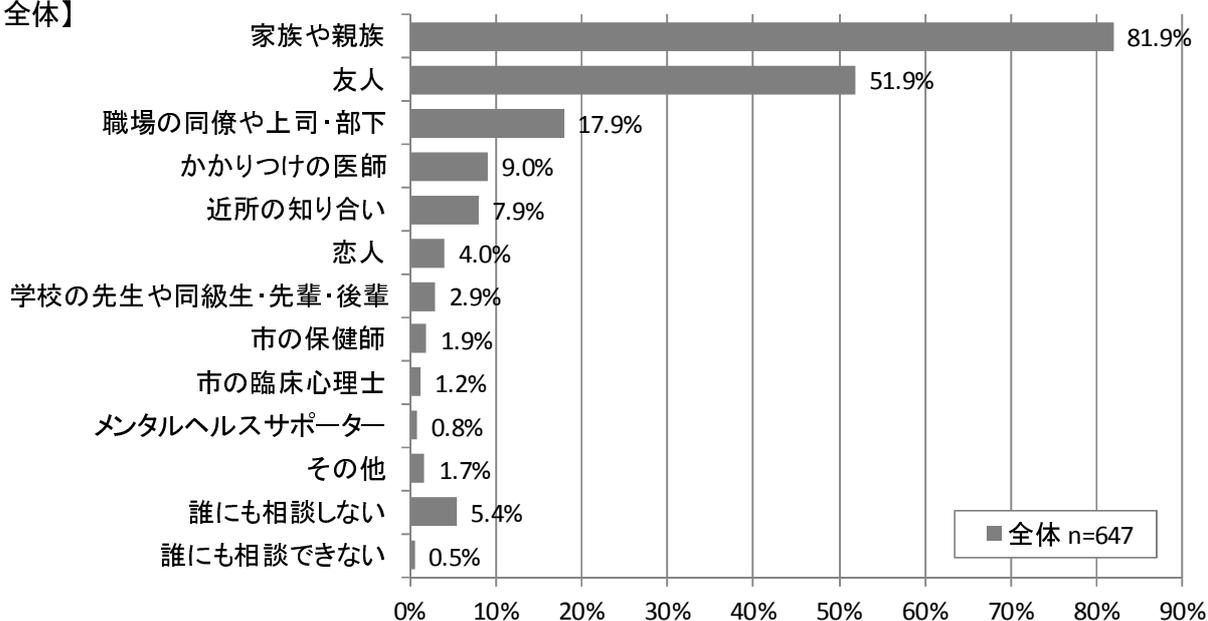
【問4】あなたは、悩みがあったり困ったりしたときに誰に相談しますか。（複数回答可）

○全体では、「家族や親族」と回答した方が81.9%で最も多く、次いで「友人」が51.9%、「職場の同僚や上司・部下」が17.9%となっている。

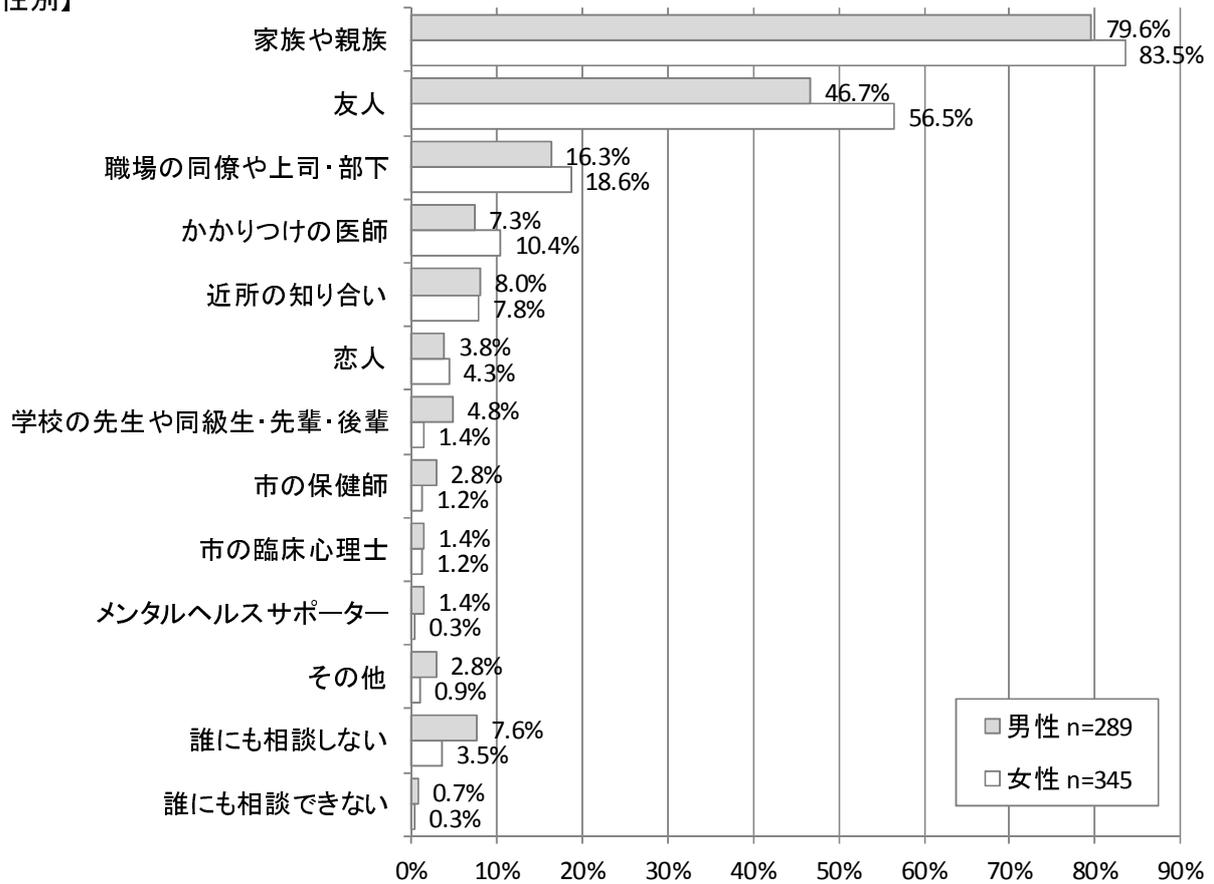
○性別で見ると、男女とも同様の傾向となっており、全体とも同様の傾向となっている。「誰にも相談しない」は男性で7.6%、女性で3.5%となっており、男性の方が4.1ポイント大きくなっている。

○「相談しない人」と「相談できない人」の関心の有無について分析したところ、「ある」と「ややある」を合わせた割合は、「相談しない人」では82.8%、「相談できない人」では66.6%となっており、関心のある方の方が多くなっている。

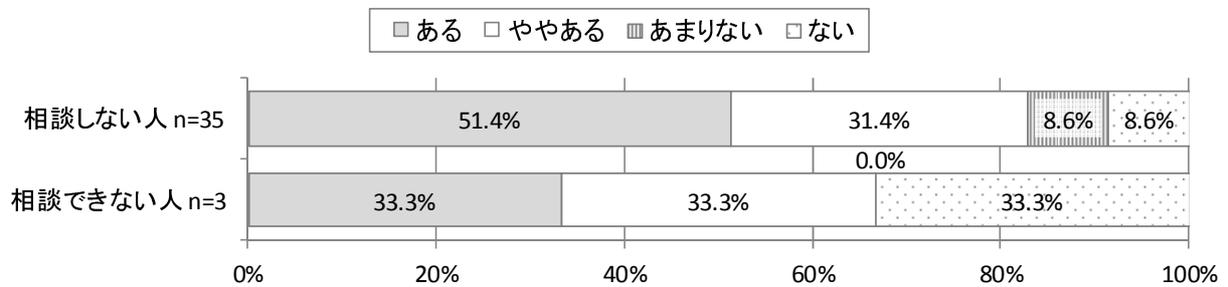
【全体】



【性別】



【相談しない人、相談できない人の関心の有無】



■ その他の回答

- ケアマネージャー (50代/女性/神岡、60代/男性/大曲)
- SNS (50代/男性/大曲)
- 相談しても解決にならない (70代/男性/神岡)
- インターネット等で自力調査又は専門家に相談する。(60代/男性/太田)
- 関係団体の職員やアドバイザー、スーパーバイザー (60代/男性/仙北)
- 本を読んだり、ネットで調べる (30代/男性/西仙北)
- サークル仲間 (60代/女性/大曲)

■「誰にも相談しない」の理由

- なんともしないから (30代/女性/大曲、年代・性別・地域不明)
- 自分なりに方法を考える (80代以上/男性/中仙)
- 頼る人がいない (40代/男性/西仙北、50代/男性/大曲、50代/男性/西仙北、50代/女性/大曲)
- 誰にも悩みがあるので自分の悩みだけ聞いてもらうのも申し訳なくなってくる為、誰に話しても結局は自分自身の問題。(20代/女性/大曲)
- 信用できないから (30代/男性/大曲、30代/男性/中仙)
- 解決できないことが多いから (50代/男性/南外、50代/女性/大曲、60代/女性/大曲)
- 結局、自己分析するしかないと思う (30代/女性/大曲)
- 自分で納得出来る解決がないと思う (30代/男性/大曲)
- 相談しても相手の人に迷惑をかけてしまうため (20代/男性/大曲、40代/男性/西仙北)
- 同じ内容の返答がくるので (30代/男性/大曲)
- 悩みがない (60代/男性/大曲)
- 自分自身の問題。他人に相談してもどうなるものではないから。(40代/女性/西仙北)
- 真面目に聞いてくれそうな人がいない (50代/男性/中仙)
- 自分で解決できる力があるから (60代/男性/中仙)
- 会話するのがめんどくさい (20代/女性/協和)
- 前進思考。十人十色で最終的に自己判断 (70代/女性/西仙北)

■「誰にも相談できない」の理由

- 自分が相談されても助けることができないから (50代/男性/大曲)
- 自分の胸の内に止めておく (70代/男性/西仙北)
- 色々自分で考え、相手に負担をかけたくない (30代/女性/中仙)

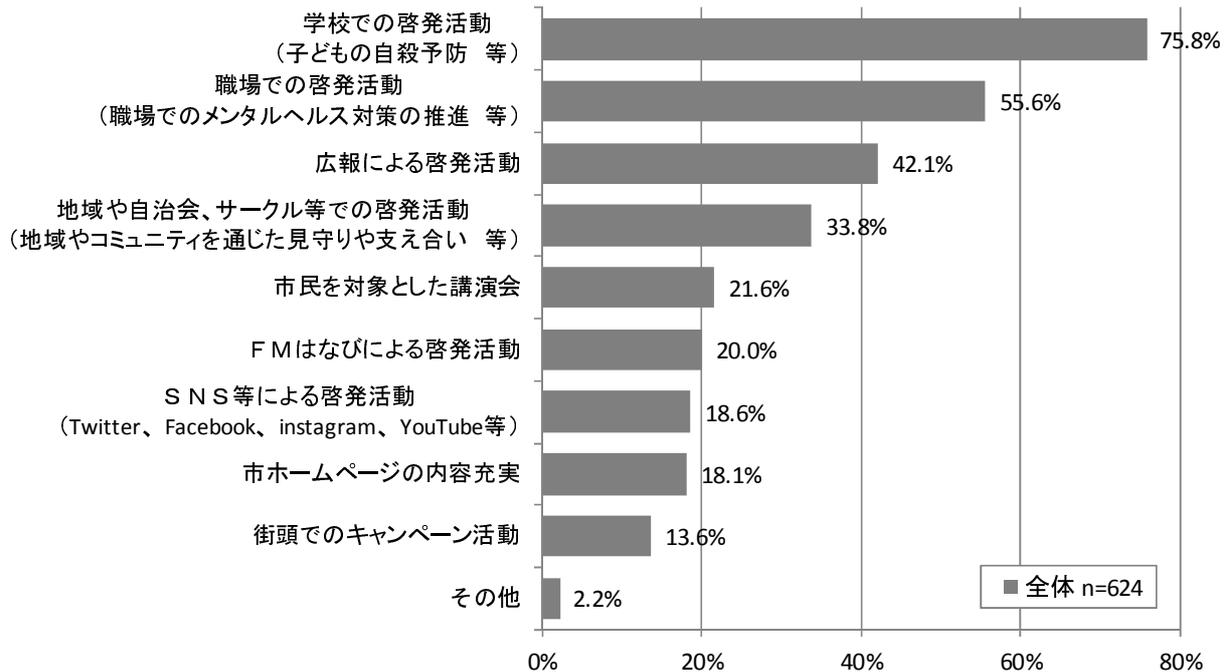
【問5】市の自殺対策やこころの健康に関する啓発活動としてどのような取り組みをさらに進めていくべきだと思いますか。(複数回答可)

○全体では、「学校での啓発活動」と回答した方が75.8%で最も多く、次いで「職場での啓発活動」が55.6%、「広報による啓発活動」が42.1%となっている。

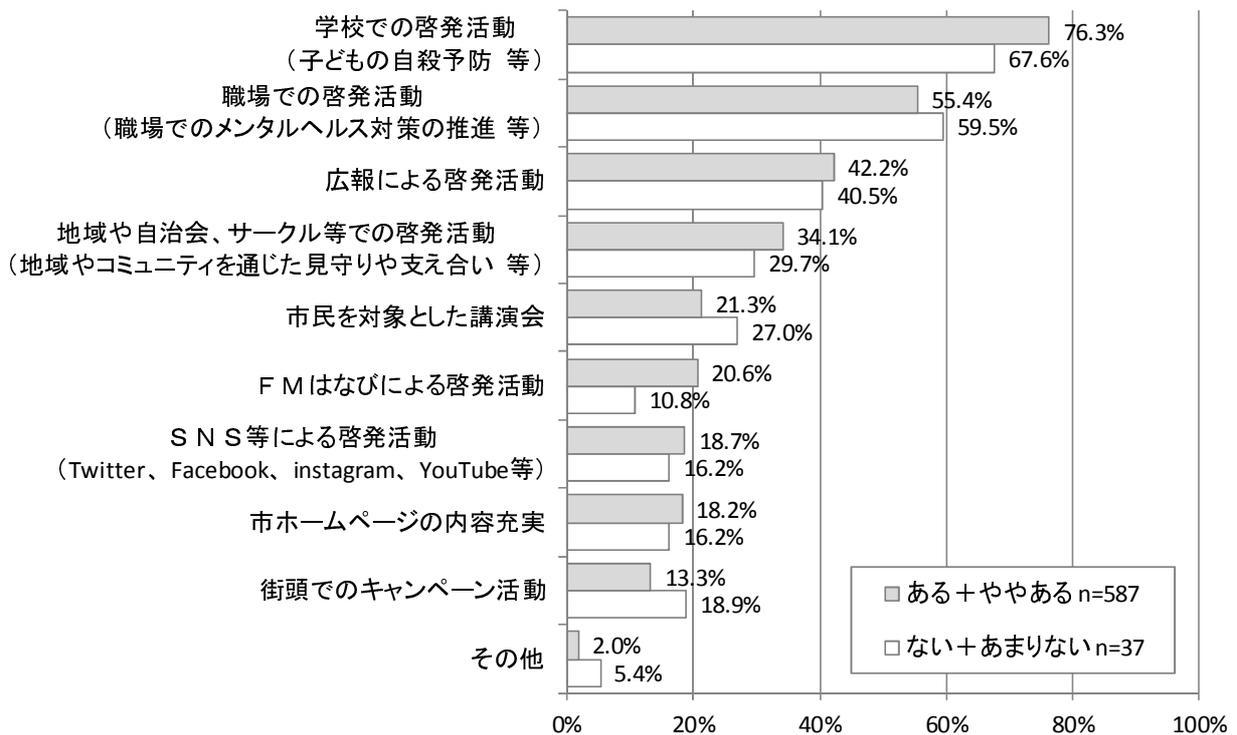
○問1の関心別で見ると、関心のある人とない人のどちらも同様の傾向となっており、全体とも同様の傾向となっている。

○年代別で見ると、全ての年代で「学校での啓発活動」と回答した方が最も多くなっている。また、「学校での啓発活動」、「SNS等による啓発活動」は年代が上がるにつれて減少する傾向となっている。一方、「広報による啓発活動」、「地域や自治会、サークル等での啓発活動」は年代が上がるにつれて増加する傾向となっている。

【全体】

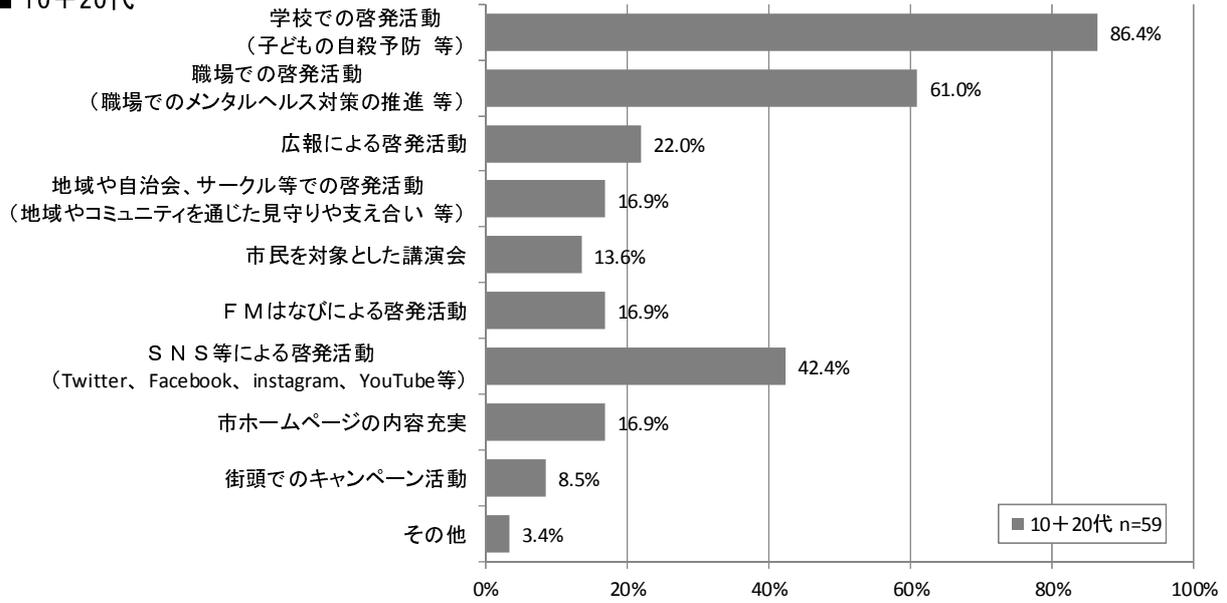


【問 1 関心の有無別】

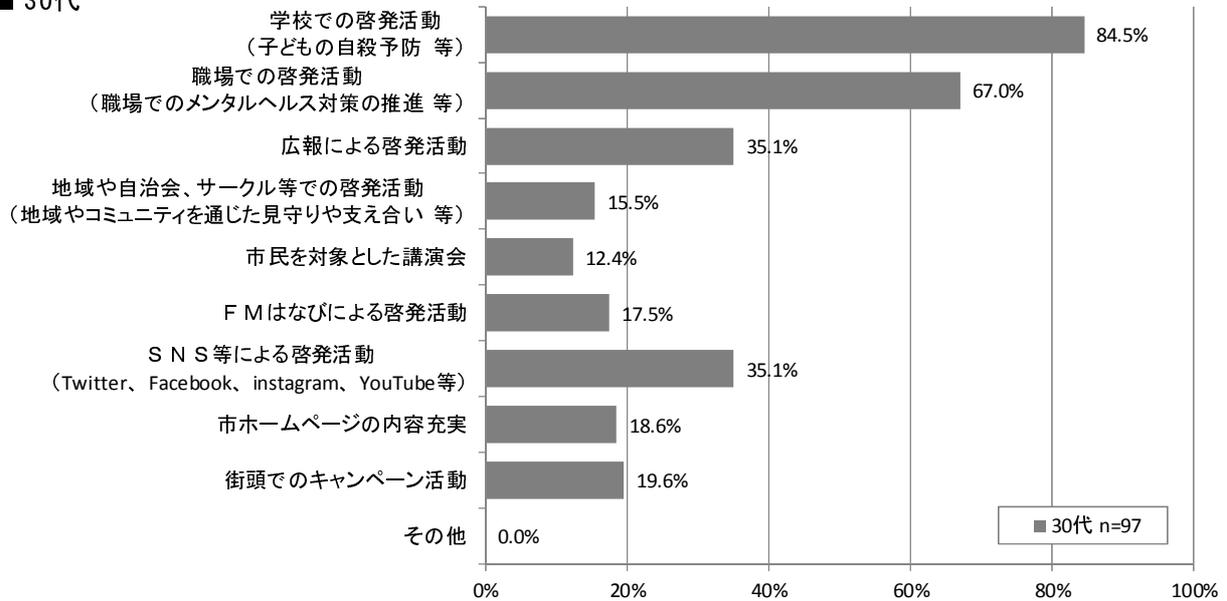


【年代別】

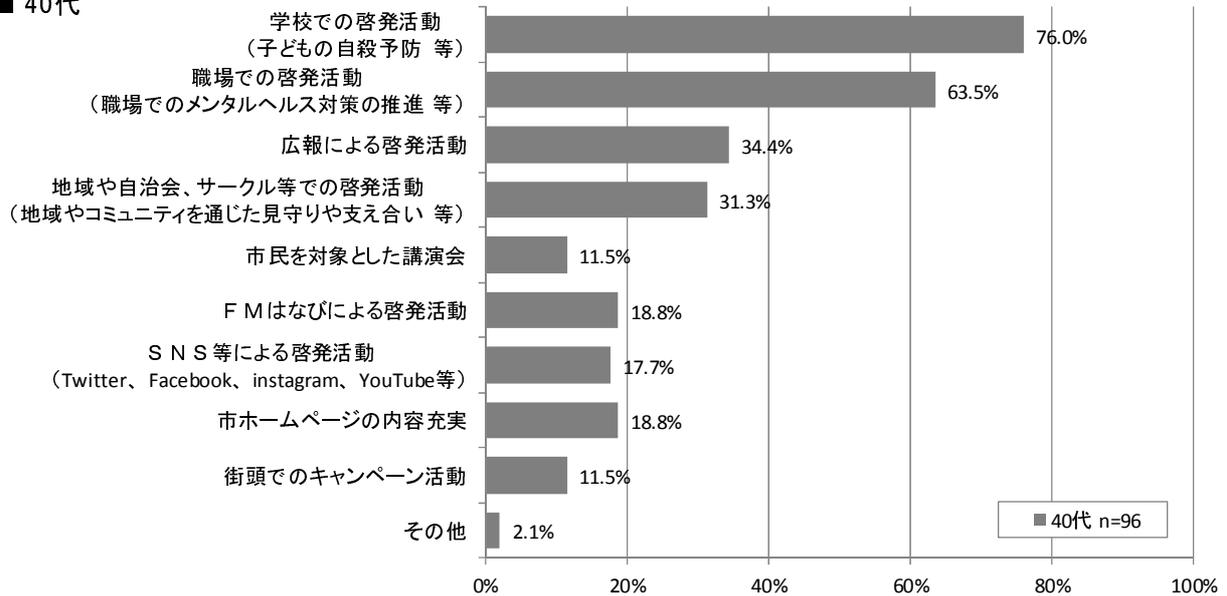
■ 10+20代



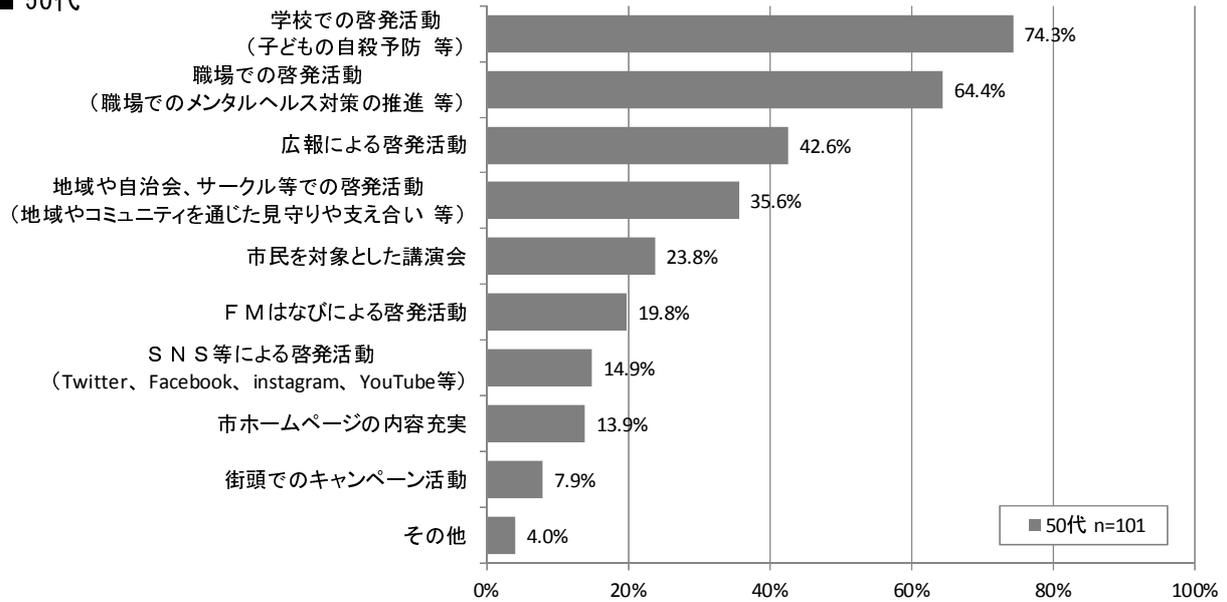
■ 30代



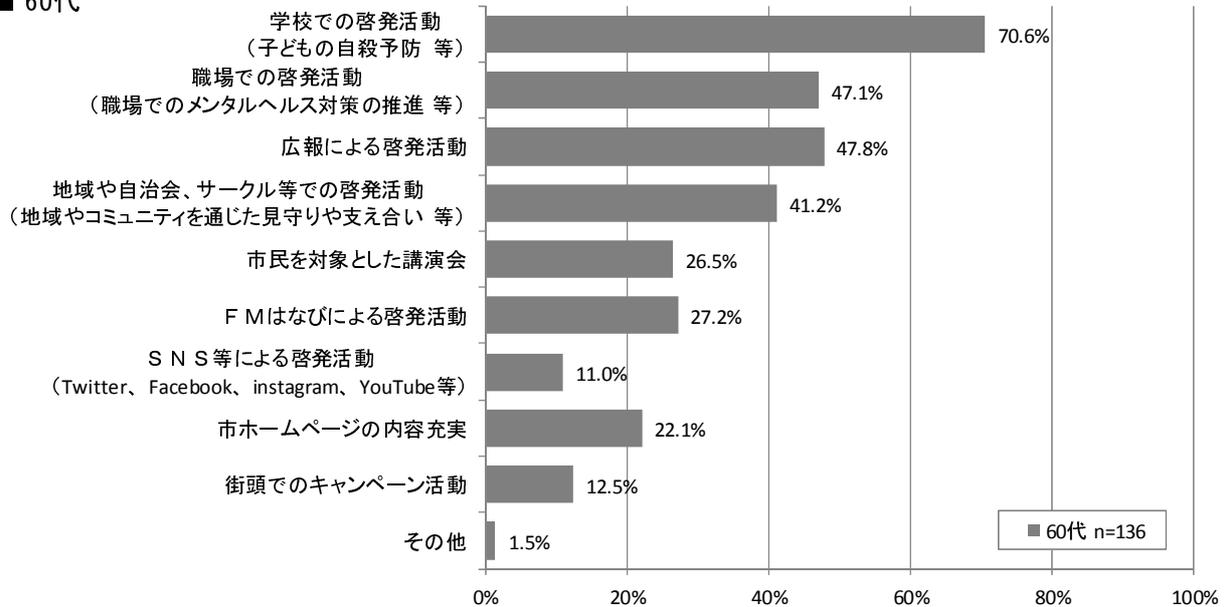
■ 40代



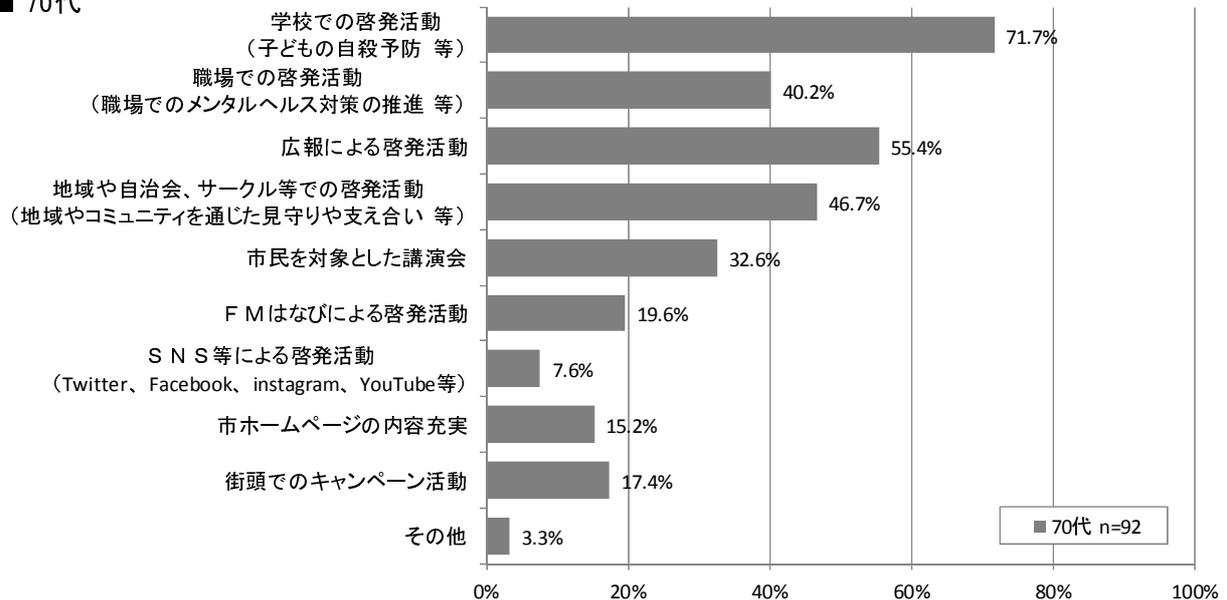
■ 50代



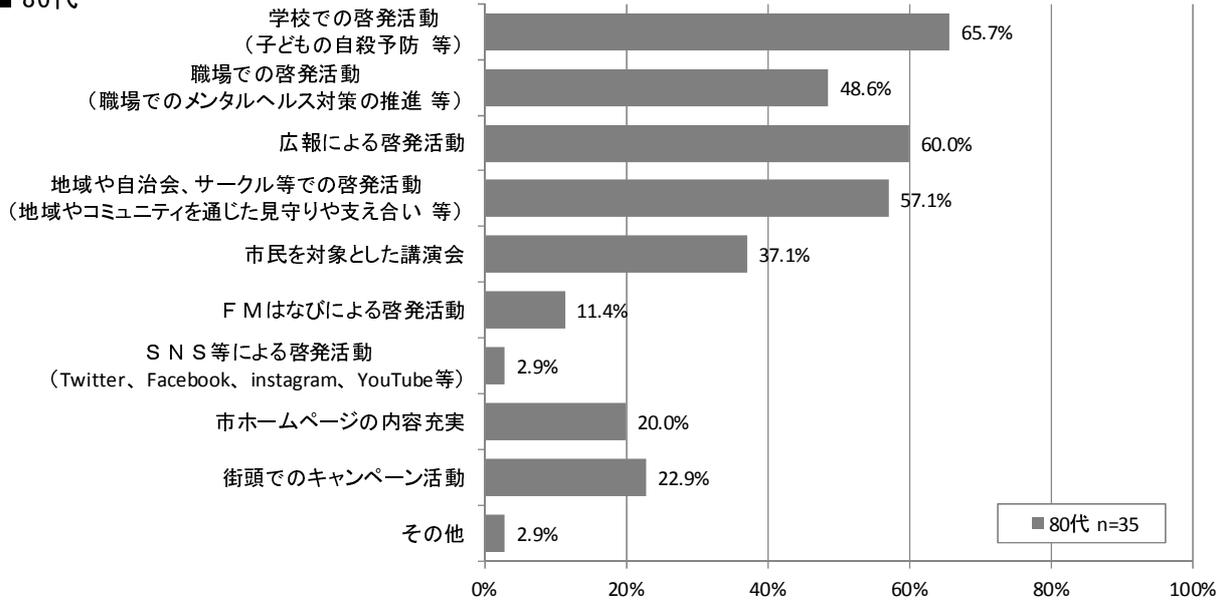
■ 60代



■ 70代



■ 80代



■ その他の回答

- 知らなかった事が多いのでCMなどで啓発活動ができれば知らない人も知る事ができるのではないかと思います。若い人が必ず SNS (Twitter, Facebook 等) を使うとは限らないのでテレビなら家の人がつけていれば見る機会は増えるかもしれません。(20代/女性/大曲)
- 問2にあるように、たくさんの事業が行われているにもかかわらず、私自身は、そのどの事業にも直接ふれた事がなかった事に啞然とする思いである。私のように困っていてもこれらの事業の存在を知らない人も多いのではないだろうか。民生委員さん達の活動も大きな力だと思うが、助けを必要とする方々にこそ、これらの事業の存在をお知らせしたいものである。(70代/女性/仙北)
- 私には、うつになって約20年になる友人がいます。発症した当初色々な言葉をかけましたが、友人に言われたのが「でも、病気だから」と。素人が何を言っても難しいようです。市のカウンセリングや相談会は恐らく男性は行き難いと思われまます。市民が多く集まるイベント etc で、「うつは誰にでもなる病気です。気分が数日間落ち込んだら、まずは心療内科 etc の医療機関を受診してください」と度々発信していくのはどうかな・・・(50代/女性/南外)
- 活動はどれも大事ですが、人に言えないときの自分のケアが大事です。頑張るしかないかな。それができないときが恐いですネ。(70代/女性/大曲)
- 行政が関与してどうこうする問題ではないと思う。(20代/男性/大曲)
- 広報・啓発のみでは弱腰。企業、病院などとともに活動。(50代/女性/中仙)
- 同じ悩みがある人達とじっくりと話をしたい(70代/女性/太田)
- 啓発しても相談しない人はしないのでもっと気軽に相談できるよう電話番号等を電話機の横に電話番号を書いたシール等を張ってもらう等周知徹底させる(50代/男性/中仙)
- 医療機関の充実(40代/男性/中仙)
- 所得を上げる(40代/女性/大曲)
- 電話での悩み相談(60代/女性/中仙)
- 立派で正しいことを教えるのではなく、生きてると楽しいことを子供たちに伝えられることがあればいいな(60代/女性/大曲)

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1でこころの健康に関心が「ある」または「ややある」と回答した方の割合は、男女共に9割を超えており、年代別に見ても80代が87.5%、その他の全年代で9割を超えていた。しかし、市で行っている自殺対策やこころの健康に関する取り組みについて聞いた問2では、設問に挙げた11事業のうち一番認知度が高かった「広報による自殺予防特集」でも45.8%と半数に満たない結果であった。他10事業においても「知っている」と回答した方は1～3割に留まっていた。このことから、こころの健康に関心のある市民が多い一方、市で行っている取り組みの認知度は低いことがわかり、市の取り組みをもっと知ってもらい、生活に役立ててもらえるよう啓発の方法を再考する必要がある。
- 問4の悩みがあったり困ったりしたときに誰に相談するかでは、「家族や親族」と回答した方が81.9%で最も多くなっており、次いで「友人」が51.9%となっている。悩みがある人から相談を受けた場合の相談の受け方や対応が困難な際につながることでできる相談先の周知など、相談を受ける側の対策も進めていきたい。
- また、「誰にも相談できない」と「誰にも相談しない」を合わせると5.9%となっており、性別では男性の方が多くなっている。割合としては多くはないが、そういった方々も一定数はいるため、相談することに抵抗感などを持っている方々に対して、相談しようと思ってもらえるような情報の発信や相談体制について検討していきたい。
- 問5のさらに推進すべき取組については、年代別に見ると特徴に違いが見られるため、今後、啓発活動を推進するにあたっては、それぞれの年代に合った方法による啓発活動が必要である。例えば、若年層には興味をもってもらえるようなSNSを活用した情報の発信や家庭で話題にしてもらえるような講演会の構成や配付物の工夫、働く世代には企業から出前講座実施の協力をいただきながら企業の実情に合った職場のメンタルヘルス対策、シニア世代には、相談先に来られない方や相談窓口を知らない方がいる可能性もあるため、来ていただくだけでなく関係機関とも連携し、こちらから地域に出向いて啓発するなど、より効果的な啓発活動を実施していきたい。

3. 1. 3 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について

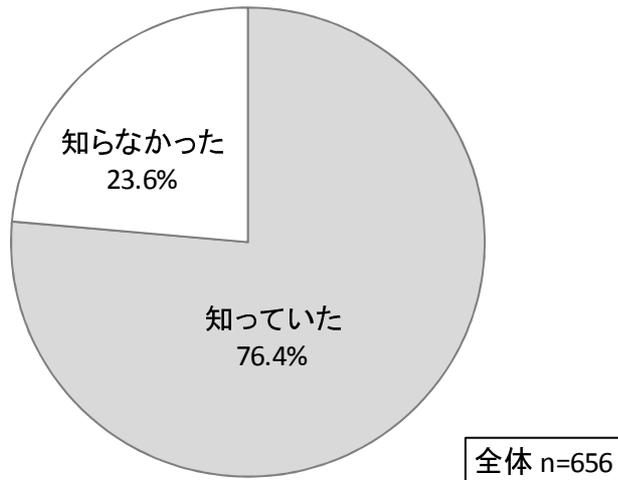
(生涯学習部花火伝統文化継承資料館)

- ◆ 調査目的：花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」は、大仙市花火産業構想第Ⅰ期に掲げる取り組みにおいて、花火の文化的価値の向上と花火の伝統文化を将来にわたる地域資源として継承・発信していく拠点として整備し、平成30年8月に開館した。「はなび・アム」の利用状況等を調査し、今後の施設運営の参考とする。

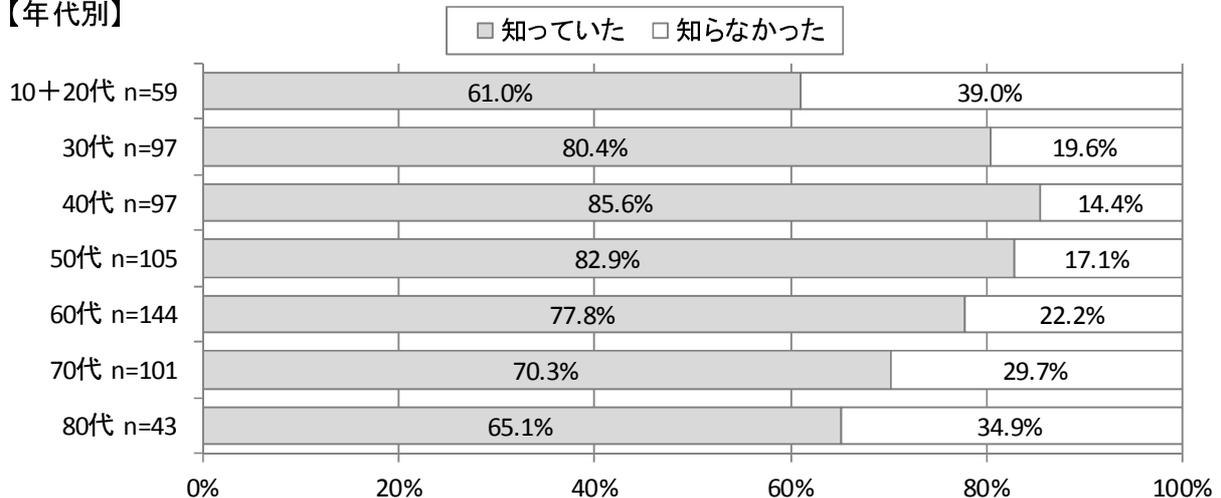
【問1】花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」を知っていましたか。

- 全体では、「知っていた」と回答した方が76.4%となっており、8割近くを占めている。
- 年代別で見ると、「知っていた」と回答した方の割合は40代が85.6%で最も大きく、10代と20代を合わせた年代が61.0%で最も小さくなっている。また、40代までは年代が上がるにつれて増加しているが、40代以降は減少している。
- 地域別で見ると、「知っていた」と回答した方の割合は仙北地域の89.8%が最も大きく、次いで大曲地域が86.8%となっている。一方、最も小さかったのは協和地域の51.9%であり、約半数が「知らなかった」と回答している。

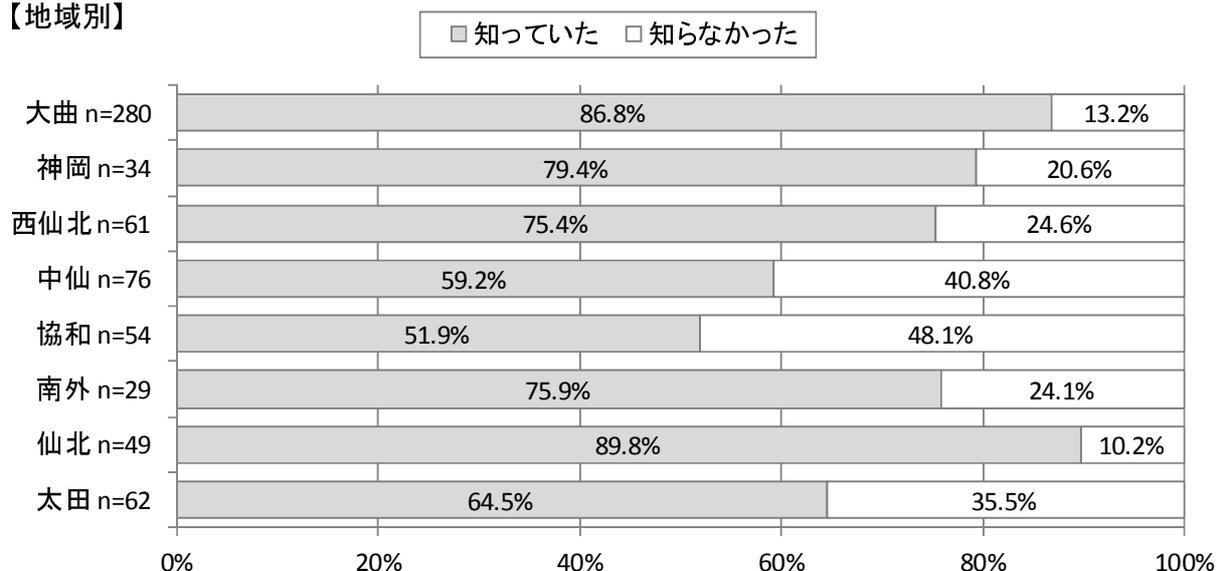
【全体】



【年代別】



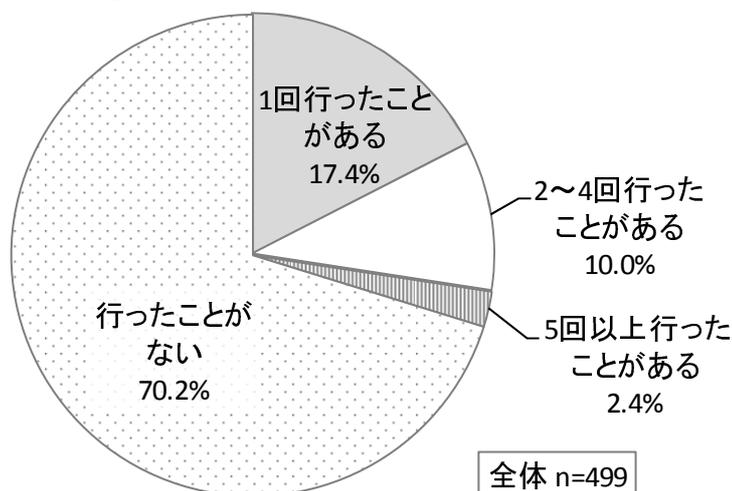
【地域別】



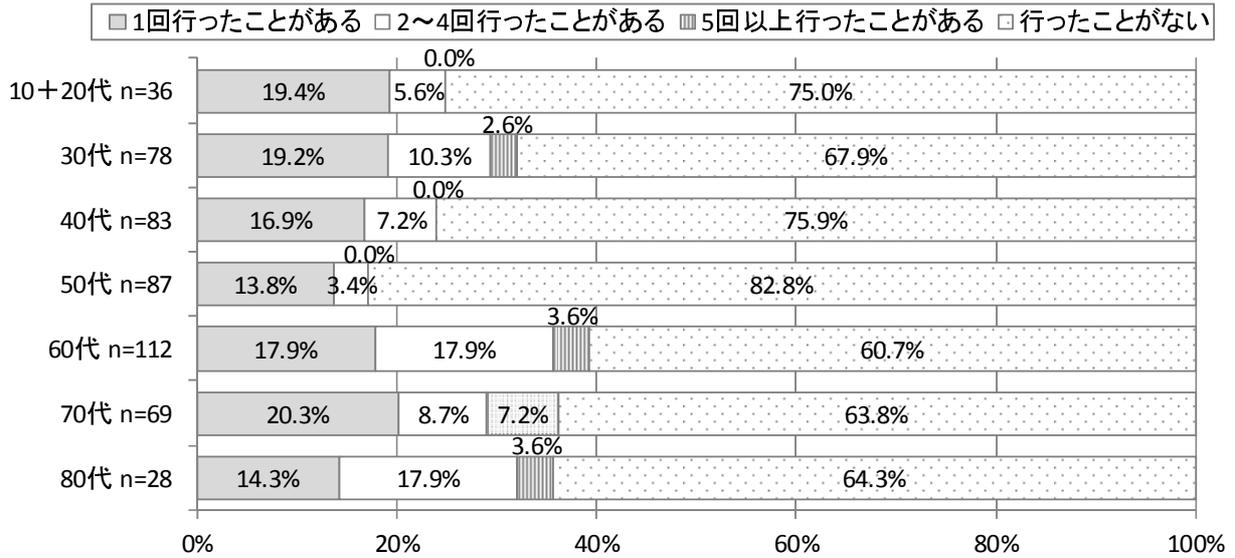
【問2】 3・4階の「花火資料館エリア」をご覧になるために「はなび・アム」を訪れたことはありますか。また、訪れたことがある場合は、何回来館されましたか。
(問1で「1. 知っていた」と回答した方)

- 全体では、「行ったことがない」と回答した方が70.2%で最も多く、7割以上を占めている。また、「行ったことがある」と回答した方の中で最も多かったのは「1回行ったことがある」の17.4%で、「行ったことがある」と回答した方の中では6割近くを占めている。
- 年代別で見ると、全ての年代で「行ったことがない」と回答した方が最も多くなっているが、60代以上の年代では、割合が小さくなっている。また、来館した回数についても、「1回行ったことがある」の割合は年代別であまり大きな差は見られないが、「2～4回行ったことがある」または「5回以上行ったことがある」の割合は60代以上の年代では、50代以下の年代に比べて大きくなっており、60代以上にリピーターが多いことがわかる。
- 地域別で見ると、全ての地域で「行ったことがない」と回答した方が最も多くなっている。「行ったことがある」と回答した方の割合は仙北地域が36.4%で最も大きく、次いで大曲地域が34.3%となっている。また、「行ったことがある」と回答した方の中で最も多かったのは、全ての地域で「1回行ったことがある」の回答となっている（神岡地域は「2～4回行ったことがある」と同率）。

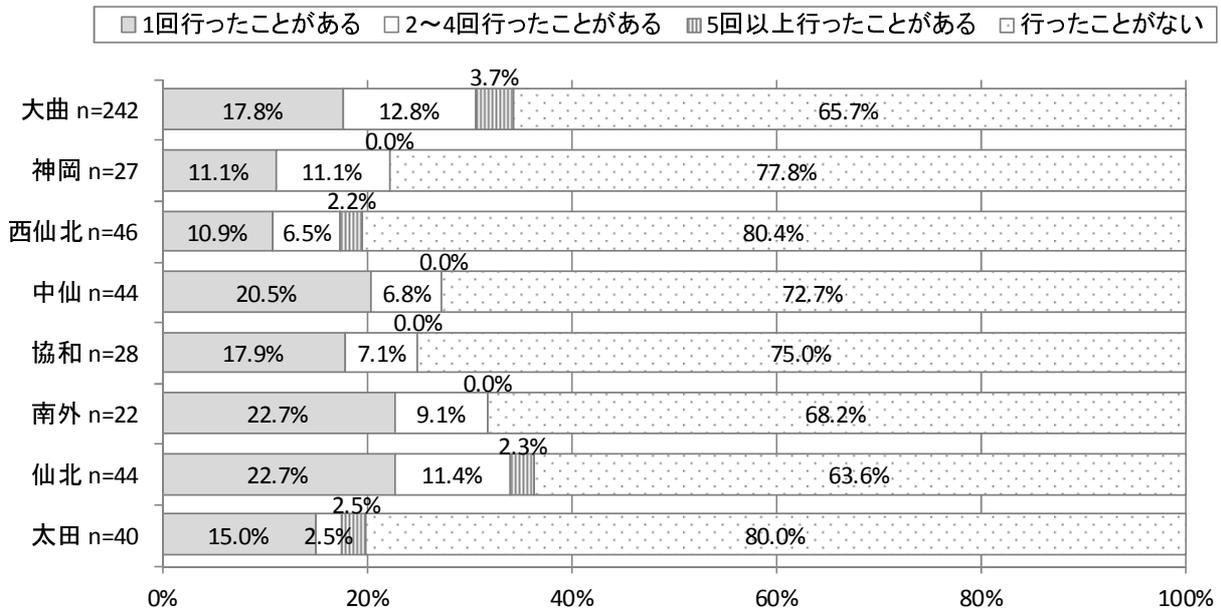
【全体】



【年代別】



【地域別】



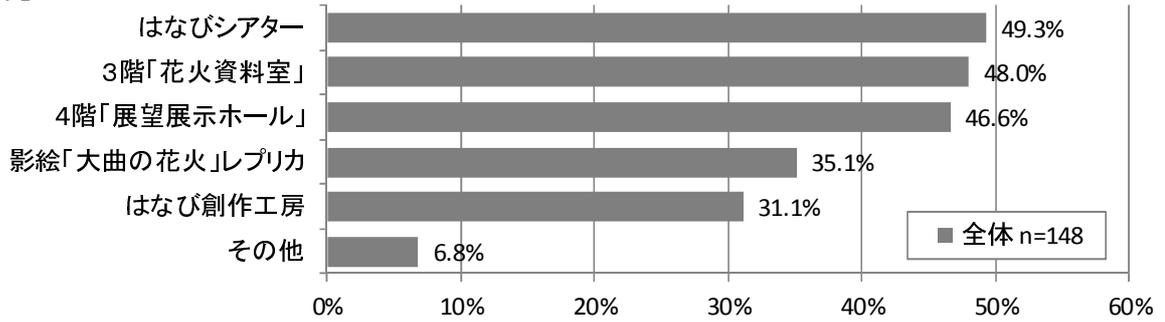
【問3】来館された際に、印象に残ったところはどこですか。（3つまで）

（問2で「1. 1回行ったことがある」～「3. 5回以上行ったことがある」と回答した方）

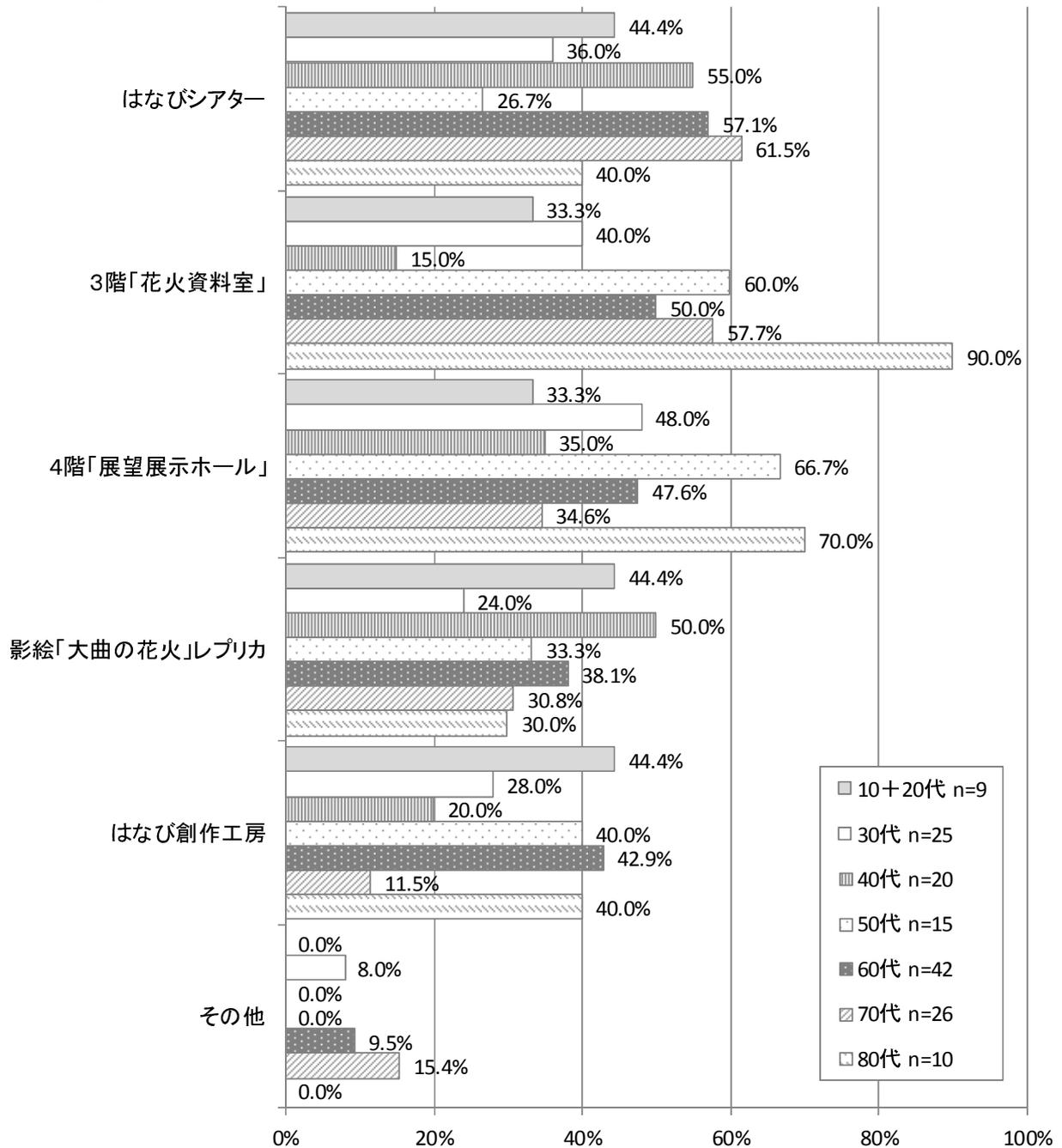
○全体では、「はなびシアター」と回答した方が49.3%で最も多く、次いで「3階「花火資料室」」が48.0%、「4階「展望展示ホール」」が46.6%となっている。

○年代別で見ると、あまり傾向は見られないが、最も多く回答しているものとして「はなびシアター」を回答している年代が最も多く、次いで「4階「展望展示ホール」」となっている。また、「3階「花火資料室」」については、50代以上になると半数以上の方が回答しており、割合は80代が突出して最も大きく、90.0%となっている。

【全体】



【年代別】



■その他の回答

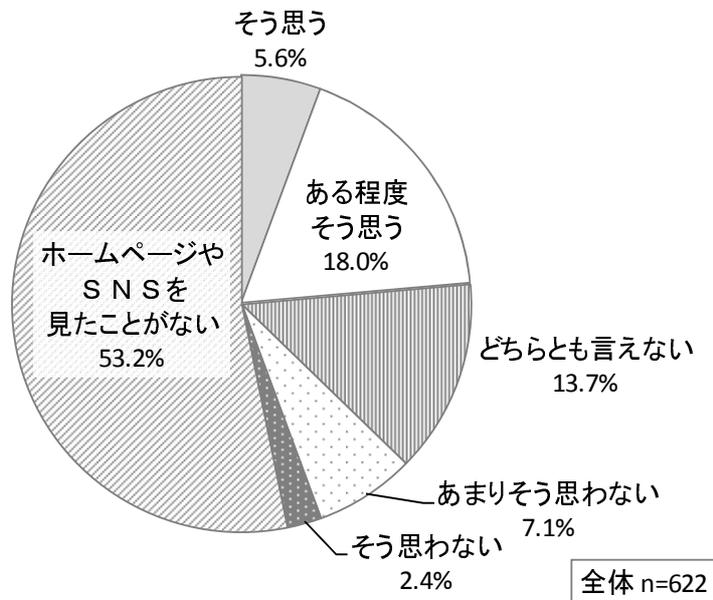
- 研修室 (70代/男性/西仙北)
- なぜ入館料が無料なのか。維持のためにも徴収すべきではないのか。(60代/女性/大曲)
- 1F フリースペース (30代/女性/大曲)
- サークル活動 (60代/男性/大曲)
- 会議 (70代/男性/協和)
- 何回も行きたいと思わない。(70代/女性/大曲)
- 印象に残らなかった (30代/男性/中仙、60代/男性/大曲)

【問4】「はなび・アム」のホームページやSNS (facebook・twitter) では、来館案内の他に、花火や展示に関するお知らせ、周辺店舗の紹介などをしていますが、内容は充実していると思いますか。

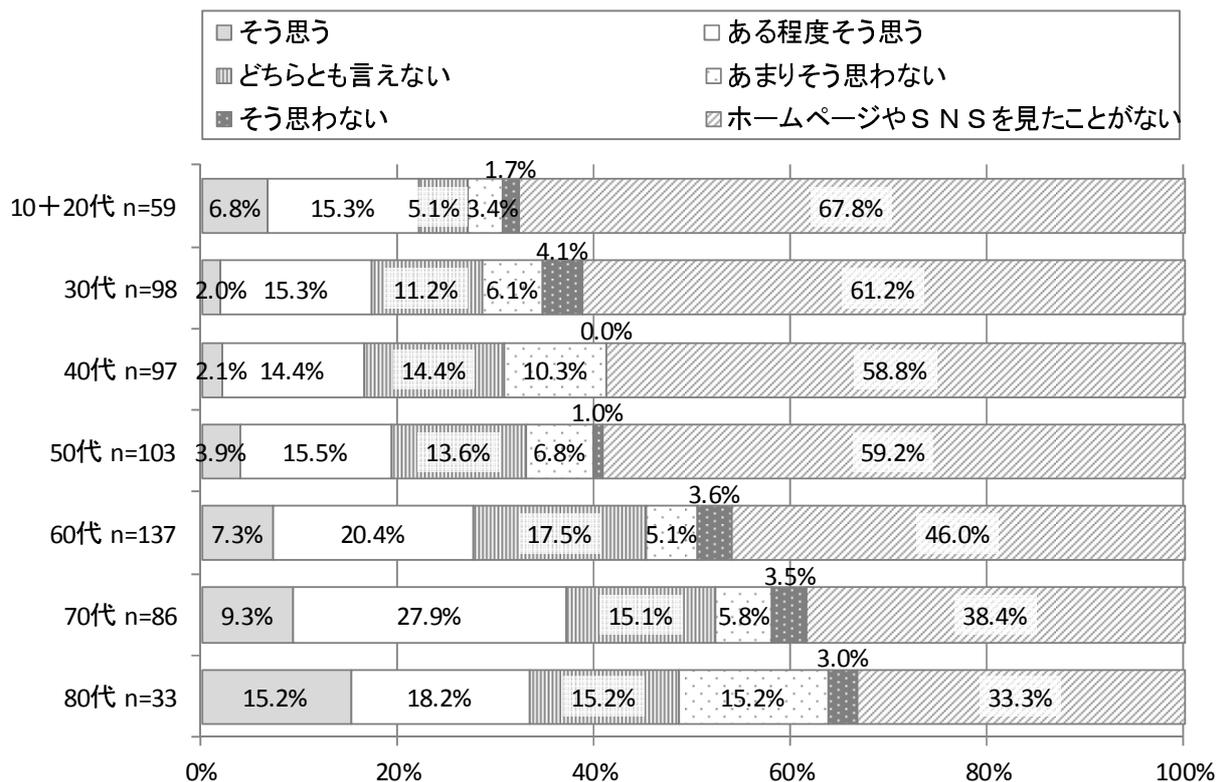
○全体では、「ホームページやSNSを見たことがない」と回答した方が53.2%で最も多く、半数以上の方が見たことがないと回答している。

○年代別で見ると、全ての年代で「ホームページやSNSを見たことがない」と回答した方が最も多くなっているが、割合は年代が上がるにつれて小さくなっている。また、「ホームページやSNSを見たことがない」以外を回答した人の中で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も大きいのは10代と20代を合せた年代となっており、7割近くを占めている。

【全体】



【年代別】

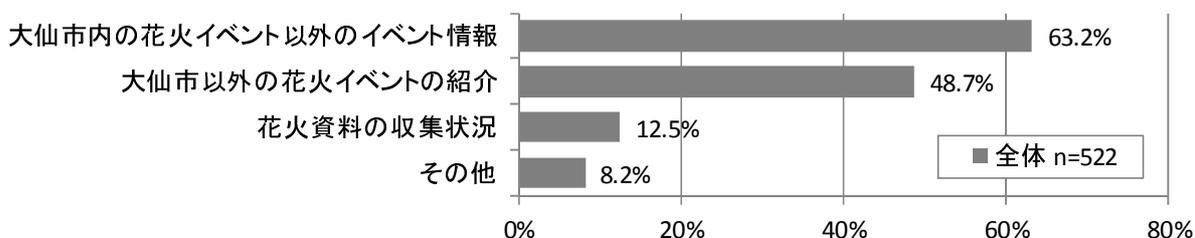


【問5】「はなび・アム」のホームページやSNS上で他にお知らせしてほしい情報などがありますか。（複数回答可）

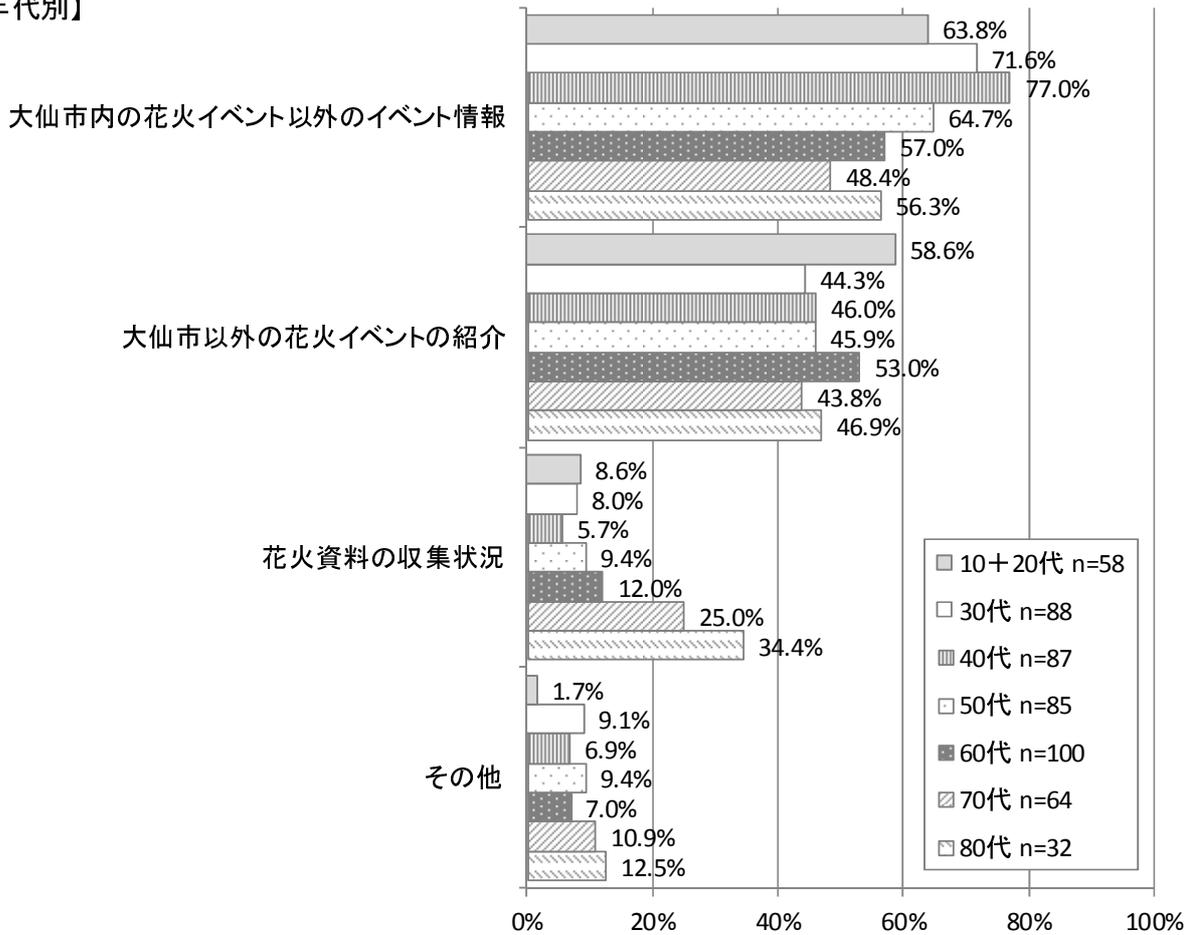
○全体では、「大仙市内の花火イベント以外のイベント情報」が63.2%で最も多く、次いで「大仙市以外の花火イベントの紹介」が48.7%、「花火資料の収集状況」が12.5%となっている。

○年代別で見ると、全ての年代で「大仙市内の花火イベント以外のイベント情報」と回答した方が最も多くなっている。また、「花火資料の収集状況」については、40代以上は年代が上がるにつれて割合が大きくなっている。

【全体】



【年代別】



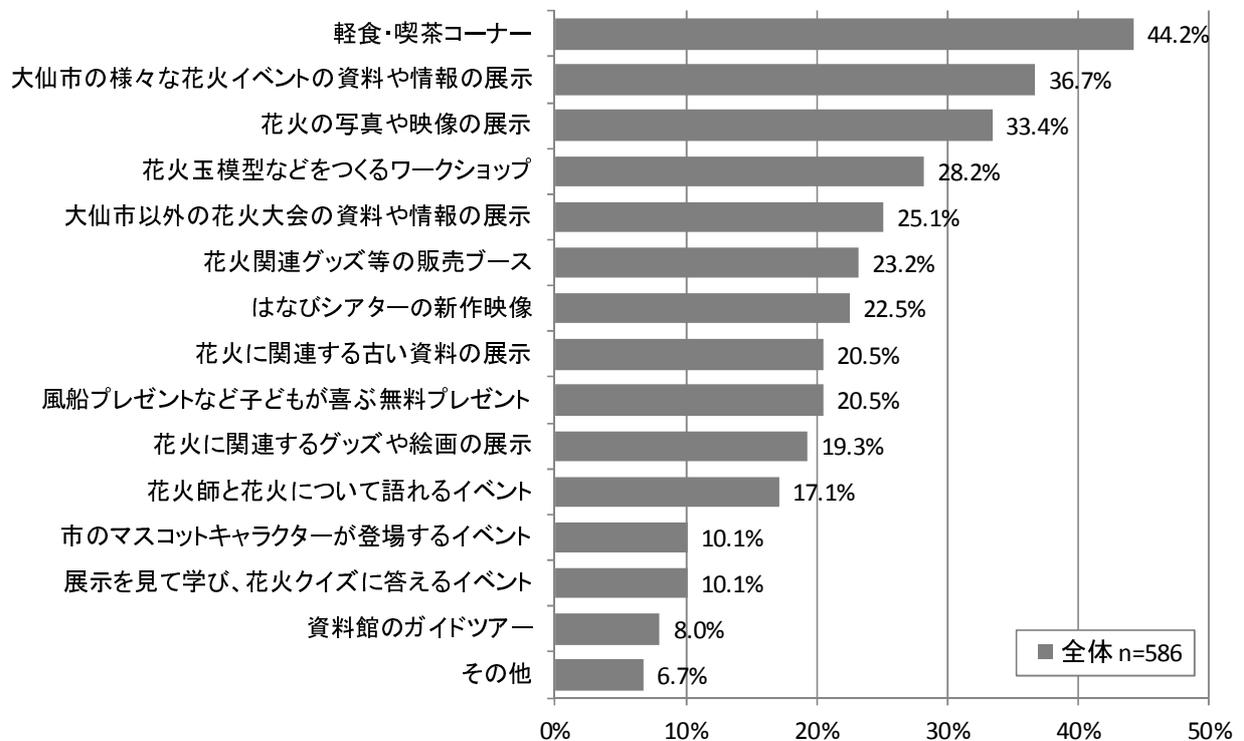
■その他の回答

- 花火鑑賞士試験について、早くから日程などの案内や、紹介リンクがあると良いと思います。(30代/男性/大曲)
- 日本国内の花火大会やイベントと大仙市で実施している花火イベントとの比較。写真や動画をふんだんに使い、これだけスゴイとアピールして欲しい。(年齢・性別・地域不明)
- この花火は何の花火がわからないことが多いので、すべて(音だけでも)紹介してほしい。(50代/男性/大曲)
- 見る方法がわからない(70代/男性/大曲)
- 今日、今晚の花火は何の花火なのかお知らせいただきたい。よく上がっているが何の(大会なのか、祭りなのか、その他)花火なのか分からないため。(60代/男性/大曲)
- 花火に関わる回数が多すぎる。(80代以上/男性/中仙)
- 花火に関する豆知識など。(20代/男性/大曲)
- 花火資料館ですが、ほかの地域のイベントも紹介していますか。(60代/女性/太田)
- 花火以外にも大仙市にはこんなことがあるよという特設コーナー(40代/女性/南外)
- 観光と結び(30代/女性/神岡)
- 花美と考えると、桜の見どころや情報等(50代/女性/中仙)
- 花火のPRを目的とした施設ではあると思うが、花火と関係のないことも考えてもよいのではないか。全国各地の物産販売など。(60代/男性/大曲)
- 大仙市内のイベント情報詳しく(60代/女性/中仙)
- HPやSNS以外での情報発信も必要かと思います。(70代/女性/神岡)

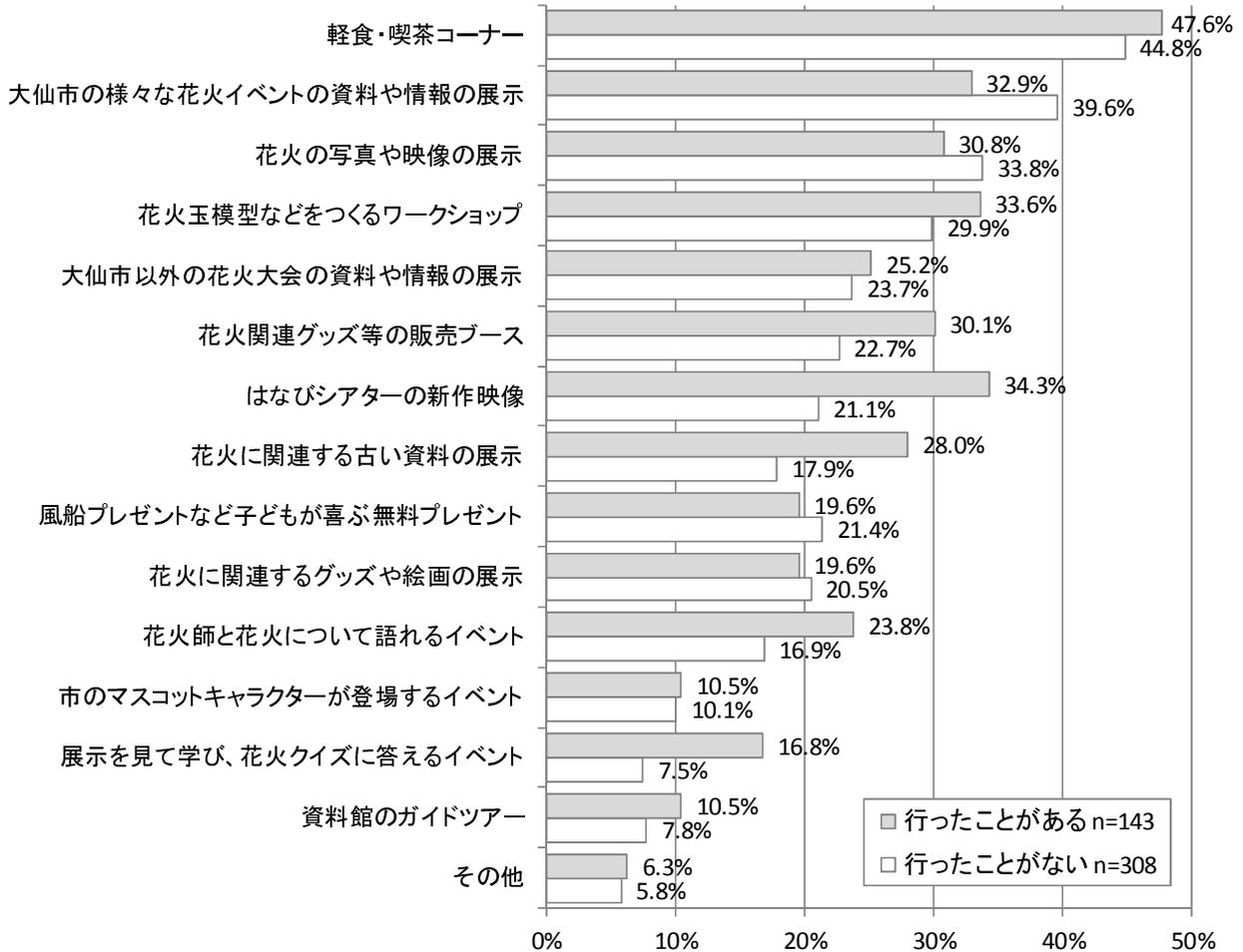
**【問6】 どのような展示や催し物などがあれば「はなび・アム」に行ってみたいと思いますか。
(複数回答可)**

- 全体では、「軽食・喫茶コーナー」と回答した方が44.2%で最も多く、次いで「大仙市の様々な花火イベントの資料や情報の展示」が36.7%、「花火の写真や映像の展示」が33.4%となっている
- 問2の来館の有無別で見ると、行ったことがあると回答した方が全体的に割合が多くなっている。特に「花火関連グッズ等の販売ブース」、「はなびシアターの新作映像」、「花火に関連する古い資料の展示」、「花火師と花火について語れるイベント」、「展示を見て学び、花火クイズに答えるイベント」は、行ったことがないと回答した方との差が比較的大きくなっている。
- 年代別で見ると、最も多く回答しているものとして「軽食・喫茶コーナー」を回答している年代が最も多くなっている。
- また、若い世代では「花火玉模型などをつくるワークショップ」や「風船プレゼントなど子どもが喜ぶ無料プレゼント」など、子どもも楽しめる内容の回答が多くなっている。一方、シニア世代では「大仙市の様々な花火イベントの資料や情報の展示」や「花火の写真や映像の展示」、「大仙市以外の花火大会の資料や情報の展示」など、展示内容の充実を求める回答が多くなっている。

【全体】

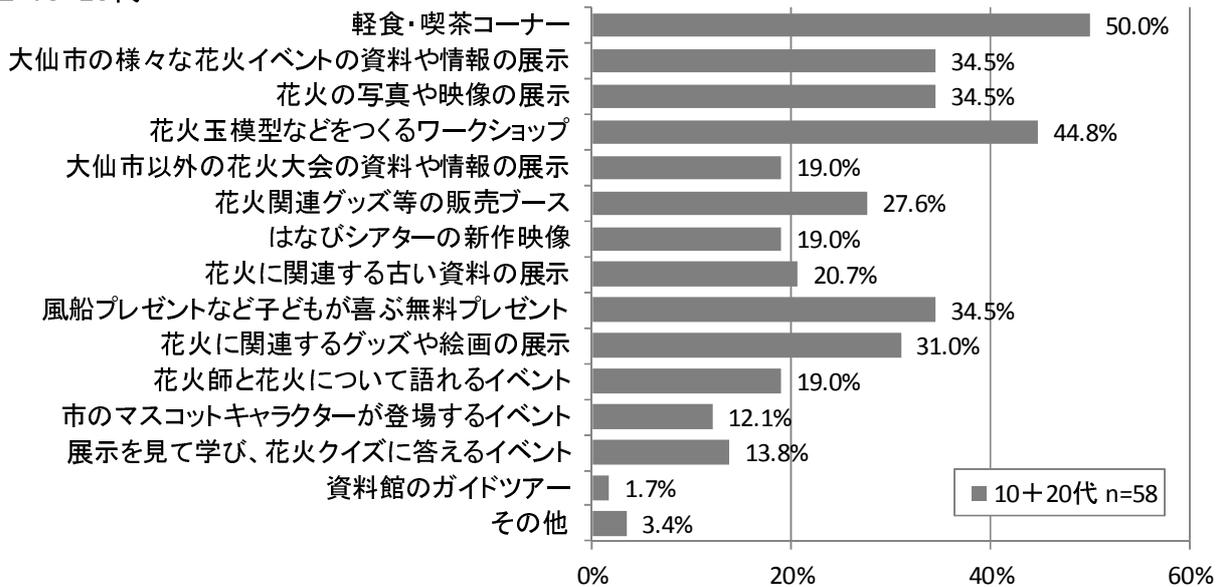


【問2 来館の有無別】

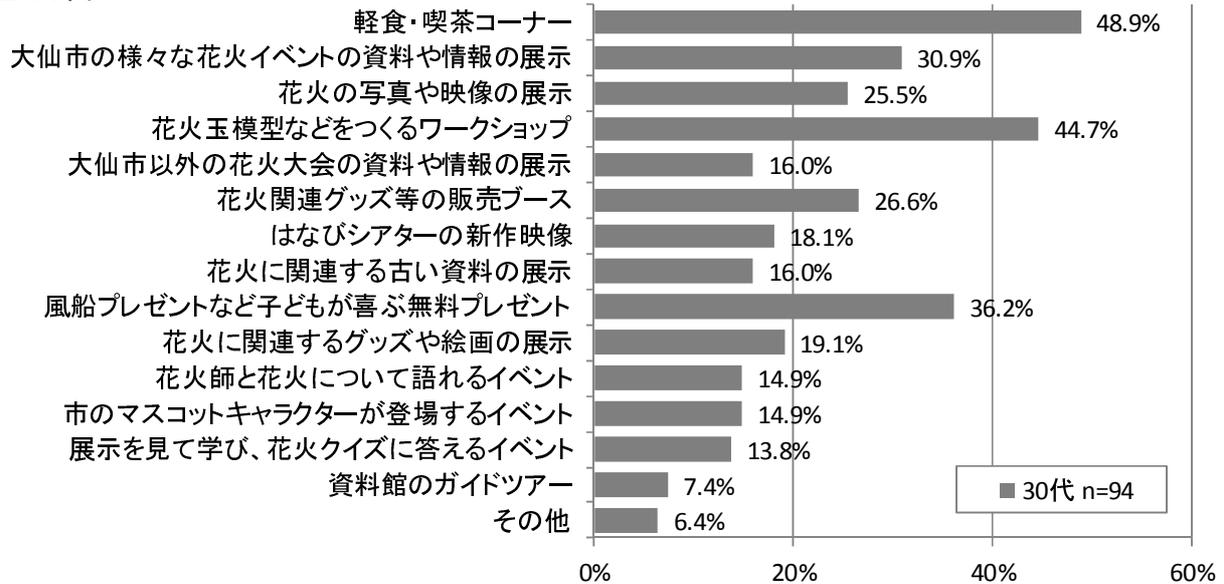


【年代別】

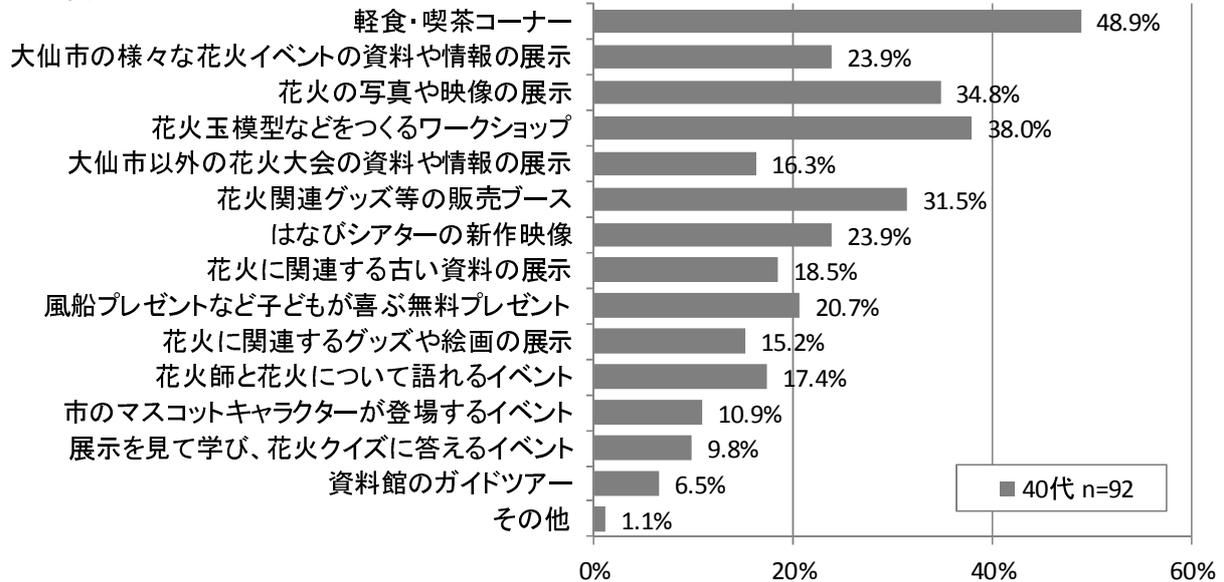
■ 10+20代



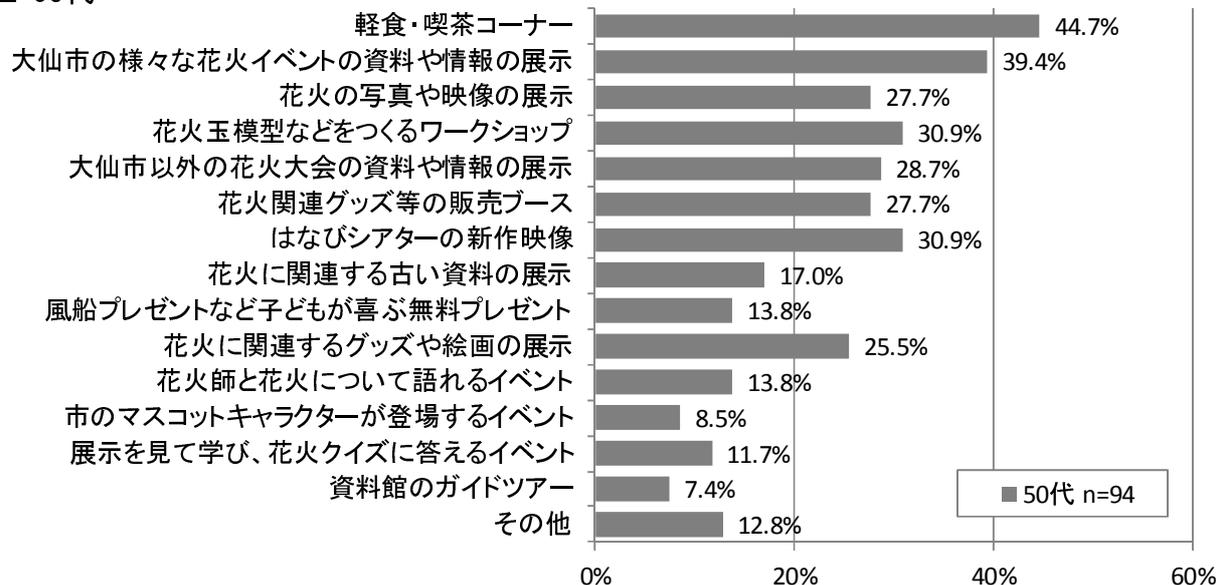
■ 30代



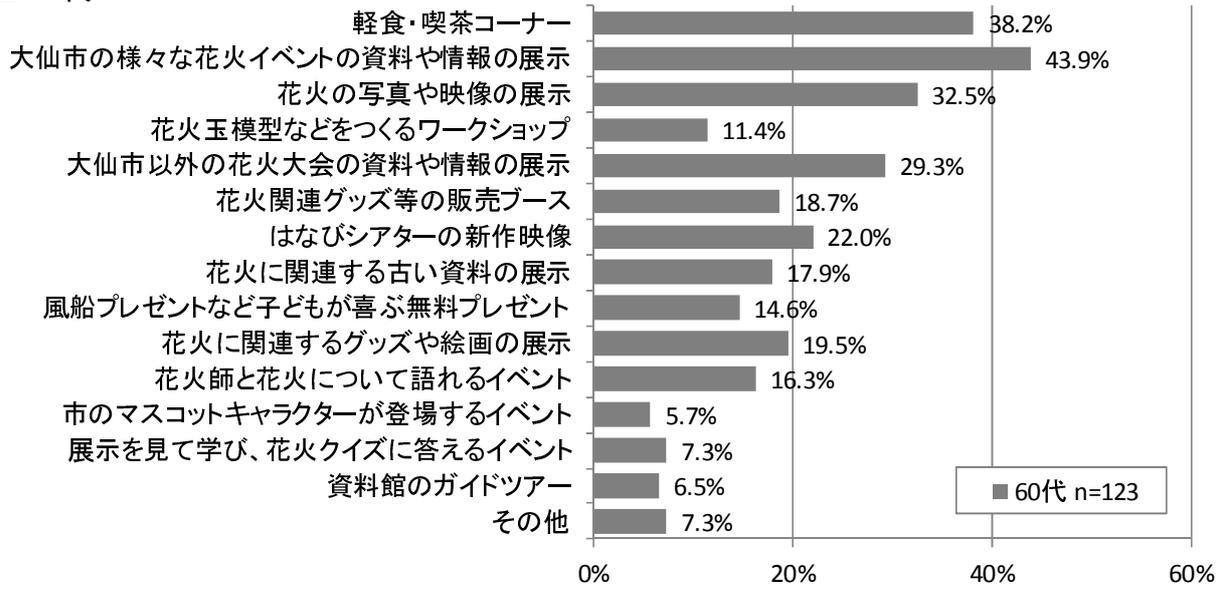
■ 40代



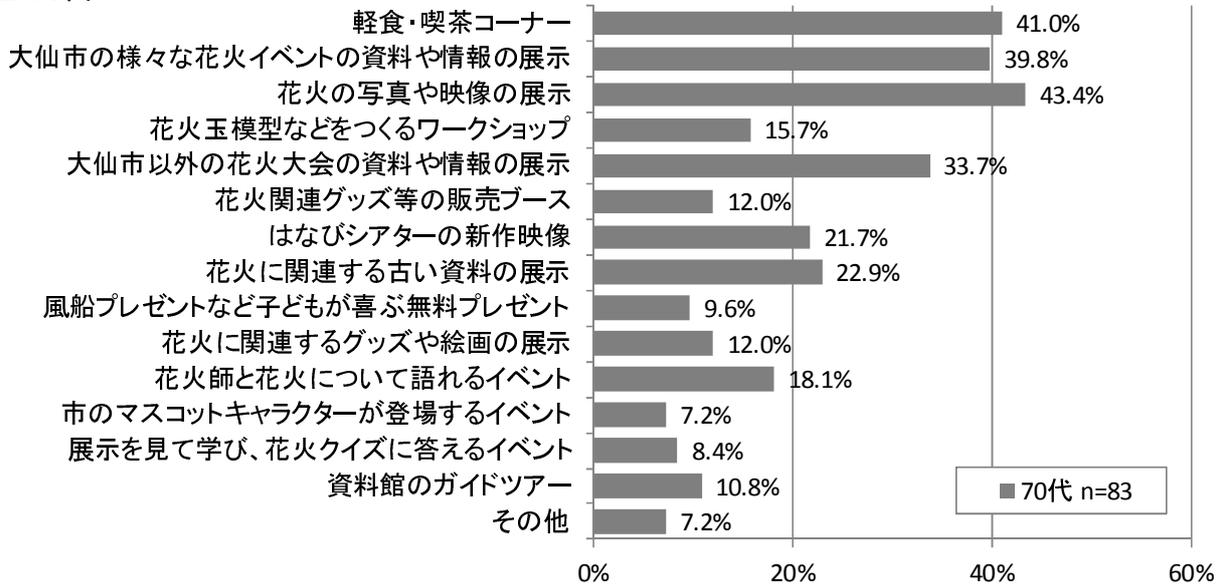
■ 50代



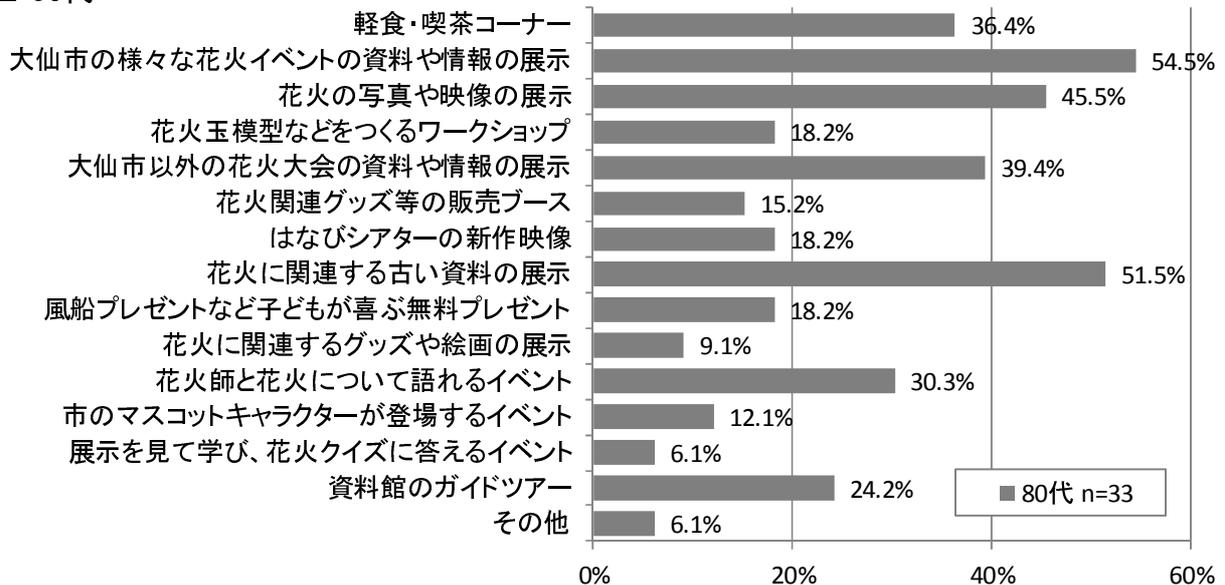
■ 60代



■ 70代



■ 80代



■その他の回答

- 子供の遊び場 (20代/女性/太田)
- はなびアムでしか買えない限定グッズ (50代/男性/神岡)
- いつの間にか住民税がとられていて作られていたので、行かないがせっかく作ったのなら無駄にせずキッズスペースとか子育て世代が行ってみたいと思うようなものにしたらどうか。(20代/女性/大曲)
- 花火の映像・写真・子供の絵のコンクールを毎年行う。四季による花火大会に合わせた軽食メニューを変えて提供。小学生の社会見学の場所にする。(市内の子、秋田県内の子たち) (50代/女性/大曲)
- 4階からの市街の展望がすばらしく、コーヒーでもすすりながら、ゆっくりおしゃべりしたりして眺めていたいと思った。(70代/女性/仙北)
- VRゴーグル＋スーパーウファーで感じる花火体験 (60代/男性/大曲)
- 花火デザインのネクタイピンやアクセサリ等の展示、販売など。(60代/男性/太田)
- 本物の花火玉を作るところを見学させる。実際に花火を打ち上げる体験をする。(60代/男性/仙北)
- 展示品が少なく、素通りして終わる感じがあまり魅力がない。(70代/女性/大曲)
- 何をやっても行きたいと思わない。県外からのツアー等に組み込んでもらえれば少しでも見ていただけるのでは。(30代/男性/中仙)
- 花火は、季節、場所、風景などにマッチングして魅力が出る。そのため、資料館に何を望むか難しい。(50代/女性/中仙)
- そもそも資料館には興味がない。花火は屋外で見て楽しむもの。(60代/女性/協和)
- 一度行った人が何度も行きたくなる様な楽しい資料館にする工夫が必要だと思うがよくわかりません。考え中です。(50代/女性/中仙)
- 見学者が少ない、寂しい、衰退してしまうのでは。(60代/女性/太田)
- ターゲットにする年代による (30代/男性/大曲)
- 花火大会の歴史 (30代/男性/中仙)
- マンガやゲームなど花火をテーマにしたものとのコラボ (30代/男性/仙北)
- 道の駅で行っているような野菜等の並売などで日常的に人が入る環境を作る。または、定期的に市場やフリーマーケットなどを行い、資料館の存在を忘れさせないイベントを作る。(50代/男性/大曲)
- 花火以外の芸術、企画展の開催 (30代/男性/大曲)
- なぜこの市は花火をこんなにおし進めているのかがあまりわからない。大概の人には花火は自分の利益にならない。(50代/男性/中仙)
- 手持ち花火など子供の頃遊んだ花火の再現。なつかしいから・・・ (50代/女性/神岡)
- 花火を観光の目玉にしても先が見えない。もっと現実をかえたほうがいい。今のところ、心に残らない。(60代/男性/中仙)
- 音の出ない花火(夜うるさい) (60代/男性/西仙北)
- 花火関連に限らず、大仙市のお土産コーナー (50代/男性/協和)
- 気分転換のため (60代/女性、30代/女性)

◆調査結果まとめ及び今後の方針

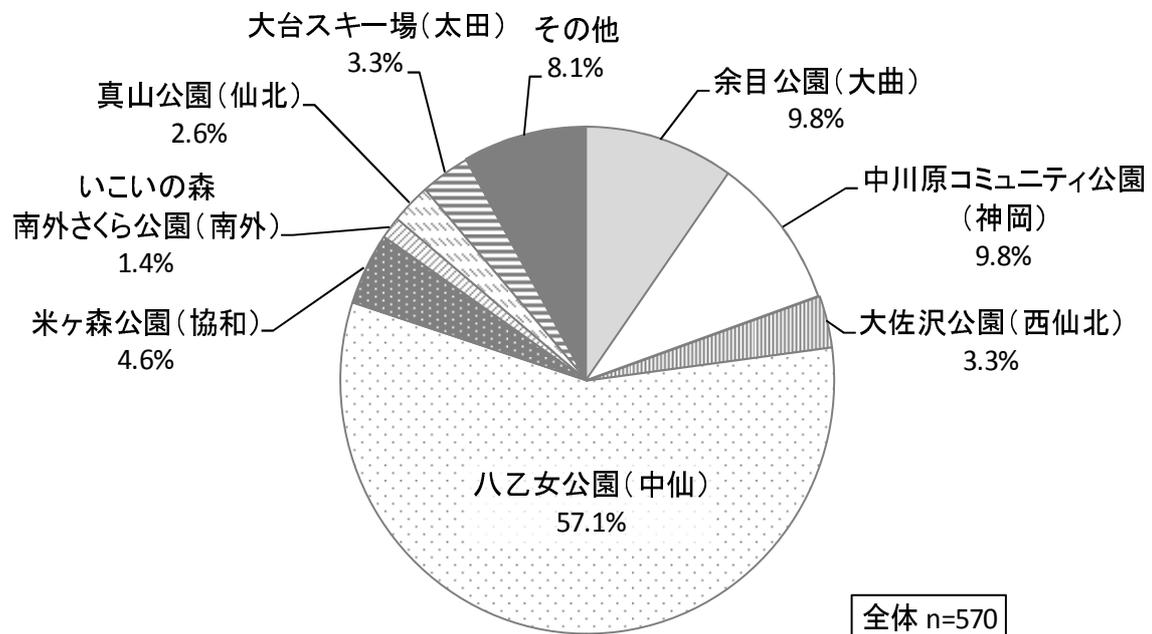
- 問1で花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」を知っていたと回答した方は76.4%となっており、あらゆる年代に周知されたとは言えないが、全体の認知度としては、それほど低いわけでもない。しかし、問2で3・4階の花火資料館エリアを見学するために「はなび・アム」に行ったことがあると回答した方は29.8%に留まっており、「はなび・アム」を知ってはいるものの、来館していない方が多くいる結果となっている。今後は、問3の来館時に印象に残ったところや問6の行ってみたいと思うような展示等の回答を参考に、まだ来館していない方への来館してもらうきっかけづくりについて検討していく必要がある。
- 問4で「はなび・アム」のホームページやSNSを見たことがないと回答した方は53.2%となっており、半数以上の方が見たことがないと回答しているため、今後、より一層PRに力を入れていく必要があり、ホームページやSNSの他、様々な媒体を活用し、多くの方に来館いただけるよう、効果的なPRを検討・実施していく必要がある。
- 「はなび・アム」のホームページやSNSでは大仙市内の花火情報や館内の展示の紹介をしているが、問5で他にお知らせしてほしい情報を尋ねたところ、「大仙市内の花火以外のイベント情報」が63.2%、「大仙市以外の花火イベントの紹介」が48.7%となっている。今後は花火全般の情報に加え、市の観光施設のひとつとして、市内の花火以外のイベント等についても情報発信することが必要である。
- 問2の結果のとおり、「はなび・アム」へ来館したことがある方の回数は6割近くが1回のみとなっており、リピーターの確保も課題となっている。問6で行ってみたいと思うような展示等を伺ったところ、年代によりその内容も異なるため、若い世代には、子どもも楽しめるワークショップやイベント、シニア世代には古い資料の展示等、ターゲットを絞るなどニーズに沿った企画や展示についても検討していきたい。

- ◆ 調査目的: 中仙地域では、市を代表する桜の観光地としての確立と地域の活性化を図るため、「なかせん千本桜プロジェクト」を計画し、桜の植樹などによる桜の再生や八乙女山、県道、斉内川堤、道の駅からなる「なかせん千本桜エリア」を拠点とした観光の振興に取り組んでいる。本調査ではプロジェクトの認知度や地域の桜や桜まつりに関するご意見を伺い、今後、効果的に観光PR事業を展開していくための参考とする。

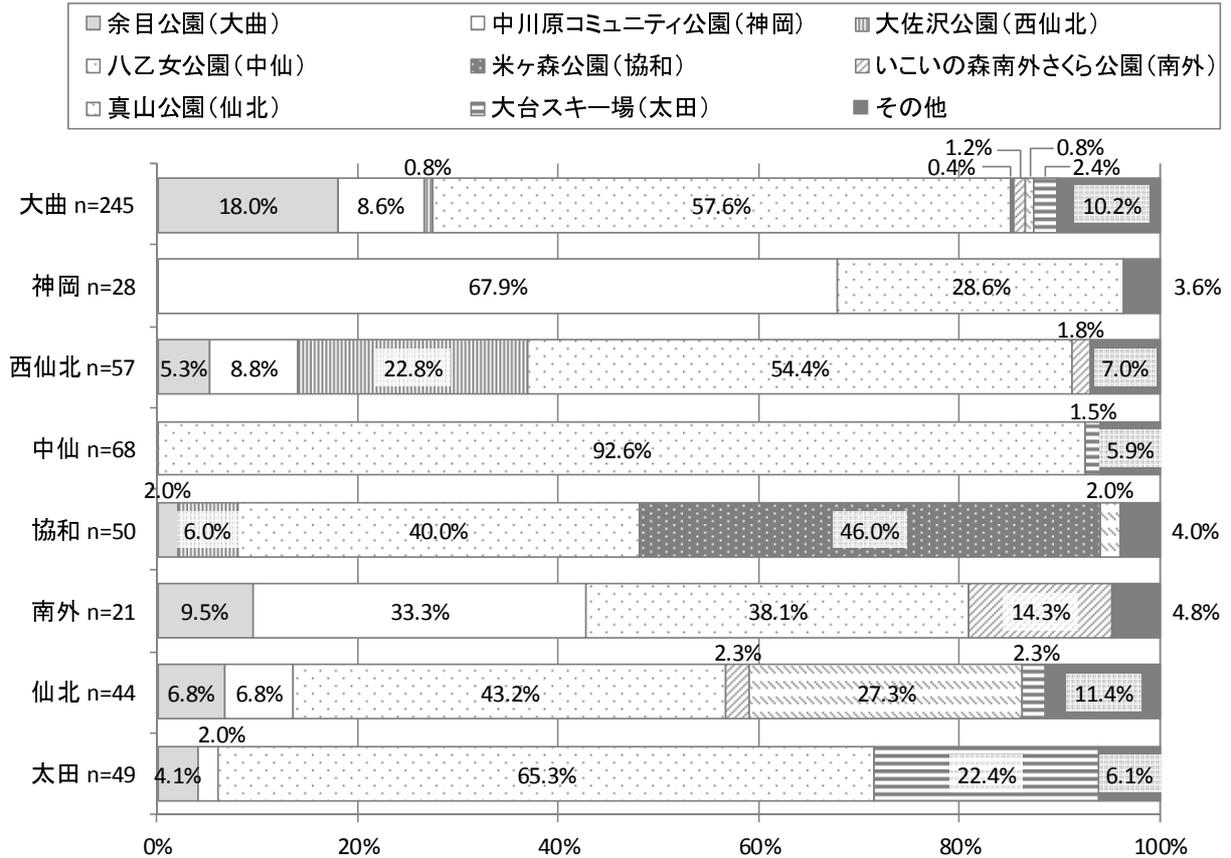
【問1】市の「桜の名所」といえばどこを思い浮かべますか。

- 全体では、「八乙女公園」と回答した方が57.1%で最も多くなっており、6割近くを占めている。
- 地域別で見ると、神岡、協和地域以外の全ての地域で「八乙女公園」が最も多くなっている。神岡、協和地域については、自地域の名所が最も多くなっているが、次いで多いのはどちらも「八乙女公園」となっている。

【全体】



【地域別】



■その他の回答

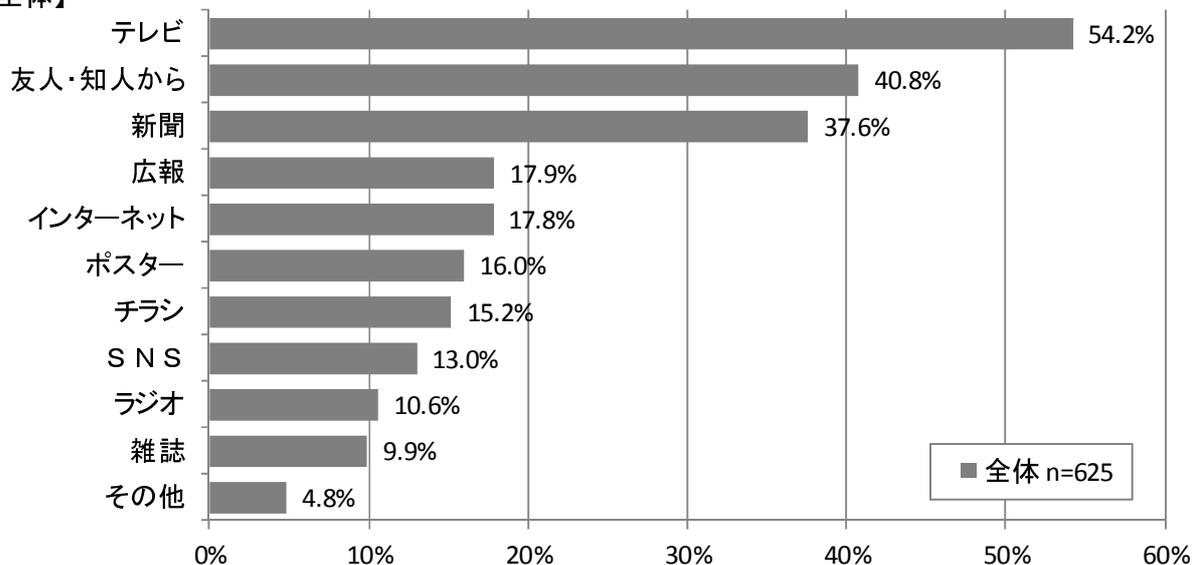
- 道の駅なかせんの土手 齊内川 (30代/女性/太田、40代/男性/中仙、50代/女性/中仙)
- あげぼの町河川敷 (30代/男性/大曲)
- 太田南小学校 (60代/女性/太田)
- 松山公園 (60代/女性/大曲、70代/男性/大曲)
- 大仙市役所周辺 (20代/男性/大曲、30代/女性/大曲、30代/女性/仙北、40代/男性/大曲、50代/女性/大曲、60代/女性/大曲 2名)
- 姫神公園 (20代/男性/大曲)
- 桂公園 (60代/女性/大曲)
- 旧峰吉川小学校の下 (30代/男性/協和)
- 畜産試験場 (50代/男性/西仙北)
- ふれあいパーク (南外) (70代/女性/南外)

【問2】桜を見に行くとき、何から情報を得て行きますか。（複数回答可）

○全体では、「テレビ」と回答した方が54.2%で最も多く、次いで「友人・知人から」が40.8%、「新聞」が37.6%となっている。

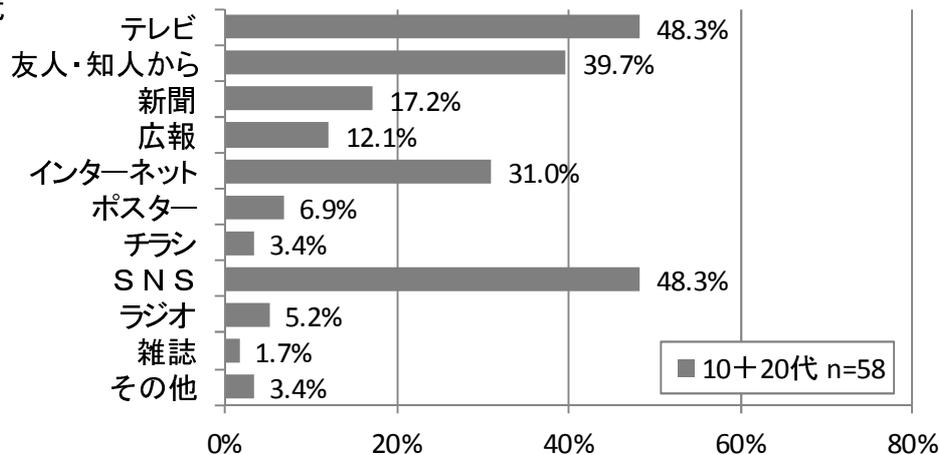
○年代別で見ると、80代以外は「テレビ」と回答した方が最も多く、10代と20代を合わせた年代では「SNS」、30代では「友人・知人から」も同じく最も多くなっている。80代については「友人・知人から」が最も多くなっている。また、「新聞」、「広報」、「チラシ」、「ラジオ」では年代の高い方が、「インターネット」、「SNS」では年代の低い方が割合が大きくなっている。

【全体】



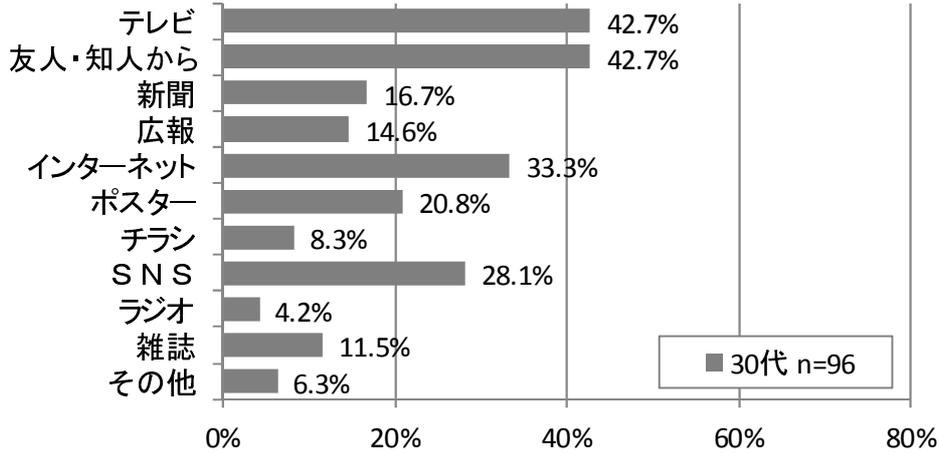
【年代別】

■ 10+20代

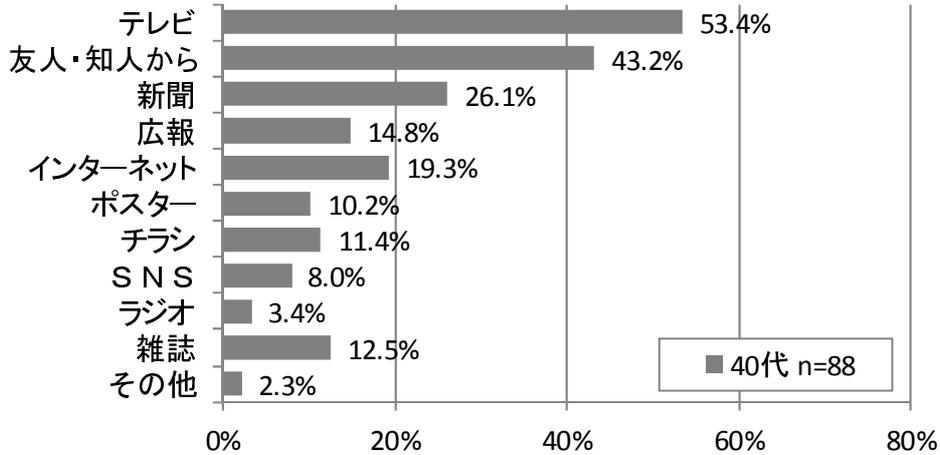


3. 1. 4 個別事業評価「なかせん千本桜プロジェクトについて」

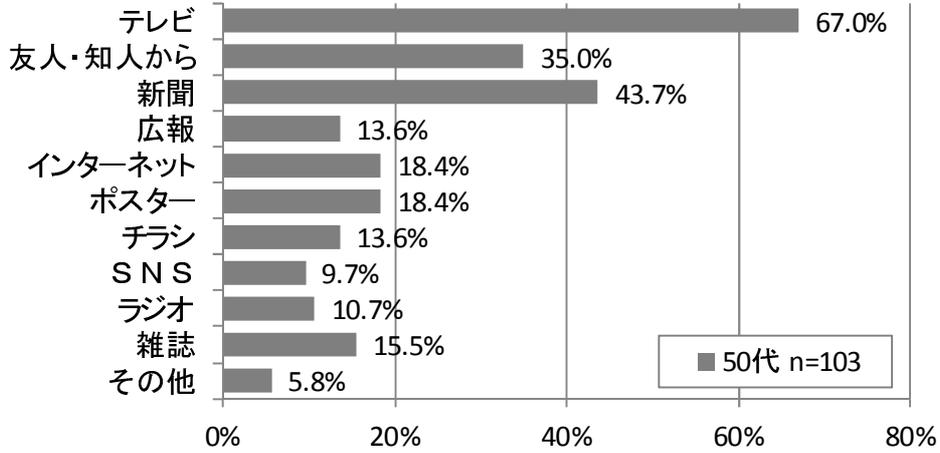
■ 30代



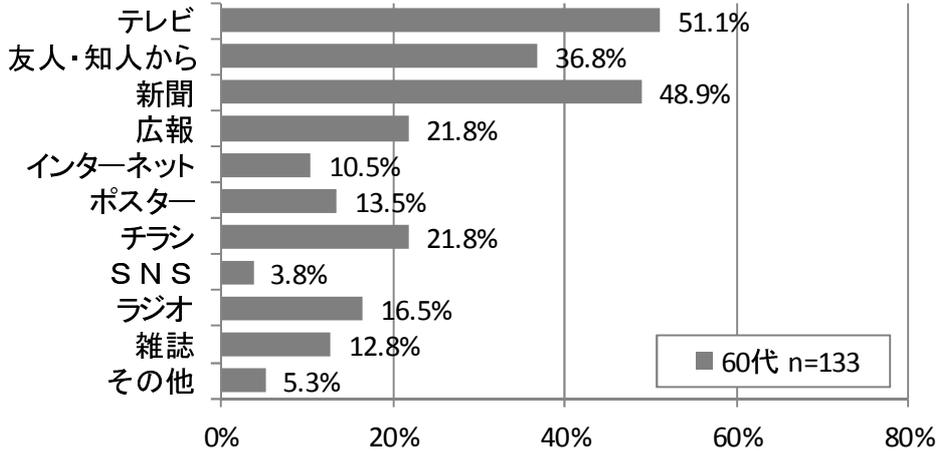
■ 40代



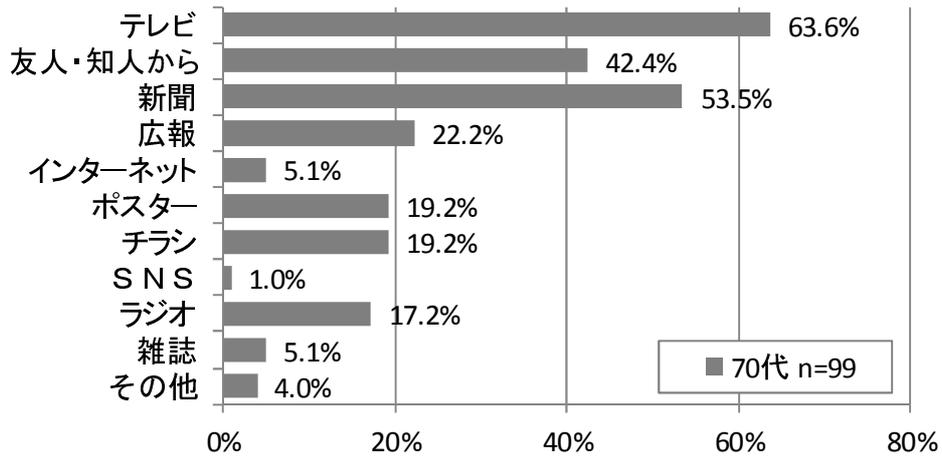
■ 50代



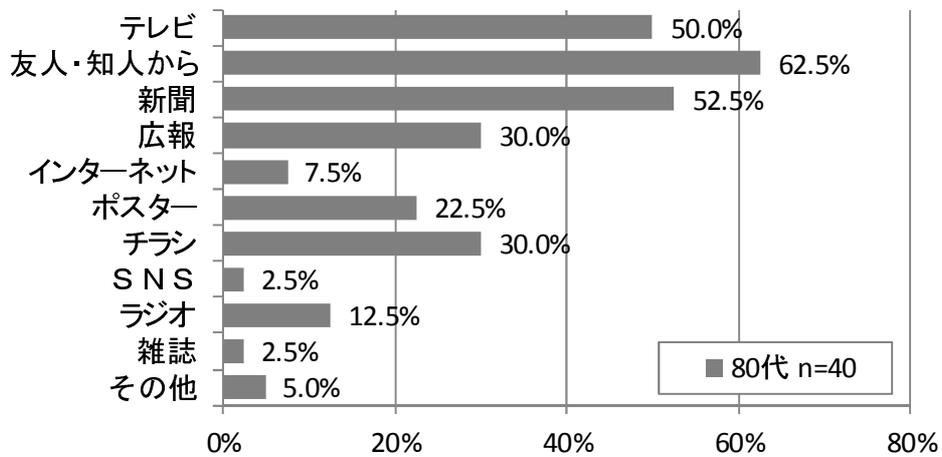
■ 60代



■ 70代



■ 80代

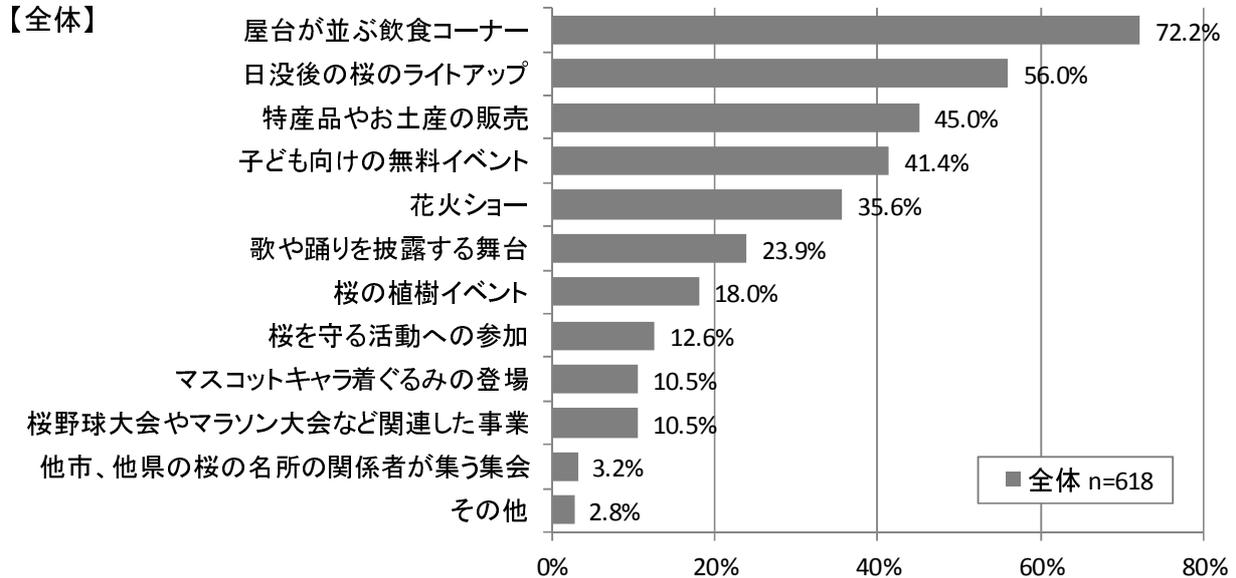


■ その他の回答

- 近所の桜の開花状況 (30代/男性/大曲、60代/男性/大曲、70代/女性/大曲)
- 自分の判断 (20代/男性/大曲、60代/男性/中仙、60代/女性/大曲、80代以上/男性/中仙)
- 通りがかりに見る (30代/男性/協和、30代/女性/大曲、40代/男性/中仙、50代/男性/大曲、50代/女性/中仙)
- 桜の時期になったなと思い出かける (60代/男性/中仙、60代/女性/中仙)
- 天気 (30代/男性/大曲)
- 地元 (30代/男性/大曲)
- その時の仕事の都合 (70代/男性/大曲)

【問3】桜まつりにより多くの方から訪れていただくためには、どのようなイベントなどが必要だと思いますか。（複数回答可）

○全体では、「屋台が並ぶ飲食コーナー」が72.2%で最も多く、次いで「日没後の桜のライトアップ」が56.0%、「特産品やお土産の販売」が45.0%となっている。



■ その他の回答

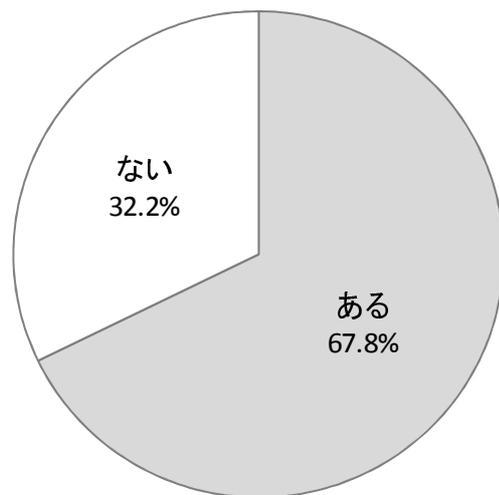
- 無料の駐車場（50代／男性／大曲）
- 駐車スペースや道幅拡大するなど（50代／女性／大曲）
- 角館=桜のイメージをまず超えないといけない。（20代／女性／大曲）
- 「屋台が並ぶ飲食コーナー」については多くは必要ないと思います（60代／男性／仙北）
- 桜の花のみで良いのではないかと（60代／男性／大曲）
- 11項目はどこでもやっています。私も思いつかないが何かあると思う。（70代／女性／大曲）
- 角館とのコラボ（30代／男性／中仙）
- ゲストをよんでトークショー（参加者ありで）ゲストと市民と一緒に何かをする（40代／女性／大曲）
- いわゆる「映える」特別な景観（30代／女性／大曲）
- 八乙女の下の道路の並木がとてもきれいです。ベンチか駐車スペースがあればいいです。（60代／女性／中仙）
- トイレの整備（60代／男性／神岡）
- サブカルチャーなど若い人がくる物、他県から人を呼べないとだめ（30代／男性／大曲）
- 楽しんで桜を観ながら歩ける散歩コースを作る（50代／男性／大曲）
- 桜とパンジーやネモフィラ、菜の花など、より一層楽しめること。規模の拡大と上から桜や他の花を見るのもステキだと思う。（50代／女性／神岡）
- 桜の期間はせいぜい一週間。桜が売りなのではなく、花火が売りなのではなく人は人によって感動を味わうのでは。（60代／男性／中仙）
- 飲食以外の屋台コーナー（40代／女性／大曲）

【問4】花見を目的に「八乙女公園」を訪れたことはありますか。

○全体では、「ある」と回答した方が67.8%となっており、7割近くが八乙女公園を訪れたことがあると回答している。

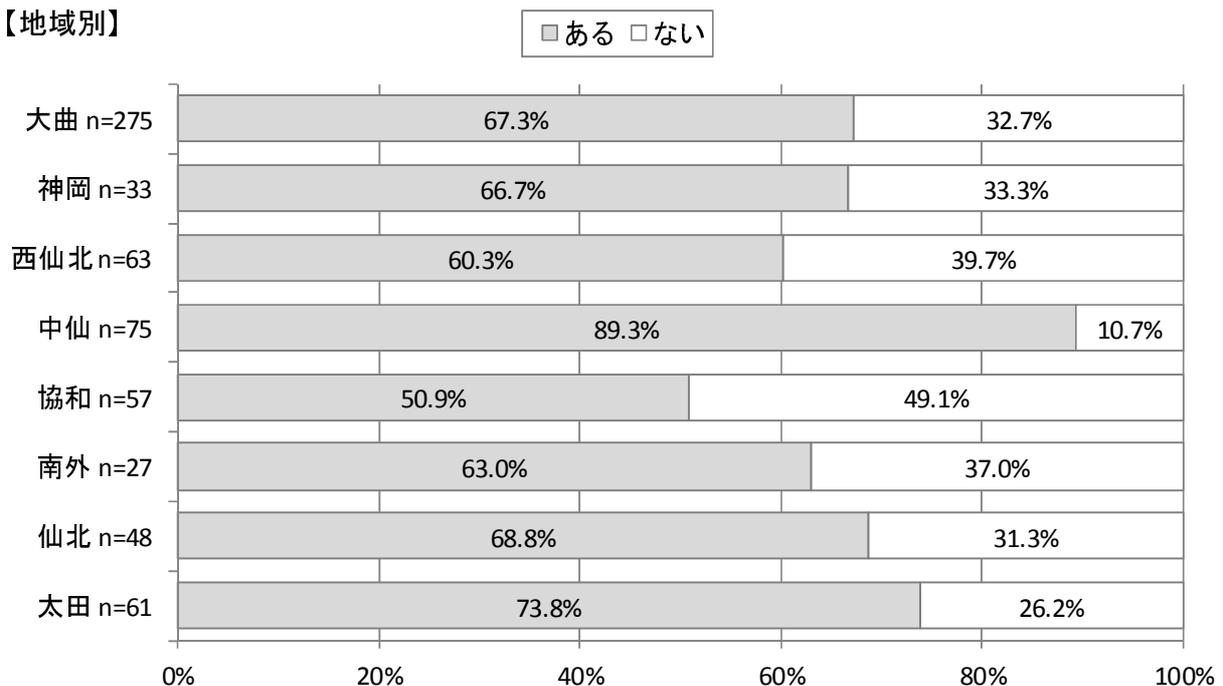
○地域別で見ると、全ての地域で「ある」と回答した方が多くなっており、最も割合が小さい50.9%の協和地域以外は全て6割以上を占めている。最も割合が大きい地域は89.3%で中仙地域となっている。

【全体】



全体 n=649

【地域別】

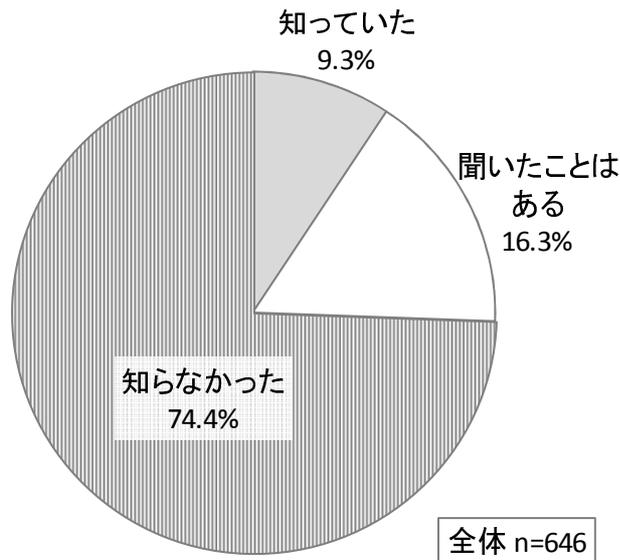


【問5】「なかせん千本桜プロジェクト」を知っていましたか。

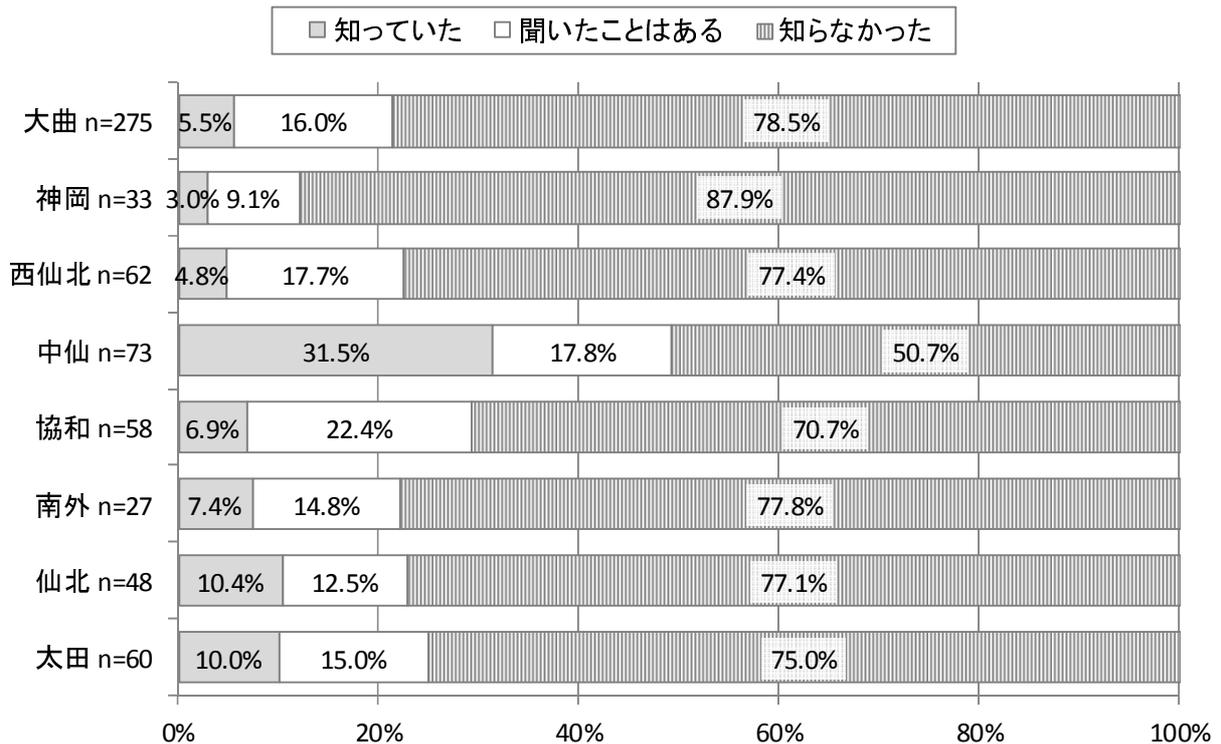
○全体では、「知らなかった」と回答した方が74.4%で最も多く、「知っていた」と回答した方は9.3%となっており、1割を下回っている。

○地域別で見ると、全ての地域で「知らなかった」と回答した方が最も多くなっており、中仙地域以外は7割以上を占めている。中仙地域でも50.7%となっており、約半数が「知らなかった」と回答している。一方、「知っていた」と回答した方の割合が最も大きいのは中仙地域の31.5%となっているが、認知度は低く、中仙地域以外では、多い地域でも1割程度となっている。

【全体】



【地域別】



【問6】地域の桜や桜まつりについて、ご自由にご意見をお書きください。（自由記述形式）

※主要な回答を抜粋しています

□イベント関係について

- ・ 出店をいっぱい出してほしい。老若男女が楽しめるイベントがあればいいと思う。（20代／女性／神岡）
- ・ 桜の苗木をプレゼントしてもらえたらうれしい。（40代／男性／中仙）
- ・ スタンプラリーとか観光バス等道路事情に応じてできればどうかと思います。すでにあるのであれば特段なし。（50代／男性／大曲）
- ・ 桜巡り、スタンプラリー、おいしい食事、温泉も一緒に発信してほしい。（50代／女性／大曲）
- ・ 角館に追いつくのは至難だと思うので、桜の木の本数等の規模ではなく、その他イベント等で観光客を取り込めるようにできればよいのでは。（30代／男性／大曲）
- ・ 桜の名所でイベントを行い、FMはなびで中継する。（50代／男性／大曲）
- ・ 問3の「歌や踊りを披露する舞台」に関しては、地元の学生や団体を読んで演奏してもらえれば、保護者や同級生を通じてより多くの人にきてもらえると思います。（10代／女性／大曲）
- ・ 動機が大切だと思います。プロジェクトの八乙女公園でいうと齊内川土手、八乙女公園そばの道路といったまとまりで考えた中で、モデルルートを指示して巡っていただくという方法を早期に確立してほしいです。（50代／女性／中仙）
- ・ イベントの日にちが少ない。（50代／男性／太田）
- ・ 日立海辺公園や足利フラワーパークなど規模の大きさと多彩な事、花好きな人が行きたいくなるようにすること。（50代／女性／神岡）
- ・ 夜のライトアップの桜並木はとてもきれいでした。歩く道が暗く、上のライトと交互にでも下に明かりがあればいいと思いました。（40代／女性／西仙北）
- ・ 子供を連れて行ったとき、遊具が使えなかったり、売店が少なかったりと長時間居ることができなかつたのが残念だった。桜を観る目的ではあるが、駐車場の整備などもしてもらいたい。（40代／女性／太田）
- ・ 以前、八乙女公園に桜を観に出かけましたが、ただ桜を観て帰ってきただけ。のどが渇いた、一休みと思っても、飲食物の販売も休憩所もなく。あれでは活気もなければ地域にお金を落とそうとしてもできません。正直、これがまつり？と思いました。桜はきれいでしたが、もう一度行く気にはなれません。また、近くの道の駅なかせんもお粗末。（50代／女性／西仙北）
- ・ 学生は日中行かないので、夜のライトアップや屋台等充実させたらいいと思う。（10代／女性／太田）
- ・ 子供向けのイベントがあればいいと思う。（20代／女性／中仙）

□PR等について

- ・ 秋田の桜は他県と比べてもきれいな所がいっぱいある所なのでもっとアピールすべきです。（60代／男性／大曲）
- ・ あまり知られていない桜の名所を掘り起こして紹介してほしい。（70代／女性／協和）
- ・ 4K動画をYouTubeへアップロード。（60代／男性／大曲）
- ・ 市の広報で”桜が咲く前の3月の広報”で名所について紹介する。木の種類が記載されているとよい。（20代／男性／大曲）
- ・ 桜には何種類あるのか、大仙市に合う桜の紹介等。（80代以上／女性／西仙北）

- ・ 中仙地域以外の地域でも広く知ってもらうために駅や公民館へのポスター掲示や新聞、テレビ、ラジオなどの紹介も広げてほしいです。(20代/男性/西仙北)
- ・ 各地の桜まつりを記載したポスターを作製する。(40代/男性/中仙)
- ・ SNSなどでもっとアピールしてほしい(50代/男性/中仙)
- ・ 今年はコロナウイルスで残念でしたが、道の駅裏桜並木土手側はとても素敵です。シートを敷いて、家族でくつろいでいる方々が見られます。もっと、人々にアピールしたら、道の駅利用しながら、接客サービスをしてほしい。新幹線こまちと桜とのシャッターチャンスは、本当に季節1回なのです。(60代/女性/中仙)
- ・ 公園等の桜や桜まつりも素敵ですが、統合により廃校になってしまった中学校跡の桜もいいなと思います。特集を組んで広報に載せてみてはいかがでしょうか。(60代/女性/協和)
- ・ 桜の名所と言われていない場所でも桜の花見ができる場所が沢山あります。種類によって咲く期間の違うものもあります。「どこそこの桜がきれい」「〇〇の場所では、〇〇の桜が見られます」等の情報が、何らかの方法で伝わると良いと思います。(70代/女性/大曲)
- ・ 桜のある公園がいっぱいあるので、積極的なPR、情報交換もしてほしいと思います。同時スタートでイベントスタートしても良いと思う。(20代/男性/大曲)
- ・ 市内を通っていると桜のきれいなスポットが沢山ある。市内外のスポットの紹介をしても面白いと思う。そして、スポット周辺の見どころの施設や店を紹介しても町おこしになるのでは？フリーペーパーを作っても良いと思う。(30代/女性/大曲)
- ・ Twitterを活用した情報発信でリアルタイムの情報を発信。リツイートした人に抽選でプレゼント(桜グッズ)などをしてみたらどうなのか。子供づれでTwitter画面を見せるとプレゼント等。(30代/男性/太田)
- ・ 市内や市外の名所を網羅したマップを作って、「道の駅」などで配布してほしい。(70代/男性/大曲)
- ・ 桜の開花情報、ライトアップなど桜の名所をPRしてほしいです。(50代/男性/大曲)

□会場、周辺環境について

- ・ 大きな公園があれば雰囲気が出るのになと思ってました。(30代/女性/大曲)
- ・ 入場規制や駐車スペースの確保(またはある程度の取り締まり)が必要だと思う。(30代/男性/西仙北)
- ・ 八乙女公園は山道で車同士がすれ違いに大変苦労し、渋滞になっていた。客同士険悪な様子があり回りで見ていると不愉快だった。(50代/女性/大曲)
- ・ 昔から駐車場、道路など整備がなっていないと思う。スズメバチなどの害虫が多く危険だと思う。道路を一方通行にして、ライトアップするとういと思う。(40代/男性/中仙)
- ・ 広々とした駐車場があまりないので年配の足腰が弱い人でも楽しめるように近くに車を止めてゆっくりと桜を見学させてあげたいとおもいます。(60代/女性/大曲)
- ・ ゴミ箱の設置、回収は徹底すべき。雑草の除草等整備はこまめに実施してほしい。(30代/女性/大曲)
- ・ バス、電車のアクセスを良くしていただきたい。お酒を飲んだ後は、バス、電車を利用したい。(40代/女性/神岡)
- ・ 遊歩道の整備。(20代/女性/太田)
- ・ 道路から見える場所にある桜に満足し、駐車場が混んでいてとめられないなどがあるかと思うと会場への足が遠のいてしまう。(40代/女性/大曲)
- ・ 県道256号から長野大橋にかけての桜並木は大変に美しく、特に車で通る際には、桜のトンネルを潜り抜けるような感覚で、毎年感激している。しかし、桜まつりのころに木にぶら下げている提灯はダサいのでやめてほしい。せっかくの景観が台無し。(40代/女性/西仙北)

- ・ 駐車場の有無が集客にとって大切かと思います。(40代/男性/大曲)
- ・ 秋田はどこに行くにも車を使用するので、無料の駐車場を作ってほしい。(30代/女性/中仙)

□桜の管理等について

- ・ 地域に桜が10本くらい咲く場所があるか。今年は特別にきれいだ。これからは管理をしっかりとやってもらいたい。(60代/男性/大曲)
- ・ 老木の後の後継者ではないけれども、若い木を植樹して桜を絶やさないでほしい。(60代/女性/大曲)
- ・ 祭りには、ステージ、屋台、温泉、スポーツ大会等イベントも必須だと思うが、桜そのものがよくないと。桜の植樹、育成、手入れ等手間が大変であるだろうけどその積み重ねが大事だと思う。釈迦に説法だと思うが、この「なかせん千本桜プロジェクト」を応援したい。何ができるだろうか。(70代/女性/仙北)
- ・ 手入れの行き届いていない老木が目立ち、花にボリュームがない。(60代/男性/協和)
- ・ 豊成中が合併等によりグラウンドの未使用部分に桜の木を植えている。植えるのはいいことだが、その後のメンテナンス(消毒等)を充実させていくシステムや確約が必要。(30代/男性/大曲)
- ・ 市内の7~8か所の桜の維持管理に専用のスタッフを配置し、末永く育成するようにしてほしいです。(70代/男性/協和)
- ・ 桜の木の里親制度は実施しているものですか?八乙女山の復活を強く応援しています。(60代/男性/大曲)
- ・ 屋台が少なかったり、桜の木も元気がなくなっているように見え、少し寂しく感じています。たくさんの方が桜を楽しめるように、再生活動に力を入れてほしいと思います。(30代/女性/大曲)
- ・ ボランティアで参加し、協力したい。(70代/男性/中仙)

□その他

- ・ 旧市町村でのイベントをすべて継続していくのは無理があるのでは。あまり職員の動員がないようにし、地域に任せるような所も必要なのでは?難しいですね。(60代/男性/仙北)
- ・ 一年間のうちの一週間だけしか出来ないことに、税金を使う必要なし。天候や時期にずれがあり、難しいと思います。(50代/男性/大曲)
- ・ 八乙女公園に行く位だったら、もう少し足を伸ばして角館方面まで行ってしまわないのでしょうか。(50代/女性/大曲)
- ・ 特に祭りを開催しなくてもよい。静かな桜が見たい。(30代/女性/太田)
- ・ 無駄なことはやめましょう。中仙の桜まつりを取り上げるより、隣の角館をサポートしたほうがプラスになるのでは。(30代/男性/中仙)
- ・ 花火会場でもある河川敷にもきれいな桜がたくさんあります。活用すればいいのに、といつも思います。桜は角館というイメージが強いので。(40代/女性/大曲)
- ・ 私が住んでいる太田地域で毎年行われている”黄桜まつり”は小さい規模ながらも、町外の方でも楽しみにしている方がいるので、とても誇らしいです。今後も続けていってほしいです。(30代/女性/太田)
- ・ 「なかせん千本桜プロジェクト」が成功して市外県外にも認知され市を代表する観光地となってもほしい(60代/女性/大曲)

- ・ お隣の角館の桜まつりは有名な通りにきれいで活気づいています。（今年はコロナで残念）でも、名の通っていない所にも普通にきれいに桜が咲き見とれてしまう景色もあります。桜は春の訪れを感じる花で、秋田を含めた北国では待ち遠しい季節なのですが、手をかけて下さっている人がいるからきれいに咲いていることも忘れてはいけませんね。せめて見て歩く人たちはゴミを捨てたりせず、マナーも忘れないように1人ひとりが気を付けなければと思います。（50代/女性/中仙）
- ・ 仕事柄中仙に行くことが多く、春になると中仙はこんなに桜が多い所なんだと知りました。イメージとしては、角館が強かったが、これを機に色々な所へ行ってみようと思いました。（40代/女性/西仙北）
- ・ 仙北郡内では、桜といえば角館ということが全国的に知れている。大仙市で桜まつりで観光PRでは、太田の黄桜か開花時期をずらして咲く八重桜など考えたらどうか。（60代/男性/中仙）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1の市の「桜の名所」といえばどこを思い浮かべるかについては、「八乙女公園」が57.1%で最も多く、問4の八乙女公園を訪れたことがあるかについては、67.8%の方が「ある」と回答しており、八乙女公園が市を代表する桜の名所として市全体に浸透していることが伺える。
- 問2の桜を見に行くとき、何から情報を得て行くかについては、多くの方が「テレビ」や「新聞」、「友人・知人」から情報を得ており、年代別では10～30代は「インターネット」や「SNS」、40～80代は「新聞」や「広報」から情報を得ていることがわかる。より多くの方に八乙女公園をはじめとする「なかせん千本桜エリア」の桜を楽しんでいただくため、様々な媒体を活用して、年代に合わせた効果的なPRを行っていく必要がある。
- 問3の桜まつりに期待するイベントについては、屋台コーナー、桜のライトアップ、特産品やお土産の販売などが高い回答率となっていることから、八乙女公園と道の駅なかせんを中心に開催する桜まつりの事業内容に反映し、より多くの方から訪れてもらえる内容を企画し、市民と地域の元気創出を図っていく必要がある。
- 「なかせん千本桜プロジェクト」については、「知らなかった」と回答した方が全体で74.4%となっており、中仙地域でも50.7%と高い割合となっている。今後、桜まつりとあわせて広く周知するとともに、八乙女公園を地域の魅力ある自然資源、観光資源として発信していくことにより、八乙女公園が市を代表する観桜名所として確立するよう推進していく必要がある。

3.2 制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価

制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価については、テーマごとの調査票で調査を実施した。調査対象、回収率、回答者の属性については、各テーマの調査結果に記載する。

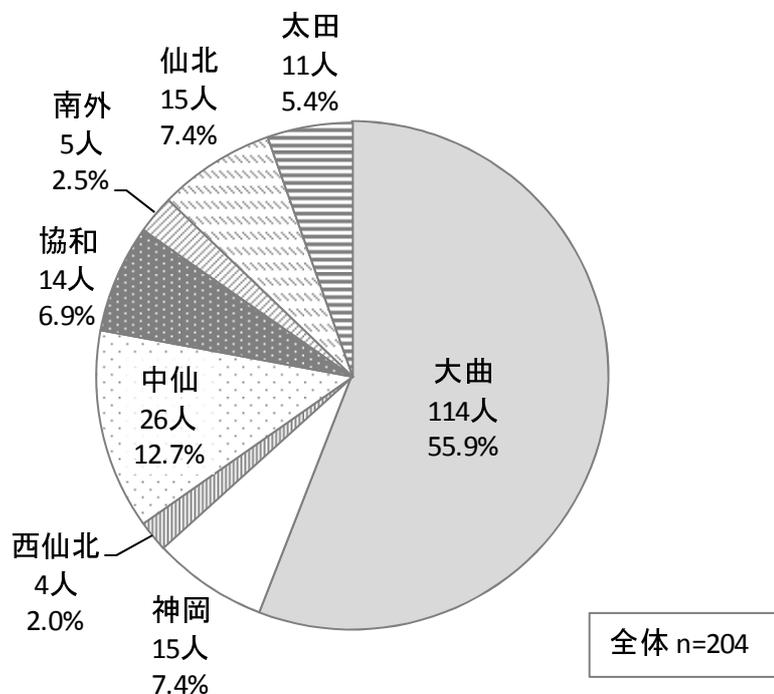
3.2.1 地域子育て支援拠点事業について

(健康福祉部子ども支援課)

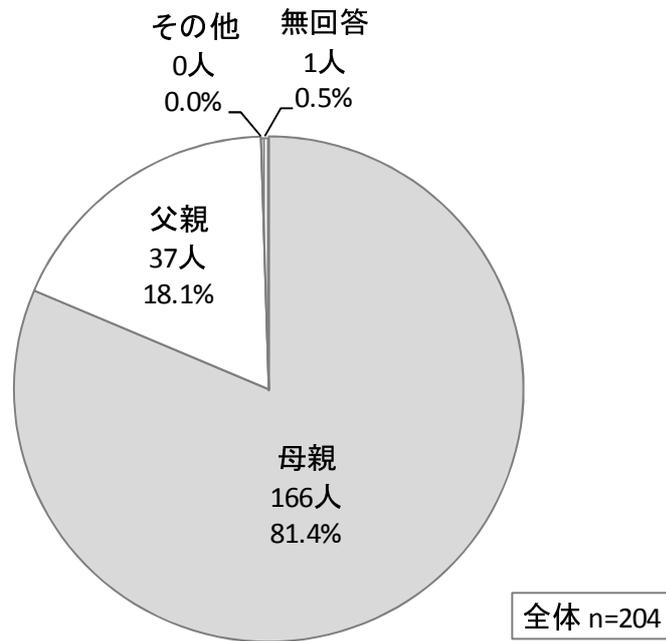
- ◆ 調査目的：市では、子育て家族を地域で支える取り組みとして、子育て中の親子の交流や育児相談、子育てに関する講習等を実施する「子育て支援拠点施設」を開設している。本調査では、子育て世代の方に、子育て支援拠点施設の利用状況や子育てに関するご意見を伺い、今後の施設運営や子育て支援事業を推進していくための参考とする。
- ◆ 調査対象：「子育て支援拠点施設」の対象となる、小学校3年生までのお子さんの中から無作為に300人を抽出し、その保護者の方300人。
- ◆ 回収数：204人
- ◆ 回収率：68.0%

回答者の属性

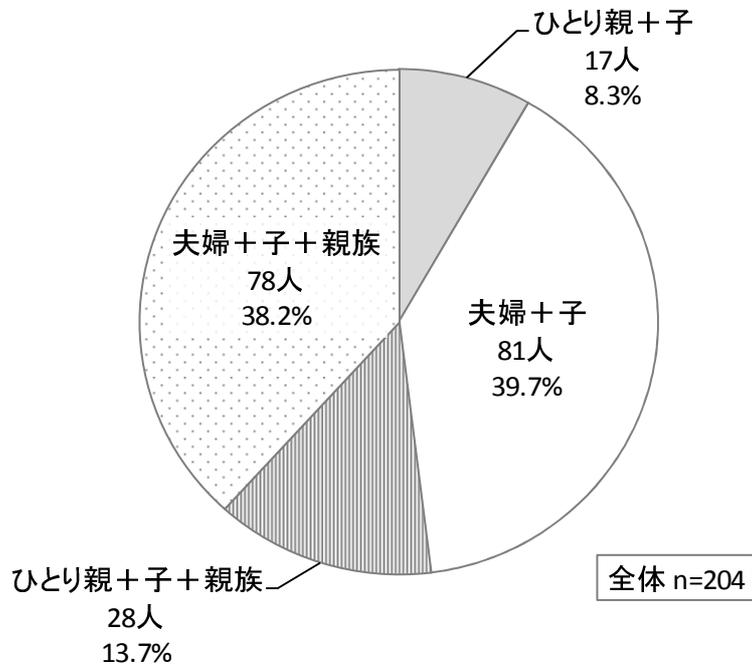
【地域】



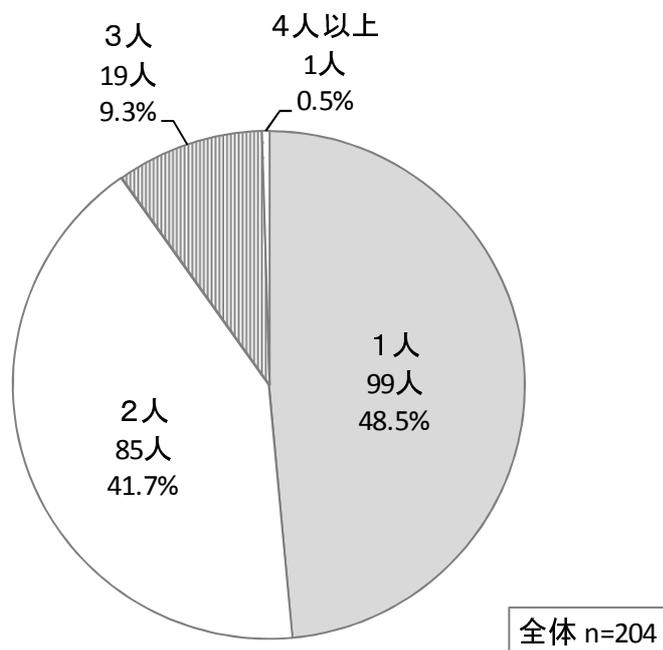
【保護者】



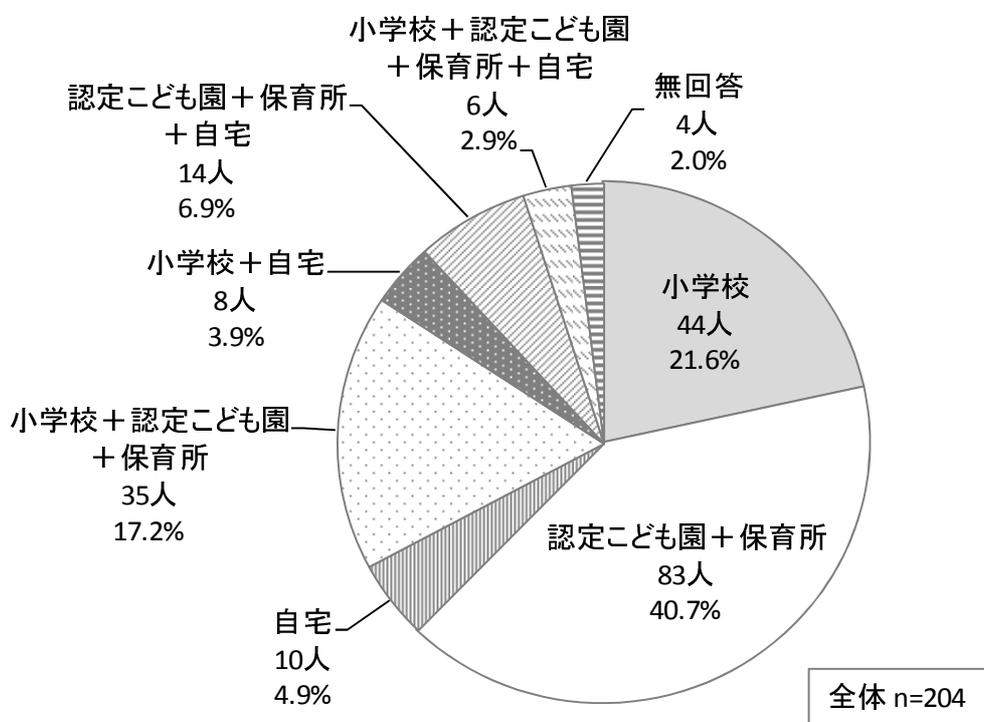
【家族構成】



【小学生3年生以下の子供の人数】

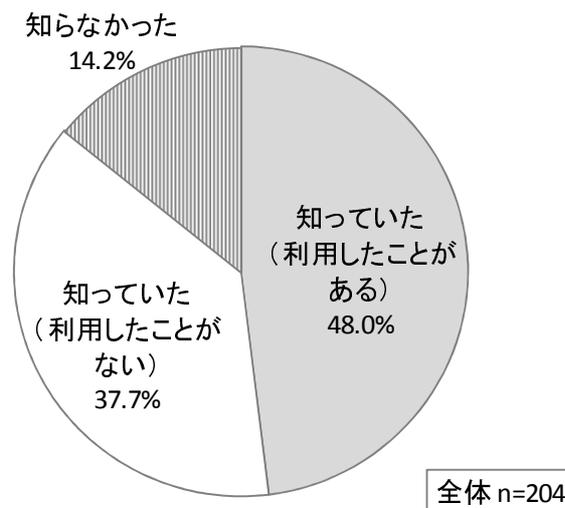


【普段日中、お子さんが過ごしている場所】

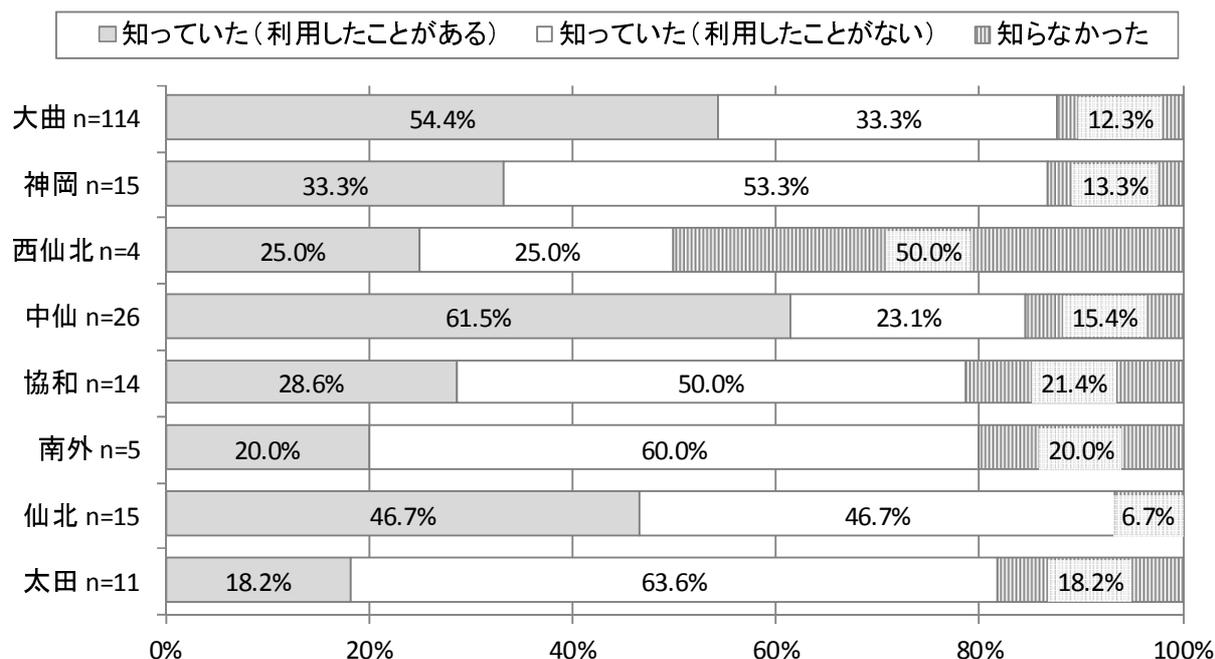


【問1】市の「子育て支援拠点施設」を知っていましたか。

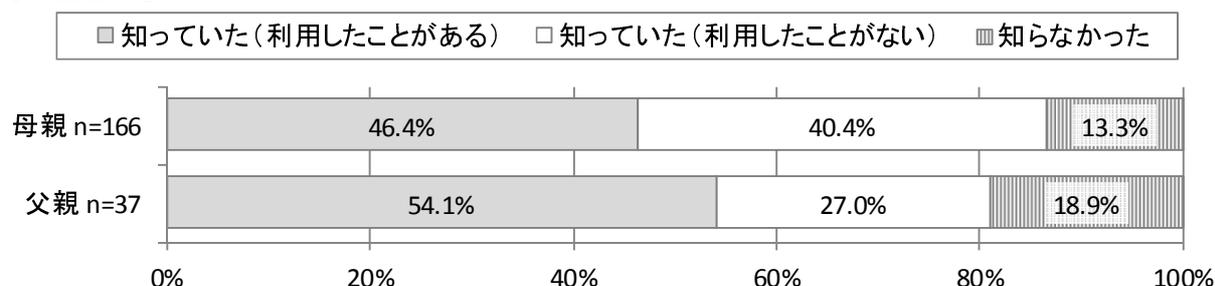
- 全体では、「知っていた（利用したことがある）」または「知っていた（利用したことがない）」と回答した方の割合を合わせると85.7%で、8割以上が「知っていた」と回答している。「知っていた（利用したことがある）」と回答した方は48.0%で、約半数が実際に利用したことがあると回答している。
- 地域別で見ると、西仙北地域以外では約8割またはそれ以上の方が「知っていた」と回答している。西仙北地域は回答数が少ないが、半数の方が「知らなかった」と回答している。また、「知っていた（使用したことがない）」と回答した方の割合は、施設所在地である大曲、西仙北、中仙地域では2～3割となっているが、それ以外の地域では4～6割と大きくなっている。
- 保護者別で見ると、「知っていた」と回答した方の割合は、母親の方が大きくなっており、「知っていた（利用したことがある）」と回答した方の割合は、父親の方が大きくなっている。

【全体】


【地域別】



【保護者別】



【問2-1】 どの施設を利用しましたか。

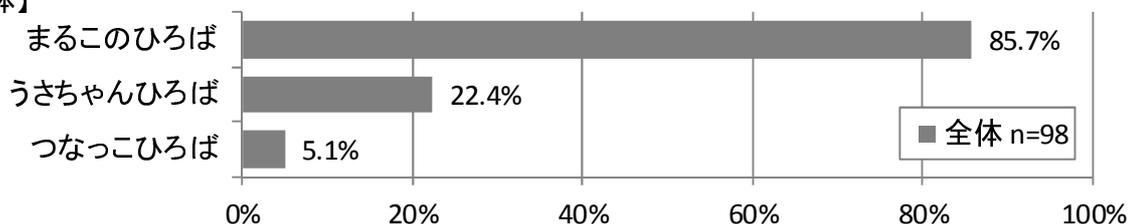
(問1で「1. 知っていた(利用したことがある)」と回答した方)

○全体では、「まるこのひろば」と回答した方が85.7%で突出して最も多く、次いで「うさちゃんひろば」が22.4%、「つなっこひろば」が5.1%となっている。

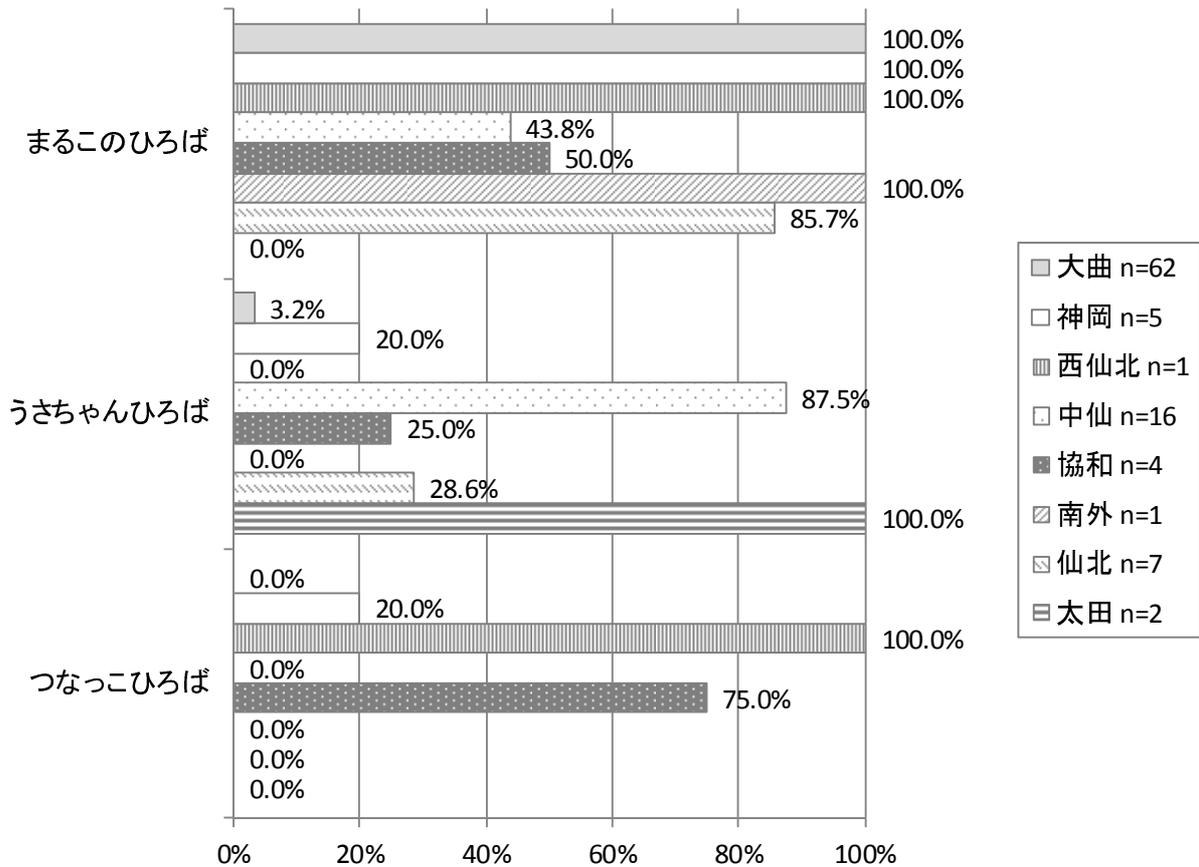
○地域別で見ると、「まるこのひろば」は4地域で100.0%、仙北地域で85.7%と利用率が大きくなっている。また、「うさちゃんひろば」は中仙、太田地域などの東部地域、「つなっこひろば」は西仙北、協和地域などの西部地域の割合が大きくなっている。

○保護者別で見ると、「まるこのひろば」と回答した方は父親の方の割合が大きくなっており、「うさちゃんひろば」と回答した方は母親の方の割合が大きくなっている。「つなっこひろば」と回答した方はほぼ同じ割合となっている。

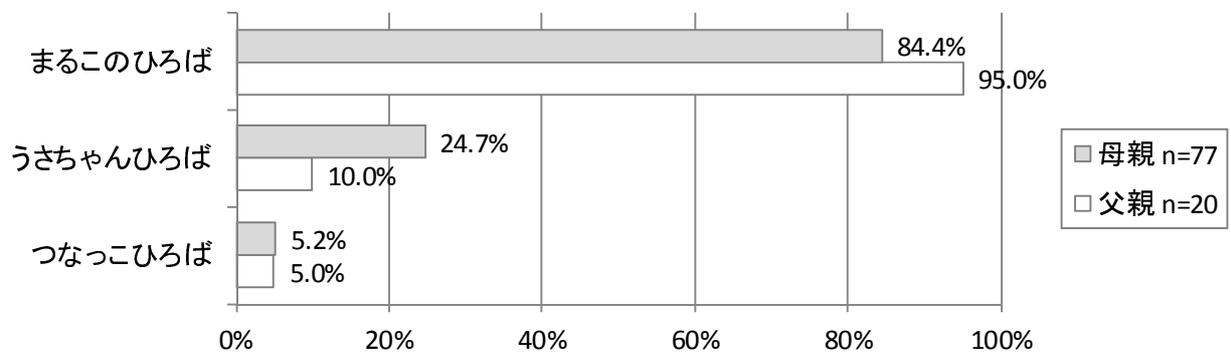
【全体】



【地域別】



【保護者別】



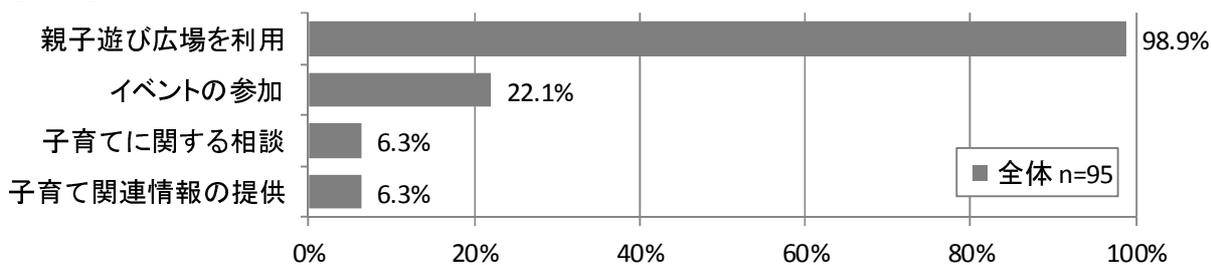
【問 2-2】どのようなサービスを利用しましたか。

(問 1 で「1. 知っていた (利用したことがある)」と回答した方)

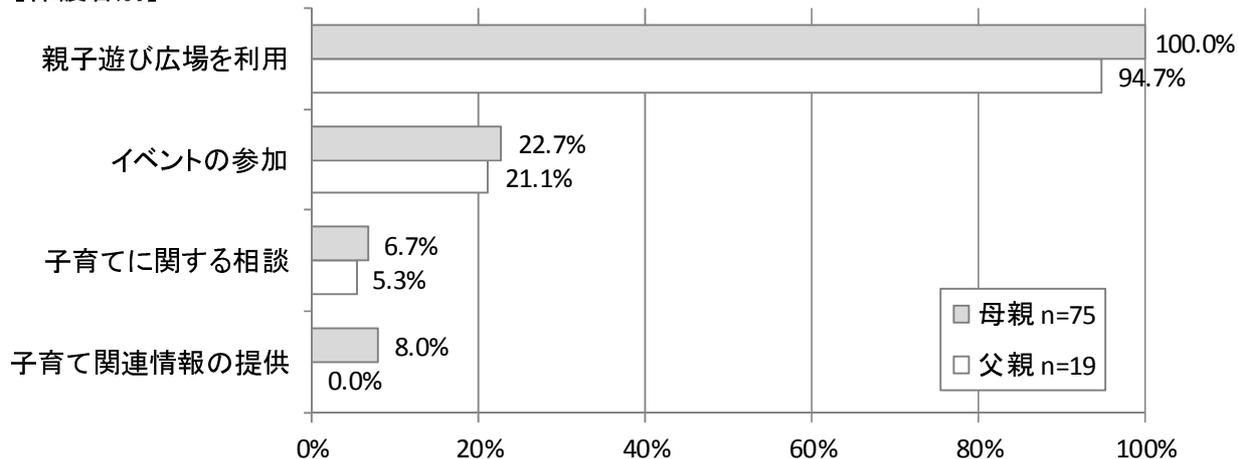
○全体では、「親子遊び広場を利用」と回答した方が 98.9%で突出して最も多く、次いで「イベントの参加」が 22.1%、「子育てに関する相談」と「子育て関連情報の提供」がどちらも 6.3%となっている。

○保護者別で見ると、どちらも同様の傾向となっているが、母親の「親子遊び広場を利用」は 100.0%となっており、父親の「子育て関連情報の提供」は 0.0%となっている。

【全体】



【保護者別】



【問2-3】また利用したいと思いますか。

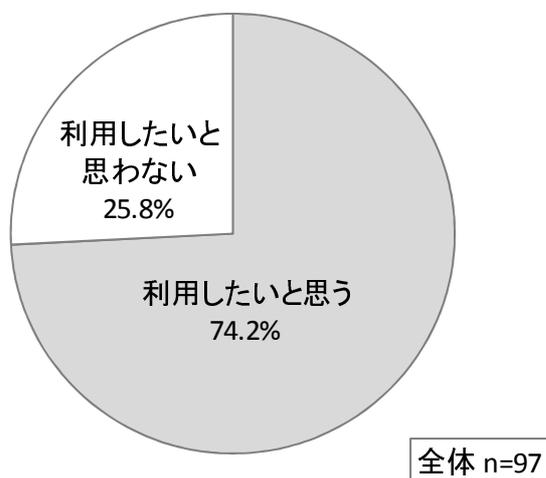
(問1で「1. 知っていた(利用したことがある)」と回答した方)

○全体では、「利用したいと思う」と回答した方が74.2%となっており、7割以上を占めている。

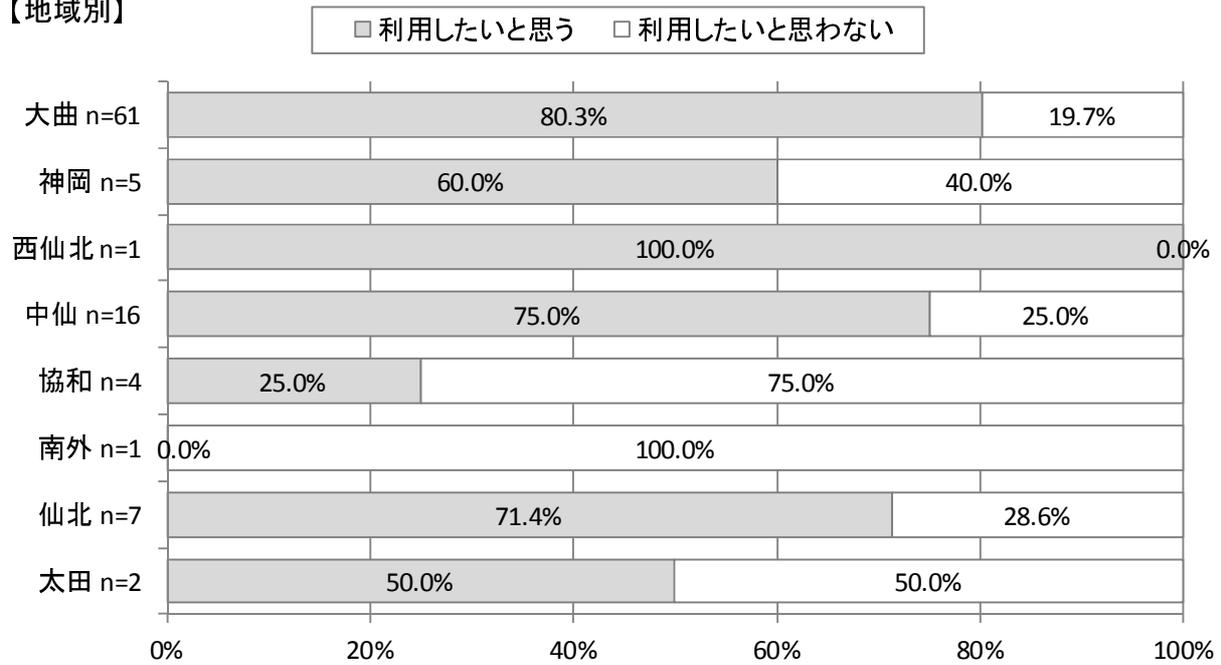
○地域別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は大曲、西仙北、中仙、仙北地域で7割以上となっており、子育て支援拠点施設の所在地域や近隣地域で割合が大きくなっている。協和、南外地域では「利用したいと思わない」と回答した方の割合が他の地域よりも大きく、7割以上となっている。

○保護者別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、母親では67.5%であるのに対し、父親では100.0%となっている。

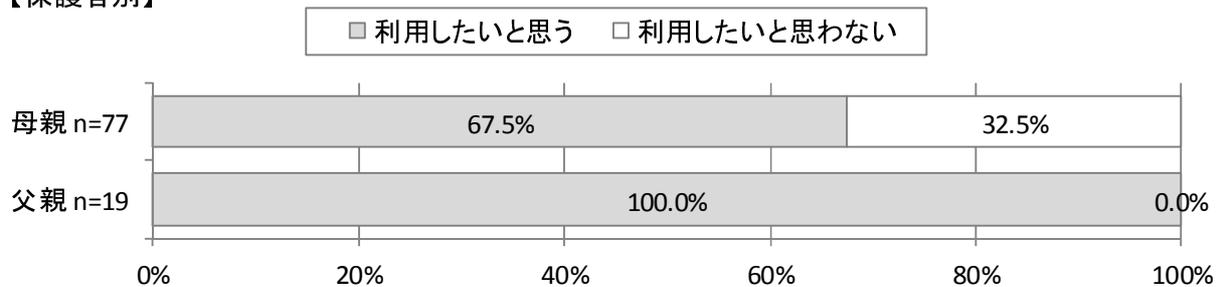
【全体】



【地域別】



【保護者別】



■ 「利用したいと思わない」の理由

- スポ少があり、土日忙しい。子供が大きくなって遊ぶには狭い。(大曲/母親)
- 雰囲気がとても暗かった。人も暗かった。横手のY2プラザのような遊び用具が少ない。(中仙/母親)
- 色々病気がうつるか心配 (【母親】神岡、仙北)
- 自宅から遠い。ママグループがいて入りづらかった。(協和/母親)
- 子供が大きくなってきたので、遊びや遊具が合わない。(【母親】大曲1名、神岡、中仙、仙北、協和2名)
- 今は就業しているため (中仙/母親)
- 小学校、保育園へ行っているため、行く(利用する)機会がなくなった (【母親】中仙、南外、太田)

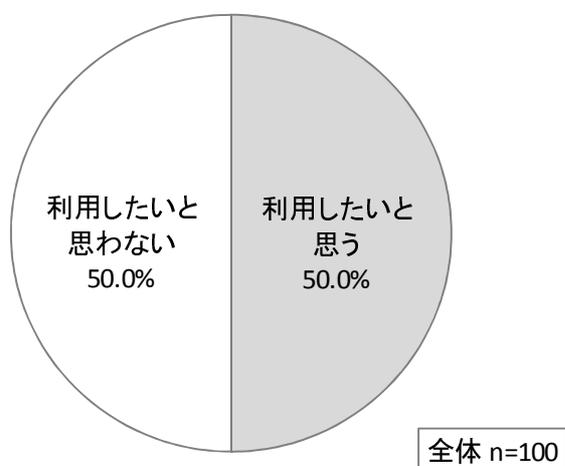
【問3】今後、利用したいと思いますか。（問1で「2. 知っていた（利用したことがない）」、「3. 知らなかった」と回答した方）

○全体では、「利用したいと思う」と回答した方と「利用したいと思わない」と回答した方はちょうど半数ずつとなっている。

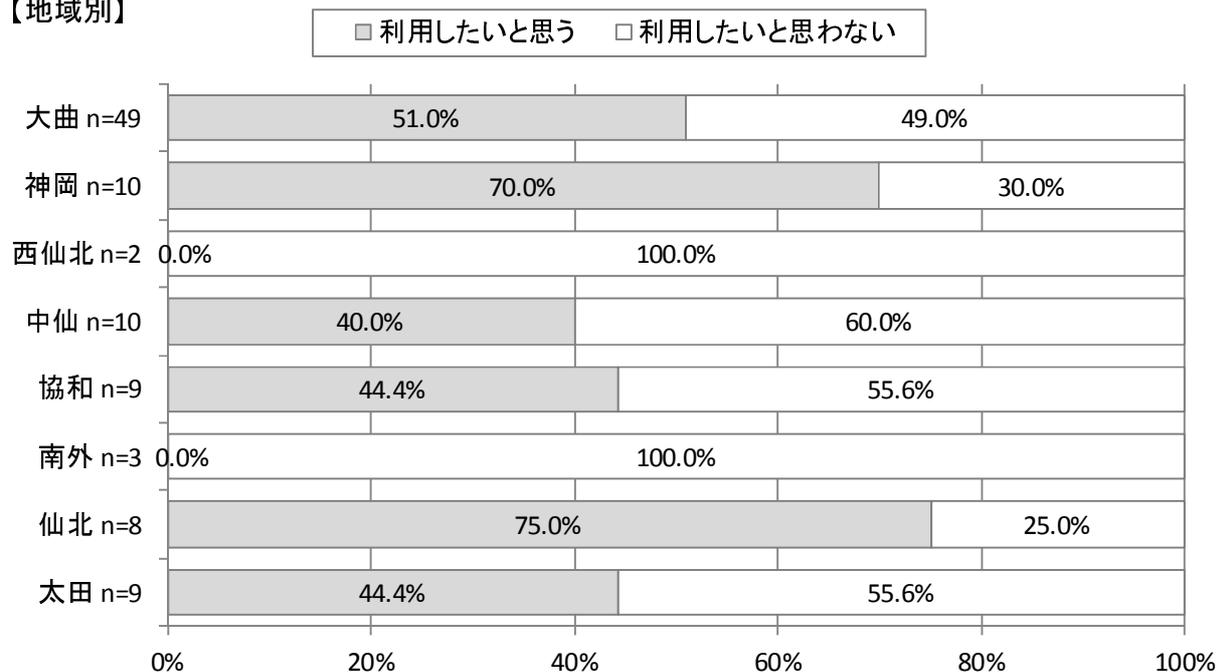
○地域別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方の割合は神岡、仙北地域で大きくなっており、7割以上を占めている。一方、「利用したいと思わない」と回答した方は西仙北、南外地域でいずれも100.0%となっている。

○保護者別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、母親では53.0%で半数以上となっているのに対し、父親では35.3%と少なくなっている。

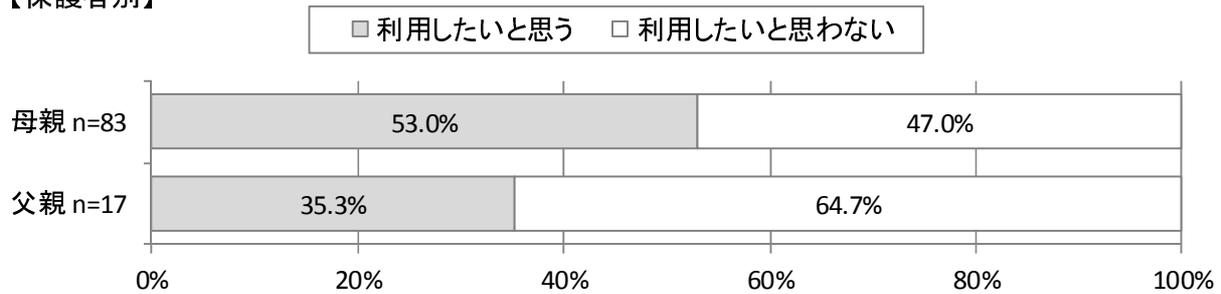
【全体】



【地域別】



【保護者別】



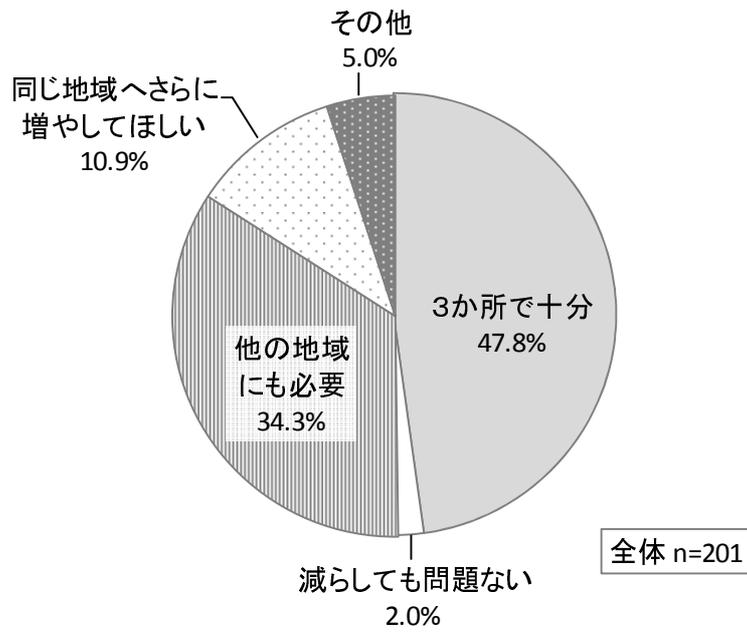
■「利用したいと思わない」の理由

- 入りづらい。外から見たときママさん達グループに分かれていて入って行きづらい。（【母親】大曲、神岡）
- 必要ない（【母親】大曲2名、西仙北2名、南外2名、【父親】大曲3名）
- 小学校、保育園へ行っているのもう必要ない（【母親】大曲3名、神岡、中仙、仙北、太田、【父親】大曲、仙北）
- よくわからない（どんな事ができるのか）（【母親】大曲3名、協和、【父親】大曲、太田）
- 時間がない（【母親】大曲、協和2名、【父親】中仙）
- 自宅で十分だから（【母親】大曲、協和）
- コロナ（神岡／父親）
- 情報が少ないため（大曲／母親）
- 行ける日と利用日が合わない（【母親】仙北、中仙、太田、【父親】中仙）
- なんとなく（南外／母親）
- 知的障がいがあるため、迷惑がかかるから（大曲／母親）
- 遠い。見てくれる人がいる。（【母親】大曲、協和）

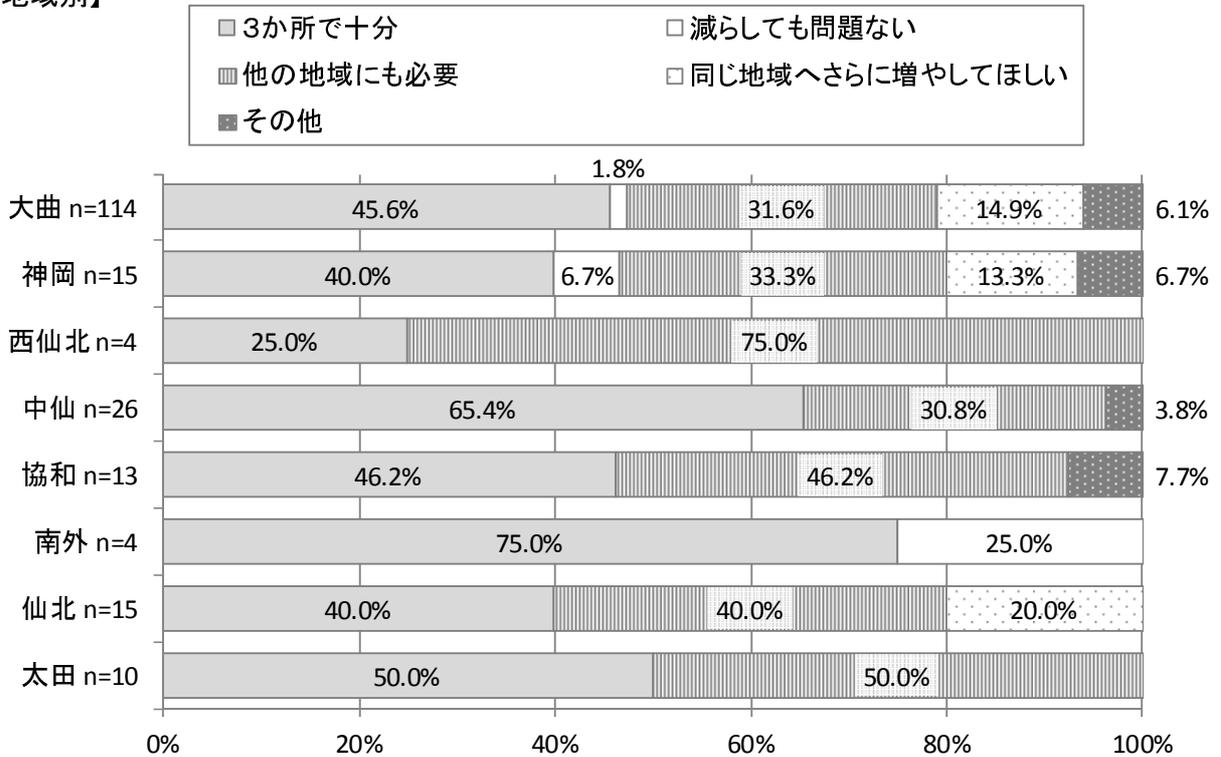
【問4】現在、子育て支援拠点施設は市内3か所で開所していますが、施設の数や地域についてどのように思われますか。

- 全体では、「3か所で十分」と回答した方が47.8%で最も多く、次いで「他の地域にも必要」が34.3%、「同じ地域へさらに増やしてほしい」が10.9%となっている。
- 地域別で見ると、大曲、神岡、中仙、南外地域では「3か所で十分」と回答した方が最も多く、西仙北地域では「他の地域にも必要」と回答した方が最も多くなっている。それ以外の地域では「3か所で十分」と「他の地域にも必要」が同じ割合で最も多くなっている。また、南外地域では、「減らしても問題ない」の割合が他の地域に比べて大きくなっている。
- 保護者別で見ると、「3か所で十分」と回答した方の割合は母親の方が大きくなっており、「他の地域にも必要」と回答した方の割合は父親の方が大きくなっている。

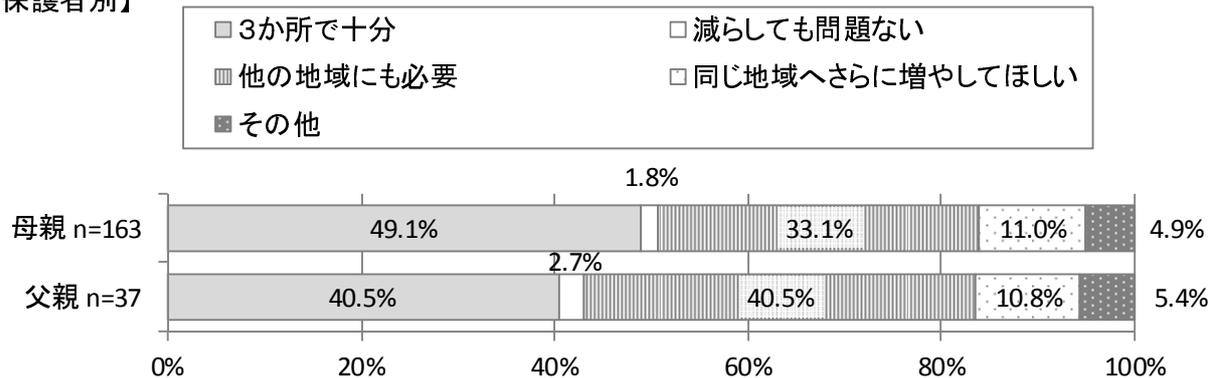
【全体】



【地域別】



【保護者別】



■その他の回答

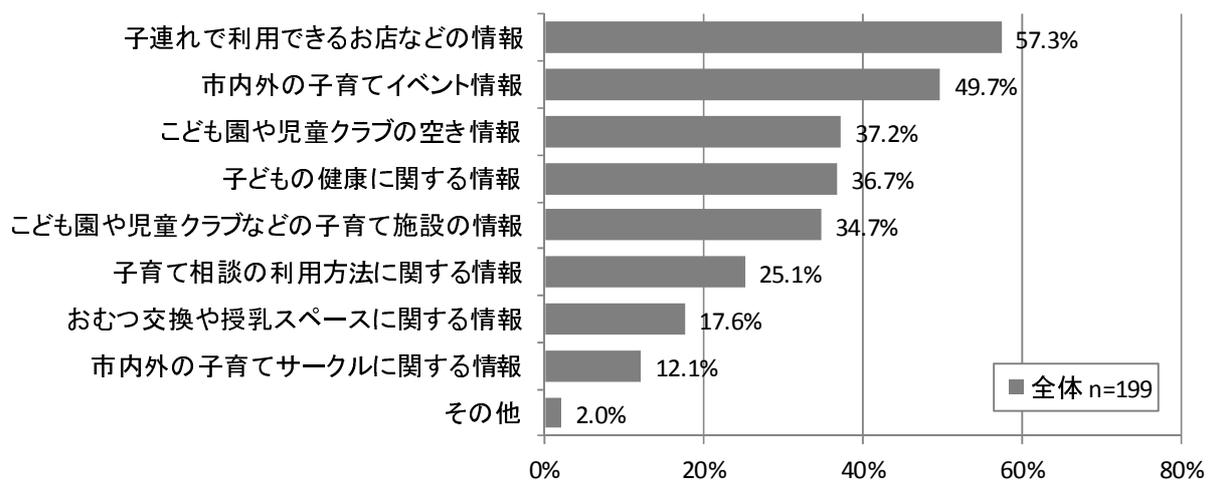
- 1か所に大きな所をつくって遊べるようにしてほしい。(中仙/母親)
- よく分からない(大曲/母親3名)
- ニーズに応じて対応してほしい(大曲/父親)
- わからない。必要なら増やせばよい(大曲/母親)
- 具体的な活動内容がわからないため、必要性がわからない。(協和/母親)
- 全地域にあるのが望ましく、人口の多い地域には複数あってよい(大曲/父親)
- 小学校低学年も一緒に遊べる大型の遊具のある施設があるとよい。兄弟一緒だと、まるこには小学生は連れていけないし、児童館だと赤ちゃんは厳しい。(大曲/母親)
- 利用したことがないので、増減に関してはわからないが、必要な施設だと思う(神岡/母親)

【問5】子育て支援拠点施設などで、どのような子育てに関する情報がほしいですか。
(複数回答可)

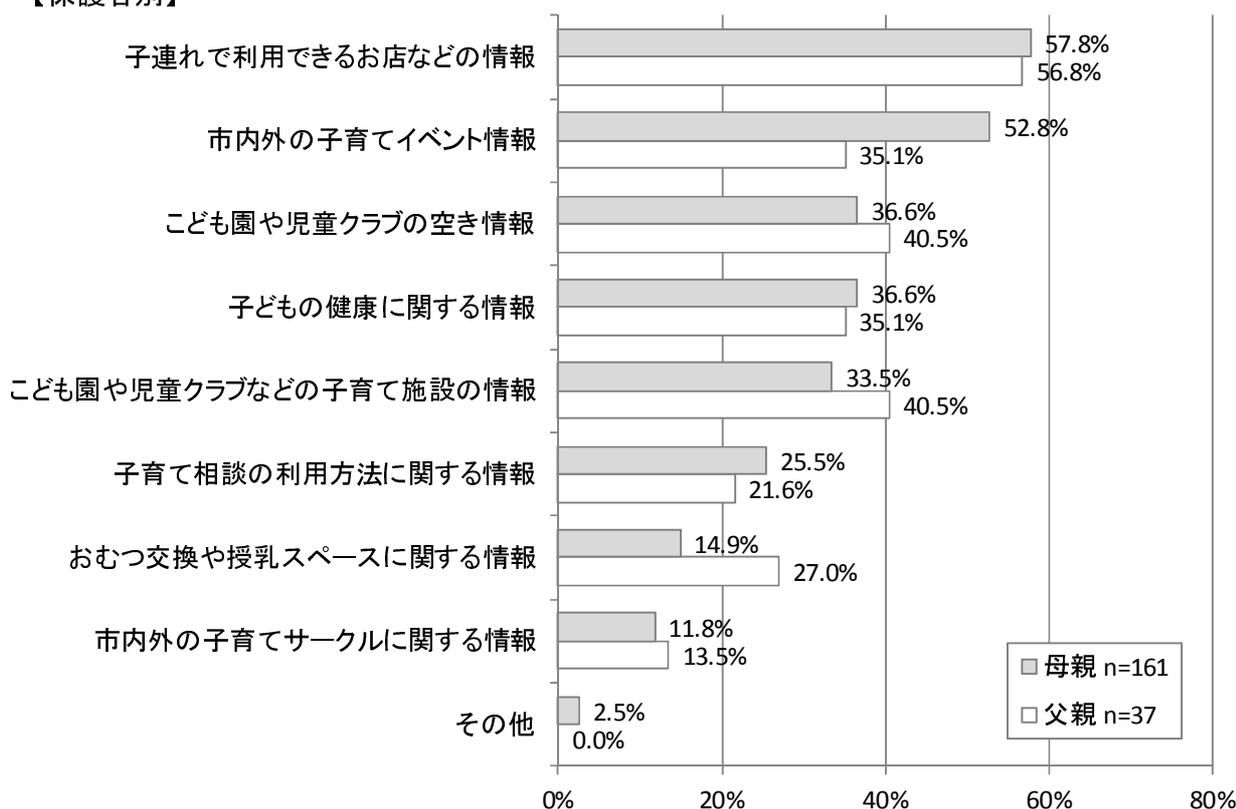
○全体では、「子連れで利用できるお店などの情報」と回答した方が57.3%で最も多く、次いで「市内外の子育てイベント情報」が49.7%、「こども園や児童クラブの空き情報」が37.2%となっている。

○保護者別で見ると、「市内外の子育てイベント情報」は母親の方が、「こども園や児童クラブなどの子育て施設の情報」や「おむつ交換や授乳スペースに関する情報」は父親の方の割合が大きく、他と比べて差が大きくなっている。

【全体】



【保護者別】



■その他の回答

- スポーツクラブ（子供も可）の情報やその他（習字、ピアノ、水泳など）個人で教えている習い事の詳しい情報をわかりやすく簡単に知りたい（太田／母親）
- なし（西仙北／母親）
- 発達障がいや巡回相談などの情報（仙北／母親）
- マッサージやエステ（太田／母親）

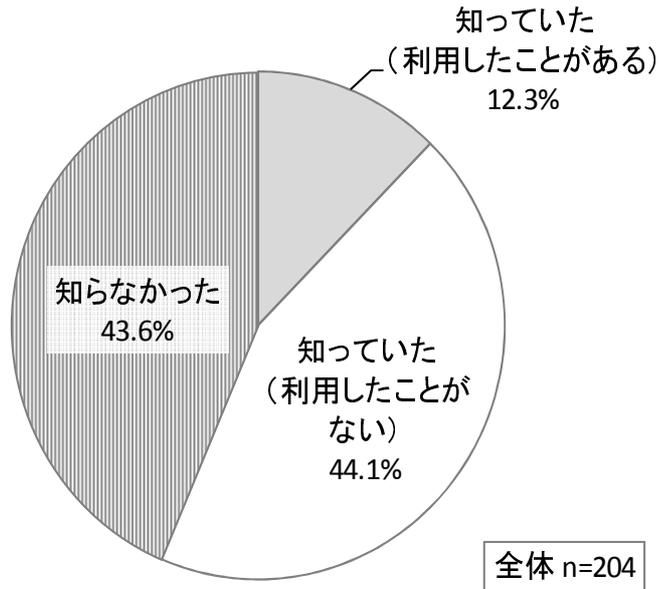
【問6】 子育て中の親子に対して、遊び場を提供する園開放や子育て相談の機能を持つ「子育て支援センター」が各地域の認定こども園等にあることを知っていましたか。

○全体では、「知っていた（利用したことがある）」または「知っていた（利用したことがない）」と回答した方の割合を合わせると56.4%となっており、半数以上の方が「知っていた」と回答している。また、「知っていた（利用したことがある）」と回答した方は12.3%となっており、実際に利用したことがある方は1割程度となっている。

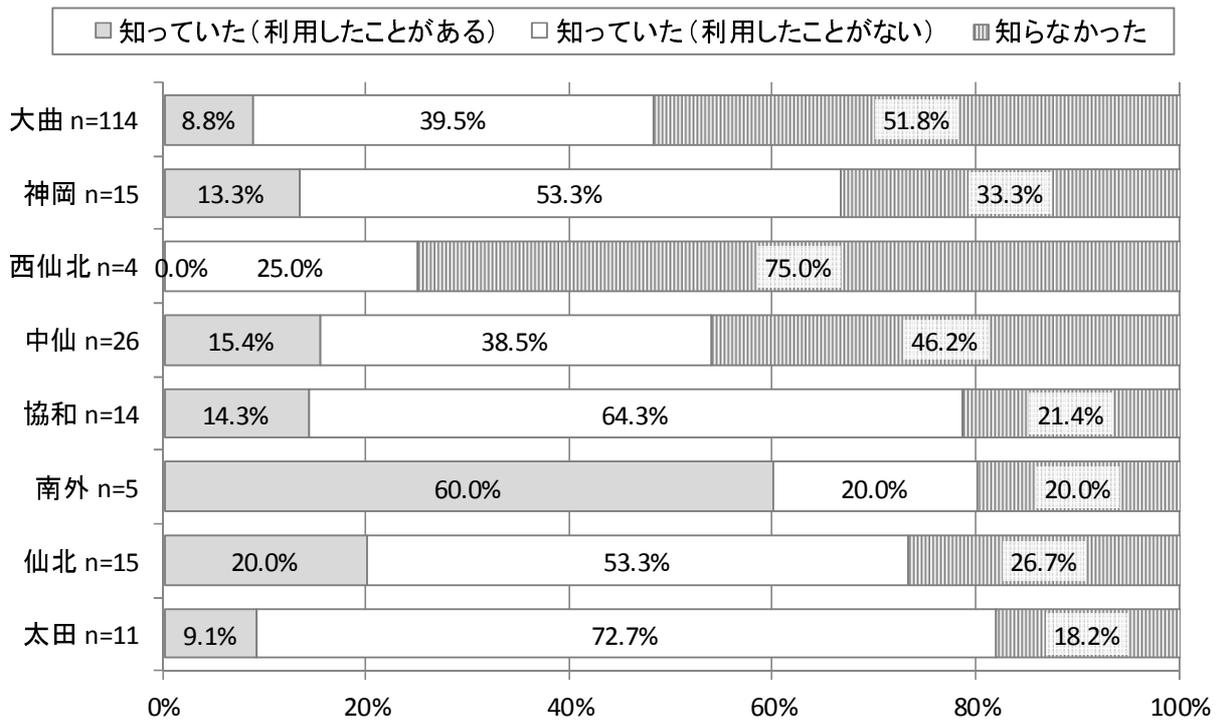
○地域別で見ると、大曲、西仙北、中仙地域では「知らなかった」と回答した方の割合が大きくなっており、南外地域では「知っていた（利用したことがある）」と回答した方の割合が大きくなっている。

○保護者別で見ると、「知らなかった」と回答した方の割合は父親の方が大きくなっており、「知っていた（利用したことがある）」または「知っていた（利用したことがない）」と回答した方の割合はどちらも母親の方が大きくなっている。

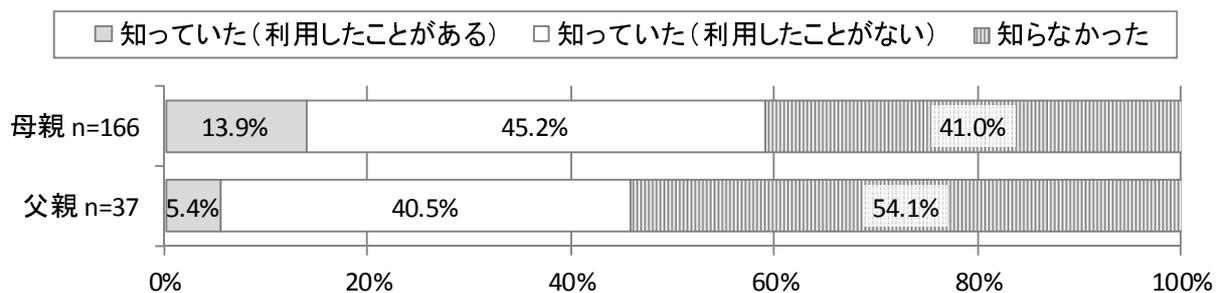
【全体】



【地域別】



【保護者別】



【問7】また利用したいと思いますか。

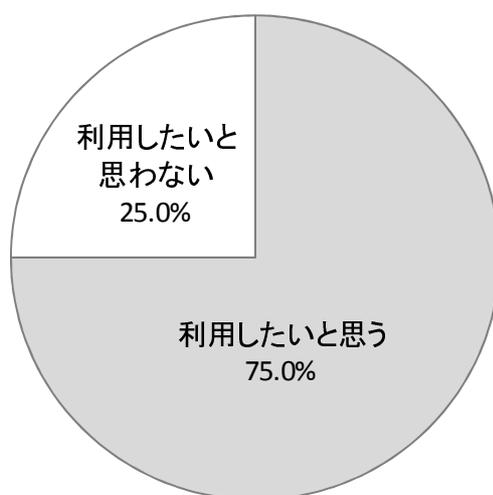
(問6で「1. 知っていた(利用したことがある)」と回答した方)

○全体では、「利用したいと思う」と回答した方が75.0%となっており、7割以上を占めている。

○地域別で見ると、回答数が少ないが、神岡、南外、仙北地域では「利用したいと思う」と回答した方が100.0%となっている。

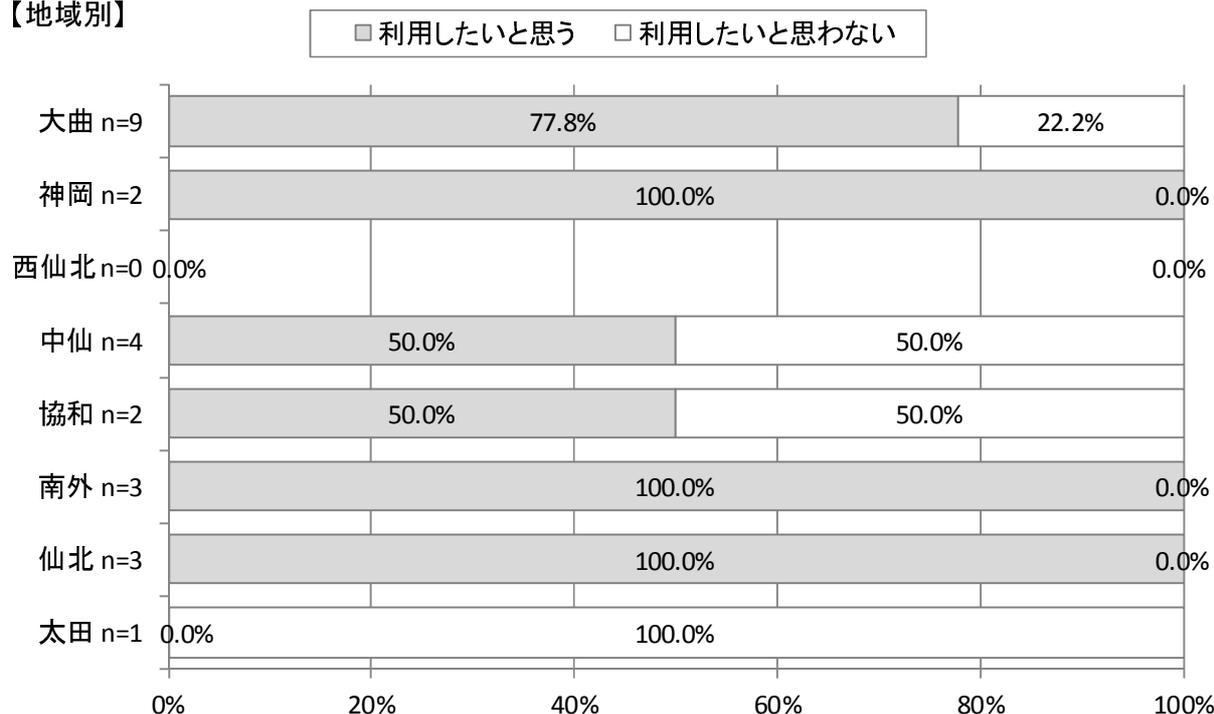
○保護者別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、母親では77.3%であるのに対し、父親はちょうど半数となっている。

【全体】

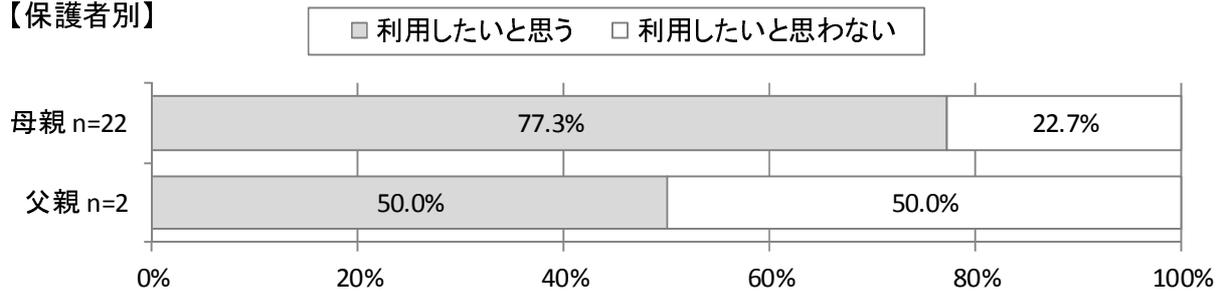


全体 n=24

【地域別】



【保護者別】



■「利用したいと思わない」の理由

- 参加者が少ない日にたまたまあたってしまいあまり楽しめなかった。取り組みはよいと思う。(大曲/母親)
- 小学生になったため(太田/母親)
- すでに園を利用している。園に入る前は月1回利用していた。(中仙/母親)
- もうあまり必要ない(大曲/母親)
- すでに園を利用している。(協和/母親)

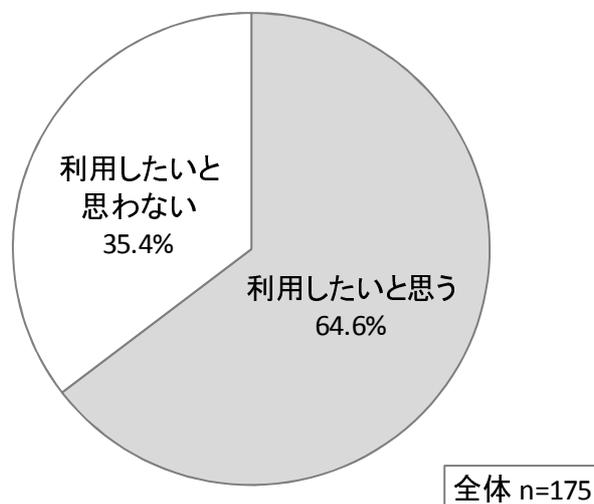
【問8】今後、利用したいと思いますか。(問6で「2. 知っていた(利用したことがない)」、「3. 知らなかった」と回答した方)

○全体では、「利用したいと思う」と回答した方が64.6%となっており、6割以上を占めている。

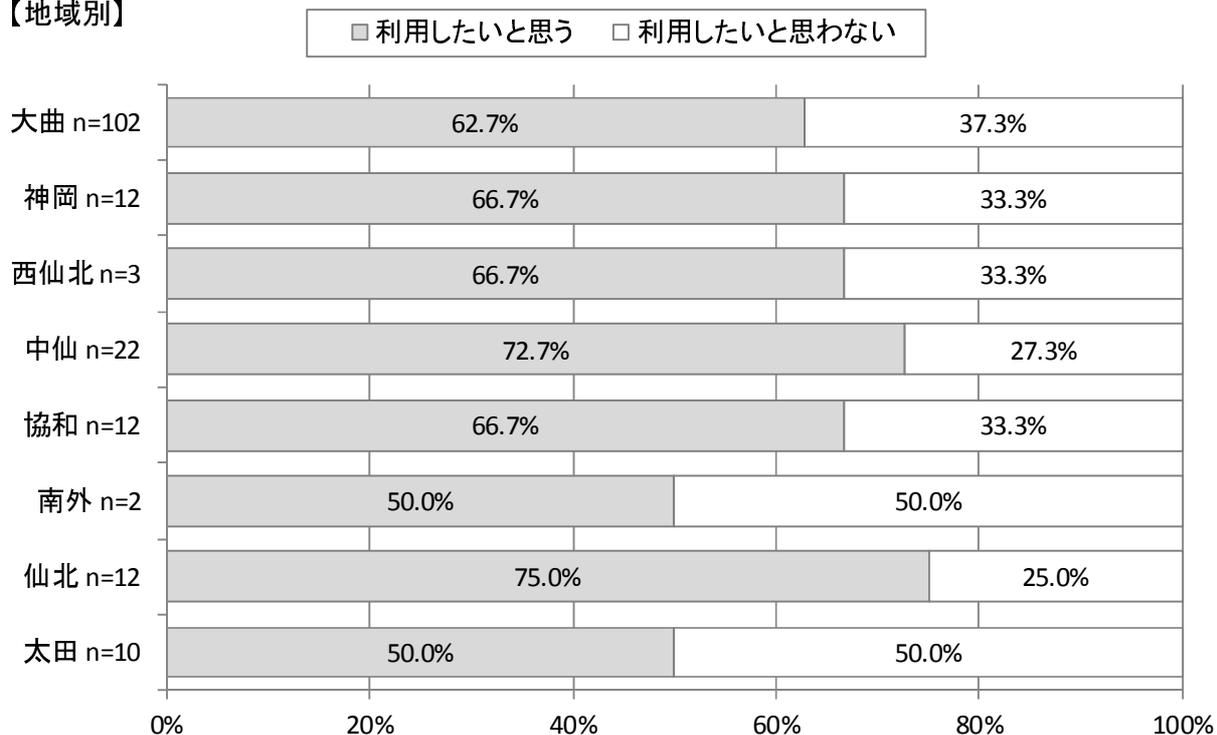
○地域別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、全ての地域で半数以上となっており、南外、太田地域以外では6割以上、中仙、仙北地域では7割以上となっている。

○保護者別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、どちらも6割以上となっており、父親の方の割合が大きくなっている。

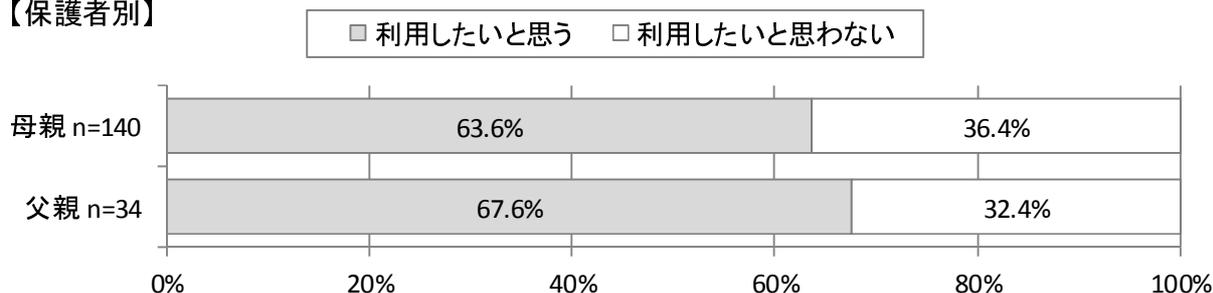
【全体】



【地域別】



【保護者別】



■ 「利用したいと思わない」の理由

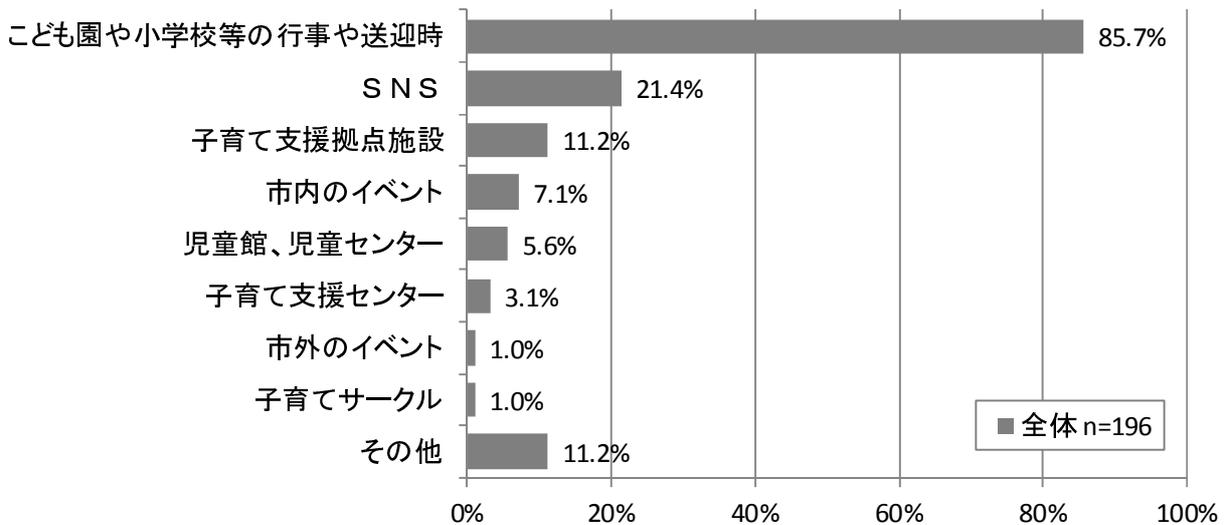
- 子どもが大きくなったため。（【母親】大曲8名、協和、太田）
- 時間等が合わない（【母親】大曲、神岡、協和2名、【父親】大曲）
- 保育園、子ども園に行っているため。（【母親】大曲4名、神岡2名、中仙4名、仙北、南外、太田、【父親】大曲、中仙）
- 必要ない（【母親】大曲4名、西仙北、中仙、【父親】大曲4名）
- 行きづらい（大曲／母親3名、大曲／父親）
- 利用の仕方がわからない（【母親】大曲、仙北）
- 会場や場所の内容による（大曲／父親）
- ほかに利用する人はいるのか、何人ぐらいいるのかわからないので（大曲／母親）

【問9】同じ年頃の子どもをもつ保護者との交流を主にどのような方法、場所で図っていますか。（3つまで）

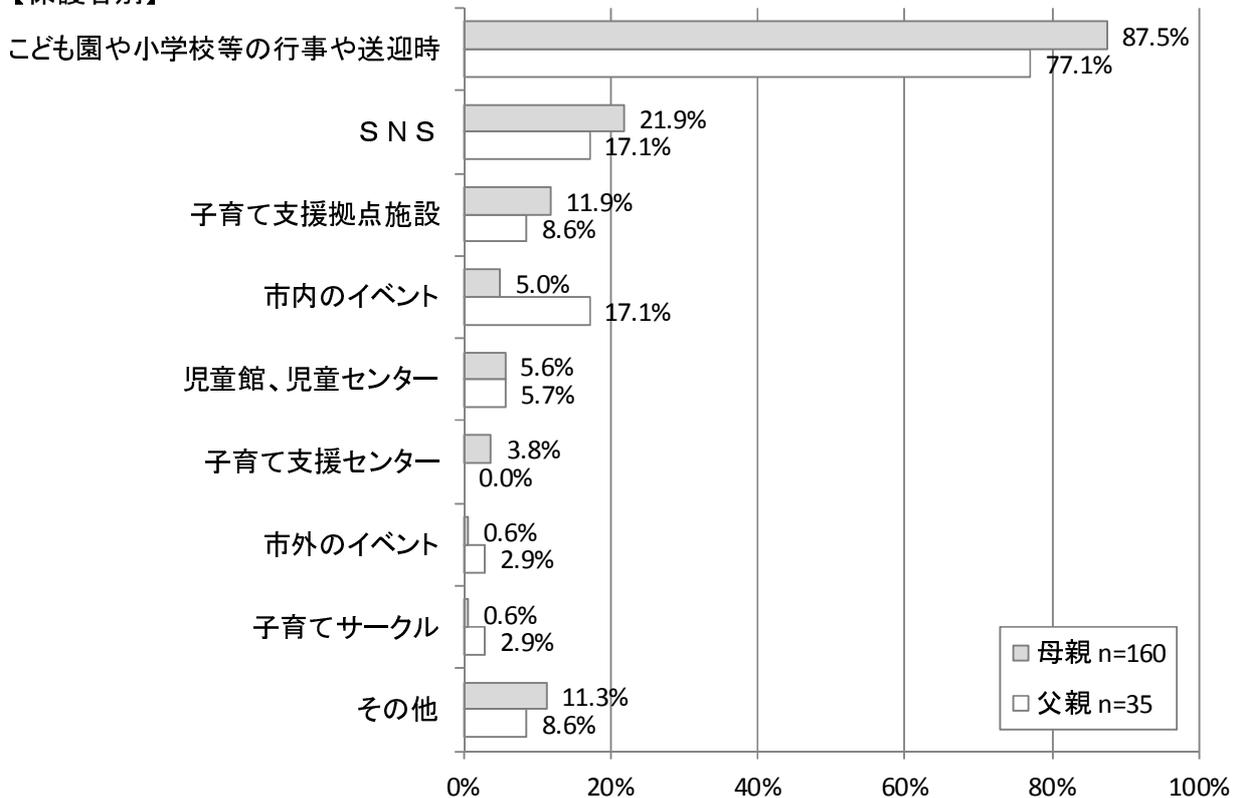
○全体では、「こども園や小学校等の行事や送迎時」と回答した方が85.7%で突出して最も多くなっており、次いで「SNS」が21.4%、「子育て支援拠点施設」が11.2%となっている。

○保護者別で見ると、どちらも「こども園や小学校等の行事や送迎時」が突出して最も多くなっており、母親の方の割合が大きくなっている。父親では「市内のイベント」と回答した方が「SNS」に並んで2番目に多く、母親との差が大きくなっている。

【全体】



【保護者別】



■その他の回答

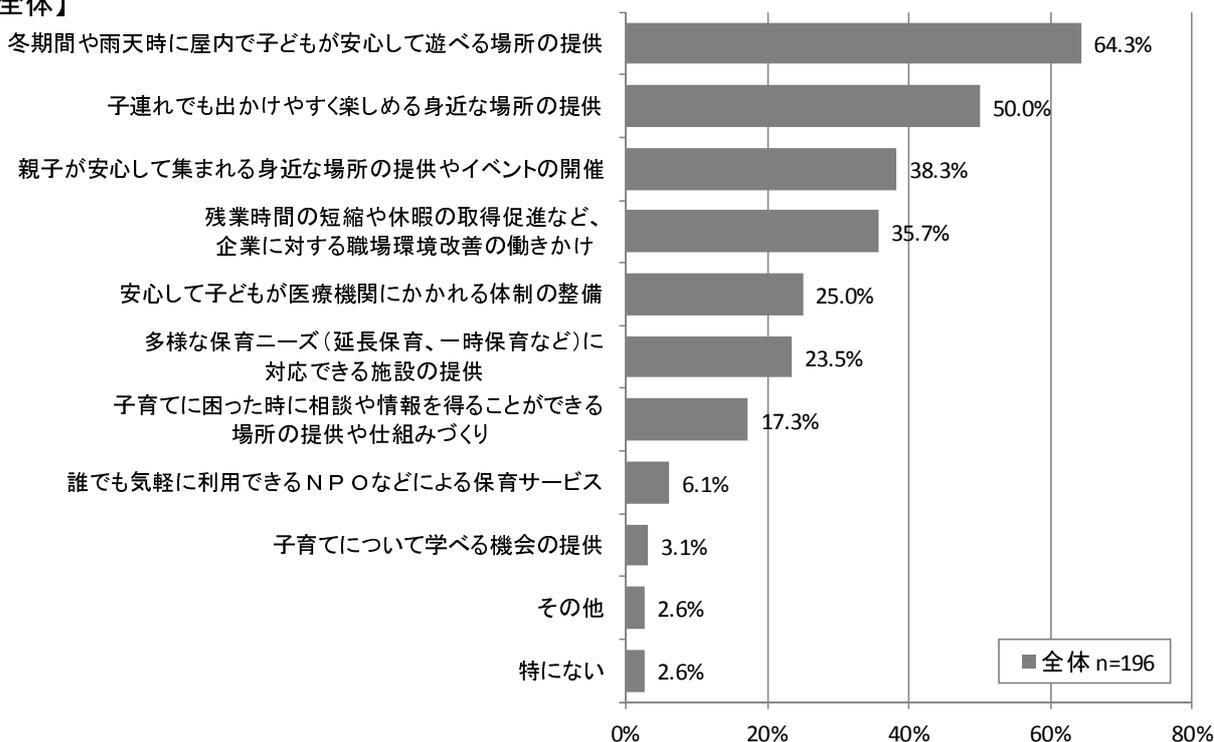
- スポ少（大曲／母親）
- 職場（大曲／母親、大曲／父親2名）
- 友人（【母親】大曲2名、神岡2名、西仙北、中仙、協和）
- 子どもの友達（中仙／母親）
- 特に交流はしていない（【母親】大曲4名、協和）
- 家（中仙／父親）
- LIVE 公共施設内のキッズ広場（大曲／母親）
- 情報があまりない（太田／母親）

【問10】子育て支援環境の充実のためには、どのような支援策が必要だと思いますか。
(3つまで)

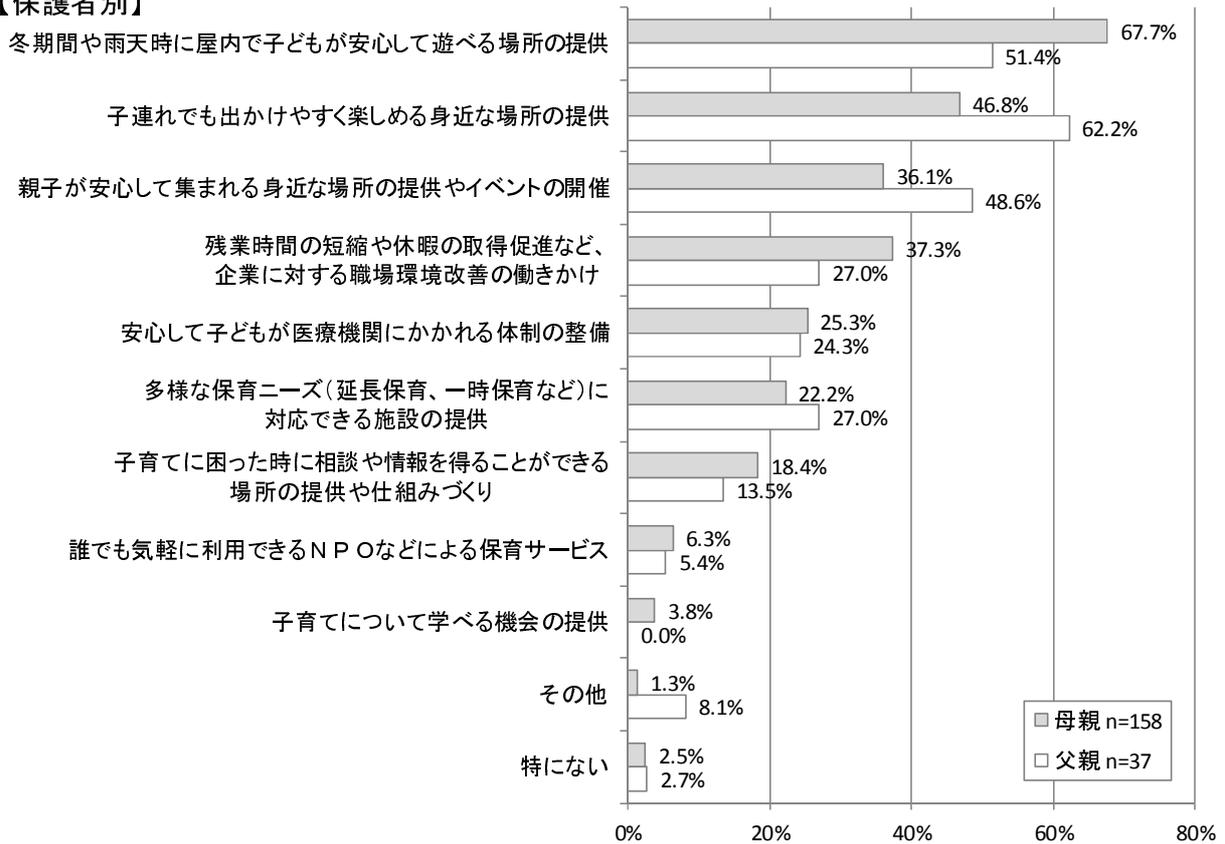
○全体では、「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所の提供」と回答した方が64.3%で最も多く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる身近な場所の提供」が50.0%、「親子が安心して集まれる身近な場所の提供やイベントの開催」が38.3%となっている。

○保護者別で見ると、母親では「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所の提供」と回答した方が最も多く、父親では「子連れでも出かけやすく楽しめる身近な場所の提供」と回答した方が最も多くなっており、それぞれ父親や母親との割合の差が比較的大きくなっている。また、「親子が安心して集まれる身近な場所の提供やイベントの開催」と回答した方の割合は父親の方が、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境改善の働きかけ」と回答した方の割合は母親の方が大きくなっており、こちらもそれぞれ父親や母親との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【保護者別】



■その他の回答

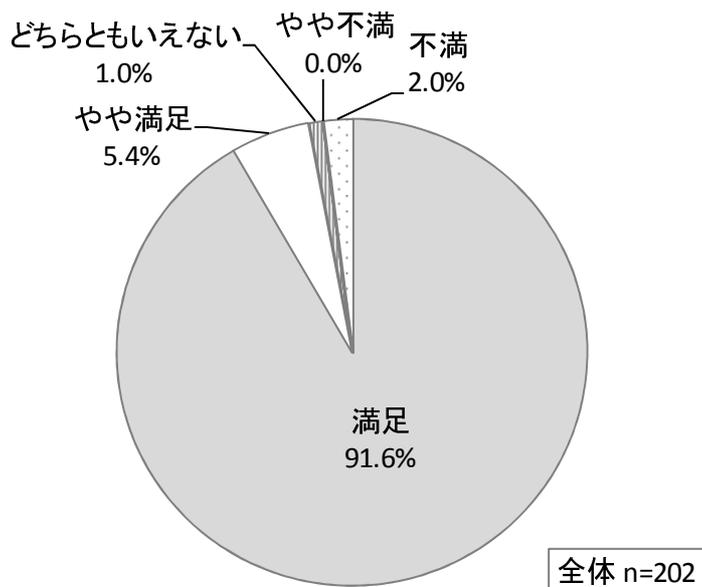
- 本当に必要な支援が必要な人に行き渡っていると思えない (大曲/父親)
- 大仙市移住者交流の会などは、とても嬉しかったです (大曲/母親)
- 新しく花火以外での大曲の魅力を作る。他から仕事を取り入れ雇用の場を増やす。(大曲/父親)
- 親だけではなく、その他親族にも社会資源を積極的に活用する意義や価値の普及・啓発が必要。家族で何とかしようとしがちなので、もっと子育てを社会化し、地域支援の意識醸成していけるとよい。(大曲/父親)
- まず保育園の先生を増やす(賃金や働く環境を整える) 4歳児30人に対して1人の先生では確実に足りない (仙北/母親)

【問11】あなたは、福祉医療費助成事業(マル福)に満足していますか。

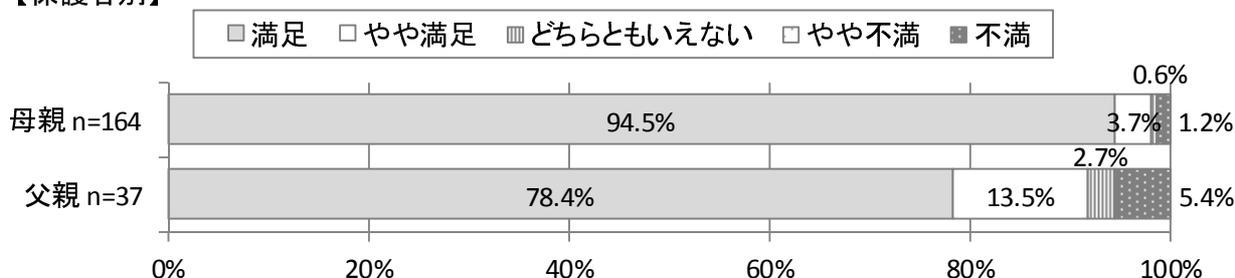
○全体では、「満足」と回答した方が91.6%で最も多く、「やや満足」と回答した方と合わせると97.0%となっている。

○保護者別で見ると、「満足」と回答した方は、母親では94.5%となっているが、父親では78.4%と少なくなっている。しかし、「やや満足」と合わせた割合はどちらも9割以上となっている。

【全体】



【保護者別】



【問12】市が行っている子育て支援事業へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

(自由記述形式)

※主要な回答を抜粋しています

□児童手当について

- ・ 児童手当の細分化をしてほしい。働き手が多い家庭の児童手当の減額や働き手が少ない核家族や住宅ローンのある家庭への増額等、米中貿易戦争、コロナウイルスの影響もあり、収入が減り、経済的にも苦しい家庭が増えている。(大曲/父親)
- ・ 18歳年度末まで拡充及び所得制限撤廃に加えて、児童手当の見直しをご検討いただきたい。市独自の支援を設ける。例えば、10,000~15,000円ではなく、50,000円など全国的に見ても突出した支援制度を設ける事で少子高齢化や他地域からの移住促進を図る、人がいなければ何も良くはならない。(大曲/父親)

□保育料について

- ・ 保育料の算定は、同一施設入園に限らないでほしい(多子軽減対策) 第一子の上限を付けなくてほしい。年齢の離れた兄弟も多い。(仙北/母親)
- ・ 3歳未満児の保育料無料を希望します。マル福18歳までの拡充はとてもありがたいです。(神岡/母親)

□入所関係について

- ・ 本当に預かってほしいと思っている人を、しっかりと見極めて選定した方がいいと思う。ほとんどは違うと思いますが、送迎時に井戸端会議しているような人達が保育所に預ける必要がありますか？（大曲／父親）
- ・ 今年から子育て支援に対して、改善をたくさんしていただけてよかったです。保育所の途中入所が絶対に無理だと言われたことは悲しく思いました。改善して頂きたいと思います。（大曲／母親）

□施設運営等について

- ・ 現在通わせている保育園の開園時間を7時にしてほしいです。送迎が父母であり、大曲地区に通勤すると7時30分では間に合わず、仕事を選ばざるを得ません。大曲以外の保育施設こそ早く開園して、仕事の出来る環境づくりをしてもらいたいです。（南外／母親）
- ・ 児童館をときどき利用するが、様々な学年、男女が利用するので同じ時間帯に利用すると危険な場面があったりする（ボール遊び等）。小さな児童館の改修等が望ましい。（大曲／母親）
- ・ 学童保育における昼ご飯の用意。出来ないものでしょうか。たまにでも良いので。少し負担がラクになるような。（大曲／母親）
- ・ 学童保育でも長期休み中、給食的なものを出してほしい。（大曲／母親）
- ・ 児童クラブを利用しておりますが、戸外遊びや実験遊び、クッキングなどのイベントも定期的に行っていただけると、もっと楽しく過ごせるなど思っています。（神岡／母親）

□遊び場、公園等について

- ・ 施設があっても楽しくなければ、また次回以降来たいとは思いません。親子で遊ぶ場所、食事する場所、ゆっくり会話できる場所、屋内・屋外で過ごす場所があるとありがたいです。すべて大曲イオンモールに集中するのではなく、もっと街中の空いているスペースを活用して子育て世代ではなく、様々な方が集まれる取り組みをしてもらいたいです。（大曲／父親）
- ・ イベントが少ない。公園が少ない。（協和／母親）
- ・ 利用した事はありませんが、保育園時代、まるこのひろばに遊びに行けるから助かるという周りの声がよくありました。（大曲／母親）
- ・ 公園が少ない。公園に駐車場がない。公園の遊具の充実。（大曲／母親）
- ・ 子育てしやすい環境づくりを行っていただき、ありがとうございます。外で遊ぶことが好きなので、公園の遊具が充実している所を探していますが大曲にも神岡中央公園のような公園が欲しいです。（大曲／母親）
- ・ 屋内でたくさん体を動かして、遊べる場所があるといいと思います。（太田／母親）
- ・ 今まで見た中では、横手市Yプラザ、秋田市の北須賀の子育て広場がよかった。（大曲／父親）
- ・ 遊具の整った公園や雨天時でも安心して遊べる無料の施設を作してほしいです。（大曲／母親）

□PR関係について

- ・ 現在、紙により情報を得ている親は少ないので、市のHPやSNSの利用など、今の子育て世代が情報にアクセスしやすいようにしてほしい。小さい子供がいる家庭では、提出する書類を手書きする時間も取りにくいのでプレ印字できる部分はしていただけると助かります。（大曲／母親）
- ・ どのような支援事業があるのか、わかり易く教えてほしい。（大曲／母親）
- ・ 子育てイベントなど、もう少しわかり易く宣伝してほしい。（中仙／母親）
- ・ あまり、情報が入ってこないのでアピールしてほしい。（大曲／母親）
- ・ 子育て支援事業を知る機会が少ない、と感じることがありました。（大曲／母親）
- ・ 県外から移住した身としては、大仙市は子育て環境が整っていると思います。もっと市内外にPRした方がいいのではないかと、思います。（大曲／父親）

□マル福について

- ・ 子供が食物アレルギー、アトピー、低身長の為、毎月受診しています。中学を卒業してからも受診をしなくては行けないといわれて、18歳までマル福が拡大されて、ありがたいと思います。（太田／母親）
- ・ マル福は助かります。自分の子供もそうですが医療関係で働いていて高校生になると受診が必要なのに来なくなる方もいます。18歳年度末だと助かる方もいると思います。（大曲／母親）
- ・ 医療費、全額助成が18歳までになるのは、本当に助かる。（中仙／母親）
- ・ マル福には、大変助けてられている。ありがたい。（協和／母親）
- ・ ひとり親や収入に応じて、子育て中の親にも、マル福を支給してほしい。（太田／母親）
- ・ 高校生になると児童手当も支給されなくなり、経済的に不安な家庭もあると思います。スマホ代やお小遣い、お弁当等。マル福の拡充は大変助かります。医療費以外の部分でも、助成があるととてもありがたいです。月5千円くらいの助成があればお弁当代を賄う事も出来ます。皆がアルバイト等できれば良いと思いますが、色々な事情でできない子もいると思うので。少数の小中学校の子供に対して、修学旅行や卒業アルバム代の何%かでも、補助が出たら嬉しいです。大人数の学校と比べて、かなり高額になると聞き不安です。（仙北／母親）
- ・ マル福は大変ありがたく思っています。（大曲／母親）
- ・ 上記のマル福は本当に重要な事業です。拡充はととてもありがたいです。マル福がなかったら、子供は産み育てる事は不可能でした。親自身も医療費は大きな負担だと感じます。子供の成長とともにお金が掛かり、それでも親の給与が上がる事はないです。例えば、小学校・中学校への入学時に市から「お祝い金」が出る事業があれば良いのではないかと考えます。（神岡／母親）
- ・ 基本的にマル福は有難い制度ではありますが。ただ、別居していて満足な生活費ももらえていないが籍は入っている状態だったので、マル福を却下されてしまいました。仕方ないとは思っているのですが、どちらともいえないにさせていただきました。すみません。マル福がなくなってから病院にかかることがものすごく増えました。自分の間の悪さにも驚いています。余談でした。（神岡／母親）
- ・ とてもありがたく思っています。ひとり親の親の医療費の助成もあれば助かります。（大曲／母親）

□その他

- ・ 先日実施した4か月健診では、コロナウイルス対策を十分配慮した流れでの健診をしていたので、安心して受診する事が出来ました。丁寧なご対応ありがとうございました。（大曲／母親）
- ・ 特にないが、病後児保育場所を増やしてほしい。（中仙／父親）
- ・ 母子家庭への手厚い支援には、ありがたく思っています。（南外／母親）
- ・ ワンストップ的なサービスがあってほしい。（大曲／父親）
- ・ 他地域で行っている生まれた子供に無料で印鑑をくれる事業を行ってほしい。母子手帳のデザインを選べるようにしてほしい。（中仙／母親）
- ・ 保育園児への支援は手厚く行われており、とてもありがたいです、小学校に入り園でかかった費用の倍以上の負担がある。義務教育中の支援もあると助かります。（中仙／母親）
- ・ 仕事を充実したいと思えば、育児に負担がかかり、育児を頑張れば仕事の充実を諦めなければいけない。子育てをしっかりとやりたいと思うとパート等の仕事を選んでしまうが、収入が少なくなる。仕事・育児の両立はとて難しい社会だと思います。子育て支援事業の更なる充実を期待しています。（大曲／母親）
- ・ 受動喫煙防止をもっと強く訴えてほしい。（大曲／父親）

- ・ 子育て世代と言われている家庭へのゴミ袋配布ですが、1年に1度ではなく、もう少し機会を増やしてもらえると嬉しいです。また、市内のショッピングセンター、スーパー等のトイレに赤ちゃん用のおむつ台やミルクスペース等を設けてもらいたいので、大元に掛け合ってもらいたい。（大曲／父親）
- ・ 子供に対する支援をもっと充実させてほしい。例としてにかほ市は、保育料が年齢を問わず無料化になっていたり、予防接種が助成になったりしているので、大仙市ももっとこども支援を多く取り入れてほしい。（大曲／母親）
- ・ 新しく市で始まる祝い金等とてもいいと思いました。しかし、子供だけが増えても保育園の先生がどんどん辞めていっては結局困るのは子育て世代だと思います。子供をこれから産む人だけ増えればいいと思う問題ではないと思うので、まず保育園の先生の負担を少なくする取り組みも一緒に行っていかなければいけないと思いました。まず、30人に対して1人しか担任の先生がいないのは、国で決まっているかもしれないけれど、どう考えても足りない。一人ひとりに丁寧に関われる訳がない。お便り、連絡帳等、今これだけ電子機器が発達して安くなっているのにまだ手書きが主流。市が先立って導入する補助をしてほしい。保育園だけではなく、小中学校にも。秋田県＝田舎だから便利なモノ、新しいモノを使わない、ではなく、田舎だからこそ新しい物を取り入れて、そこを上手くアピールしていければ、子育て世代が増えると思う。（仙北／母親）
- ・ 助成事業、助成金で大変助かっています。（大曲／母親）
- ・ 子供用品のフリーマーケットや無料交換会を開催してほしい。ベビーベットや自転車など大型のモノは保存場所にも困るし、使用するのも一時的であるため。（神岡／母親）
- ・ 他県に住んでいた時期もあるが、秋田県は医療・教育について、子育て支援の体制が整っている方だと思う。今後もよろしくお願ひしたい。（大曲／父親）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○子育て支援拠点施設については、属性に関係なく認知度が高いことが伺える。「まるこのひろば」の開設を皮切りにスタートしてから約10年が経過し、親子で遊べる広場の利用、子育てに関する情報収集の場としての利用、また毎月開催されるイベント等も定着していることが要因と考える。さらに市で実施している母子手帳交付時の「子育て応援ハンドブック」の配布や各種健診時の利用の呼びかけ、また市ホームページや毎月の広報、母子手帳アプリによるイベント情報の提供を行い、新規・継続の利用を促している。

○問1の子育て支援拠点施設を知っていたかについては地域差が見られ、施設の所在地である大曲、西仙北、中仙地域以外の地域では施設を知ってはいるもの利用していない方が多くいる結果となっている。また、問2-3の「また利用したいか」については、約4分の1の方が「利用したいと思わない」と回答しており、問4の施設数については、「他の地域にも必要」、「同じ地域にさらに増やしてほしい」との回答が半数近くを占めているが、「3か所で十分」が最も多くなっている。

今後は、母子保健事業を実施する「子育て世代包括支援室」との連携を強化し、まずは既存の3か所で子育て相談や情報収集の場としてより利便性を高めるなど、内容の充実を図り、「他地域からでも遊びに行きたい」、「また利用したい」と思っていただけのような工夫を重ねる必要がある。

○問9の「同じ年頃の子供をもつ保護者との交流を主にどのような方法、場所で図っているか」については、実際に保護者同士が集まる機会として「こども園や小学校等の行事や送迎時」が圧倒的に多く、さらにSNSによる交流も今や主流とも言える。その次の機会として、子育て支援拠点施設や子育て支援センター、児童館等の公共施設の利用を促進することで、保護者同士の交流の場を確保することが現実的と考える。

○まとめとして、子育て支援拠点施設、子育て支援センターについては、時代の変化を敏感に捉えつつ、今後も親子で気兼ねなく遊べる場所、子育てに関する相談や情報収集がしやすい場所として充実を図っていく必要がある。

また、問10で回答が多かった「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所」、「子連れでも出かけやすく楽しめる身近な場所」、「親子が安心して集まれる身近な場所」などの提供については、今後利用需要を見極め、検討していく必要がある。

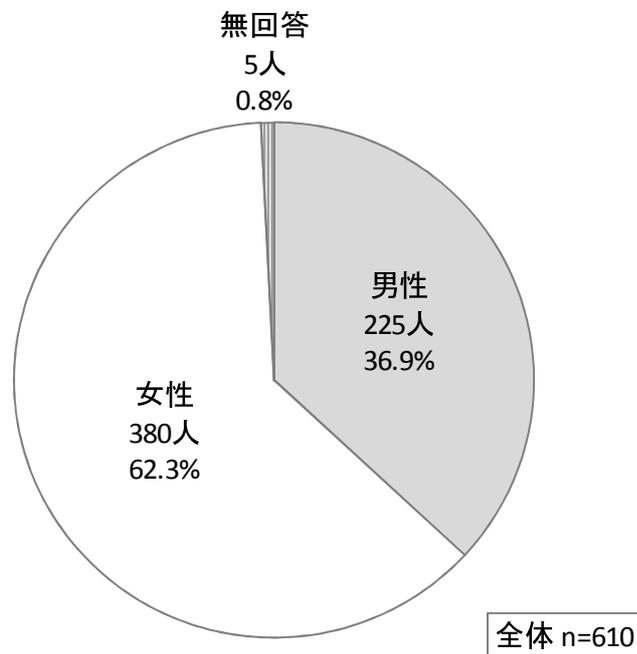
3. 2. 2 結婚・出産・子育てについて

(企画部総合政策課)

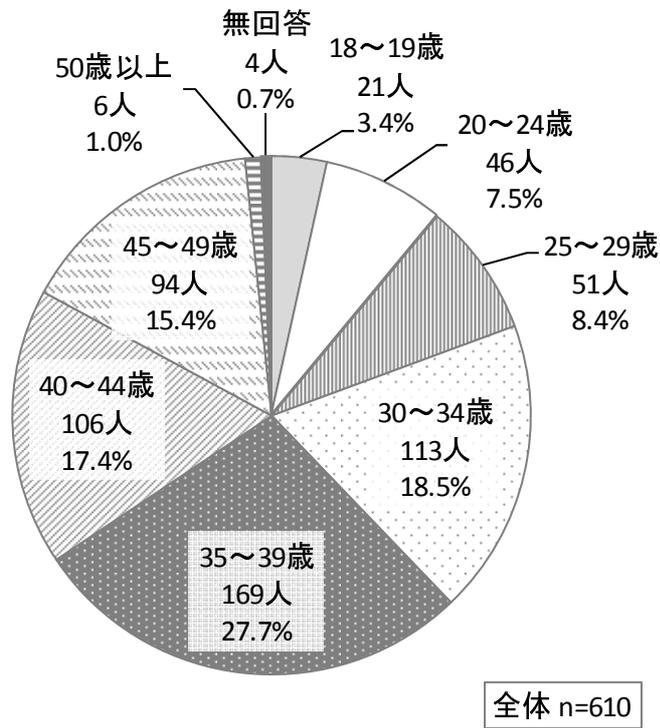
- ◆ 調査目的：平成 27 年度に行った結婚・出産・子育てに関する意識の追跡調査を行い、第 2 期総合戦略の推進や、子育て等支援制度の設計、見直しを図るための参考とする。
- ◆ 調査対象：次の（１）～（３）を合わせた 1,049 人。
 - （１）市内在住で 18 歳以上 49 歳以下の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に抽出した市民 300 人。
 - （２）「市民による市政評価」で抽出された方の中で、18 歳以上 49 歳以下の方 449 人。
 - （３）「3. 2. 1 地域子育て支援拠点事業」の対象者 300 人。
- ◆ 回収数：610 人
- ◆ 回収率：58.2%

回答者の属性

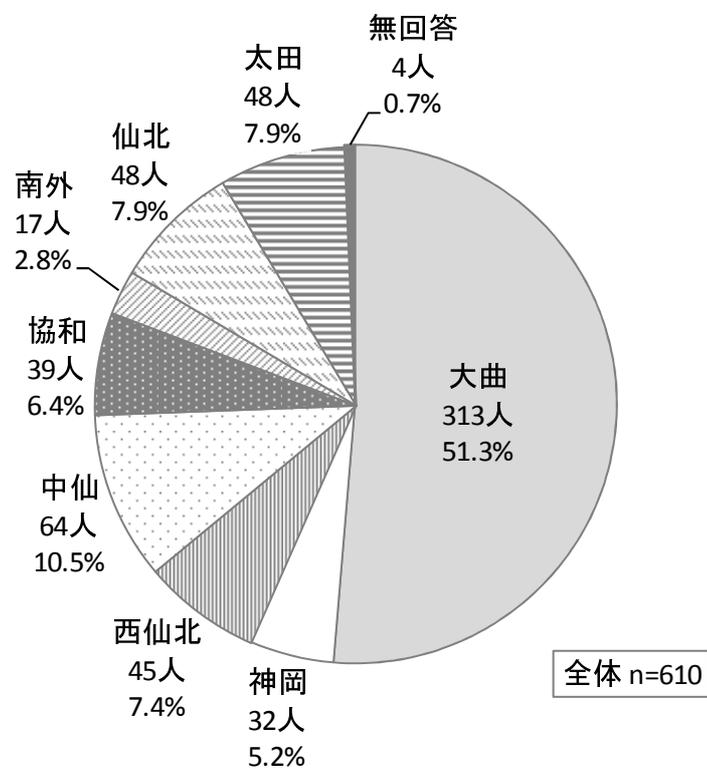
【性別】



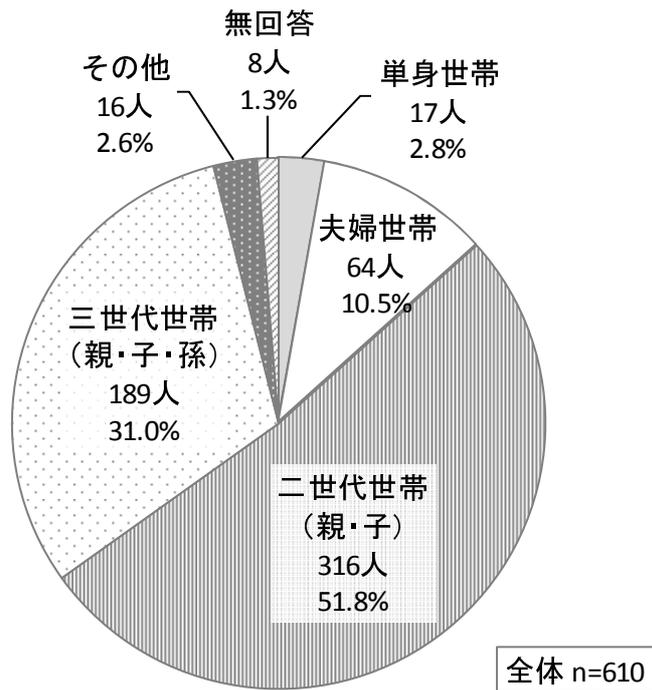
【年齢層】



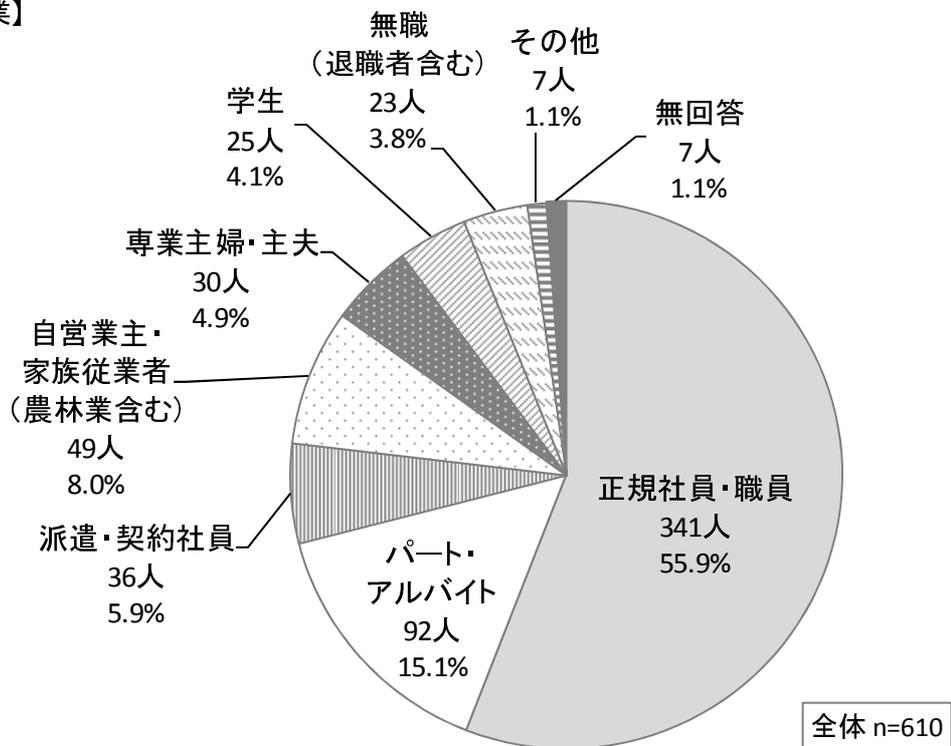
【地域】



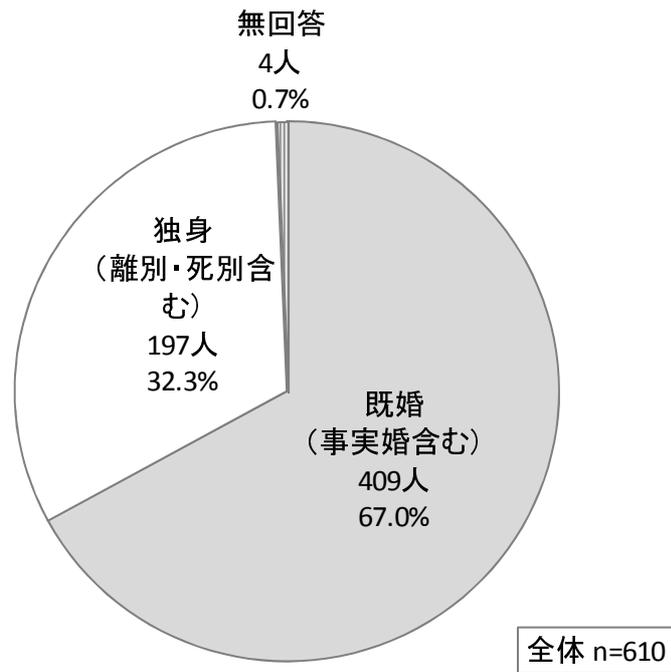
【家族構成】



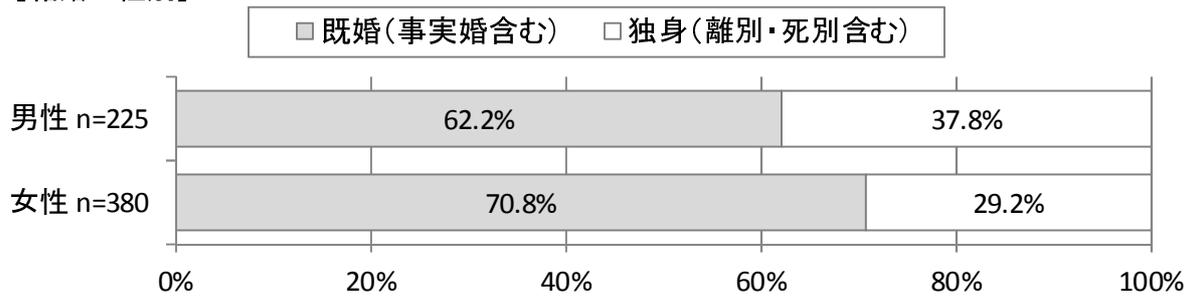
【職業】



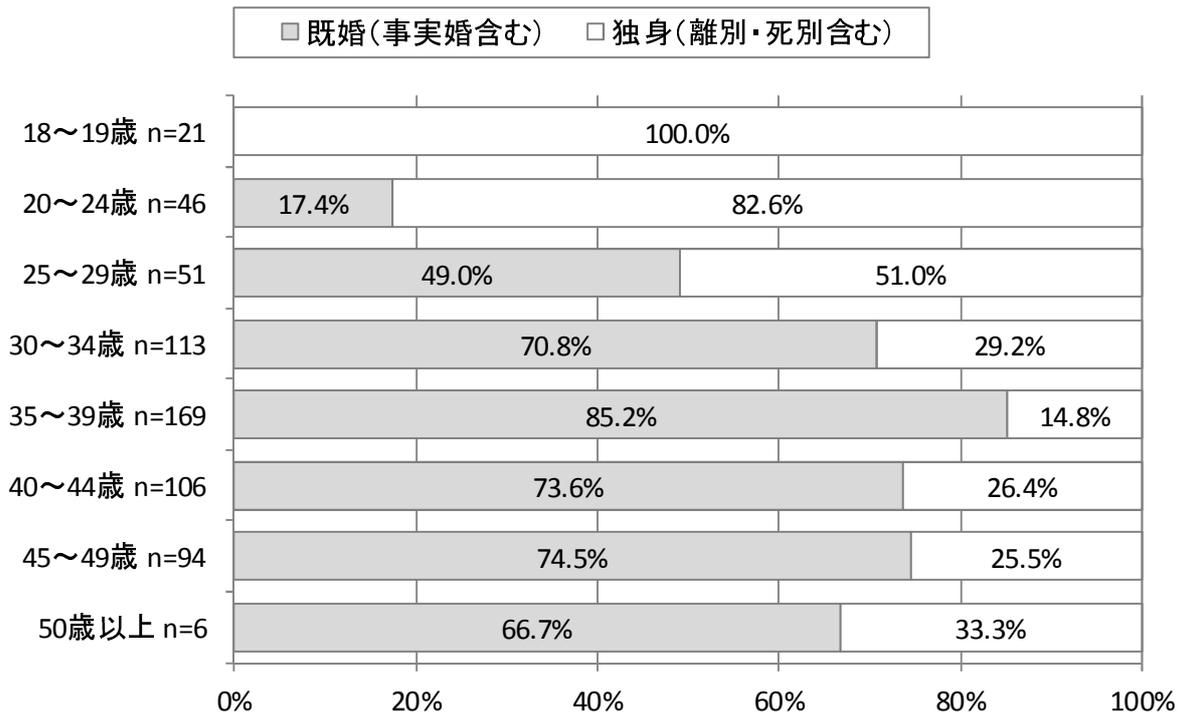
【結婚】



【結婚・性別】



【結婚・年齢層別】

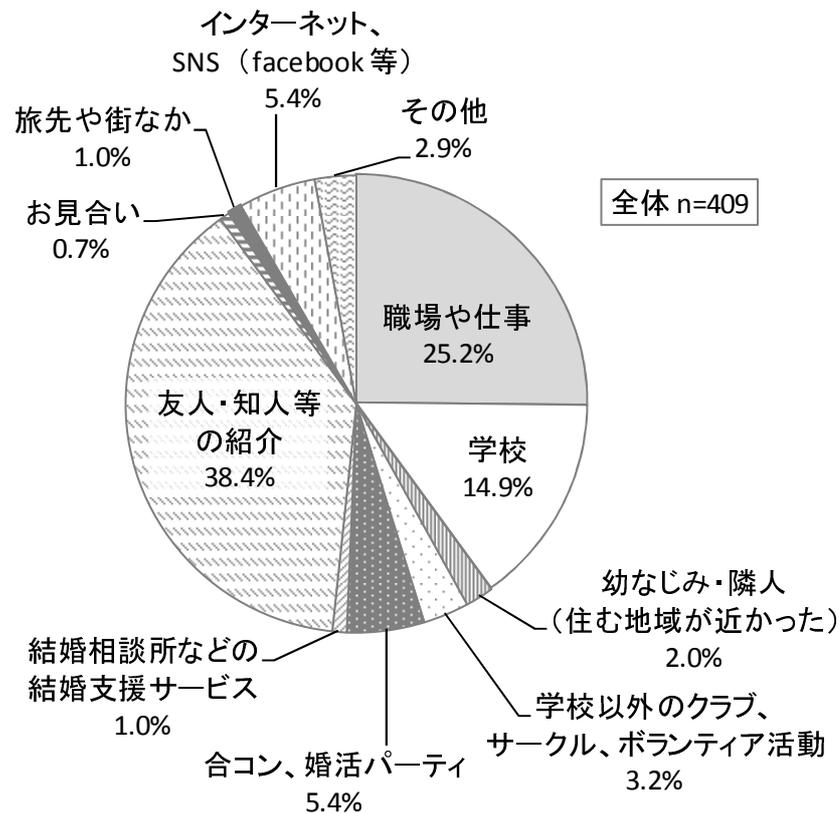


問7、8は問6で「1. 結婚している（事実婚含む）」と回答した方のみ

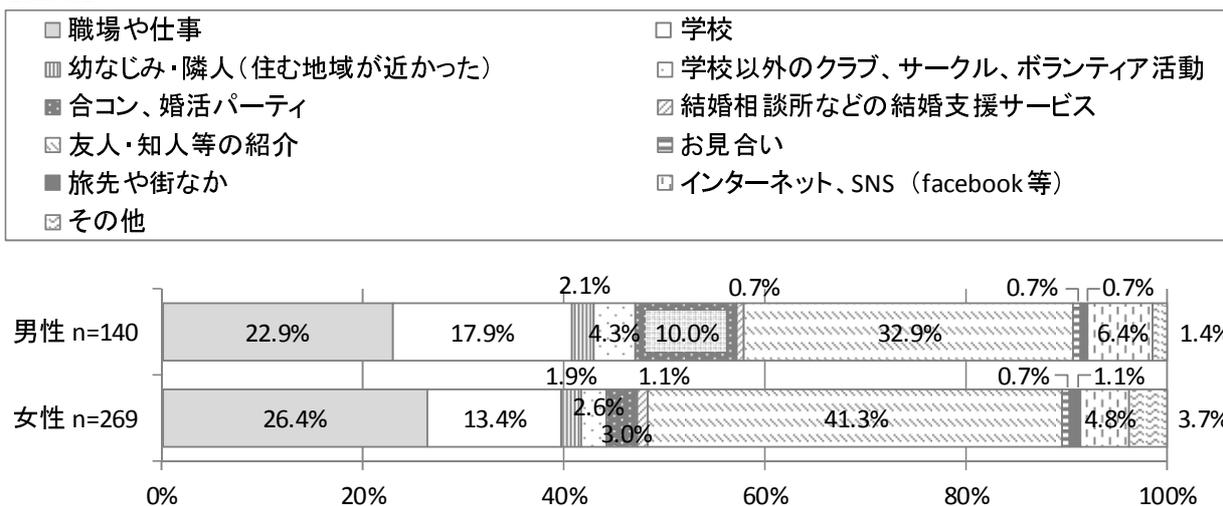
【問7】結婚相手の方との出会いのきっかけは何でしたか。

- 全体では、「友人・知人等の紹介」と回答した方が38.4%で最も多く、次いで「職場や仕事」が25.2%、「学校」が14.9%となっている。
- 性別で見ると、男女とも「友人・知人等の紹介」と回答した方が最も多くなっている。また、「合コン、婚活パーティ」は男性、「友人・知人等の紹介」は女性の方の割合が大きく、それぞれ男女の差が比較的大きくなっている。
- 年齢層別で見ると、全ての年齢層で「友人・知人等の紹介」が最も多くなっている。年齢層が上がるにつれて「職場や仕事」の割合は大きくなり、「学校」の割合は小さくなる傾向となっている。また、20～24歳では「旅先や街なか」の割合が比較的大きく、「インターネット、SNS（facebook等）」は若い年齢層で大きくなっている。

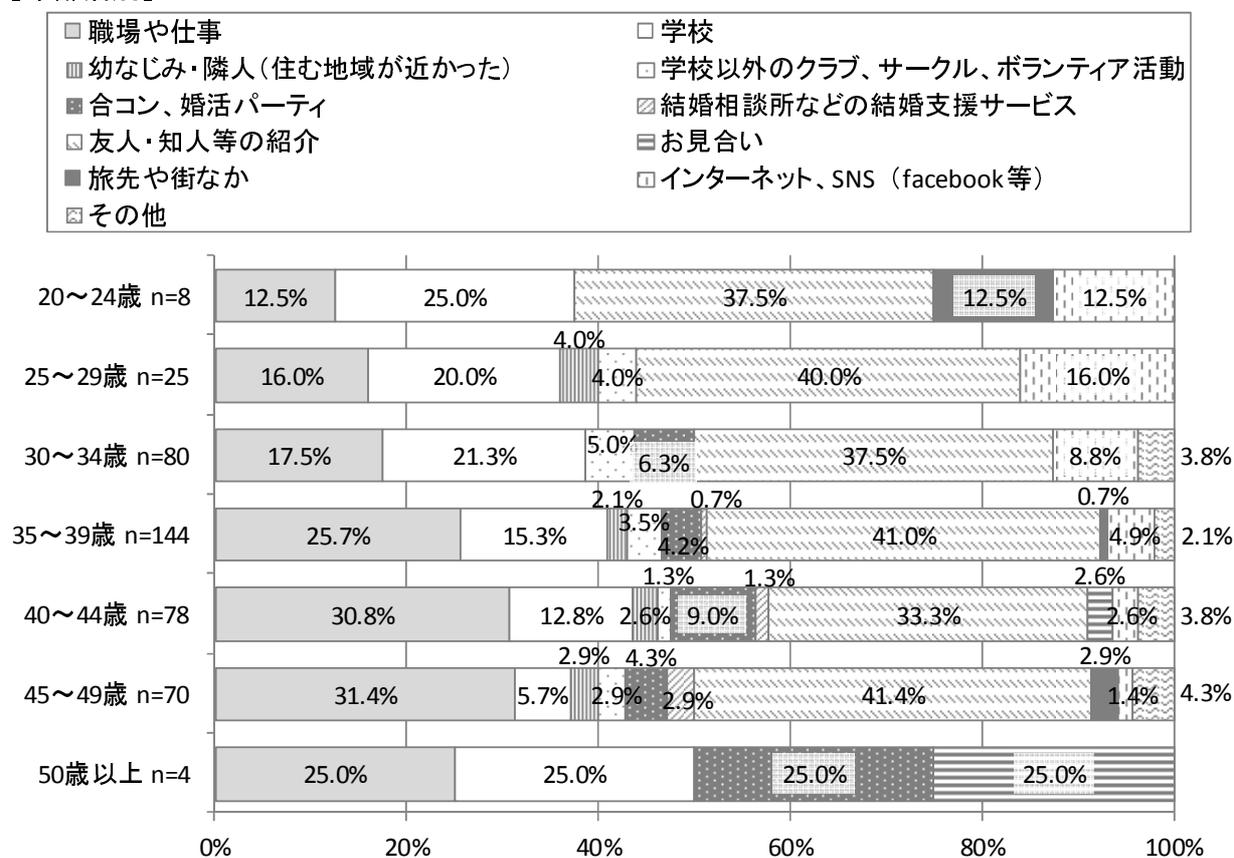
【全体】



【性別】



【年齢層別】



■ その他の回答

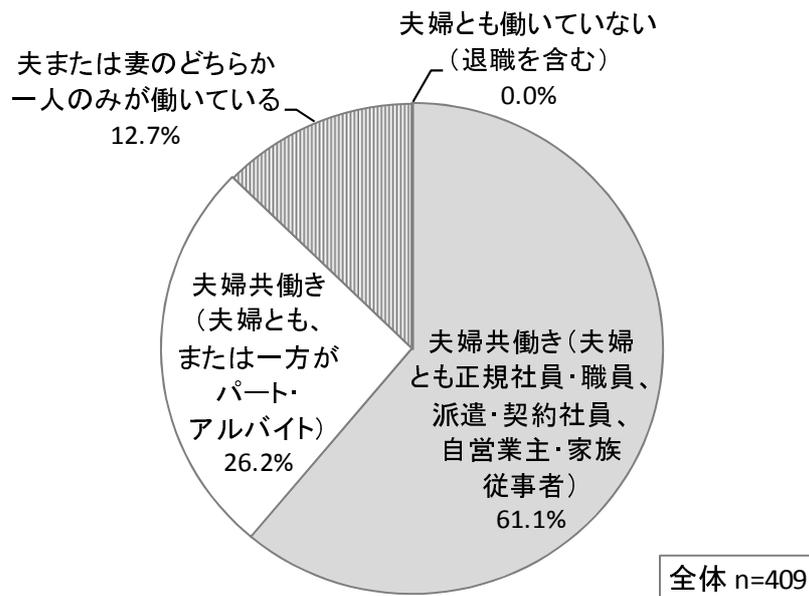
- 趣味 (女性/40～44歳/大曲)
- スキー場 (女性/30～34歳/神岡)
- たまたま (女性/30～34歳/大曲)
- 買い物 (男性/40～44歳/大曲)
- 友人の結婚式 (女性/35～39歳/神岡)
- 学生時代のバイト先 (男性/35～39歳/大曲)

【問 8】 夫婦の就業状況について。

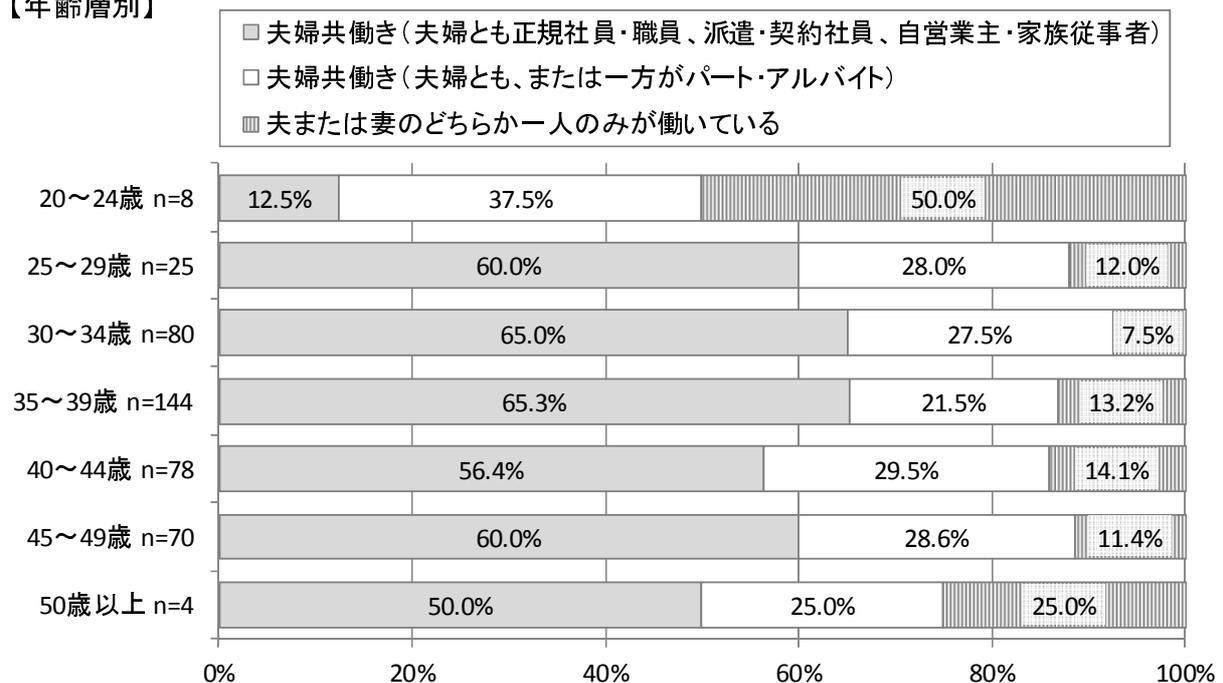
○全体では、「夫婦共働き（夫婦とも正規社員・職員等）」と回答した方が 61.1%で最も多く、次いで「夫婦共働き（夫婦とも、または一方がパート、アルバイト）」が 26.2%、「夫または妻のどちらか一人のみが働いている」が 12.7%となっている。

○年齢層別で見ると、20～24歳は「夫または妻のどちらか一人のみが働いている」の割合が最も大きくなっているが、それ以外は全て「夫婦共働き（夫婦とも正規社員・職員等）」の割合が最も大きくなっている。

【全体】



【年齢層別】



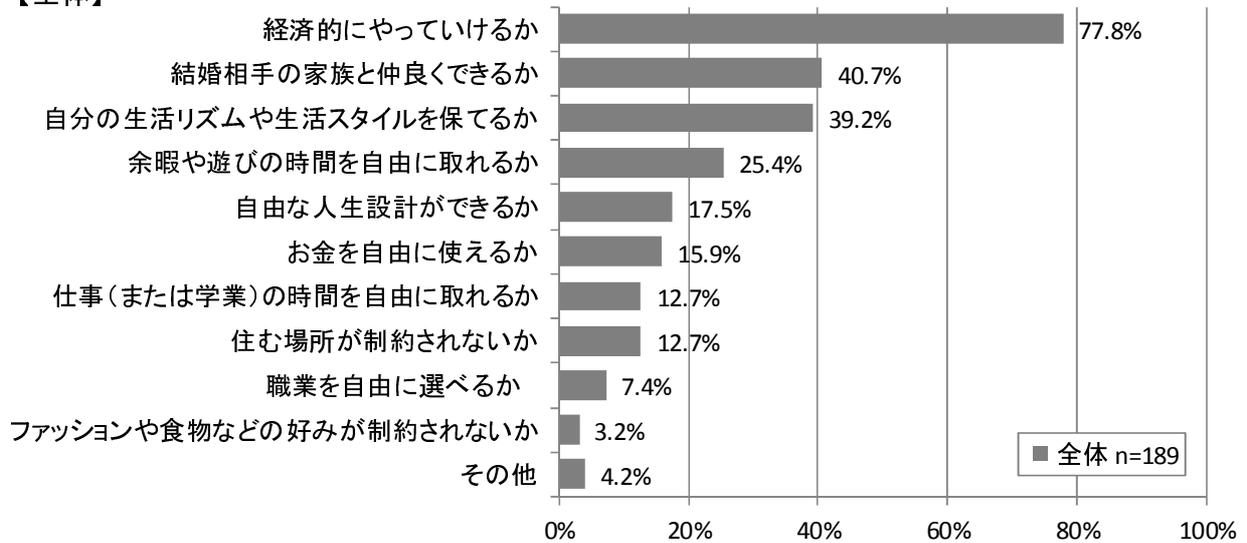
問9から13までは、問6で「2. 独身（離別・死別含む）」と回答した方のみ

【問9】あなたが、結婚することを考えたとき、どのようなことが気になりますか。（3つまで）

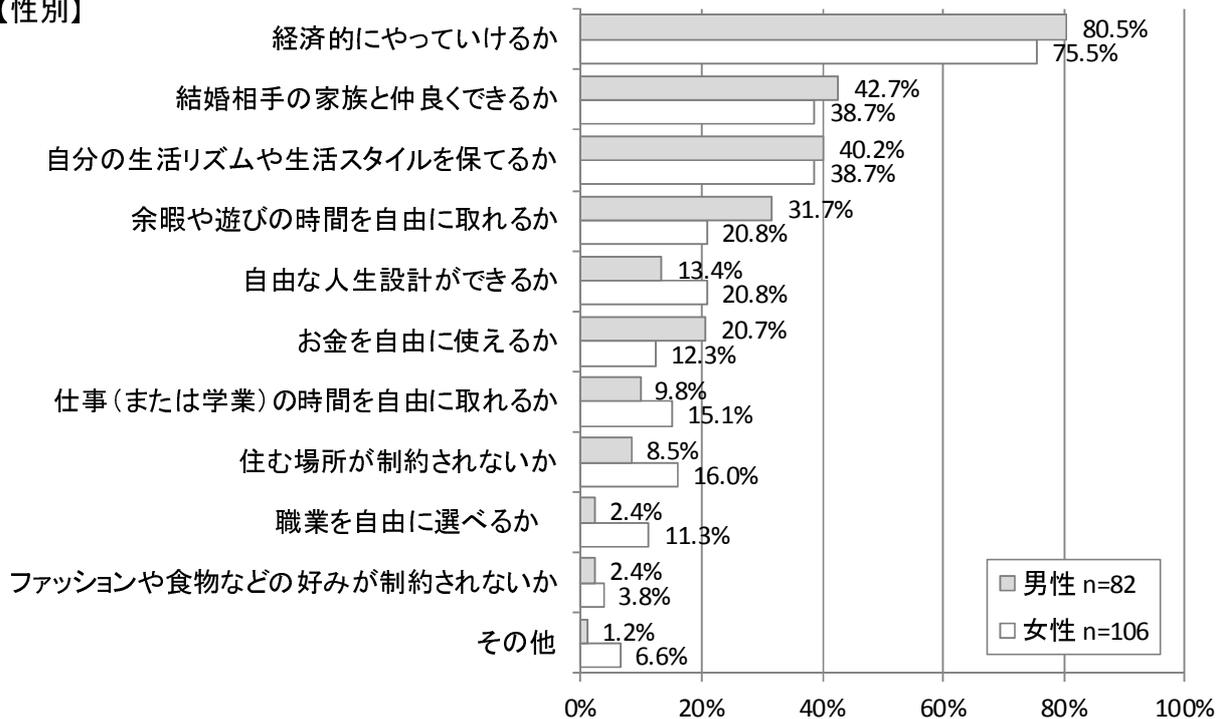
○全体では、「経済的にやっていけるか」と回答した方が77.8%で最も多く、次いで「結婚相手の家族と仲良くできるか」が40.7%、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が39.2%となっている。

○性別で見ると、概ね同様の傾向となっているが、「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」や「お金を自由に使えるか」は男性、「住む場所が制約されないか」や「職業を自由に選べるか」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

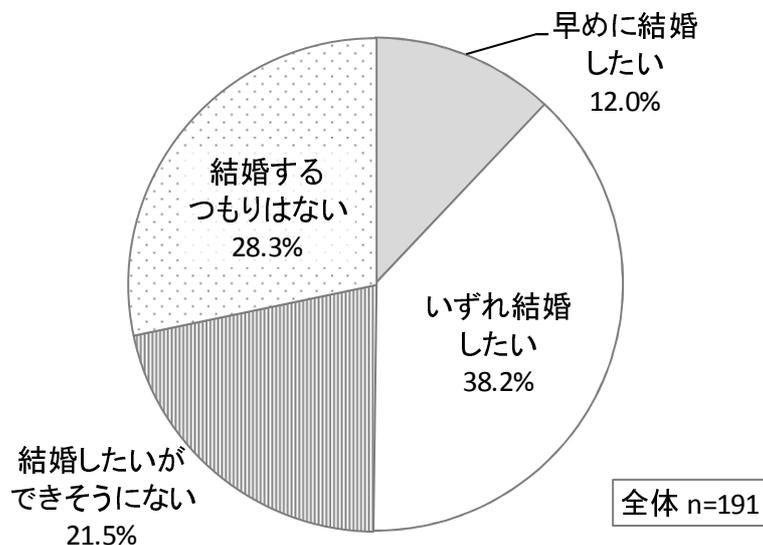
- 結婚することをそもそも考えない（女性／30～34歳／南外）
- 現在病気のため考えられない（女性／30～34歳／太田）
- 親の世話を誰が見るのか（女性／40～44歳／太田）
- 子供を大事にしてくれるか（女性／30～34歳／大曲）
- 子供と相手が仲良くできるか（女性／40～44歳／大曲）
- 子供と相手がうまくやっていけるか（女性／25～29歳／大曲）
- 自分の寿命（男性／30～34歳／大曲）
- 相手が自立しているかどうか（女性／45～49歳／西仙北）

【問10】結婚に関するあなたの考えに近いものはどれですか。

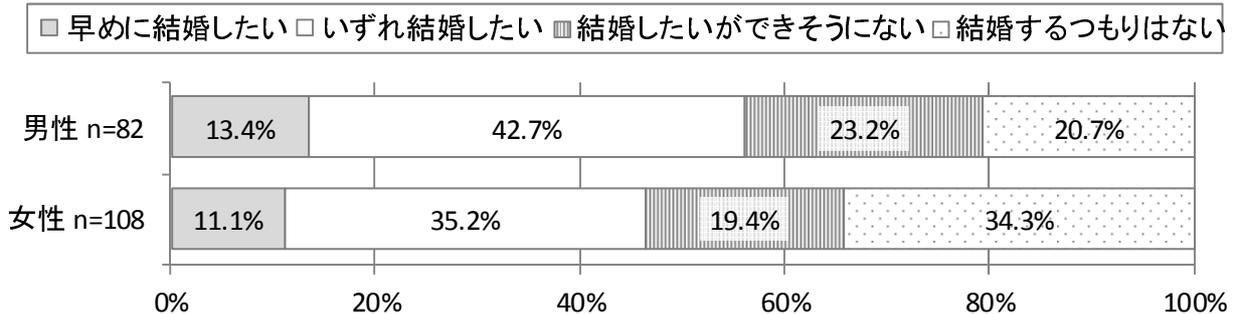
○全体では、「いずれ結婚したい」と回答した方が38.2%で最も多く、「早めに結婚したい」と回答した方と合わせると約半数となっている。また、「結婚したいができそうにない」を含め、「結婚したい」と回答した方については7割を超えている。

○性別で見ると、「いずれ結婚したい」は男性、「結婚するつもりはない」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



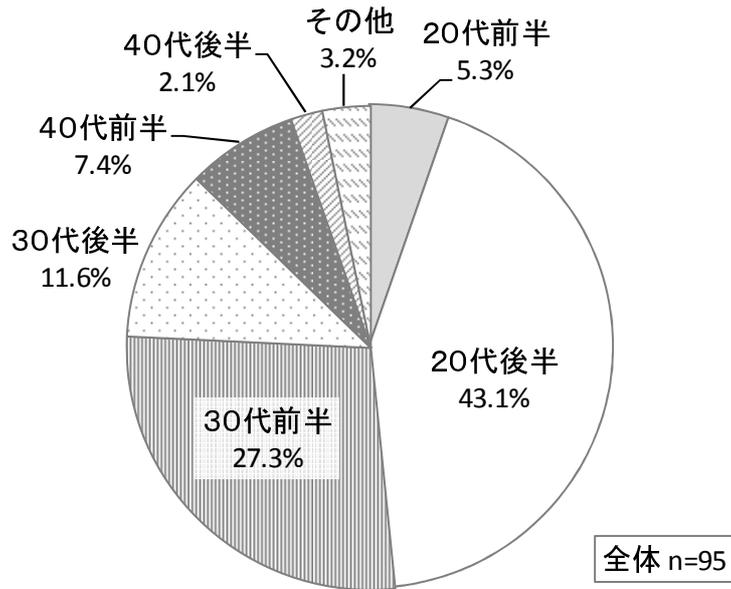
【問 1 1】あなたが結婚したいと考える年齢は何歳くらいですか。

(問 1 0 で「1. 早めに結婚したい」、「2. いずれ結婚したい」と回答した方)

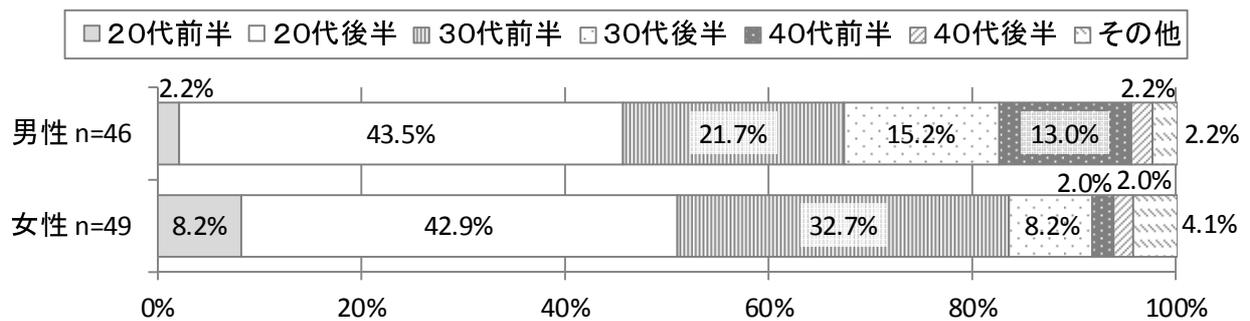
○全体では、「20代後半」と回答した方が43.1%で最も多く、「20代前半」と回答した方と合わせると半数近くとなっている。

○性別で見ると、「30代後半」や「40代前半」は男性、「20代前半」や「30代前半」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

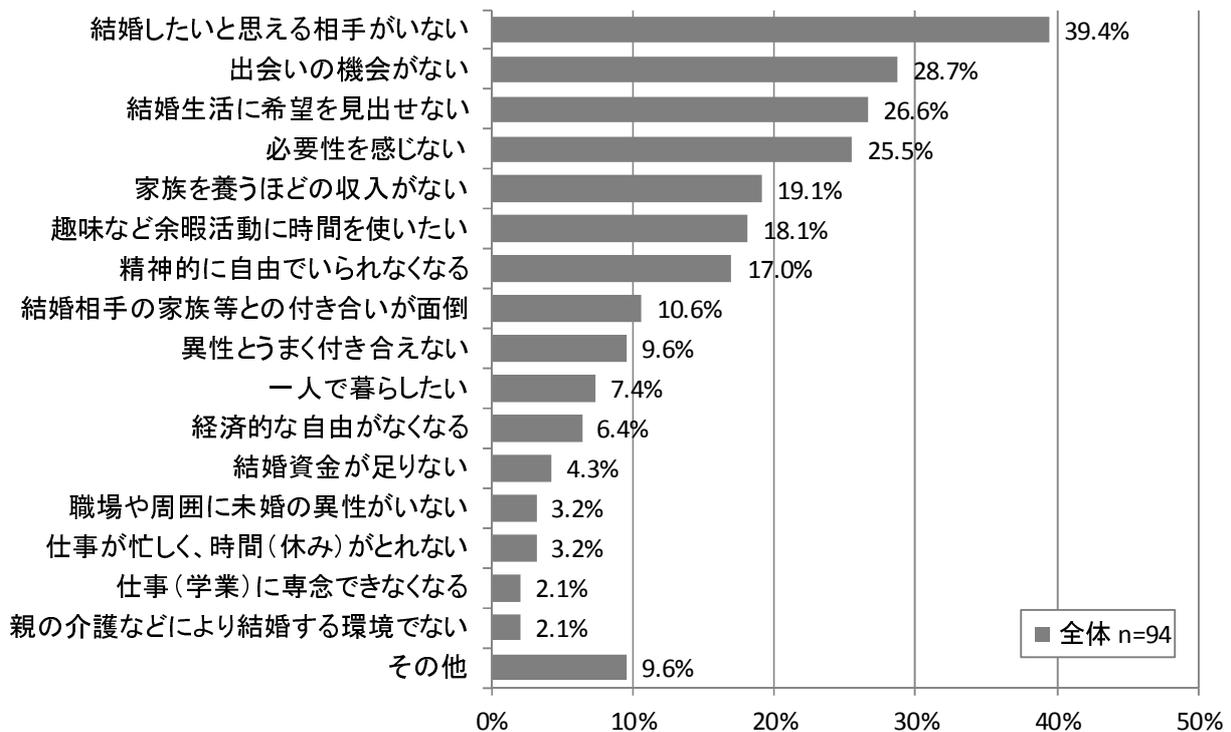
- 時期はわからない (女性/25~29歳/大曲)
- 50代 (男性/45~49歳/太田)
- タイミングが合えば (女性/30~34歳/大曲)

【問12】結婚できそうにない、または結婚するつもりはない理由は何ですか。（3つまで）
 （問10で「3. 結婚したいができそうにない」、「4. 結婚するつもりはない」と回答した方）

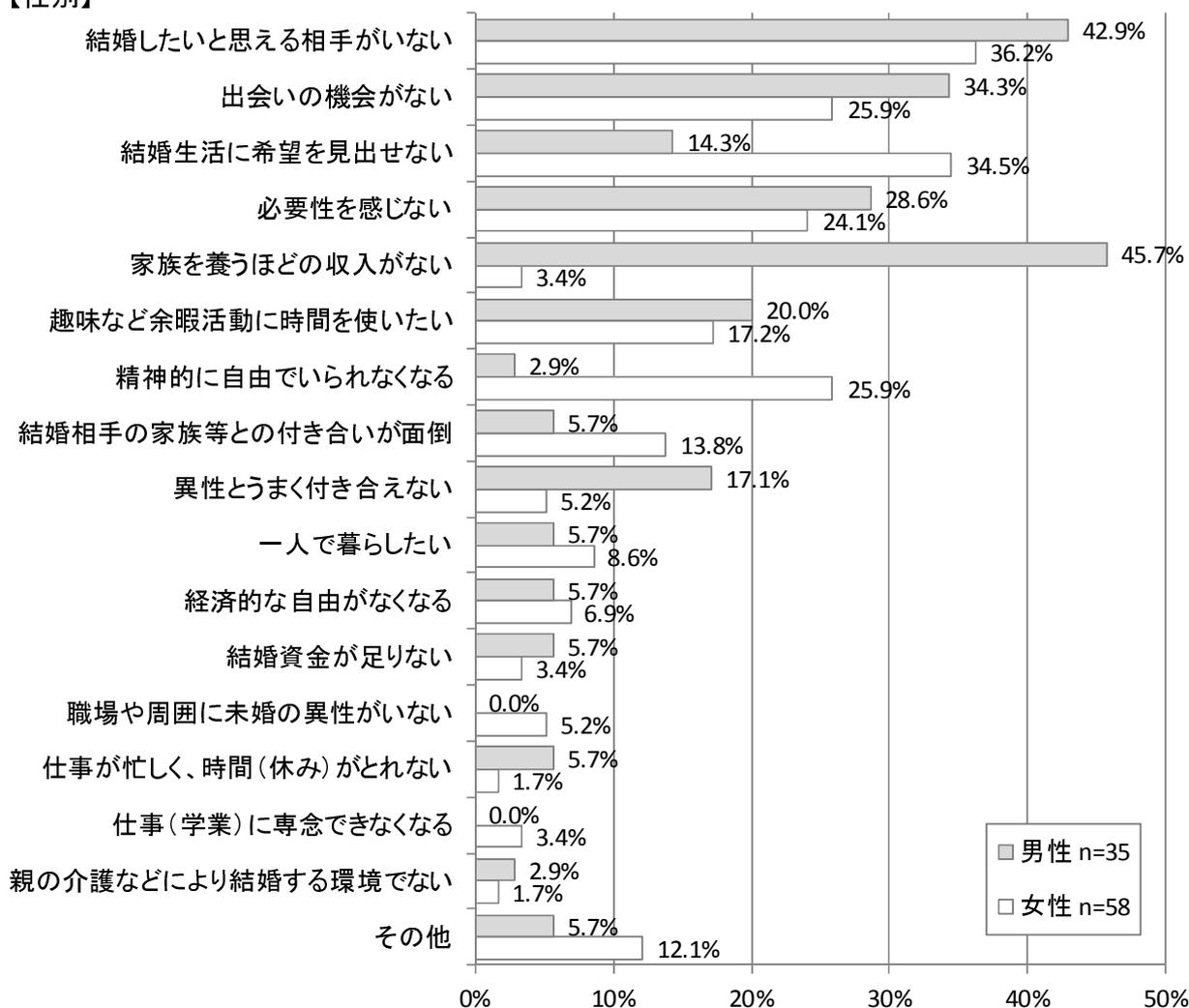
○全体では、「結婚したいと思える相手がない」と回答した方が39.4%で最も多く、次いで「出会いの機会がない」が28.7%、「結婚生活に希望を見出せない」が26.6%となっている。

○性別で見ると、男性では「家族を養うほどの収入がない」と回答した方が最も多く、女性は全体同様「結婚したいと思える相手がない」が最も多くなっている。また、「家族を養うほどの収入がない」や「異性とうまく付き合えない」は男性、「結婚生活に希望を見出せない」や「精神的に自由でいられなくなる」、「結婚相手の家族等との付き合いが面倒」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- バツイチで子供あり (女性/30～34歳/大曲)
- 結婚したい相手が結婚を希望していない (女性/35～39歳/大曲)
- 子育てを優先させたい (女性/45～49歳/太田)
- 障がいがあるため、結婚ということはハードルが高く、周囲のサポートや理解がないと到底無理だと思われる。(男性/20～24歳/大曲)
- 子供との時間が楽しいから (女性/40～44歳/大曲)
- 子供がいるので (女性/45～49歳/太田)
- 病気のため収入がない (男性/45～49歳/協和)
- 体調に自信がない (女性/30～34歳/西仙北)

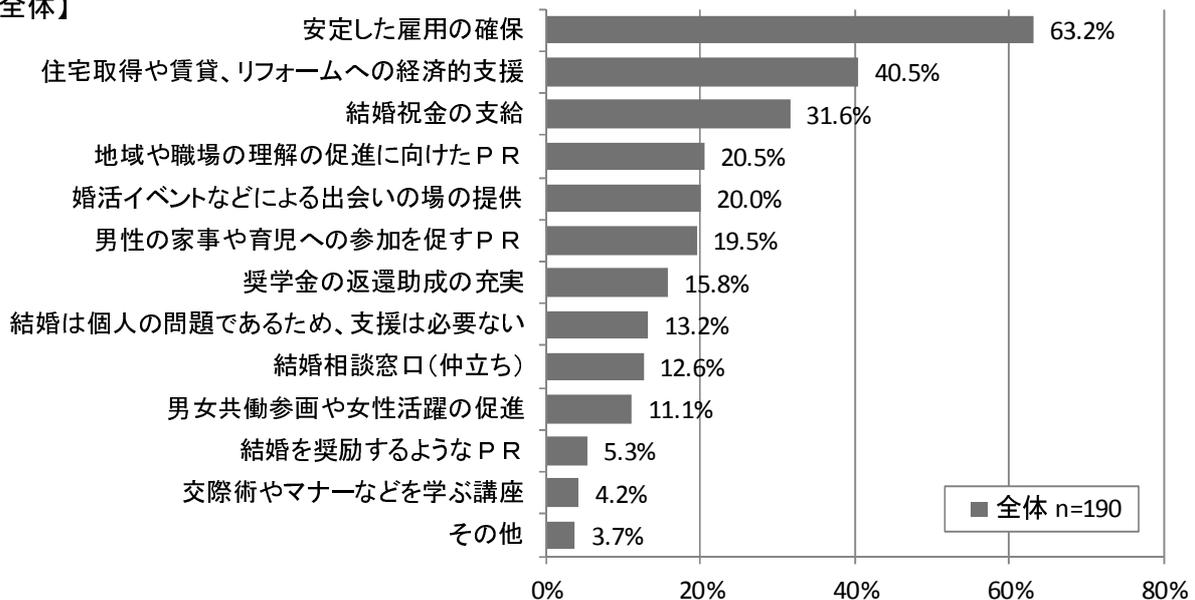
【問13】結婚に関する支援策として、どのような取り組みが重要だと思いますか。

(3つまで選び、最も重要だと思う番号には◎、2、3番目に重要だと思う番号には○)

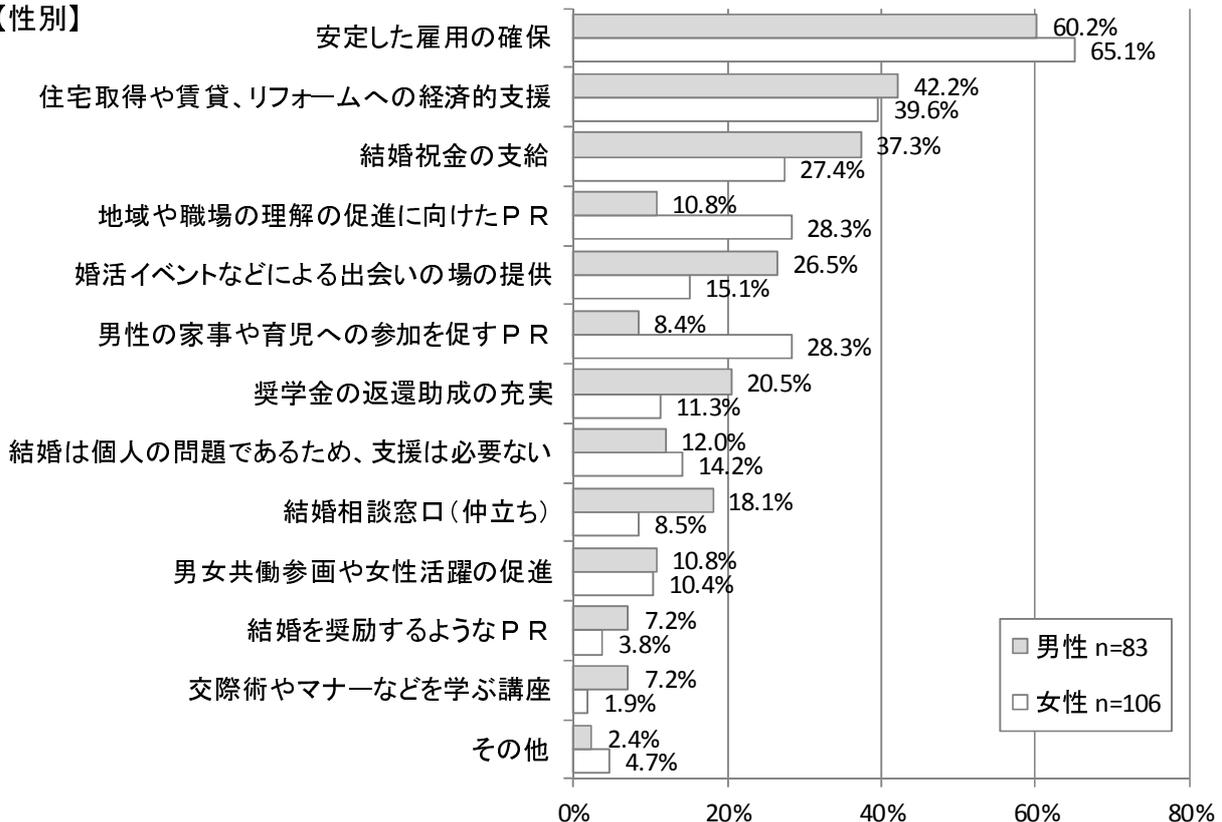
○全体では、「安定した雇用の確保」と回答した方が63.2%で最も多く、次いで「住宅取得や賃貸、リフォームへの経済的支援」が40.5%、「結婚祝金の支給」が31.6%となっている。

○性別で見ると、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」や「奨学金の返還助成の充実」、「結婚相談窓口（仲立ち）」などは男性、「地域や職場の理解の促進に向けたPR」や「男性の家事や育児への参加を促すPR」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- とにかくお金が必要です（男性／45～49歳／太田）
- 親が自分達で生活できるようになれば、子供が犠牲にならずに済むと思う。（女性／40～44歳／太田）
- 秋田県は給料が安すぎる。結婚しても生活できない。給料UPが必要。（女性／40～44歳／大曲）
- 10年後20年後の安定や安心（女性／35～39歳／大曲）

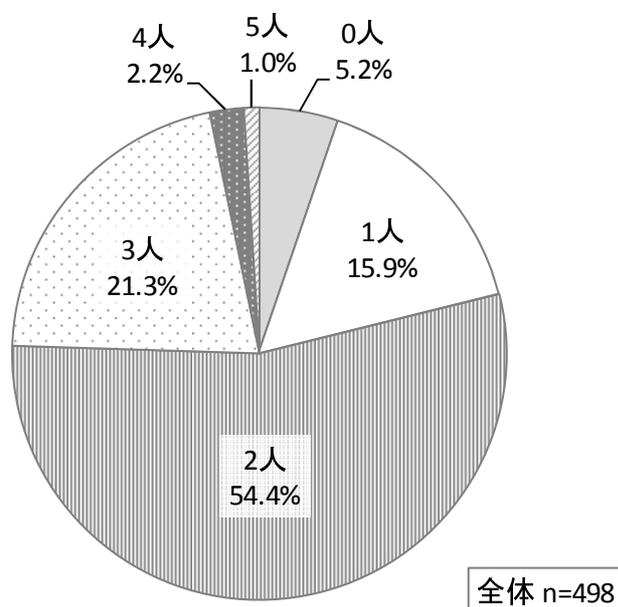
問14から18までは、「現在お子さんがいらっしゃる方」と「今後子どもを持ちたいと考えている方（独身の方も含む）」のみ

【問14】あなたの「現在の子どもの人数（A）」、「今後の子どもの予定人数（B）」、「理想的な子どもの人数（C）」は何人ですか。

〔現在のお子さんの人数と今後の予定人数を合わせた現実的なお子さんの人数について〕

○全体では、「2人」と回答した方が54.4%で最も多く、次いで「3人」が21.3%、「1人」が15.9%となっている。

【全体】



〔理想のお子さんの人数について〕

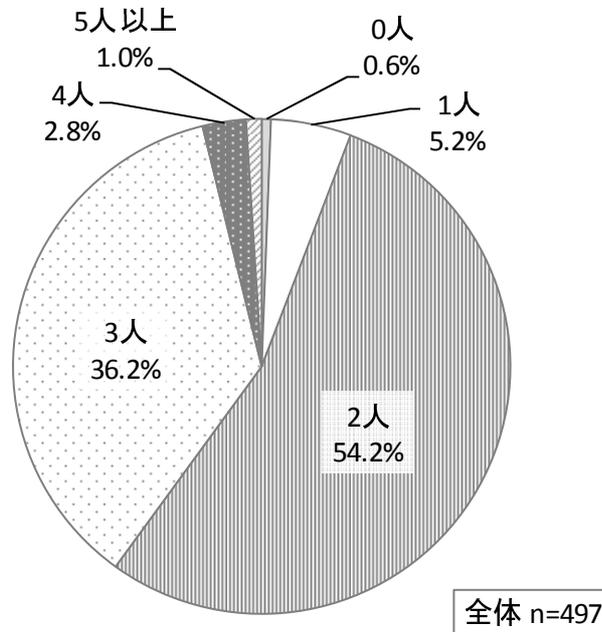
○全体では、「2人」と回答した方が54.2%で最も多く、次いで「3人」が36.2%、「1人」が5.2%となっている。現実的なお子さんの人数と比べると「2人」の割合はほぼ同じであるが、「3人」の割合が大きく、「1人」の割合が小さくなっている。

○性別で見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。女性の方が「3人」の割合が大きくなっている。

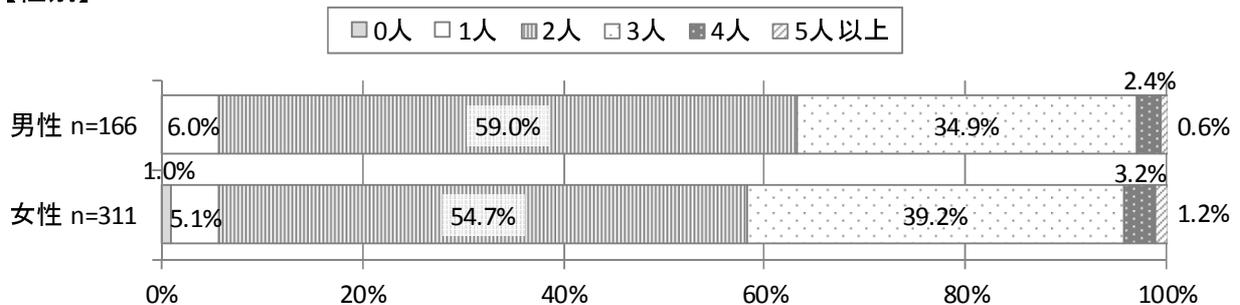
○年齢層別で見ると、概ね全体と同様の傾向となっているが、「18～19歳」では「1人」の割合が、「20～24歳」及び「45～49歳」では「2人」の割合が他の年齢層よりも比較的大きくなっている。

○問6の結婚の有無別で見ると「独身」の方は「1人」及び「2人」の割合が大きく、「3人」の割合が小さくなっている。

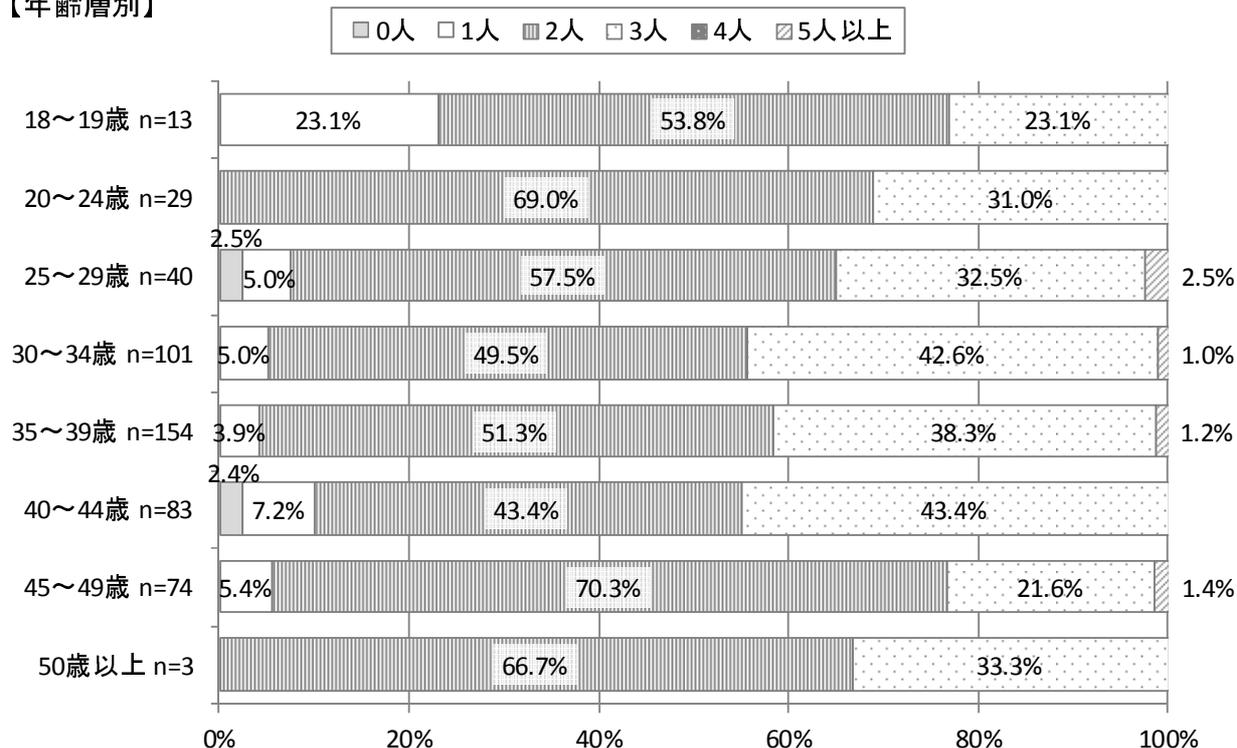
【全体】



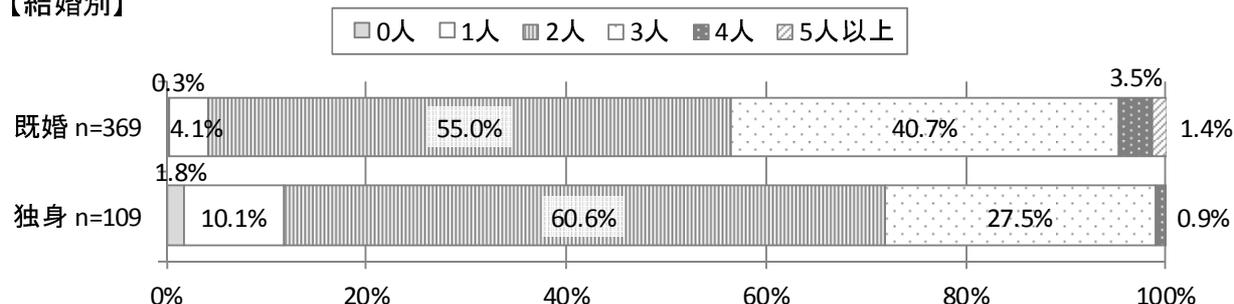
【性別】



【年齢層別】



【結婚別】

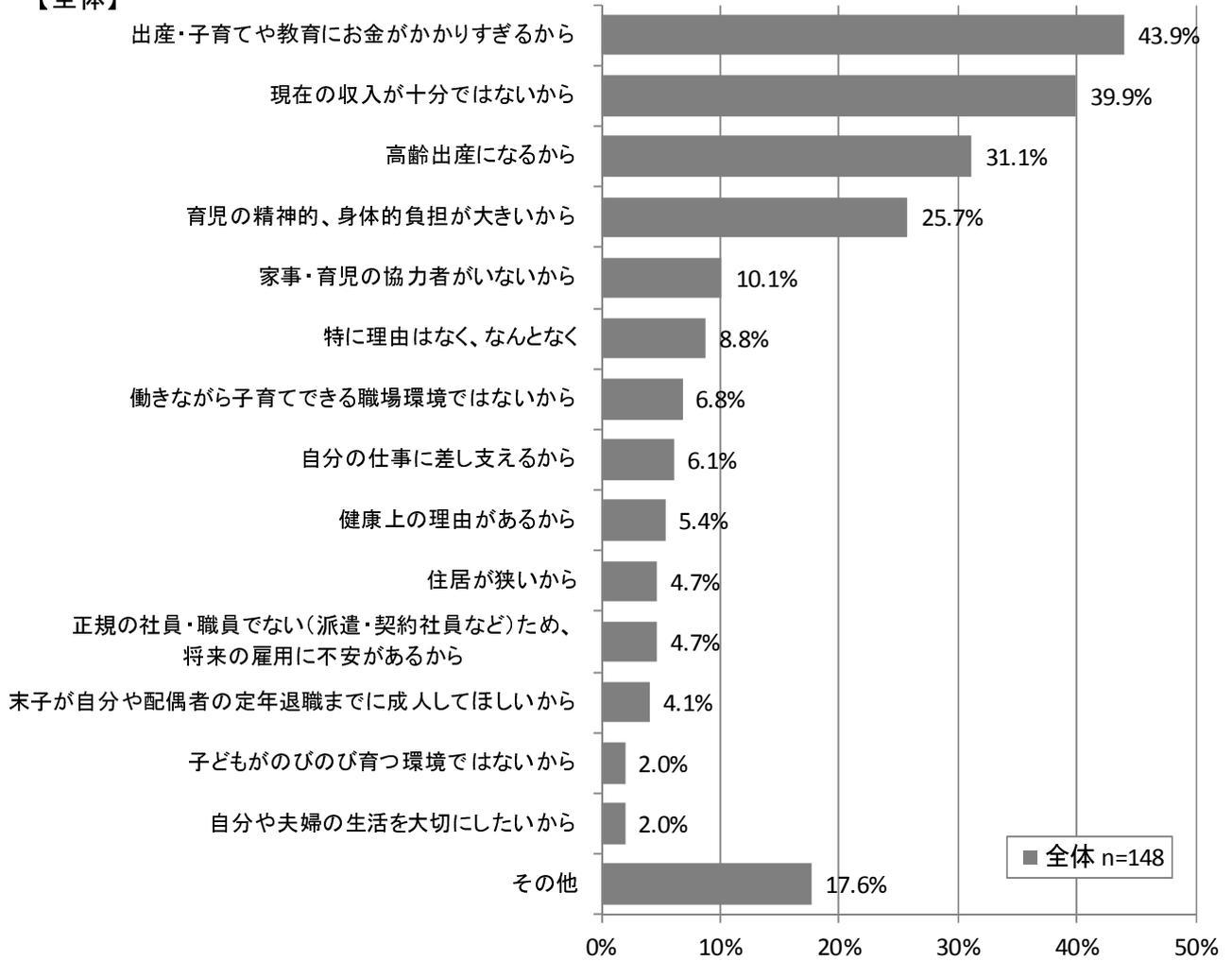


【問15】「現在の子どもの人数（A）」と「今後の子どもの予定人数（B）」を足した人数が、「理想的な子どもの人数（C）」より少ない理由は何ですか。（3つまで）
（問14で（A）+（B）が（C）より少ない方）

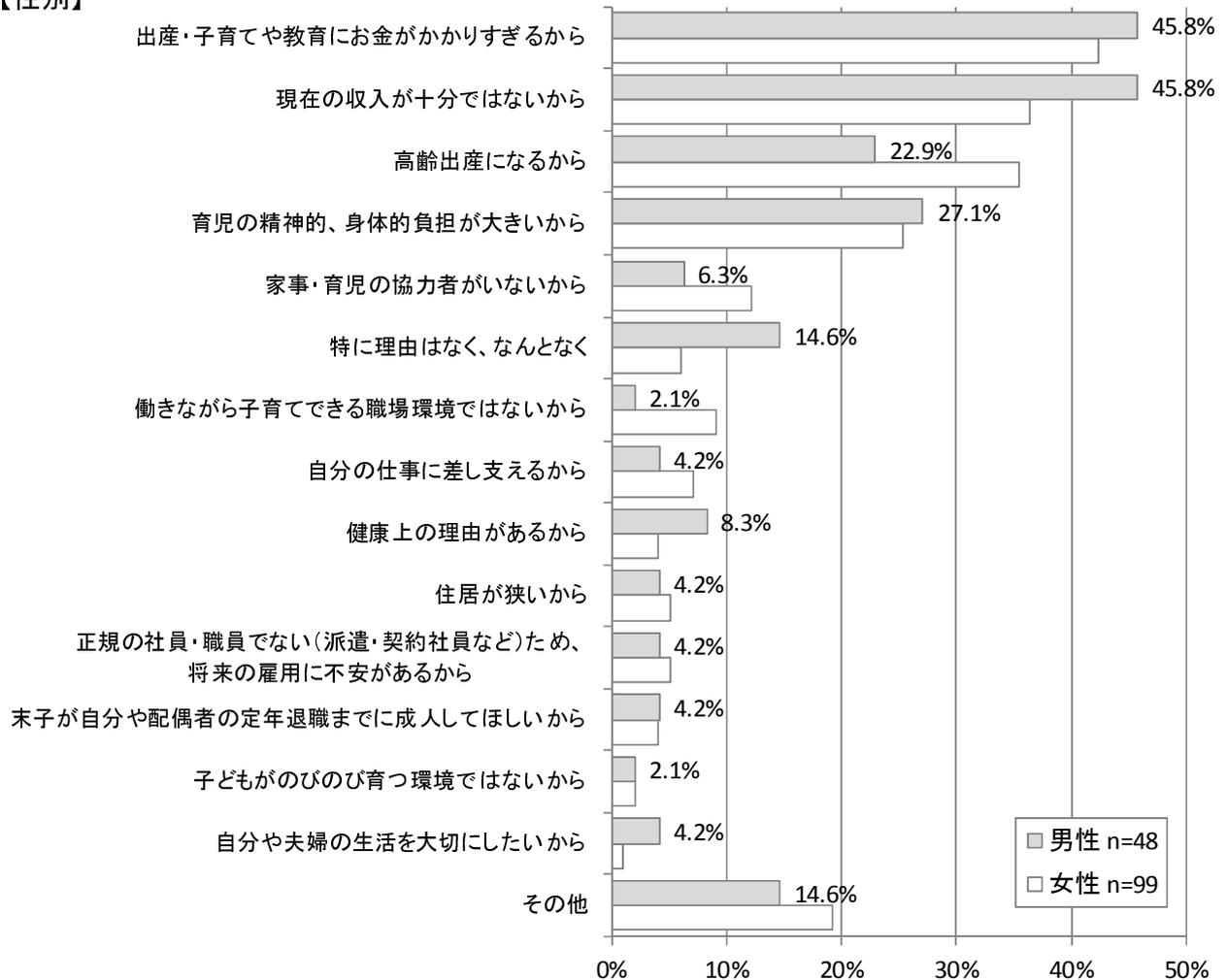
○全体では、「出産・子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した方が43.9%で最も多く、次いで「現在の収入が十分ではないから」が39.9%、「高齢出産になるから」が31.1%となっている。

○性別で見ると、男性では「出産・子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と「現在の収入が十分ではないから」が同率で最も多くなっており、女性では全体同様「出産・子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多くなっている。また、「現在の収入が十分ではないから」や「健康上の理由があるから」は男性、「高齢出産になるから」や「家事・育児の協力者がいないから」、「働きながら子育てできる職場環境ではないから」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- 独身だから (【男性】 30～34 歳／協和、40～44 歳／西仙北、【女性】 18～19 歳／大曲、18～19 歳／太田 2名、30～34 歳／大曲 2名、35～39 歳／大曲 2名)
- 1人目の時、子供が手術したから (男性／45～49 歳／西仙北／既婚)
- 4月から働き始め、育休を得るには1年働く必要があるから (女性／30～34 歳／大曲／既婚)
- 子供を産んでも子供の未来が心配 (女性／40～44 歳／仙北／独身)
- 子供に発達遅れあり、二人目もだったらという不安があるため。(女性／30～34 歳／西仙北／既婚)
- 高校を卒業したばかりで予定がないから (男性／18～19 歳／大曲／独身)
- シングルマザーで結婚する気がないから (女性／30～34 歳／協和／独身)
- 不妊治療中であるが、助成金もすべて使いきり、今後は実費になるため、金銭的に負担が多いので (女性／35～39 歳／中仙／既婚)
- 流産したので (女性／45～49 歳／中仙／既婚)
- 単身赴任が長かった。14年目。(男性／40～44 歳／大曲／既婚)
- 転勤や家族の問題などあり、タイミングを逃し、年齢もあり、諦めた (女性／45～49 歳／大曲／既婚)
- 不妊症のため、長らく子供を授からなかったから (女性／45～49 歳／神岡／既婚)

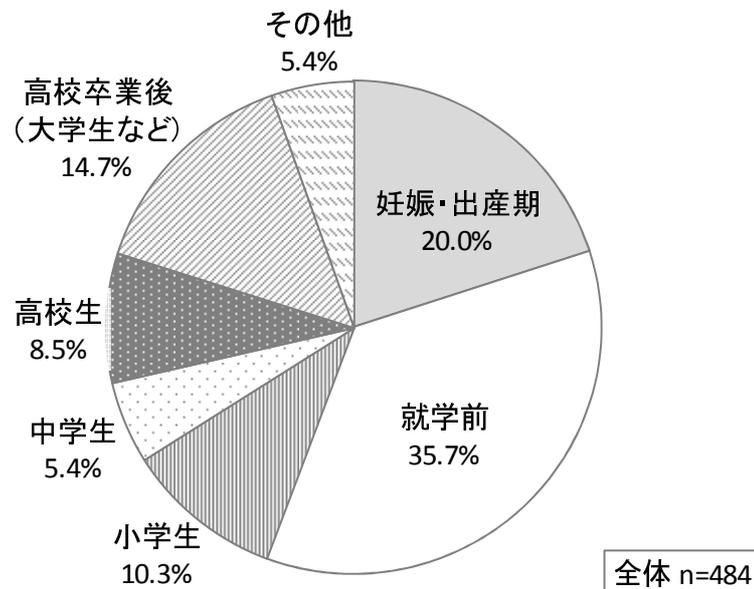
- 子供を産めない体になったため（女性／35～39歳／大曲／独身）
- 子供がなかなかできない（男性／40～44歳／大曲／既婚）
- 学生だから（男性／18～19歳／太田／独身）
- 別居中であり、離婚→再婚することも定かではなく、年齢も上がってしまう不安のため（女性／35～39歳／神岡／既婚）
- パートナー・家族の同意を得られなかったから（女性／35～39歳／大曲／既婚）

【問16】あなたは、子育てにおいてどの時期の支援が最も重要だと思いますか。

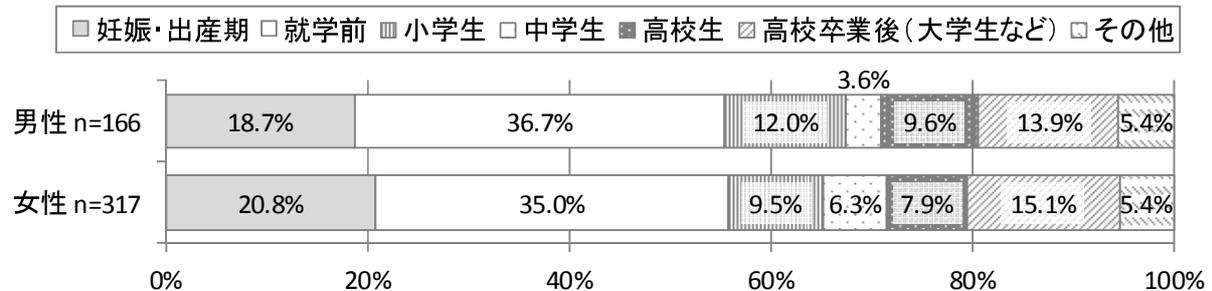
○全体では、「就学前」と回答した方が35.7%で最も多く、次いで「妊娠・出産期」が20.0%、「高校卒業後（大学生など）」が14.7%となっている。

○性別で見ると、男女とも全体とほぼ同様の傾向となっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

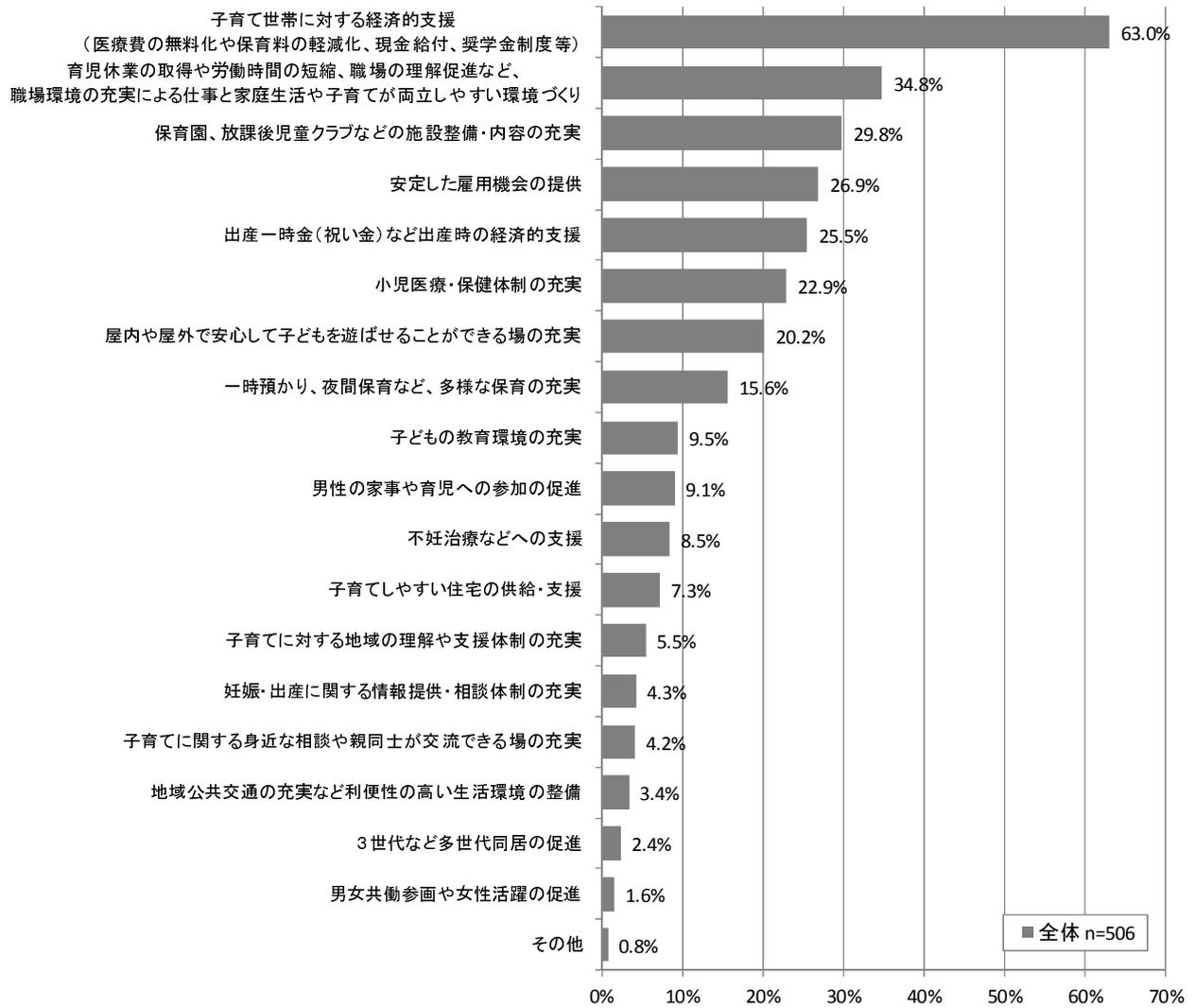
- 全ての時期（【男性／大曲】25～29歳／独身、30～34歳／既婚、40～44歳／既婚、【女性／独身】18～19歳／大曲、【女性／既婚】25～29歳／仙北、35～39歳／大曲 2名、40～44歳／大曲）
- 成人するまで（【男性】35～39歳／中仙／既婚、【女性／独身】30～34歳／仙北、35～39歳／大曲、【女性／既婚】35～39歳／大曲）
- 妊娠～高校卒業まで（【女性／既婚】30～34歳／大曲、35～39歳／中仙、35～39歳／太田）
- 妊娠～就学前（【女性／既婚】25～29歳／協和、30～34歳／大曲）
- 小学生～高校生まで（【男性／既婚】40～44歳／西仙北 2名、35～39歳／太田）
- 妊娠・出産期と就学前（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- 妊活中（女性／35～39歳／協和／既婚）
- 中～高校生（女性／30～34歳／協和／独身）
- スポ少や部活動（男性／45～49歳／仙北／独身）
- 義務教育終了まで（男性／35～39歳／大曲／既婚）
- どの時期も支援が必要だと思うので選べない。（女性／30～34歳／大曲／独身）

【問17】あなたは、出産・子育て支援において、どのような取り組みが重要だと思いますか。
（3つまで選び、最も重要だと思う番号には◎、2，3番目に重要だと思う番号には○）

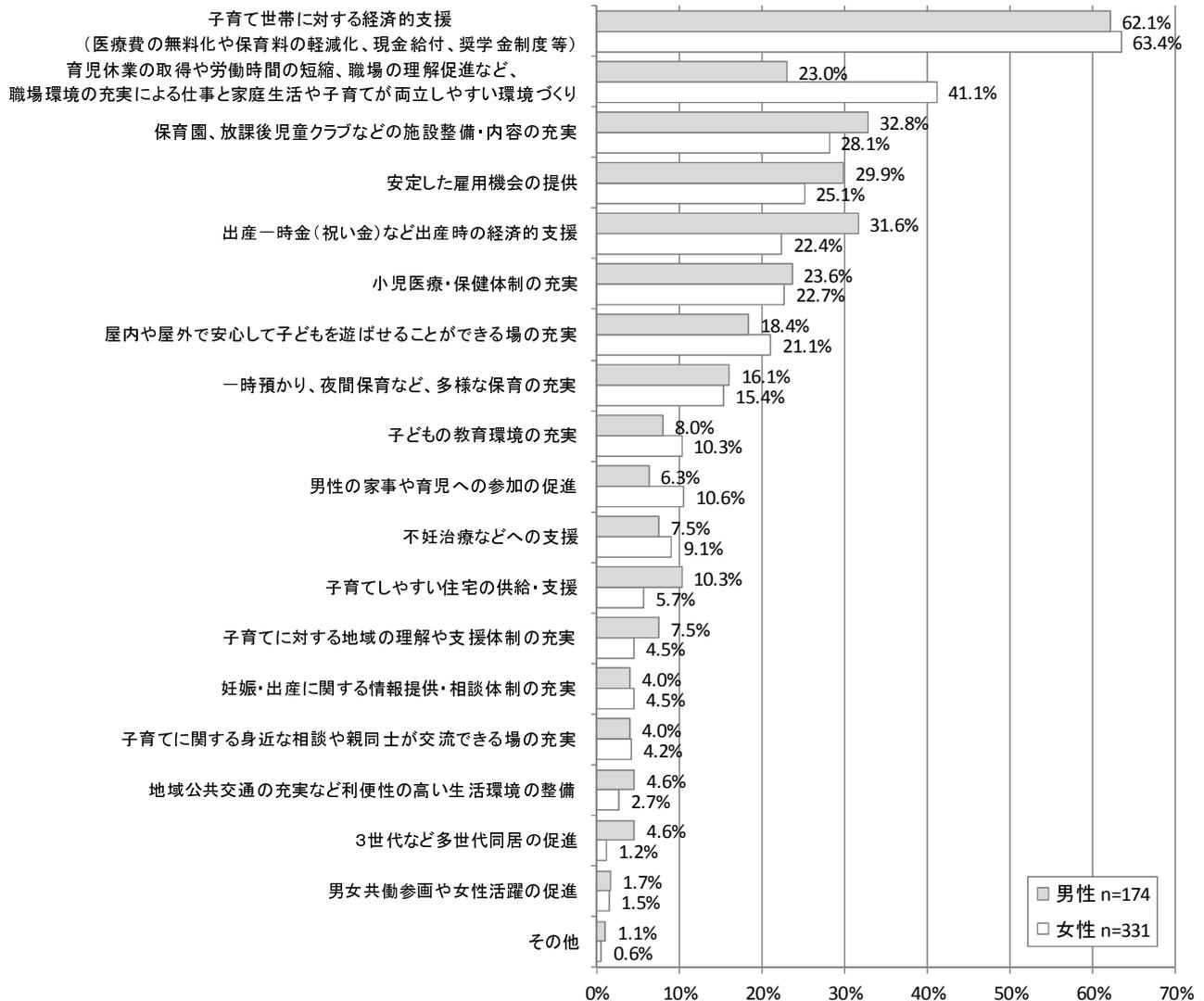
○全体では、「子育て世帯に対する経済的支援」と回答した方が63.0%で最も多く、次いで「育児休業の取得や労働時間の短縮、職場の理解促進など、職場環境の充実による仕事と家庭生活や子育てが両立しやすい環境づくり」が34.8%、「保育園、放課後児童クラブなどの施設整備・内容の充実」が29.8%となっている。

○性別で見ると、「出産一時金（祝い金）など出産時の経済的支援」や「子育てしやすい住宅の供給・支援」は男性、「育児休業の取得や労働時間の短縮、職場の理解促進など、職場環境の充実による仕事と家庭生活や子育てが両立しやすい環境づくり」や「男性の家事や育児への参加の促進」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- 高校卒業までの一貫した支援 (男性/35~39歳/太田/独身)
- 高所得者に対する所得制限の撤廃 (男性/45~49歳/中仙/既婚)
- 私は3番目の子が大曲支援学校に通っています。子供が少ないのであればもう少し大人が住みやすい、働きやすい環境を作ってあげてほしいです。(無理だと思いますが・・・) 大仙市でがんばってほしいです。お願いします。(女性/45~49歳/大曲/既婚)
- 出産後から仕事復帰するまでの経済的支援(任意の予防接種などの援助)(女性/30~34歳/大曲/既婚)

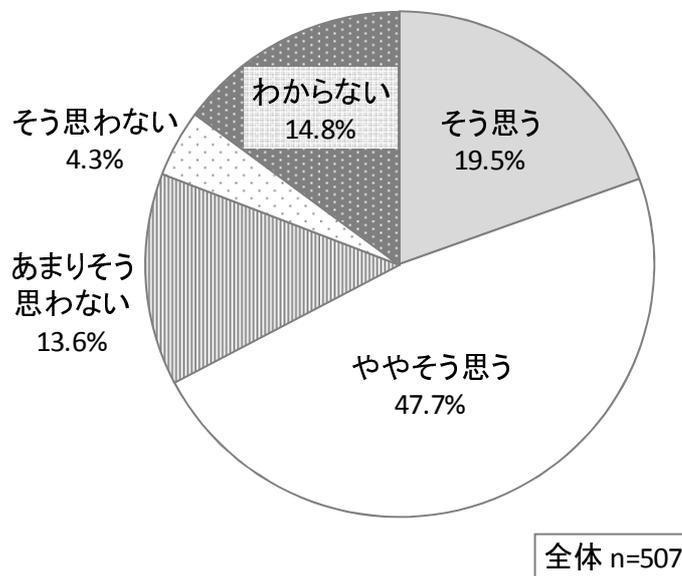
【問18】大仙市は子育てしやすい環境だと思いますか。

○全体では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が67.2%となっており、7割近くの方が子育てしやすいと回答している。

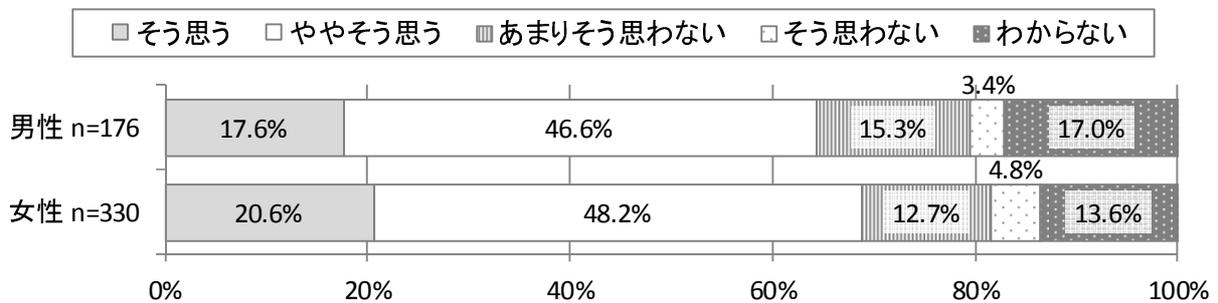
○性別で見ると、男女とも全体とほぼ同様の傾向となっている。

○地域別で見ると、神岡、協和地域では、他の地域に比べ「そう思う」と回答した方の割合が小さく、「ややそう思う」と回答した方の割合が大きくなっている。また、南外地域では「あまりそう思わない」と回答した方の割合が42.9%となっており、他の地域に比べ大きくなっている。

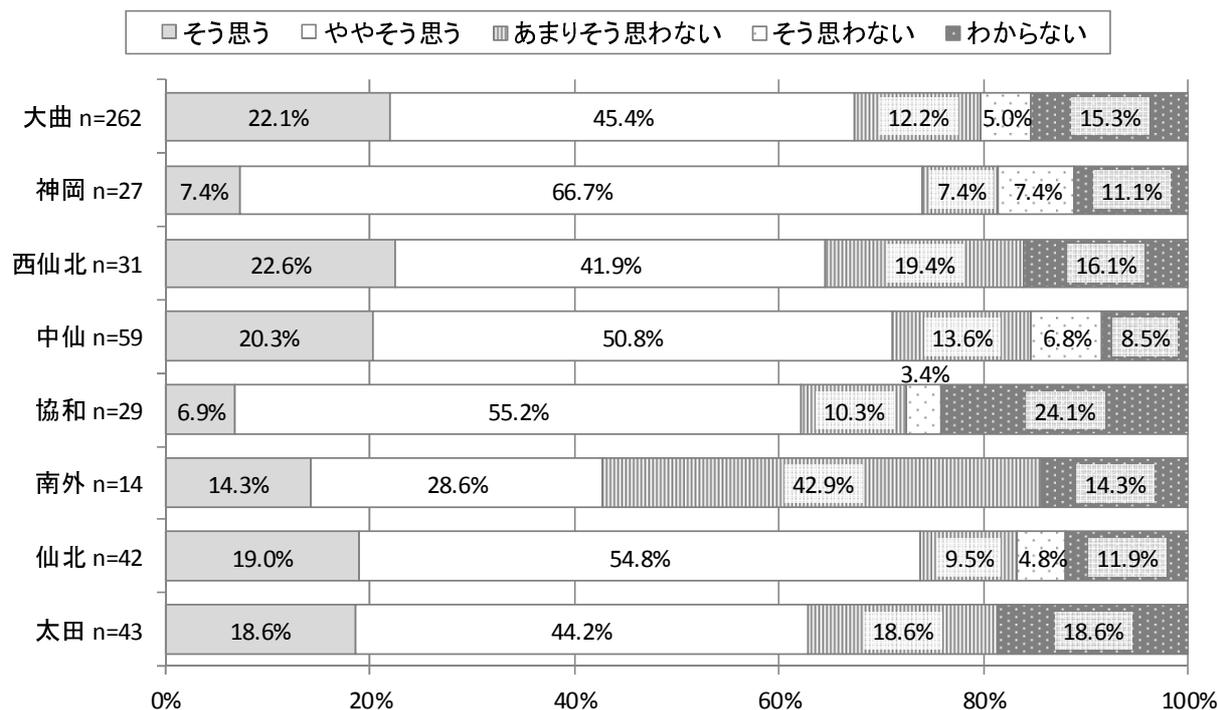
【全体】



【性別】



【地域別】

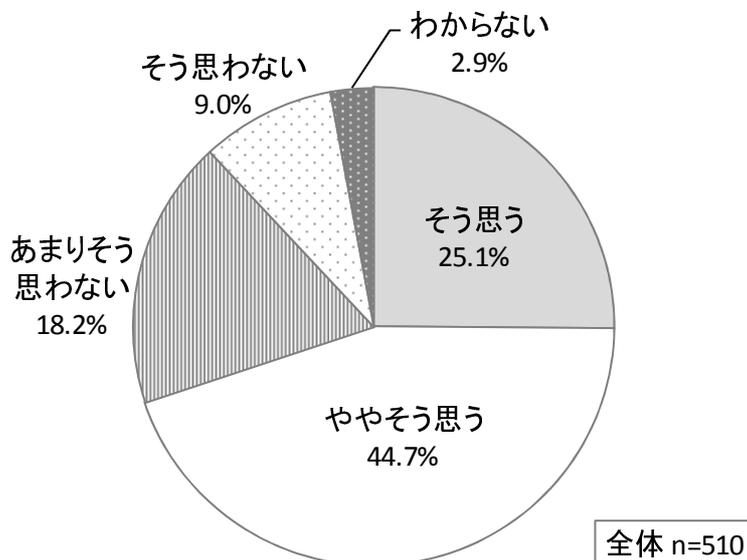


問19、20は「現在お仕事をされている方」のみ

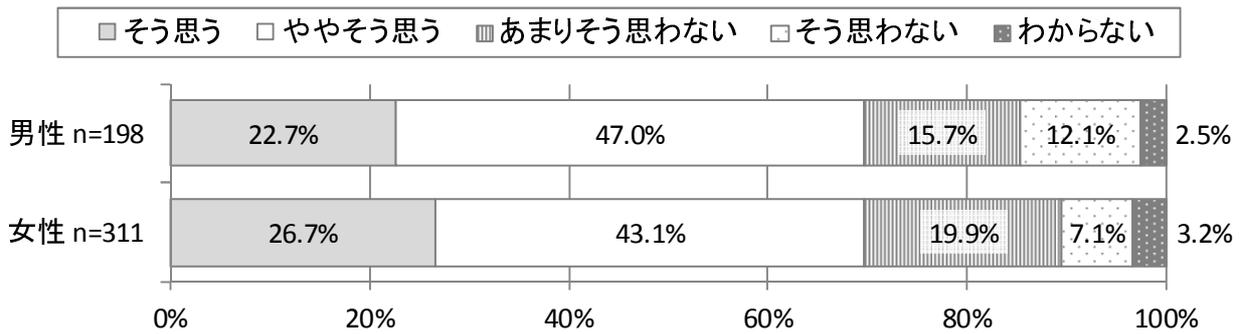
【問19】あなたの職場は、仕事と家庭などの生活が両立しやすい環境（ワーク・ライフ・バランスがとりやすい環境）ですか。

- 全体では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が69.8%となっており、約7割の方がワーク・ライフ・バランスがとりやすい環境であると回答している。
- 性別で見ると、男性の方が「そう思う」と回答した方の割合が小さく、「そう思わない」と回答した方の割合が大きくなっている。

【全体】



【性別】

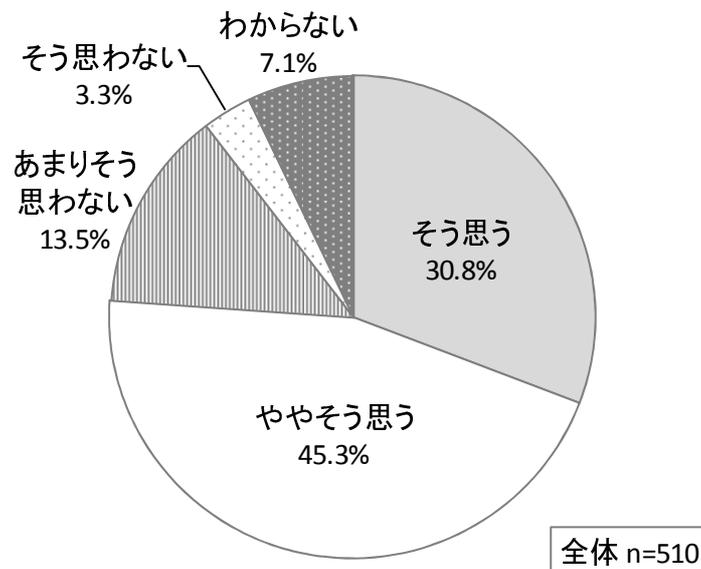


【問20】あなたの職場は、結婚や子育てに理解があると思いますか。

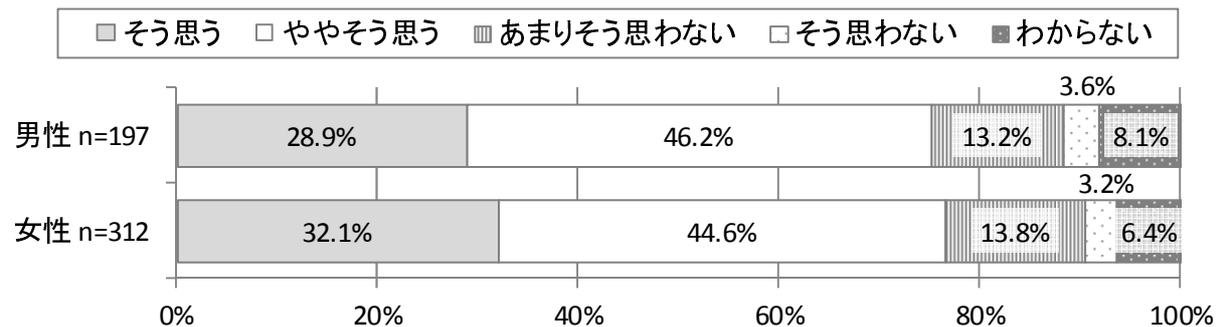
○全体では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が76.1%となっており、7割以上の方が理解があると回答している。

○性別で見ると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は女性の方が大きくなっている。

【全体】



【性別】



【問 2 1】あなたは、家庭での育児の関わり方について、どうあるべきだと思いますか。

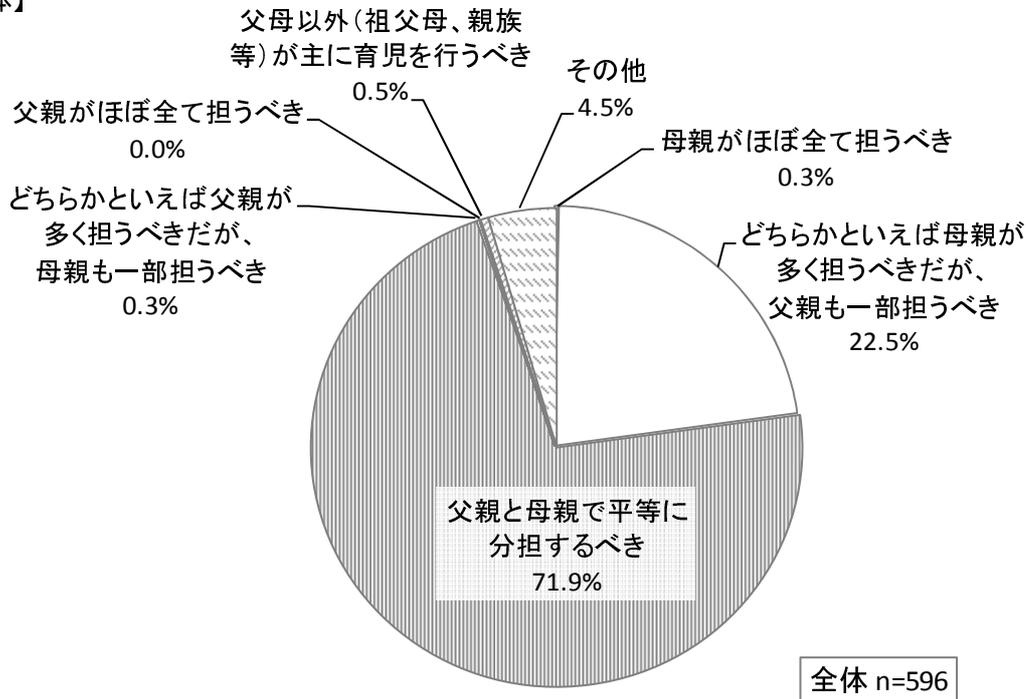
また、現在お子さんがいる方は、お子さんの育児に対して主に関わっている方はどなたですか。

〔理想の関わり方〕

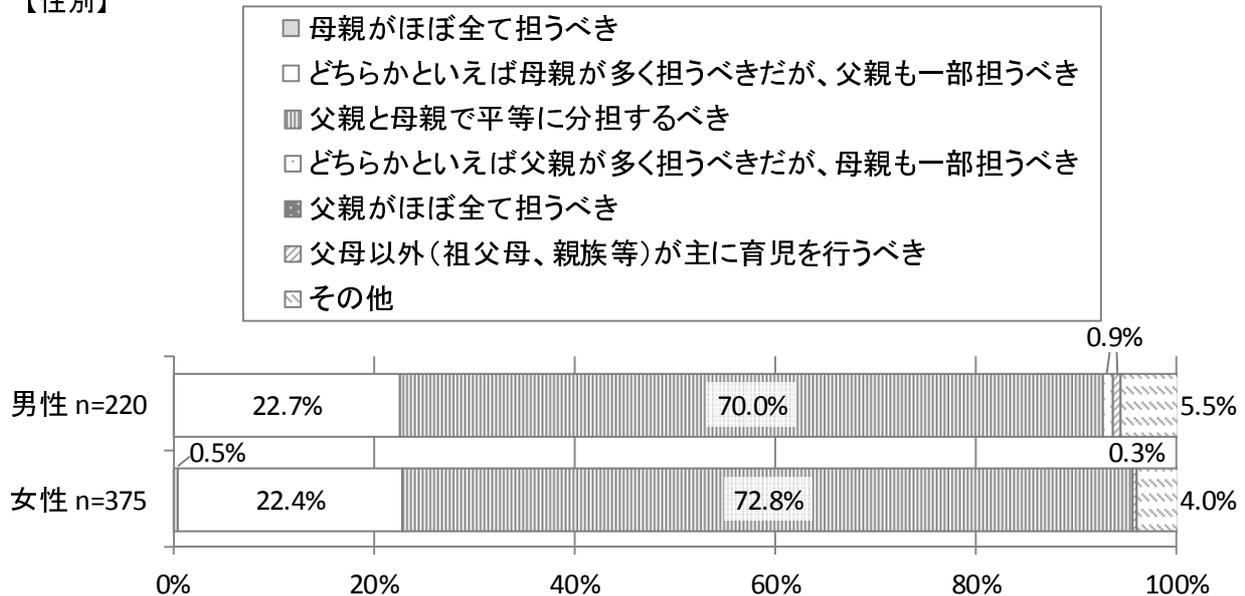
○全体では、「父親と母親で平等に分担するべき」と回答した方が71.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば母親が多く担うべきだが、父親も一部担うべき」が22.5%となっている。

○性別で見ると、男女とも全体とほぼ同様の傾向となっているが、女性の方が「父親と母親で平等に分担するべき」と回答した方の割合がわずかに大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

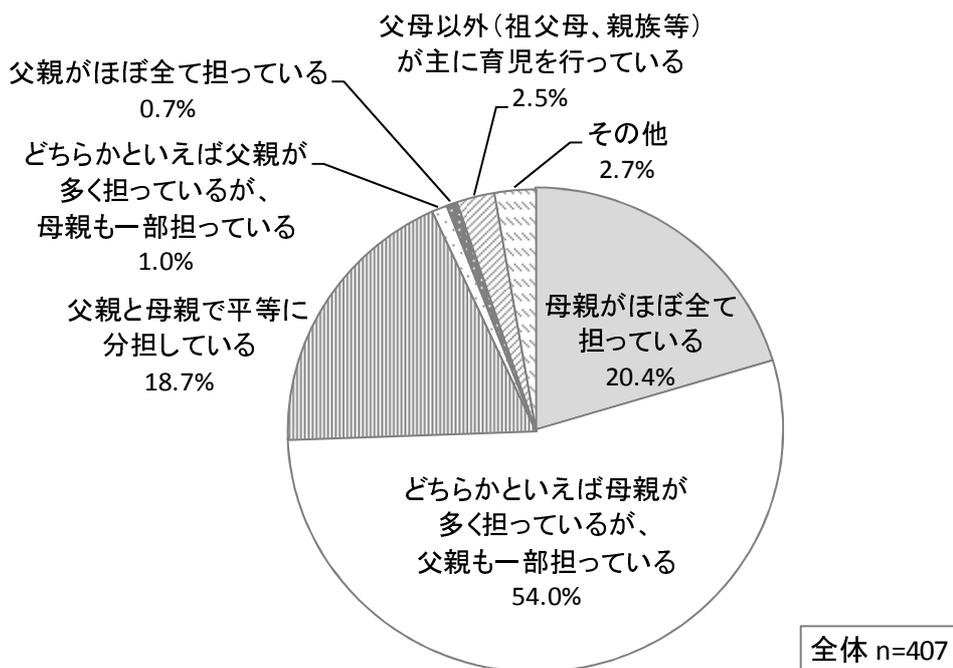
- 家族全員で協力すべき（【男性／既婚】30～34歳 2名、35～39歳 2名、40～44歳 3名、45～49歳、【女性／独身】30～34歳、35～39歳 2名、40～44歳、50歳以上、【女性／既婚】30～34歳 2名、35～39歳 2名、40～44歳、45～49歳）
- その家庭環境で調整すべき（男性／35～39歳／太田／独身）
- ケースバイケース（女性／30～34歳／大曲／独身）
- それぞれで良いと思う。関わり方を問うべきではない。（女性／40～44歳／協和／独身）
- やれる人と時間の取り方による（男性／30～34歳／大曲／独身）
- どちらかといえば選択肢2の「どちらかといえば母親が多く担うべきだが、父親も一部担うべき」ですが、共働きなら選択肢3の「父親と母親で平等に分担すべき」にするべき（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- わからない（男性／35～39歳／仙北／既婚、女性／30～34歳／太田／独身）

〔実際の関わり方〕

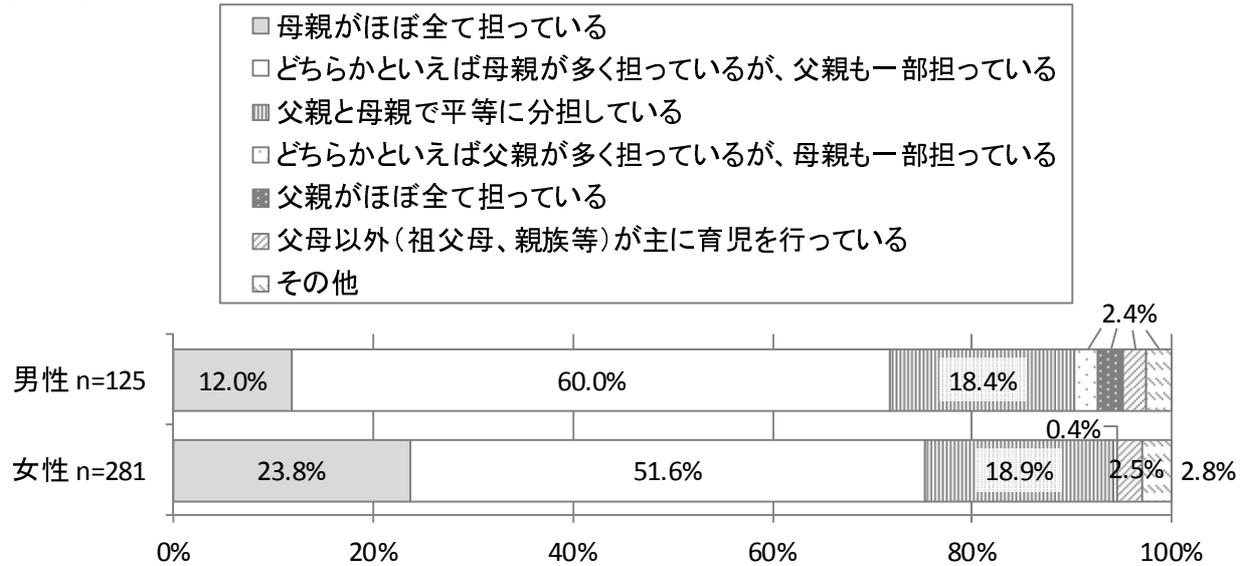
○全体では、「どちらかといえば母親が多く担っているが、父親も一部担っている」と回答した方が54.0%で最も多く、次いで「母親がほぼ全て担っている」が20.4%、「父親と母親で平等に分担している」が18.7%となっている。

○性別で見ると、「どちらかといえば母親が多く担っているが、父親も一部担っている」は男性、「母親がほぼ全て担っている」は女性の方の割合が大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- 家族全員で分担している。(【男性/既婚】30～34歳/西仙北、40～44歳/西仙北、45～49歳/中仙、【女性】30～34歳/仙北/既婚)
- 母と祖父母が平等に分担している (【女性/独身】25～29歳/協和、30～34歳/南外)
- 母、祖母が担っている (【女性/独身】35～39歳/大曲、【女性/既婚】30～34歳/中仙、35～39歳/太田)
- ほぼ母、時々姉 (女性/40～44歳/大曲/既婚)
- 平日は主に母親が育児しているが、休みの日は同じくらい父親も育児している (女性/35～39歳/大曲/既婚)

【問22】市が行っている結婚、出産、子育て支援事業へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。(自由記述形式)

※主要な回答を抜粋しています

□結婚について

○婚活イベントについて

- ・ 中高年の独身者が周辺に多くいるのを見て、市など婚活イベントによる出会いの場を提供し独身者に向けチラシなど配布した方がよいのではと思う。(女性/45～49歳/中仙/独身)
- ・ 市内で街コン等やDMでの案内等が少なく、そのような機会が少ないと思う。もし、街コンを行うとしても、会費等があるので自分では行きたくなかったので、会費は無料がいい。(男性/30～34歳/大曲/既婚)

- ・ 街コンなどの婚活イベントをもっとやってほしい。（男性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 婚活のイベントをもっと増やしてもいいと思います。（女性／35～39歳／中仙／既婚）
- ・ 以前、秋田県が主催する結婚支援センターに登録していて、イベントにも参加していましたが、「女性側」と「男性側」との思いが違うなど感じていました。女性は結婚相手を求めているも、男性は恋人を探しているような感じで、本当に結婚する気があるのか疑問だった。なので、「お見合い」のように結婚を前提にする方が婚活が進むと思う。（女性／40～44歳／太田／独身）
- ・ 結婚をチラつかせたサポートサービスのお金が高すぎます。母子家庭だと無理だし、時間が夜とか絶対無理。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 他の地域では、婚活パーティーへの参加に対し、助成金があるが大仙市にはそのような取り組みが見られない。また、毎年同じような街コンシステムで独身一人での参加には抵抗があるため、出会いの場として、検討が必要ではないか。（女性／30～34歳／大曲／独身）
- ・ 子育て支援は充実していると思う。結婚については、周りに30～40代の独身者が意外と多くいると感じます。結婚したいという意欲はあるが、出会いの場がない、という話を聞くので、もっと積極的に参加しやすいイベントがあればいいのではないかなと思う。（女性／35～39歳／協和／既婚）
- ・ 良く分かりませんが、出会いを求めている独身の方が気軽に出会える機会、場所があったらいいと思います。広報にも出ているようですが。（女性／40～44歳／仙北／既婚）
- ・ 婚活している方が、市開催のイベントに出席したら既婚者がいたとの事でした。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 婚活イベントについて、居酒屋などで行うのではなく自然体験やカフェなど日中に参加できるイベントがあれば、子育てしながらも再婚を考えている女性にとって助かります。（女性／25～29歳／協和／独身）
- ・ 情報発信の活用。結婚イベントの周知を若い世代に伝えてほしい。Twitter等。LINEでもよいのでは。災害時にTwitter情報が役に立ったので、公式情報で発信されると心強い。（男性／35～39歳／太田／既婚）
- ・ 若い人たちが県外等へ行かないように、就職の場がもっと増えるといいと思います。また、出会いのチャンスを増やすために街コンの開催等積極的に市が取り組んでくれると良いと思います。（女性／45～49歳／大曲／既婚）
- ・ 年齢の関係ない出会いの場があるイベントがあれば、いいのではないかなと思う。（男性／35～39歳／西仙北／既婚）

○その他

- ・ 一般的な「結婚適齢期」を過ぎても独身でいるのには、それなりの理由やトラウマがある。結婚している人たちにはより厚い支援を。けれど、そうでない人達を「結婚しろ、産めよ、増やせよ。」と追い詰めるのはやめてほしい。本当に。（女性／30～34歳／大曲／独身）
- ・ なかなか独身の人は、市がどのような支援事業をしているか、知る機会や環境が少なく、友人や知人から実際に体験して聞く事が多いと思います。それも1つの情報だと思います。皆が同じ生活環境ではないので、聞いた話が自分もそうなるとは限りませんが、身近な人から聞くので聞きやすいし、より自分の先を考えるのではないかなと思います。結婚までは考えると思うが、「出産や子育て、今後の生活」などの不安があり、人によってはできないという人も多いと思います。（女性／30～34歳／中仙／独身）

□出産について

○出産に関する経済的支援について

- ・ 出産祝い金があると嬉しい。やはり、タダでは子育てを出来ないのだから祝い金があると産後の生活にもゆとりが出来て、夫婦間の心のゆとりも出来るから助かります。(出産準備等、沢山出費もあるので) (女性/30~34歳/大曲/既婚)
- ・ 出産手当金などは数か月経ってからの支給なので、産休中~出産後の事を考えると、少しでも何かしらの経済的支援がないと、子供を産む気になれない。(女性/30~34歳/大曲/既婚)
- ・ 出産後に支援金等があれば良い環境になると思う。(男性/18~19歳/太田/独身)
- ・ 妊婦検診にも自己負担でお金がかかってしまう場合があるので、完全に無料となるのが理想です。出産、子育て支援は早急に進めていかないと産み育てる側が年齢的に遅くなってしまいます。先延ばしにせず今すぐにでも進めてほしいと思います。このアンケートが無駄にならないよう行動し、実現させてください。出産、子育て支援が充実するよう予算を設けてください。(女性/35~39歳/神岡/既婚)

○不妊に関する支援について

- ・ 不妊治療への支援が足りない。私は不妊治療を何年も続け、子供を授かりました。病院受診代や薬代、どれだけお金がかかったか。子供ができるのは当たり前ではありませんよ。不妊への周りの理解も必要。相談体制や支援について、もっと早めに沢山、そういった場所を設けるべきだと思う。(女性/35~39歳/大曲/既婚)
- ・ 私たち夫婦は不妊症の為、2週間に一度秋田市の病院へ通院しています。市の「不妊診療等助成事業」の対象要件は、夫婦の所得合計が730万円未満であり、私たちの所得はこれを若干上回ります。しかし、一度に負担する診療費は4~8千円と少なくありません。これに交通費等を勘案すると、手取りの給与では厳しいものがあります。助成を受けられる所得の要件を引き上げてほしいです。(男性/30~34歳/大曲/既婚)
- ・ 以前、不妊治療への理解がされていないと感じる事があった。(自分の周りで)不妊の事、気持ちなど、自分が身近なことにならなければ考えないだろうし、感じないだろうが、理解が広がってほしいと少し思います。(女性/30~34歳/中仙/既婚)
- ・ 結婚の支援も大切とは思いますが、それ以上に不妊に悩む女性が増えているので、そちらの支援をお願いしたいです。年齢の壁に悩んでいる人たちも多いです。ぜひ、そんな方たちの力になってください。(女性/35~39歳/神岡/既婚)

○産前、産後ケア関係

- ・ 里帰り先の自治体では産後2週間検診を行っていたので、大仙市でも実施、受診券の補助等があればよいと思いました。特に第一子だと授乳がうまくできているか、新生児黄疸の経過は問題ないか等、不安が多いので母乳相談とは別に産院で相談する場が欲しいです。(女性/25~29歳/大曲/既婚)
- ・ 里帰り出産している時は、すごく手厚くしてもらっていたが、大仙市に戻ると、乳腺炎になってマッサージをしてくれるところがなくて、本当につらかった。私の通っていた産婦人科はそこで産まないと言われた。じゃあ、どうすればいいのかを色々な病院に聞いたが、快く引き受けてくれるところはなかった。(女性/40~44歳/大曲/既婚)
- ・ 私は出産前、出産後にうつ状態になり、ひどい精神状態でした。周りにだいぶ救われましたが、第三者に話をしたり、聞いてもらおうとかなり救われました。こういった人を救う手を伸べてくれる支援があると今後そういう状態になった方が救われると思います。(女性/40~44歳/大曲/独身)

□子育てについて

○保育施設関係（入所、施設運営など）

- ・ 保育園に入れないと仕事に戻れないので、充実させてほしい。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 保育園の更新の手続きに関して、毎回書かなければならないことが多すぎて大変です。（子供の数が多いほど、同じことを書く回数が増える）変更点のみを訂正するような手続きにしてほしいです。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 保育園の開園の時間をもっと早めてほしい。（男性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 市は市民のみで成り立っているのではなく、他市町村もその経済活動の一端を担っております。秋田県は全国的に少子化といわれる中、子育てに市の区別をつけるべきではないのではと思います。特に、保育園は親が住んでいる市とは別の市町村へ預けていることは秋田では珍しくないのに、他市の保育所に預けたくてもその垣根が高すぎます。どの保育園に子供を預けるかはとても大きな問題で、大仙市にはその選択肢が少なすぎます。保育園に縛られ、親の就業形態が変わってしまうことは本末転倒です。ぜひ、市町村の垣根をなくして預けられるようにしていただきたい。（女性／35～39歳／協和／既婚）
- ・ 日曜日も保育園を開園してほしい。シフト次第で土日もあるため。（女性／35～39歳／仙北／既婚）
- ・ 夜間保育・幼稚の施設も設置するのはどうか？（日中だけではなく、夜間働いている人もいるため）お見合いパーティーも積極的に行ったら、どうだろうか？（男性／20～24歳／大曲／独身）
- ・ 自分の子供が保育園の時、3人目は保育園無料という制度が「3人保育園にいと無料」だった。上の子が卒園しても無料にしてほしかった。（今は変わったかもしれないが）子育てをするには、兄弟姉妹がいる家庭をもっと手厚くしてほしい。（男性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 今年から子育て支援に対して改善して頂きよかったです。保育所の途中入所が絶対に無理と言われたことは悲しく思いました。保育所入所について改善してほしいです。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 学童保育について、もうちょっと保育内容を充実させていただきたい。（月額5000円だが、ただ預かっているだけの印象です。ゲーム機持ち込み可というのもあまり賛成できません。）（男性／35～39歳／協和／既婚）
- ・ 保育園等中々入学できず、仕事復帰が難しい。もう少し保育現場を充実させてほしい。（女性／25～29歳／大曲／既婚）
- ・ 地区によって、3歳未満児の定員にひらきがあり不公平感をかなり感じた。隣の秋田市では、未満児の受け入れが充実しているのにも関わらず大仙市の対応にあまり満足していない。（男性／30～34歳／西仙北／既婚）
- ・ 仕事で帰りが遅い人でも大丈夫のように保育園は預けられる時間を伸ばしてほしい。夜の19時以降。（男性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 小児科が少なく、不安。病後児保育の利用方法が不便で結局利用していない。他市町村のように、保育園併設のところがあると安心。（女性／35～39歳／大曲／既婚）

○予防接種について

- ・ 全ての子供の予防接種の全額助成してほしい（インフルも全額）。給食費の無料化。今回、おたふく助成もありましたが、まだ受けていない子供、2回目の予防接種の子供の助成もしてほしい。横手市、美郷町などでできている事は大仙市でもぜひやってほしいと思う。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 予防接種の無償化。多子世帯（年齢が離れていると対象にならない事がある）第三子等。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 近隣の市より手厚い部分、他の市が良い部分色々ありますが、全体的に子育てしやすい市だと思います。予防接種への助成がもう少し広がるとありがたいです。でも、第二子が保育料無料になって驚きました。（H30.4.2～）（男性／30～34歳／協和／既婚）
- ・ 出産・子育て、いろいろ助成されていてよいと思う。予防接種について、三歳頃～次の接種まで期間があくので、はがき等でお知らせしてほしい。公園など、大曲郊外にもつくってほしい。（女性／35～39歳／中仙／既婚）
- ・ 前のページにも記入しましたが、任意の予防接種の個人の負担額が大きいのので、援助などがあるとありがたいと感じました。（女性／30～34歳／大曲／既婚）

○マル福について

- ・ 子育て支援として、子育て世帯への金銭的支援は有難いと思う反面、過剰な部分もあると思う。高校の授業無料なのも納得していない中、マル福を年齢を引き上げてまで充実させる方針には反対だ。本当に医療が必要な年齢に（未就学児まで、または小学生までだと思うので）して、お金をばら撒けば支援になるという考え方は、やめた方がいいと思う。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 大仙市は中学卒業まで医療費が無料なのは、本当に助かります。小さい時こそ、病院へはよく行くのでとても良いと思います。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 医療費の無料は大変助かっています。今年から？高校生も無料になるような流れなので大変助かりました。（男性／40～44歳／仙北／既婚）
- ・ 医療費の無料化はとっても助かっています。今現在、小学生になり、体も強くなり、あまり病院にかかるということはなくなってきましたが、それでも、歯科や急な体調不良で病院に行くことが多々あるので、やはり今後もこのような取り組みを続けてほしいです。（女性／35～39歳／太田／既婚）
- ・ 医療費の無料化で急な受診の時など祖父母に代わりに行ってもらう時など助かり、続けてもらえるとありがたいと思います。男性の育児休業取得がしやすい環境になれば産後の母親がとても助かるし、男性の家事・育児への参加促進につながると思います。（女性／45～49歳／神岡／既婚）
- ・ 特にありません。医療費無償などありがたいです。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ ひとり親の為、子供の医療費保障とても助かっています。病気をしなくともアレルギーや花粉症があるため、とてもありがたいです。自分の健康は、忙しいしお金が掛かるから、とつい疎かになるので子育て中の親への医療保障もあると更にうれしいです。（女性／30～34歳／大曲／独身）
- ・ マル福はとても助かっています。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ ひとり親にもマル福をお願いしたい。体調が悪く受診したいと思っても、親が病院に行くのは経済的に難しく、我慢せざるを得なく辛い。横手市のような支援があればと思っています。（女性／45～49歳／太田／独身）
- ・ マル福があるのはとてもありがたい。更なる子育て支援を願う。（女性／25～29歳／西仙北／既婚）
- ・ 医療費支援（マル福）が充実していて、とても助かっている。（女性／35～39歳／大曲／既婚）

○遊び場、公園等について

- ・ すくすく広場がなくなったり、まるこのひろばが16時まで短縮されたりと、遊び場が減っている。公園も整備されて遊びやすいが、大型の遊具やジャングルジムがある所、砂場がある所など、多様化すると毎日に変化が生まれるのでうれしい。毎月の乳児健康診断は有難いです。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ まるこのひろばみたいな所を増やし時間を長くしてほしい。児童館も小さい子も行ける用のおもちゃ等充実してほしい。イベント等も増やしてほしい。群馬県太田市は充実していてよかった。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ せっかく公園があるのに整備されていない所が沢山あります。子供たちが遊べるようにしていただけると嬉しいです。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 高校卒業後に進学する子供も増えてきているので、18歳になることに経済的な支援が受けられるようになるというのは？全員に現金が給付されたり、子育て世代の負担が減るような支援があるといい。雨でも小さな子供が小学生まで、いろいろな年齢の子供が遊べる場がもっと増えてほしい。市内にある公園の遊具の点検・整備をし、使用できないところがないようになって、安心して遊べる場が増えてほしい。（女性／35～39歳／中仙／既婚）
- ・ 育児休業中、家の中で一人で育児をしており息がつかまっていた。まるこのひろばに行くことで息抜きをしていた。まるこのひろばの休日の日は、どこにも行けず苦しかった。まるこのひろばが休日の日に大曲で、別の子育てイベント等があればよかったと思う。一方、周りにはまるこのひろばで働いている方に自分のプライベート（親や仕事の事）な事を聞かれ、もう行きたくないと言っている人もいた。子育て期はナイーブになっている親もいるので関わり方に配慮した方が良くと思う。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 充実した支援ありがたく思っています。希望としては、土日が休みなので、ペアーレ等のキッズ講座などを、土日にもう少し増やしてほしいです。平日は連れていく時間がないので。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 遊具の点検はされているようですが、砂場も使える状態を保ってほしい。アプリ「すくすく花火」を活用したいと思いダウンロードしましたが、登録してログインしないと使えなかったり、情報もないので改善すべきだと思う。登録しないで地域の子育て情報を見やすく伝えてほしい。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 公園の充実、雨天時の遊ぶ所（横手の駅前施設のような所）。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 子育てアプリがあることで情報が得やすくなった。まるこのひろばの存在がとても大きいです。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 子供が遊べる施設を作してほしい。（男性／45～49歳／中仙／既婚）

○児童手当・児童扶養手当について

- ・ 子供手当を受け取る人を生計を立てている人だけではなく母親（生計を立てていない人）も選べるようにしてほしい。（女性／30～34歳／太田／既婚）
- ・ 子育てにおいて、収入によりお金がなく困るときもある。もう少し、子の多い世帯への住宅手当や児童手当を増やしてほしい。（女性／35～39歳／南外／既婚）
- ・ シングルマザーです。自分の両親と同居しており世帯が一緒なので児童扶養手当が支給されません。（所得制限）家計は分けているので支給してほしいと思います。自分の仕事の関係上、シングルマザーなので家族の協力がなくて仕事を続けていけないので、同居は子供のために必要な事だと思っています。（女性／35～39歳／大曲／独身）
- ・ 児童手当の額は一律で良いと思う。年齢によって変えなくても良いのでは。（男性／35～39歳／大曲／既婚）

- ・ 子育て支援事業等は大変良くやっているといます。児童扶養手当ですが、簡単な聞き取り調査だけではなくしっかりとした調査が必要だと思えます。中には籍を入れず元夫と子供を作っている、一緒に暮らしてはいるが手当の為に籍は入れない等多々いる状態です、今回は大変良い機会を作っていただいたので、ここに記入させていただきました。（女性／45～49歳／西仙北／独身）
- ・ 母子家庭なので手当をいただけてとてもありがたいです。これから子供が大きくなっていくとお金がどんどんかかりますので、更に支援を充実していただけるとありがたいです。（女性／35～39歳／大曲／独身）
- ・ 児童手当は、高校・大学まで支給されるとありがたいと思えます。（女性／40～44歳／神岡／既婚）

○子育て支援について

- ・ 子育てに魅力のある市にしてほしい。0～18歳までの期間制限で、あらゆる面で支援をお願いしたいです。（男性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 就学援助制度の基準額が厳しめだと感じます。他市や他県では所得で基準額の認定がされている所もあるようですが、大仙市は収入額での認定なので、かなり支援される範囲が狭いと思えます。援助内容の段階をもうける等でも良いので、もう少し広い範囲（世帯）の援助をぜひお願いしたいです。給食費を一部でも良いので助成してほしいです。（女性／35～39歳／仙北／既婚）
- ・ 私は子供が3人います。（自分が子供を3人も授かるとは思っていませんでした）3人目が産まれた時、市の方からもう少し何かあればよかったな、と思いました（贅沢ですが）。いただいたゴミ袋も1人目、2人目と同じだったし。（女性／30～34歳／太田／既婚）
- ・ 子育て支援事業が他の市町村（県外も含む）と比べると大仙市は考え方が弱いと感じる。他と比べると魅力を感じない。（男性／30～34歳／中仙／既婚）
- ・ 子育て支援（金銭面特に）、保育料等支援がもっと充実してほしい。（女性／25～29歳／大曲／既婚）
- ・ 医療費の無料化や保育料の軽減化等、子育て世帯に対する経済的支援を積極的に行っていることに感謝しています。夫婦共働きであり、保育園や放課後児童クラブの整備に対しても、大変助かっています。（女性／35～39歳／大曲／既婚）

□出産・子育てについて

- ・ 現在、子供が2人います。3人目が欲しいと思っているが経済的に無理だと諦めている。周りの同世代も多くが、経済的理由から3人目を諦めている。3人目以降の出産や子育てへの経済的支援が絶対に必要だと思う。公務員の方々には理解し難いかも知れませんが、車や住宅ローンがある核家族は貯金する余裕ありません。コロナの影響で、これから益々収入は減ると思えます。（男性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 結婚する人が少なくなっているのなら、結婚している世帯に子供を産みやすく、育てやすくする独自の対策を立てるべきだと思う。これでは、産むまでの検診は無料、または少額で助かるが、産んでからお金がかかるので生活するのにいっぱいになってしまふ。だから、少子化につながるのだと思えます。（女性／30～34歳／中仙／既婚）
- ・ 出産祝い金や、予防接種の助成が増えてとてもうれしいです。小児予防歯科（フッ素塗布）もあるといいなと個人的に思えます。他の自治体では助成があるので。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 副食費の無償化、ありがとうございます。医療費も自己負担がないため非常に助かります。出産祝い金（商品券）もう少し高額を支給してもらえればありがたい。（男性／30～34歳／大曲／既婚）

- ・ 大仙市の HP を見ましたが、妊娠・出産の項目なども設けられていて、いいなと思いました。一緒に親と住んでいるので、もし子育てするとなったら多少の安心感はありますが、一人だったらと考えるとやはり不安なので、そういった支援や手当等といった情報を提供する媒体がほしいと思いました。（女性／25～29 歳／大曲／独身）
- ・ 子供がいる家庭に対して、1 人なら〇万円、2 人なら年〇万円、3 人以上なら年〇万円というような定額助成金のようなものがあると子育てしやすい。今になって、出産した家庭に一時金を出すような制度を作られたようですが、昨年度以前に生まれた家庭にも助成金や給付金を行っていただきたい。他の市町村よりも遅れを取っています。（男性／35～39 歳／中仙／既婚）
- ・ 秋田市から 26 歳の時に大仙市へ結婚を機に移住。大仙市は秋田市よりも、子育てがしやすい市だと思う。医療費の無償化、保育料（給食費）の軽減等とても助かっている。妊娠から出産まで、どうしたら良いか、迷う事があまりなかった。スムーズであったと思う。妊娠、出産、会社復帰、子供の就学、進学までの手引きみたいなものがあると、生活の目途が立てやすく、安心して暮らせる助けになるのではないのでしょうか。（手当、サポート体制等が書かれたもの）（女性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 令和 2 年度からの子育て支援制度が充実していてすごいと思いました。出産祝い金とか医療費無料の延長等。市が子育てに力を入れているのが、目に見えて分かるので、税金を払っている意味があるなと思いました。（女性／30～34 歳／中仙／既婚）
- ・ 妊娠中、産休中、育休中の母親に経済的支援が欲しい。昨年出産し、育休手当や雇用保険から毎月もらっているが正直、生活が厳しい。（女性／25～29 歳／中仙／既婚）
- ・ 出産や子育てに関してはやはり大きいのが金銭面だと思う。中には、中高年になるにつれて、制服等の部分や細かな部分が負担になるため、子供をつくれぬ人もいないのではないかと。現在もだいぶ助けてもらっているが。（女性／35～39 歳／大曲／既婚）

□結婚・出産・子育てについて

- ・ 婚活パーティー（女性が参加したがるメリット）。出産費用全額免除。高校まで無償化。大学半額、3 分の 2 補助。（男性／35～39 歳／神岡／既婚）
- ・ これから子供を産む人たちにはどんどん支援をしてほしい。そして、今子供を育てている人たちにも支援をしてほしい。仕事しながら子供を育てるのはすごく大変です。子育て＝楽というイメージがなさ過ぎて結婚出産したいという人たちが減っている。今、子育てをしている人が大変とか苦しいイメージしかなく、楽しいイメージを独身の人に与えられなければこれから結婚等を考える人はいなくなると思う。経済的な面も含めて、今子育てしている人達にも手厚く支援してもらえたら助かるし、イメージアップにつながると思う。（女性／25～29 歳／仙北／既婚）
- ・ 全てに対して支援されていないと思う。現金給付やら、物資の支給、全てにおいて他県の自治体よりも遅れすぎている。（女性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 結婚、出産、子育て支援に関して、市が何か事業をしているのですか？知りませんでした。PR が足りないのか。取り組み自体が不十分なのか。（女性／45～49 歳／西仙北／独身）
- ・ 出会いのイベントや子育てしやすい環境づくりなど、今まで以上に良いものにしていただき、人口が増える事を願います。（女性／40～44 歳／太田／既婚）
- ・ 経済的支援を重要視。（男性／20～24 歳／西仙北／独身）

□その他

- ・ 支援しているのは知っている気がしますが、参加する気にはなれ（なり）ませんでした。（男性／20～24 歳／協和／独身）
- ・ これから生まれてくる子供が、夢や希望で満ち溢れる事を考えるような町づくりをしていただきたいと思います。（男性／25～29 歳／仙北／既婚）
- ・ かなり手厚いのではと思うのでありがたいが、新たな祝い金や無償化や助成等、他の自治体よりもやりすぎていて、今後の大仙市の財政面が心配。（女性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 若い世代の県外へ移住を少しでも防ぐため、祝い金の増大や支援をさらに充実させてほしい。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 全国ニュースになる支援制度を期待しています。“人が集まる”、“人が増える”が最優先課題。充実した制度⇒人口増加⇒税収アップの好循環を生み出す。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 人手不足もあり、若い人が多い。子供の事で仕事を抜け出すのも、とても気を遣う。母親が安定した職で働けない。（女性／30～34 歳／中仙／独身）
- ・ 各個人や生活環境、各自治体によって生活の差が違うので、もっと各自治体や、住んでいる方の要望を聞き取る事が必要ではないかと思えます。アンケートや集計のみで今後も何も変わらないのでは意味がないと思えます。各店舗や企業にも協力を促し、地域全体が発展、魅力的になってもらいたいです。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 狭い地域なので、相談しようにも知人や人の繋がり知られてしまうのが恐くて、うまく相談できないと思ひ留まることも多い。県外からの第三者のような派遣や相談受付などがあると話しやすいかも。（プライバシー管理はしっかりやってもらって。）（女性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ とても良くやってくれていると思えます。感謝しています。（女性／45～49 歳／大曲／既婚）
- ・ 満足しています。ありがとうございます。（女性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 素晴らしいと思えます。「大仙教育メソッド」地域を巻き込んで地域の方々との繋がりはとても良いと思えます。まさしく、ワンチーム！（女性／45～49 歳／神岡／既婚）
- ・ 今でも充実しているが、もっと良くなってほしい。（男性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ 市の広報で散発的に目にするが、支援内容をまとめたリーフレット等があると分かりやすい。もっと PR した方が良いと思えます。（男性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ 市の広報等で結婚や子育て支援事業について記事があるのを目にするが、若い世代の人はあまり見ないと思う。ネット社会の今、様々な SNS 等を使って発信していくべきなのだと思う。（女性／25～29 歳／大曲／独身）
- ・ 子育ての時期は一瞬です。大切な時間を家族で過ごせるよう異性の育児参加が進めばよいと思えます。（女性／35～39 歳／神岡／既婚）
- ・ 大仙市が現在行っている支援は、今後若い人がずっと大仙市で暮らせるように強力に支援をよろしくお願いしたいと思えます。（女性／30～34 歳／大曲／独身）
- ・ いつも結婚、出産、子育ての環境を育てていただき、大変ありがたく感じております。このようなアンケートもその積極性の現れと感じます。どうぞ、これからも多くの意見を取り入れつつも、大事な事大切に、親と子供を主役にして支援をお願いできればと思えます。（男性／45～49 歳／大曲／既婚）
- ・ そもそもどんなものがあるのか知らない。SNS で若い人たちに知ってもらう機会を作ってはどうか？市のアカウントだと、取っつきにくいので新しくアカウントを設けた方がいいと思う。（女性／35～39 歳／大曲／独身）
- ・ 受けられる支援等を全て明らかにする。（男性／20～24 歳／大曲／独身）
- ・ 何を支援しているのか不明。（女性／40～44 歳／大曲／独身）

- ・ 支援の内容がわからない。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 市が何をしているのか知らないので、書面等で分かりやすくしてほしい。（男性／25～29 歳／大曲／既婚）
- ・ 何をしているのかわからない。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 分かりません。（女性／20～24 歳／大曲／独身）
- ・ より良い給付金などがあれば人口増加につながると思う。（男性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ 子育て支援の取り組みは一定の水準にあり、子育てしやすい街だと思う。問題は「子育て世代」の減少であり、大仙市だけではなく秋田県全体の課題だが少子高齢化に歯止めが掛からない主要因だと思う。コロナウイルスの流行で人口が多い大都市のリスクを若い世代が感じると思う。地方にとっては、地元に残ってもらえるチャンスと思うので、雇用や娯楽の充実等により若い世代に魅力的な街づくりを期待したい。（男性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ 若い人たちに対する健康診断が少ないと思う。これからの人達（子供を育てていく人達）がしっかり健康診断を受けられるように、市でもお金を使ってほしい。もっと、特定検診の項目を増やし、補助をしてほしい。（女性／35～39 歳／中仙／既婚）
- ・ 安定した雇用機会が増えるといいと思う。また、公園などの施設や環境を整備していただきたい。（男性／35～39 歳／西仙北／既婚）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 独身者への「結婚に対する考え」を伺った結果、「早めに結婚したい」「いずれは結婚したい」が全体の約半分を占めており、「結婚したいができそうにない」を合わせると、全体の約7割の方が「結婚したい」意向を持っていることが分かった。一方、「結婚するつもりはない」と答えた方が3割近くおり、「結婚したいができそうにない」と回答した方と合わせてその理由を伺ったところ、「結婚したいと思える相手がいない」「出会いの機会がない」「結婚生活に希望が見出せない」などの回答が多い結果となった。こうした状況を踏まえ、結婚に対する多様な価値観や意識を受け止めながら、これまでの施策を検証するとともに、行政としての今後の支援のあり方について再検討することとする。
- 結婚相手との出会いのきっかけについて見ると、全体では「友人・知人等の紹介」「職場や仕事」「学校」が約8割を占める一方、年齢区分別に見ると、20～24歳で「旅先や街なか」「インターネット、SNS」が25%を超えており、また、25～29歳で「インターネット、SNS」が16%となるなど、他の年齢層とは異なる特徴が浮き彫りとなった。こうした「きっかけ」については、プライベート色が強く行政による関わりが難しい分野ではあるが、今後このような傾向が拡大する可能性があることから、新たなサポートのあり方について検討する必要があると考える。
- 結婚に対する支援策としてどのような取組が重要だと思うかについて伺ったところ、「安定した雇用の確保」「住宅取得や家賃、リフォームへの経済的支援」「結婚祝金の支給」などが求められていることが分かった。こうした取組については、既に取り組んでいる施策も多いことから、現行施策の周知を一層強化するとともに、所要の拡充についても検討を行う必要があると考える。また、女性の回答を見ると「地域や職場の理解に向けたPR」「男性の家事や育児への参加を促すPR」が重要であるとの意見が多くあることから、こうしたPR活動のより一層の強化も必要であると考えます。
- 理想的な子どもの人数について伺ったところ、「2人」及び「3人」とする回答が全体の9割を超える結果となった。特に女性の意見を見ると「3人」が理想と回答している方が約4割を占めており、現実の出生との乖離があることが伺えた。その乖離の理由については「出産・子育てや教育にお金がかかりすぎるから」「現在の収入が十分でないから」「高齢出産になるから」「育児の精神的、身体的負担が大きいから」などの回答が多い状況であり、こうした問題・課題の解消に繋がる施策の充実について検討が必要であると考えます。
- 出産・子育て支援における重要な取組について伺ったところ、「子育て世帯に対する経済的支援」「職場環境の充実による仕事と家庭生活、子育てが両立しやすい環境づくり」「保育園、放課後児童クラブなどの施設整備・内容の充実」などが挙げられた。こうした取組については、既に取り組んでいる施策も多いことから、現行施策のPRを図るとともに、さらなる施策拡充も検討すべきと考える。また、女性の意向を見ると、「職場環境の充実による仕事と家庭生活、子育てが両立しやすい環境づくり」のウエイトが男性に比べ大変高くなっていることから、こうした環境づくりに向けた様々なアプローチが特に必要であると考えます。

4 自由意見

令和2年度「市民による市政評価」、令和2年度「市民による個別事業評価（地域子育て支援拠点事業）」、令和2年度「市民による個別事業評価（結婚・出産・子育て）」の調査票に記述のあった、市政に関するご意見・ご提案などの自由意見について、主なものを分野別に掲載した。

産業分野

(1) 商工業について

- ・大学の誘致で若者を定住させる。若者はアルバイトをする。そして、アルバイトを必要とする会社が増える。人口増加につながる。(3K の技術専門学校ではダメでしょう。誰もやりたくない仕事にはなりたくない。)
・イオン近くの開発(店舗の誘致)が必要である。最近、また横手に進出する有名企業が多くなって残念である。(50代/男性/大曲)
- 近くで働けるよう企業誘致を積極的に行って人の流出を止めて下さい。農業の活性化を宜しくお願いします。(40代/男性/太田)
- A ターンをしたいと思っても、働く職場がないので帰って来たくてもなかなか帰れない人が多いので企業誘致に力をいれてもらいたい。(50代/女性/大曲)
- 地域に店も少なくなってきました。年を取ってくるとだんだん車の運転も自信がなくなってくるので、近くにスーパー等があればいいと思っています。歩ける範囲にあれば助かるけれど、手にもって行き来すると多くは買えないし。年は取りたくない今日この頃です。(60代/女性/太田)
- 市内在住しているものですが、大曲駅からのメインストリートが活気がないのが残念です。大型の商店が少ないのも理由の一つですが、丸子橋、大盛橋、館の橋は兩岸整備されているようですが、もう少し、なんとかならないのか。物足りなさを感じます。管理が大変でしょうがベンチをもっと多くするとか、軽食ができるような店などあってもよい気がします。憩いの場として考えたい。(80代以上/男性/大曲)
- 企業誘致に力を入れて雇用を増やしてほしい。花火を有名にしたいのはわかるが、春夏秋冬の花火は必要ないと思う。それよりも他に目を向けザギトワに贈られた秋田犬が大仙市出身だったことから、犬関連の施設を増やしてほしい。犬の散歩禁止の看板を見ると非常に感じ悪い。有料でもいいから犬と思いっきり遊べる公園を作ってほしい。(40代/男性/神岡)
- 住みやすい地域と思っていますが、若い人が働ける企業体が少なく人口の減少が心配です。若い人たちが都会に流出しないような様々な企業を大仙市に誘致し活性化を望みます。(70代/女性/協和)
- 雇用に関して、今まで住んだことのある地域よりも、職種の幅が少ないこと、年齢層が高いことに驚いた。企業誘致など積極的に取り組んでほしい。(30代/女性/神岡)
- 店がないので買い物は秋田市方面に出かけている。今、車で行っているが高齢になりやがて車もやめるつもりです。銀行も移転するようで暗くなるばかりです。(70代/女性/協和)
- 賃金を上げ経済の円滑化。若者の起業支援不足で、若者は県外、市外へ移住している。大仙市は、花火一択でつまらない。(20代/男性/大曲)
- 小さな子供が店内で食事するのは大変なので、テイクアウトできるお店が増えたら嬉しいです。(30代/女性/協和)

(2) 花火産業構想について

- 8月の”大曲の花火”がどんどん商売目的になってきている「見たいなら枚数席買って会場に来い」のスタンスをこの先も続ければ地元から愛されるものではなくなると思う。商工会が掌握管理しているものだと思うが。(30代/男性/大曲)
- 大曲技術専門学校に花火学課を創設する。(50代/女性/大曲)
- 花火にばかり頼りすぎじゃないでしょうか? 「花火の街」ではなく「花火しかない街」としか思えません。私は元々他県出身ですが、大仙市は住みやすく食べ物も美味しい所だと思っています。せっかく良い所が沢山あるのに、花火ばかり気を取られているのではないのでしょうか。それに年々花火もつまらなくなってきたというのが正直な感想です。(40代/女性/大曲)
- 花火産業は、市民の生活を幸福にできる手段となるのか? 一部の地域のみが楽しめたり、一部企業が潤っても大仙市全体の活性化には繋がらないと思います。例えば、「毎月花火を打ち上げている」と言っているが、ほとんど大曲地域のみ。機構改革も大曲地域のみ。大仙市全体の活性を検討する必要があるのでは? 市民税も年々高くなるが、市民のためを考えているのか? 無駄に税金を使っていないか至急協議したほうが良いと思う。(50代/男性/中仙)
- 花火は大仙市にとっては大事ですが、8月の全国花火大会他、2~3回以内にしては、いかがでしょうか。市街地の道路とか暖房の故障とか、色々取り組んでいただきたいのがあります。花火の予算を少し削って回してもらいたいと思います。(70代/男性/西仙北)
- 大曲の花火について、本番当日に朝6時から10分毎に3発ずつ打ち上げているが、地元市民からしたら迷惑でしかないと思う。せめて、昼からにしてほしい。(大曲)

(3) 観光について

- 日頃からの発想としていくつか記入してみました。①大仙市の取り組みが花火以外に注目されることが少ない。②横手市~大仙市~仙北市をつなぐ観光ルートの売り込み(秋田ふるさと村、金沢柵跡)~(弘田柵跡、旧池田氏庭園)~(角館武家屋敷)等、県内外の多くの方に見ていただきたい所があります。特に大仙市の弘田柵跡~旧池田氏庭園などはもっともっと注目されていい場所だと思います。(60代/男性/大曲)
- 転勤のため、他県より一時的に当市に住んでいます。他県で「大仙市」といっても「?」「秋田のどこにあるの?」といった返答が大半です。一方で「大曲の花火」といえば「ああ!なるほど」という返答が変わります。住みやすく、花火が美しい街なので、ぜひそのあたりを積極的にPRし、定住人口の増加につながることを祈念しております。(40代/女性/大曲)
- 温泉施設活性化のため、「大仙市共通入浴券」に予算を使ってもらいたい。(50代/男性/南外)
- 大曲の名物は花火。その時だけのイベントで常設的なものではない。はなびアムもあまり興味がない。ほとんどの人は花火の美しさ、迫力をその場で感じるものだと思う。納豆汁など頑張っていると思うけど、いまいちのような。いつ来ても大曲にはこれがある、これが買える、また来たいと思うようなものが欲しい。(40代/女性/大曲)

(4) 雇用・就労について

- 若年層の定住促進のためにも、雇用就労支援や低賃金問題に力を入れてほしい。人口減少を食い止めるような市政をしてほしい。(50代/女性/中仙)

- 市政に関しての意見(希望)です。農業生産者の高齢化に伴い、地元企業との人材支援など考えられないものか？(農業法人以外の場合)(60代/男性/中仙)
- ひとり親家庭への就労支援の充実を願います。出張就労相談は有難かったです(託児してくれるもの)。「子育て中の女性が多くいます」「子育て支援で県から表彰」とうたっている企業への面接へ行くと「こどもの発病などによる急な欠勤は無理」とはっきり強く言われたこともありました。仕方ない部分もちろん分かっていますが、ハローワークの方がもっと現状を分かってくれていたらと思うこともありました。(大曲)
- 若者の県外への流出が増えるのと同時に県内に戻ってくる方も少ない。(魅力を感じないと戻ってこない)安定した生活や定住を考えるのであれば、雇用形態がしっかりしていて、各仕事の所得水準を上げる必要がある。仕事や育児、介護、職場環境、人間環境など各個人のストレスや悩みは誰でもあると思います。そうした生活の中にも、たまには気の合う友人や知人、仲間と食事や飲み会をしたり、遊ぶ施設など息抜きする環境を設ける方が地域住民は望んでいると思います。もっと、日常生活に目を向け、日頃住んでいる方が喜ぶ環境の整備が重要だと思います。定期的に市民・住民が集まり、本音で言い合える場を設けるのはどうでしょうか？全て花火にもっていく考えは、ちょっと間違っていると感じます。(30代/男性/大曲)
- 2019年に秋田市より子育てのため、大仙市に転入しましたが雇用が少ないので、再就職に苦労しました。雇用を増やしてほしい。もう一つのアンケートにも記入しておりますが、もっと若い人が、ここに住みたいと思えるような町づくりを市政で頑張してほしい。それが結果的に人口減少を止めることになり、何より大仙市のためになると思います。そして、もう一点転入して少し気になっている事ですが、花館地域の通学路(駅から花館小学校の道)にガードレールがあった方が安全だと思います。何かあってからでは、と不安に感じています。(30代/女性/大曲)
- 出産後に職場復帰をするときに、時短やパート、アルバイトに母親がどうしてもなってしまう。そうすると出産前の雇用体制とは変わってしまい、給料やボーナスなどが減ったり、なくなったりということがほとんどであり、産後の収入面で、とても厳しい状況になる人がある。企業に対して、もう少し対策があると、とても安心できると思う。(30代/女性/大曲)
- 自分の子供たちが将来、大仙市で就職して暮らしていけるのか心配です。就職できるかどうか心配です。雇用の場、種類、安定性などが課題だと思います。(40代/女性/大曲)
- 子供が将来、大学、専門学校へ行くために県外へ移住、そのまま永住するケースが考えられます。大学卒が一般的な現代においては、大学から就職のための仕組みがないと少子化の流れは止まらないと思います。その点が改善されればより住みやすい街になると思います。(30代/男性/大曲)

出会い・結婚・子育て分野

(1) 出会い・結婚について

- 大仙市主催の出会いイベント。大体が40歳までなので、40~50歳ぐらいで独身の人が大勢いるのに参加できない。40~50歳向けのイベントも実施してほしい。(40代/男性/中仙)
- 他県から転入した場合、友達を作るのはとても難しく、合コンではないが何かそういった出会い系があると、助かる気がします。(40代/男性/大曲)
- 独身の方全てにアンケートをして、希望する方には支援していただきたい。職場にも結構独身の方がいるので心配です。(40代/男性/大曲)

(2) 子育てについて

- 私は母子家庭なのですが、去年まで母子手当をもらわずに子育てしてきました。親戚や同居家族のおかげで何とか生活はできていますが、子供の入学や卒業などで金銭的な余裕がなく、入学準備品を購入することが大変です。同居しているため、審査が通らず手当がもらえない家庭でも、入学のお祝い金などの余裕があれば「大仙市に住んでよかった。日頃の手当審査が通らなくても頑張ってお祝い金などのおかげでよかった」と安心感と感謝ができるなと思いました。(30代/女性/仙北)
- H26年に秋田市から結婚のために大仙市に移住。現在、4歳の男児がいる。屋内で遊べる施設がない。大曲イオンをぶらぶらする事くらいしかできない。なので、大仙市外、秋田市や横手市に遊びに行ってしまう。市内の屋内で子育て世代が楽しめる施設、屋外でも楽しめる施設(大型の公園等)つくってほしい。はなびアムは一回行き良い施設なのだが、地味で静かな印象。花火にちなんだカフェや飲食箇所を設けたり、グッズ販売、月替わりの参加型イベント等を催して、変化と流動性を持たないとリピーターは訪れないと思う。(30代/女性/大曲)
- 子育て世代への支援を拡大してほしい。特に住宅ローンを持っている子育て世代は経済的に非常に苦しい。コロナ等世界情勢の影響で収入が減っている。(大曲)
- もともと大仙市では、日曜保育をしていますがサービス業で働いていると、日曜、祝日の出勤があり、子供が小さい時は苦勞しています。働き方改革で、他市町村も日曜保育がなくなる方向だと情報がありますが、サービス業等休日も働いている業種の方々のために保育をしていただけたら良いと思います。(神岡)
- 学童保育についてですが、以前利用していましたが現在は利用していません。やむを得ずやめた理由は、土曜日や長期休みの時、ゲームの時間があるためでした。我が家では、スイッチやDSを持たせていない為、その時間になると、他の子はほぼ全員持っていたため、いつも一人きりになってしまうのが嫌だったそうです。ゲームのし過ぎについて、問いただされている中、せめてそういった場所では禁止にさせてもらいたいものです。(協和)
- 大仙市に住み始めて早15年。その間に子供も生まれ、初めての子育てを経験しましたが、大仙市の子育て支援が他の地域よりも遥かに充実している事がわかり大変うれしく、また感謝もしています。もう子供を産む予定はありませんが、更なる充実を期待しています。(大曲)
- 子供を育てている上で一番不安な面は金銭面なので、令和2年度からの幅広い支援は有難いです。まだ子供たちが就学前なので、小学校以上のどれくらいお金が掛かるのかイメージが付きません。例えば、中学校・高校の制服とか給食代はどんなものなのか、大学の時は市からどんな制度が利用できるのか、とても気になる情報です。(中仙)
- 市政とは関係ありませんが、職場の子育てに対する協力の部分で、会社の制度は充実しているものの職員の意識の面では理解が得られていないように思います。子供の都合で休んだり、早退することに対して、嫌みを言う人がいて、そういう人がいると今後自分が結婚や出産を経験したときに理解を得られるか心配になります。可能であれば、子育てに対する周りの意識改革につながるようなPR活動のようなものが企画されると嬉しいです。(20代/女性/西仙北)
- 3人以上いる家庭には特に支援をしてほしい。経済的援助がなければ、2人以上産みたくても産めない。また、産んだとしても生活できない。少子化を止めたいなら子供を多く生んでもらえるように支援するべきだと思う。3人目を産んだときはゴミ箱とおむつをもらったのに、4人目の時はゴミ袋だけでした。お祝いのものが減るってどういうことでしょうか？4人目を産んだらオムツ増やすなどといった取り組みの方がありがたみを感じます。(30代/女性/中仙)
- 結婚促進より結婚しているのに経済的に子供を増やすのをためらっている人に支援をしてほしい。3人目以上で100万円とか。あと、3人目で保育園に入れなくて困った。社会で育てる(保育園、病後児保育)という充実が、更に安心を生むと思う。(30代/女性/協和)
- 高校生が一番お金が掛かるのに、児童手当がなくなるのはどうかと思う。その分の何かしらの援助がほしい。(30代/女性/南外)

- 道の駅や公民館など子供広場をつくってほしいです。二ツ井道の駅や、仁賀ほっとなど、子供広場があり、ちょっと遊ばせたいと思ったときにいつでも行ける場所が提供される事は、子育てしている立場にとって、とてもありがたいです。大仙市は道の駅はたくさんありますが、もう少し子供向けの施設を増やしていただければと思います。(20代/女性/協和)
- 児童クラブを現在利用させていただいているのですが、月の利用料の減額は大変助かっているのですが、昨今のコロナウイルスの対策として学校休学中は利用しないようにしています。また、太田は小学校が3つあるにも関わらず、児童クラブが学区外の所ということもあり、夏休み等の長期休みで丸一日利用しなければならなくても職場の仕事の時間に間に合わないということもあり、利用したくてもできないという状態にあります。できれば、学区内に児童クラブがあれば助かるということと、月の利用日数に応じての利用料であればもっと生活の負担軽減になるのでは、、、と思います。(30代/女性/太田)
- 高齢者よりこれからを担う子供たちの教育や医療支援に重点を置いてほしい。(30代/男性/西仙北)
- 大仙市は子連れが無料で遊べる施設や大きな公園が少なく、子連れで生活するにはとても不便な市であると思います。だから、横手市に拠点を置いたり、遊びに出かけたりする人が多いと思います。雨が降った時に遊べる屋内の遊び場もつくってほしいです。(雰囲気や人の明るい所)(中仙)
- 雨天に遊べるところがイオンしかない。シルバーエリアや横手の Y プラザのような広さの施設があればいいと日頃から感じる。公園もない。(中仙)
- 山形県等は、冬期間でも遊べる屋内大型遊具がある施設が、かなり充実しているので、秋田県でも作ってほしい。(大曲)

健康福祉、スポーツ分野

(1) 保健・医療について

- 若い人に対する健康診断の項目が少なすぎる。働き盛りの年代だからこそ、家族のために健康診断をするべき。市ももっと若い世代にお金を使うべきだと思う。老人と子供だけに守られていて、生産力のある若い人たちに対する健康面での補助が少ないと思います。20代~40代、50代の働き手がなくなったら秋田には何が残りますか？(30代/女性/中仙)
- 不妊治療をしている方への助成額や枠をもっと増やしてもらいたいです。大仙市民がどんどん減少していく中で、助成をもっと手厚くしてもらおうと、子供を諦めかけていた人も治療をして授けられたり、という事もあると思います。どうかよろしくお願いします。(30代/女性/中仙)
- 小児科、耳鼻科が少ない。待ち時間が長すぎて、秋田市に行った方が早く終わる。(30代/女性/大曲)
- 横手市の知人から聞くと各予防接種の時期になると通知が来るそうです。かかりつけ医と相談しながら接種にはなりますが、そろそろ時期ですよという連絡がその都度来るのであれば、とても助かると思います。(大曲)

(2) 社会福祉について

- 私はこの一月末、両親を介護施設へ入所させ、市当局からの援助を戴きました。両親は細々と暮らしているものです。今は本当に本当に感謝、感謝の念で一杯です。私自身も障がい者3級であり、会社勤めをしながら生計を立て、今思えば昨年市役所にお問い合わせし、受諾されなければ私の家族は決して良くない結果を招いていたことでしょう。他の市民にも私のような人がいるかも知れません。そのためにも、介護福祉の手を差し伸べて下さい。その年齢にならないと分からないことはいっぱいあります。今だから、未来の自分のためにも高齢者に優しくしましょうよ。宜しくお願い致します。
- 施設に入所している父・母が車いす生活のため、外出・外泊(土・日・祝)させようと思っても、レンタカー(車いす用)を借りると、24時間で¥25,000かかり、家に中々連れてこられない現状があります。市の方で、福祉車を用意してもらい、利用できればありがたいと思うのですが。(50代/女性/協和)
- 昨年、初めて敬老会に参加しましたが、あまりに堅苦しい背広姿の人が多く、また、主催側のあいさつ等が多く、楽しさを感じられませんでした。もう少しリラックスできる会ならと感じました。(70代/男性/西仙北)
- 秋田県は高齢者が日本一ということは、世界一でもあるということ。介護の充実や福祉等で成功すれば、日本を含め世界からも注目されるのではないかと。(60代/男性/中仙)
- 今年度から子育て世帯に対する支援が、更に手厚くなったように見え、感謝します。欲を言えば、高齢者に対する支援もさらに手厚くしてもらえると嬉しいです。最近、感じたことでいえば、高齢者(特に80歳以上)の運転する姿を見るととても怖いです。近所の人に聞くと、車がないと買い物や通院が出来なくなるため、車を手放せなくなるとの事。そのような高齢者をサポートするような仕組みがもっと増える事を願います。(神岡)

(3) 社会保障について

- 国保の税金を少なくして頂きたい。年金は本当にもらえるのか？市民の声をもっと聴くべき。(20代/男性/大曲)
- 一人親家庭への支援。単独世帯(老若男女問わず)への支援が手厚い街になってくれるとありがたいです。(10代/女性/大曲)
- 大仙市では、障がい者への手厚い支援が整っていると思います。子育てにも、力を入れています。今後も支援を続けていただきたいと思います。(30代/男性/西仙北)

(4) スポーツについて

- 市外の軟式野球チームでプレーしているものですが、市内のトレーニング施設をほぼ毎日使用させていただいております。ウエイトトレーニング施設などをもっと多くの場所で提供していただくと健康増進につながりますし、能力の底上げにもなると思います。また、人工芝のグラウンドを建設してほしいです。費用は最初かかるとは思いますが、その分を回収する見込みは多数ありますし、市外を問わず県外からの利用団体も増えると思います。(20代/男性/仙北)
- 大仙市のスポーツ施設のHPには、駐車場の台数が記載されていないので、記載してあったらいいと思います。(50代/男性/大曲)
- どのスポーツに限らずにもっとスポーツ施設を増やして県内のスポーツレベルを上げていけばいいと思います。それを踏まえた上で、観光やその他の事業を盛んにしていければ比較して町が良くなっていく。(20代/男性/仙北)

(1) 自然・環境衛生について

- ゴミ捨てに中央ゴミ処理センターに25分かかっていき、待ち時間も長く北部ゴミ処理センターまで5分で行けるし、北部センターに持っていけるように対応してほしい(中仙豊川)(60代/女性/中仙)
- 粗大ごみを簡単に持って行ってもらいたい。(80代以上/女性/協和)
- 駅裏大花町付近に野良猫がとても多い。不衛生だ。猫ブームなどもあるが、マナーとして野良猫への餌付け等はやめてもらいたい。(30代/女性/大曲)
- 今回のコロナ渦で、大仙市では自然が周りに多いので外を歩く(散歩)ことは都心と比べて、できるように思いました。今後も自然を活かした環境整備が必要なのかと思います。今回のような感染症対策、自然災害対策を行い、安心して生活ができる大仙市となるようお願いいたします。休校となった場合、防災ラジオよりも電子教材を小学生のいる家庭に無料配布してほしいです。大仙市にあれば良いと思う施設、場所。子供が知識を育める生物博物館や美術館。自然と共存して思いっきり虫取りや川遊びができる場所。大仙市の良いところは豊かな自然だと思うので、自然を活かした環境整備をして、庭を蛍が飛ぶ風景を子供たちに残していけたらと思います。また、大仙市のお米、野菜もとてもおいしいので、子供たちに体験学習を通じて学べたら良いです。(30代/女性/神岡)

(2) 安全・安心体制について

- 遠くない将来の大地震や災害に備えて、ライフラインは県あるいは町単位に整備していくべきだと思います。(70代/女性/大曲)
- 防犯の内容を教えてください。泥棒除けの方法を教えてください。(60代/女性/大曲)
- 人災、天災、あらゆることに早い対応をしていただける安心な街(市)と思っております。これを続けていけるように市民が参加できるような取り組みを継続願います。(50代/男性/中仙)
- 防災無線が聞こえにくいです。大仙市のlineでも読めたら嬉しいです。市のHPで読めるのであれば、それでも助かります。(大曲)

(3) 雪対策について

- 市内に引っ越してきて、2年になりますが雪の除雪で一つお願いがあります。横断歩道のある道路除雪の際、車道で除雪した雪を横断歩道のところにそのままにしないでほしいです。人手が少ないかもしれませんが歩行者には厳しいです。幹線道路はいいのですが、歩道の道に入ると歩くときにちょっと不便です。宜しく願います。(60代/女性/大曲)
- 除雪についてお願い。早朝から御難儀をかけておりますが、玄関前に大きな雪の塊を置かれると高齢のため除雪に大変苦労しております。もう少し配慮していただきたい。(80代以上/女性/大曲)

(4) 空き家対策について

- 空き家の管理・把握を徹底していただきたい。(20代/男性/大曲)
- 空き家問題など周辺を車で運転していると空き家が多くなっているような気がするので、市での対策に期待したい。(40代/女性/中仙)
- 今の御時世ですから一層大仙市の住みやすさを実感している所ですが、やはり気になるのは年々増加している空家、空地でございます。特に空き家は台風などにより被害を受けることが推測できる状態ですので、この点ご検討いただけないでしょうか。(70代/女性/神岡)
- 終活で相続した宅地、畑地を市に寄贈をお願いしましたが、断られました。その後も決まっていません。空家対策だけでなく、空地も取り組みを実施してほしいです。(私だけなのでしょうか?)(60代/女性/大曲)

都市基盤分野

(1) 公共交通について

- 協和地域の循環バス計画はどのようになったのでしょうか?(協和から秋田市内へ)以前、アンケート有り。生活圏は秋田市ですので是非実現してほしいと思っています。(70代/女性/協和)
- お年寄りが無料で利用できるバスがあればいい。(買い物、病院など)(50代/女性/大曲)
- 協和地域は交通が不便で、自家用車なしでは生活しにくくなっている。バスも運行数が少なく、思う時間に出かけることができない。この地域の交通を考えてほしい。(70代/女性/協和)
- お願いとして、バス路線において小型でいいので各旧市町村を通るルート(商店・公共施設・医療機関へ)が欲しい。タクシーなども近場にあるが、往復と回数の料金負担が大きく、生活が困窮してします。(70代/女性/大曲)
- 4世代家族。50代です。公園が歩いて行けるところにあれば、といつも思っています。親が運転できないので買い物に行くのが不便です。タクシーで1日に何回か利用できるようですが、それも良く分かりません。私も今は車で行けますが、10年後、20年後はどうなるか不安です。(50代/女性/仙北)
- いずれ車の免許を返納することになるが、歩いて10分足らずのところバス停はあるが、冬など天気の悪い日に定刻通りに来ないバスを待っているのは大変です。住宅まで迎えに来てくれるような乗り合いの車を運行してほしい。(もちろん有料で)(70代/男性/大曲)
- 土川地域に在住の79歳。高齢で現在車の運転をしております。近所の人がすべて高齢で介護タクシー等利用しているようです。定期的な交通手段があると病院や買い物にも計画的に行くことができ便利だと思います。安心して免許返納もできると思います。高齢化集落や交通弱者のために、ぜひ定期便(マイクロバス)を考えてください。宜しく申し上げます。(70代/女性/西仙北)

(2) 地域情報化について

- 市のIT化・ICT化が進んでいないと思います。特に小・中学校の教育現場では、wifiよりLTEを利用することで現在の休校状態でも一定の授業が継続できると思います。他市町村の状況を気にするのではなく、大仙市が率先した自治運営をお願いします。(50代/男性/西仙北)

- 市外県外への情報発信をより積極的にするべき。自ら情報を取りに来る環境だと、若い世代特に20代には届きにくいのでは。どういったメディアが効果的なのか、限られた予算ではあると思いますが、よく検討されてみては。(30代/男性/西仙北)
- 転勤で大仙市にきました。約1年住んでいます。アパートに住んでいますが、市内の情報(新規オープンのお店やイベント)が一切入ってきません。インターネットで情報収集していますが、SNSの更新が止まっていたりで、情報が乏しいです。転勤が多いので全国各地を転々としていますが、大体のところはタウン情報誌がポストに投函されています。昔はあったのでしょうか。そのあたりをもう少し充実されていたらいいのになあと感じています。花火大会のことも、主人の職場の方からの情報と、私は仕事をしていないので、やっとできた知人から情報を得ることしかできず、交通のことも自ら調べるしかありませんでした。今住んでいる方だけではなく、これから住む方にも優しい地域を目指してほしいです。(40代/女性/大曲)
- 今回のアンケートの設問で初めて存在を知った取り組みが沢山ありました。せっかくいい事業をしても、知られていないことを活用するチャンスもありません。もっと内外に大仙を知ってもらい、身近に感じてもらうために、SNSを上手く使ってはどうでしょう。(30代/女性/大曲)
- 我が家では、パソコンもスマホもありません。そんな人たちの事も考えていただけたらありがたいです。最後に市の広報車は雨やTVの音などでいつも聞き取れません。裏通りも回っていただけるとありがたいです。(50代/女性/神岡)
- 忙しくてなかなか広報誌を読めなかつたりするので、ネットから情報を仕入れたい。若い人からもう少し読んでもらえるような広報等作ってほしい。せっかく配布しても読んでもらえないと意味がないので。(40代/女性/太田)
- 断水のお知らせが車で放送しながら、というのは雑すぎる。耳が遠い、不在時などの場合、夜突然水が出なくなることはパニックだ。せめて、紙一枚でも入れることはできないだろうか。切に希望する。(30代/女性/協和)
- 大仙市に住んで5年になりますが、知人がいないと地域の情報やサービスがわからない。(具体的にはママサークルや、子連れで参加できる料理教室など)私は主にネットで探しましたが、調べても出てこずこちらで知り合った方に教えてもらうようになるまで、数年苦労しました。市でやっている施設の情報だけでなく、幅広く情報を教えてほしい。(30代/女性/大曲)

(3) 市街地について

- 大仙市になり、大きくなりました。広くなった分、周りを考えるべきだと思います。今、中心部だけかなと思います。周りを考えるべき時期になったと思います。(60代/男性/中仙)
- 体育館の使い勝手が悪い。何なら花火の栈敷になるような体育館や、ボーリング、バッティングセンター、ジム、卓球場などの総合施設、健康ランドなどがあるとよい。市内の一方通行を少なくしてほしい。主要施設があちらこちらバラバラで使いにくい。(40代/女性/大曲)
- ・「大曲駅裏」や「大曲飯田町」のように、大きな商業施設集合体をいくつか作ってほしい。
 ・「市民のいやしの場所、防災の目的、子供たちや大人たちがくつろぐ場所」として、大きな公園もつくってほしい。
 ・プール施設が数える程度しかないなので、いくつかつくってほしい。(20代/男性/大曲)
- 人口減少に伴い、早急に居住地をコンパクトに集約した方がよいと思います。(問題は山積みだと思いますが)(50代/女性/西仙北)
- 横手市のYプラザのような子育て施設と文化施設、商業施設が一緒になった複合施設だと、利用しやすいので、そのような施設を作ってほしい。(大曲)

(4) 道路・河川について

- 駅前前の通りなど横断歩道の塗装が薄くなっているからか車が止まってくれず渡れない事が多いので改善してほしい。歩道も斜めだったりガタガタだったりで、ベビーカーでは通りづらい。(30代/女性/大曲)
- 大曲地域だけに予算を使いすぎて他の地域の道路が整備されていない。大曲地域だけやっている。他の地域の予算を大曲だけに使ってほしくない。平等に使ってほしい。(30代/男性/仙北)
- 道路の穴を舗装して早く直してほしい。缶拾いコロナのために辞めましたが、秋にでもやったらどうか。(80代以上/女性/西仙北)
- 川福橋から環状道路への直線道路を完成させてほしい。アクセスが不便である。(60代/男性/仙北)
- 富士見町にある2つの踏切が狭くて困っています。歩道にはみ出す車も多く、歩行者や自転車も大変だと思います。(40代/男性/大曲)
- 協和地区は通学路も道なりが暗く不安になります。道路は昔、奥州街道にもなっています。整備と美観に力を入れてほしいと思います。(60代/男性/協和)
- すべて市街地ばかり目を向けているのではありませんか？生活道路の整備迅速な道路修繕に取り組んでいるようですが、私にはとてもそのようには思えません。私の住んでいるところは、道幅が狭く、冬には各地域に除雪車を委託していると思いますが、とても雑で一方通行の道路のようになってしまいます。そのため、通勤することが大変です。子供たちは市街地のアパートに住み、高齢世帯が多く過疎地になりつつあります。みんな、同じ税金を納付している市民です。選挙の時だけの市民ではありませんよ。もう少し、細部にわたって目を向けて下さい。横手市や美郷町では、農村部でもきれいに除雪されています。(60代/女性/大曲)
- 市中心部以外の生活道路もしっかり整備してほしい。市民が楽しめる施設を作してほしい。(40代/男性/中仙)
- 生活道路の整備が遅れていると思う。通学路なのに幅が狭い道路や歩道が必要な道路であることが多い。また、車道も穴が多かったりしている。(40代/男性/仙北)
- 大仙市になってから大曲を中心にあらゆる方面が便利になったようですが、農村部は昔のままで何も変わっていません。大仙市になって太田町の時よりずいぶん住みにくく感じています。中心部だけでなく、地方にももっと目を向けてほしいです。旧バス路線(板見内経由横沢行)三本扇地区の道路が狭くいつも危険を感じています。道路拡張工事を市から県に働きかけてほしいです。車の交差で事故が多発しています。私自身事故の後遺症に悩まされ続けています。(80代以上/女性/太田)
- 大曲地区の歩道幅員の見直し、路面状況等の改善の要望。ベビーカーで出かけると歩道が狭い。路面の段差が多く凸凹している。路面が斜めになっている場所も多々あり、勝手にベビーカーが流れて行ってしまい、怖い。とにかく、ベビーカーを押しにくい。(仙北)

(5) 上・下水道について

- 市政への提案ではありませんが、協和中淀川、下淀川地区の上下水道水質保持のために塩素を注入していますが、流し場や風呂場、ポット等にカルキの白いこびりが非常に多く困っています。以前、秋田市に住んでいたころは、ひどくなかったので注入量が必要の上限に注入されていると思われます。ですので、注入範囲の下限量にしたいと思います。(70代/男性/協和)

(6) 住環境、公園、緑地について

- 公園をきれいにしてほしい。(古いままの公園ばかり)子供が遊べる場所がない。(30代/女性/大曲)
- 公園をきれいにしてほしい、草が多くて遊べない公園が多いように感じる。秋田は自然の中にあるのだから、公園くらいは遊具などを多くして、砂場などあれば良いと思う。(大曲)
- ファミリー層を取り込むような街づくりをしてほしい。例えば、整備された公園をもっと作ってほしい。神奈川の港北ニュータウンのような街を手本に若い家族がどんどん定住したいと思える地域を目指してほしい。(大曲)
- 公園を増やしてほしいです。(協和)
- 遊具のある公園が少ないように思います。冬はソリ遊びができるような所を作ってほしい。(大曲)
- 室内で安心して遊べる施設が欲しい。保育園から小学生くらいまで幅広く遊べる所。(大曲)
- 公園など、子供たちが集まって遊べる場所が少なすぎる。空家などもあるのだから、上手に使って公園を作ってほしい。(30代/女性/中仙)
- 公園がよく整備されていて、とてもありがたいです。(30代/女性/大曲)
- 大曲には規模の小さな公園が多数、神岡には大きな公園があります。でも、中仙地区にはキチンと整備された公園がないように感じます。ちなみに、私が子供を連れて行くのは角館パワーの後ろ、千畑のラベンダー園、神岡中央公園などです。公園のついでに買い物など、お金を使うことも多いので、大仙市にお金を落とすためにも中仙地区にも公園を作ってほしいです。もし、中仙地区にもあるのなら、それを教えてくれる手段を考えてもらいたいです。自力でたまたま見つけたり、親同士の情報交換で知ったため。ちなみに滑り台、ブランコ、鉄棒があると嬉しいです。(30代/女性/中仙)
- 子供のいる家庭、特に小さい子供のいる家庭、これから出産を考えている家庭にとって公園など、外の環境はとても大きな存在で、よく見えています。安心して子供を外で遊ばせたり散歩に出かけたりできる環境が充実している所では、子供を持つと思えると思います。また、移住を考えている人なども、そういう環境を特に見ていると思います。(40代/女性/太田)

教育・交流分野

(1) 学校教育について

- 秋田県の人口流出は止まっていない状況ですが、今まで通り高齢者にスポットをあてた行政ではダメです。若い人たちが、ここに住みたい、住みたくないは小学校の小さいうちから心の中で葛藤しながら決められていくんじゃないかと思います。ですから、大仙市に「住みたくなる街づくり」は小中学校の授業から取り入れてもらいたいし、そして少しでも反映できるように大人たちの努力も必要だと思います。(60代/男性/大曲)
- 市民が関心を持てる事業を多くしてほしい。特に子供たちのスポーツ・教育に力を入れてほしい。誰でも参加できる市政を希望します。(60代/男性/大曲)
- 旧市町村の時はどうかわかりませんが、私の住んでいる太田は小中学生が冬場、ほとんど家の人が送り迎えをしています。アンケートにも書きましたが、美郷町を見習って教育委員会のバス送迎等、冬場だけでもお願いしたいです。県外から嫁いできた方々は本当に不思議に、不満に思われています。(30代/男性/太田)
- 大仙市でもアレルギー給食センターを作っていたきたいです。待っています。中仙小学校～旧中仙町。宜しく願います。(中仙)

- 少子化による学校の統廃合、または新たな区分けを進めてほしい。特に大曲地区を人数のバランスを取りながら、新しく学校をつくる等。(大曲)
- スクールバス等の送迎サービスをやってほしい。(大曲)
- 大仙市内の小学校すべて学校の指定ランドセルにしてほしい。教科書以外、学校で使用するものを、全体的に統一することで親の不満もなくなれば、金銭的負担も減り長く使用できる。要らない見栄もなくなり、祖父母などの負担も無くなる。筆箱や必要最低限全てのモノを指定してほしい。(30代/女性/神岡)
- 小学校、中学校の人数をバランス良くなるように考えてもらいたい。子供の指導に差がありすぎるため。(40代/男性/大曲)
- 全校スクールバスを運行してほしい。子供たちだけで登下校は危険。何かあってからでは遅い。アメリカでは子供たちだけで外を歩かせるなんて考えられません。日本でもスクールバスを始めるべき。子供たちの命を大切にしてほしい。キチンと反映してください。お願いします。(30代/女性/大曲)
- 小学校についてですが、コロナの影響もあり、いつもとは違うかもしれませんが、学校からの連絡が遅い。直前すぎると感じます。仕事もして、兄弟もいるので早いと何事も助かります。(30代/女性/大曲)
- 学校の遊具が少ない。横断歩道をつけてほしい所がある。各学校ごとの対応でしょうが、学校に「お茶や水」などの水分補給用水筒を持って行ってほしいと思うが、学校では禁止にしている(高梨小)。奥羽山荘の再生をしてほしい、利用したいという声をよく聞きます。(30代/女性/仙北)

(2) 地域間・国際交流について

- 大曲には、花火以外にも宝がいっぱいあると思います。大仙市内には、その地域の人以外あまり知らないものがたくさんあるのに、お互いに全く分からない。情報の交換、交流が出来ていないからだと思います。確かに遠くの国との交流も大切ですが、市内、県内をもっとよく見て知ることも、お互いの今後のために大切だと思います。(50代/女性/大曲)

地域活性化・市民との協働・行政運営分野

(1) 地域活性化について

- ・地域活性化といわれますが、個人的にどうなれば活性化されたとなるのかがわかりません。例えば、その為の市議会議員を選ぶのか、行政員を選ぶのか、あるいは市長を選ぶのか、等。他の市町村にはない「大仙市」のオンリーワンを目指してほしいです。「花火」＝「大仙市」のようなものとかですね。(50代/男性/大曲)
- 現在の市政では、高齢者が多く考え方も古いので若い方に市政に携わっていただき、色々なアイデアを出してもらい新しく活気のある大仙市にしてもらいたい。若者のレジャー施設とかスポーツ施設、何より若者が楽しく働ける職場を作っていただき安心して結婚でき、子供を産めるような大仙市にしてもらいたい。今のままでは若者はみないなくなり、私たち高齢者だけ取り残されてしまいそうで心配だ。(70代/女性/大曲)
- 大曲地域、中心地は活性化の方向に向かっていると思いますが、私の住む地域はまだまだ。(60代/女性/太田)

- 他の市町村を比較すると正直何をやっているのか見えてこない。地域ごとに小規模の催しはあると思いますが、大仙市＝花火しか印象に残りません。それで潤うのは結局旧大曲地区だけ。大曲も観光スポットがバラバラで車を持っていない旅行者には巡りづらい。企業の誘致もほぼなく、〇〇と商品開発提携したという取り組みも聞かない。(男鹿は資生堂、角館はポーラ等)つまり「新しいことを行う」という姿勢が全くないのではないのでしょうか。高齢化が進み、どう取り組んでいくのかも考えてほしい。(40代／女性／南外)
- 花火だけではなく、次は大仙市で盛り上げられる(人が集まること)が出来ないか？大仙市が8万人を切ったことに不安があります。人口を増やす何かを考えなければならないのではないかと。(40代／男性／大曲)
- 若者が街に残るような環境づくり。商業施設等をもっと誘致してほしい。TBSが見たいです。(30代／男性／大曲)
- 大仙市では結婚、出産、子育てしようと思ってもらえる事が必要。思い切った制度で全国へアピールしましょう。人を集める、増やすといったあらゆる支援事業を特化、連動させる！私は移住者です。大仙市が大好きです。増やしましょう、人口！期待しています。(30代／男性／大曲)

(2) 移住・定住について

- 2017年に県外から大仙市に戻ってきたが、移住定住者サポートの条件が厳しすぎ、利用できなかった(新築に対する補助金)。保育園も少子化のわりに希望する園に入れず、がっかりした。(30代／女性／大曲)
- 住んでこそ、良さを実感できる街だと思っているので、移住者だけじゃなく春から花火のある夏、秋まで別荘のように畑付きで空家を利用してもらう季節住民も増やす対策をしていってもよいと思う。(60代／女性／大曲)
- 空家を利用した移住者支援(40代／男性／中仙)
- 市外からも来たいと思える文化・交流施設の整備。高齢者よりも、子育て世代、若者世代にも目を向けた街づくり。(山形、庄内エリアが良い例)除排雪・消融雪の整備を充実させ、通年のストレスの少ない生活道路にすることで、移住・定住の割合にも変化があると思う。(30代／男性／大曲)
- 最優先は人です。子供を産んでも大丈夫。すごい支援制度があるから大仙市に移住しようなどが必要。全国へ向けてPRできる支援制度を期待しています。(大曲)
- 県外への大学進学に対する支援をしてほしい。県外からの移住者に対する手厚い支援をしてほしい。(40代／男性／中仙)

(3) 市民協働について

- 大仙市民全体でできる活動を考えることも、いいかと思う。(10代／男性／太田)

(4) 男女共同参画について

- 女性の活動の場を広げてほしいと思います。(60代／女性／太田)
- 市長や市の男性職員は育児・家事などにどの程度参加しているのか。女性職員はキャリアアップへの意欲・意識を持ち合わせているのか。ご自分方の気の進まない事を市民にだけやらせようというのは筋の通らない話。まずは、市長なり市職員なりが、お手本を示すべき。(40代／女性／西仙北)

(5) 行財政運営について

- 大曲地域だけが発展し、隣の神岡等は寂れていくばかりです。大仙市になってからは、役場の職員も知らない人ばかりで身近に感じられません。それでいいのでしょうか？市民としては、高齢のせいかわ昔が良かったと感じる次第です。これからは高齢化は益々進みます。高齢者が住みやすい街づくりをお願いします。(70代/男性/神岡)
- 花火に税金を投入して、大仙市全体に還元されましたか？若者を集めるための文化を、そして産業を育成したほうが良い。(30代/男性/中仙)
- 少ない職員で地域をくまなく廻ることは無理があると思いますが、事務仕事を省略する市の意思がなければ、職員は地域に貢献できず、公務員は住民のための公務員になれないのではないかと思います。公務員はもっと住民のために働きやすくするべきです。(60代/男性/仙北)
- 税金を無駄に使わずに、市民が安心して生きていけるように何が一番必要か？何に困っているのか？を見極めて、より良い生活ができるように机上の空論とにならないように、有意義に使っていただきたいと思います。市民が長年ボランティアで活動しています。税金は容赦なく徴収されます。血税です。どうかよろしく願いいたします。若者がつまらないと県外に行かないような大仙市にしてください。(60代/女性/仙北)
- 市役所に行って感じたことですが、机に座っているだけで仕事をしていないような人が見られる。お役所仕事を変えてもらいたい。頭でっかちではなく、柔軟な態度、柔軟に対応してもらいたい。改革が必要なのではないだろうか。もう少し相手の気持ちになって、考え、行動してもらいたい。(50代/男性/大曲)
- 市職員の質が悪い。未だに不愛想、横暴、偉そうな態度の職員が多い。仕事も遅い。(40代/女性/西仙北)
- 大仙市をもっともっと応援してもらえるようにするためにも、ふるさと納税がさらに伸びるようにアイデアを出してほしいと思います。(50代/女性/中仙)
- 市ではよくシルバー人材を利用しているようですが、市民の目からは税金の無駄遣いではないかよく監督すべきだと思います。(70代/女性/仙北)
- 新しく作られた施設の中には、明らかに税金の無駄遣いと思われる施設がある。多額なものなので、本当に必要なものなのか、どうか見極めてほしい。(大曲)
- 市役所の営業時間を少し伸ばすか、週何回かでも土・日どちらかの短時間で営業をしていただきたいです。(20代/女性/大曲)

その他

(1) 新型コロナウイルスについて

- 予想外の事態となり(コロナ感染拡大)、それぞれの行政機関が先頭に立って私たちの安全に配慮してくださっていることをこの場を借りて感謝申し上げたいと思います。(70代/女性/大曲)
- 今回のコロナの影響を受け、今後の社会環境はサプライチェーンをはじめ大きく変わっていくことと思います。どのように変わっていくかを予測しながら、企業の誘致やAターン、Iターンで人口を増やすこと、同時に子育てに対して、直接的な支援をしていくことが、大切かと思います。具体的ではなく申し訳ございませんが、他にはない大仙市の魅力にスポットを当ててアピールしていただきたいと思います。大仙市の魅力について、小学生や中学生もアンケートを実施するのも良いかと思います。(50代/男性/大曲)

- コロナ対策で大変だと思います。感染者のプライバシーもあるかと思いますが、適度な情報開示は必要かと思われます。中仙地区は今回、デマや風評被害で住民が不安になっていました。学校も休校ですが、感染拡大していない地域なのに、すぐ休校はどうかと思いました。大館のように休校しない方針でも、やむなく休校の方が好感をもてます。子供にも教育を受ける権利があるし、小・中学生は行動範囲が狭いので、高校生や大学生等とは違うと思います。(30代/男性/協和)

(2) その他

- 性別の所、男性、女性のほかに「答えない」とか「どちらでもない」とかの項目も増やした方が良いと思います。自分の性を自分で認めたくない人もいます。アンケートではそういうことに配慮するこれからの時代必要なことだと思います。政府には期待できないのでせめて市政に携わる方々には希望を持ちたいです。20～40代に届く支援・情報提供をお願いします。政府にはもう本当にかっかりなので。(20代/女性/大曲)
- 市政に携わる皆様には、日々市民のためにあらゆる環境整備や未来構想に取り組んでおられて感謝申し上げます。1.施策 2.推進すべき取り組みについては、私自身意識が低く、とても難しくよくわからないままです。このコロナ騒ぎのように目の前のことのみを追われて、閉じこもりのような生活では、他人の難儀や悩み、困りごとなどに中々目が届かず、漫然と暮らしてしまいます。何か力になりたいと思いつつ、広報の難しさを改めて思いました。このアンケートのおかげで考えを巡らせる機会を得ました。ありがとうございました。(70代/女性/仙北)
- 大仙市は住みやすい所だと思っています。あまり大きな変化は望みません。(50代/女性/大曲)
- 毎回楽しみにしている”だいせん日和”の表紙の写真は心からなごみます。(60代/女性/大曲)
- アンケートの「大仙市の現状・取り組み状況」の項目をもう少し増やしていただけると、自分の目の行き届かない分野の評価もしやすくなるのではないかと思います。(10代/男性/中仙)
- 今回のアンケートにより、自分の住んでいる地域の施策、環境、文化等知らないことが多々あり、恥ずかしく思えました。もっと勉強するべきと反省しました。世の中新型コロナウイルスで、まだまだ自粛の機会になっていますが、私ども市民も3密を守り生活していかなければと思います。市職員の方々も、お体に気を付けて。(60代/女性/西仙北)
- 日頃から大変お世話になっております。支所に行っても、丁寧に対応していただき感謝しています。もう少し活気のある大仙市ならいいなと思っていますので、よろしくお願いします。(60代/女性/太田)
- 昔に比べてかなり住みにくくなってきたなと感じるようになった。まわりも最低限の生活をしているように見える。心にゆとりがないように感じるので、なんとか打破するようになりたいものだと切に願う。(50代/男性/中仙)
- 返信遅れて申し訳ございません。選挙だけの議員さんではなく、御多忙とは思いますが、年に一度でも地域の座談会のような会を設けて身近な住民の声を聞いていただきたいものです。(70代/女性/西仙北)
- 2年前に地元に戻って来ました。秋田県大仙市のイメージとして「花火」の印象は県外でも知名度があります。しかし、それ以外での魅力について問われると答えることができませんでした。本来、町や地域の魅力は仕事や人間関係はもちろん、住んでいて楽しいと思える事、地元から離れたくない、県外に行っても自分には帰る場所があると思える人を増やす事が重要だと思います。高速道路や新幹線もある地域なのに、もう少し時代の変化に対応した取り組みが必要だと感じます。田舎ならではのものを残すことも必要ですが、次の時代を生きていく若い世代、子供たちへ人を

残す取り組みが必要です。(大曲)

- 中学生からは子供ではないのでしょうか？成人するまで子供ではないのでしょうか？どんどん子供の数が減っています。もう少し、考えるべきだと思います。このままでは、子供はおろか結婚するべき若者もいなくなりますよ。(40代／男性／大曲)
- 時々市役所へ行きますが、職員の対応に差があると思う。市役所へ相談してよかったと思えるような対応をしてほしい。(40代／女性／大曲)
- 隣の市で就業していますが、様々な場面で「大仙市」で良かったと思うことがあります。満足です。(40代／女性／中仙)
- 市のキャラクターがいまいち可愛くないと思う。美郷のミズモのような感じは可愛い。(30代／女性／南外)
- 大仙市役所のトイレが行きにくいです。ためらってしまいます。前、子供ときた時、子供が嫌がり手続きができませんでした。お仕事されている方、皆さんの視線を感じてしまいます。(30代／女性／大曲)
- 平素より大変お疲れ様です。より、子育てのしやすい、経済的に助けていただける施策を期待しています。(30代／男性／仙北)

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために 令和2年度市民による市政評価 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、『人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像に掲げ、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的指針を示した「第2次大仙市総合計画基本構想」を策定し、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対する要望をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和2年 4月
大仙市長 老 松 博 行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただきます、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例) 5 (4) 3 2 1

(例)

1. 電車	2. バス
3. 自家用車	4. 徒歩
(5) その他(友人の車での送迎)	

《調査票の返送について》

ご記入いただいたこの調査票は、**5月13日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度		満足度					重要度										
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらないとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらないとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない						
		〈記入例〉					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
I 魅力ある産業のまちを創ります！ 産業振興・雇用など	①	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

新規就農者数	H27～H30の累計 91人
農業産出額	H26 183億8千万円 → H30 232億7千万円
製造品出荷額等	H26 6,469千万円 → H30 6,880千万円
新規雇用創出数※1	H27～R1の累計 521人
新規誘致企業数	H27～R1の累計 10社
創業者数	H27～R1の累計 60人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → H30 9億64百万円
観光入込客数	H26 2,631千人 → H30 2,631千人
Aターン就職者数※2	H27～H30の累計 282人

※1 雇用助成金交付人数

※2 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

満足度と重要度		満足度					重要度					
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない	
設問項目												
Ⅱ みんなの 元気を応援 します！ （出会い・結婚・子育て、 健康・福祉など）	①	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

結婚相談会や出会いイベントの提供数	H27～R1の累計 97件
不妊治療による出産数	H27～R1の累計 80件
子育てサポート会員登録者数	H27 81人 → R1 89人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27 21箇所 → R1 31箇所
特定健康診査受診率	H27 39.1% → H30 39.5%
介護予防いきいき隊要請者累計数	H27 106人 → R1 195人
物忘れ相談プログラム体験者数	H27 340人 → R1 487人
全国500歳野球大会参加チーム数	R1 32チーム
スポーツ合宿実施数	H27 15団体 → R1 26団体

満足度と重要度		満足度					重要度					
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえません	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえません	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない	
設問項目												
Ⅲ 住みよいまちを築きます！ 安全・安心 都市整備など	①	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧	【上・下水道】 浄水場・水道施設や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

自主防災組織の組織率	H26 67.5% → R1 91.5%
地域公共交通利用状況	地域の実情に合わせて6システム 50路線を運行 R1実績 循環バス 13,552人 コミュニティバス 42,429人 乗合タクシー 14,205人
市ホームページ閲覧数	H26 64万9千人 → R1 157万人
都市計画道路整備率	H26 59.8% → R1 62.0%
住宅リフォーム支援制度利用件数	H28～R1の累計 1,692件

設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない					
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育・生涯学習 芸術・文化など	①	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R1 61人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R1 10人
学校のトイレ洋式化改修率	H27 73.0% → R1 86.4%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R1 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数	H27 116,772人 → R1 118,618人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R1 228団体
国内友好交流都市との交流	H27 8回 → R1 10回
自治体間による交流団体数	R1現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校種による連携。

設問項目		満足度					重要度					
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない	
V 時代に合った地域を創ります！ 地域社会の維持・活性化、 市民との協働、行財政運営など	①	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

地域枠予算（市民主導型）活用数	H27 73件 → R1 114件
地域おこし協力隊員数	H27 1人 → R1 3人
本市への移住者数	H27 5世帯 8人 → R1 37世帯 66人
本市への移住相談件数	H28 42件 → R1 129件
市職員数	H27 992人 → R1 846人
ふるさと納税寄付額	H27 9,013千円 → R1 160,032千円
財政力指数※1	H27 0.342 → R1 0.343
将来負担比率※2	H27 136.9% → H30 128.1%
全会計市債現在高	H27 99,175百万円 → H30 92,087百万円

※1 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。財政力指数が高いほど財政力が強いことを示す。

※2 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

問1 あなたが「**産業分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営の推進 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業への支援 |
| 9. 若者の起業支援 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用・就労への支援 | 14. 外国人を含む観光誘客の推進 |
| 15. その他() | |

問2 あなたが「**出会い・結婚・子育て分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの開催 |
| 3. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 4. 検診相談等の母子保健事業の充実 |
| 5. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 6. 子育て支援サービスの充実 |
| 7. 保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の実施 | 12. ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 13. その他() | |

問3 あなたが「**健康福祉・スポーツ分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくりの推進 | 2. こころの健康づくりの推進 |
| 3. 地域医療体制の整備 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの推進 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の整備 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な実施 |
| 13. スポーツ活動への支援 | 14. スポーツ環境の整備 |
| 15. その他() | |

問4

あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 新エネルギー導入の推進 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策の推進 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保 |
| 7. 地域の防災体制の整備 | 8. 水害対策設備の整備 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪施設の整備 |
| 11. 空き家の管理と利活用の推進 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の推進 |
| 15. その他() | |

問5

あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備促進 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 住宅環境の整備 | 8. 住宅耐震化率向上の推進 |
| 9. 市内の情報網、通信網の整備 | 10. 地域情報化の推進 |
| 11. 安全で安定した水道水の供給 | 12. 下水道施設の整備 |
| 13. 下水道未普及地区の解消 | 14. 水道事業の適正な実施 |
| 15. その他() | |

問6

あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育の推進 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 家庭教育の推進 | 4. 学校施設の整備 |
| 5. ふるさと教育の推進 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. 生涯学習支援体制の充実 | 8. 学びを生かす生涯学習の推進 |
| 9. 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 10. 芸術、文化活動の振興 |
| 11. 文化財の保護保全・整備と活用 | 12. 非核平和の啓発 |
| 13. 他自治体との連携・交流 | 14. 国際交流の促進 |
| 15. その他() | |

問7 あなたが「**地域活性化・市民との協働・行政運営分野**」で、さらに推進すべきであると考え
る取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用の推進 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加の機会拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動への支援 |
| 5. 地域独自の活性化への支援 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住への支援 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の推進 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供と公開 | 12. 効果的・効率的な行政運営 |
| 13. 公共施設の見直し | 14. 公文書館の利用促進 |
| 15. その他() | |

3 あなたが思う大仙市について

問1 あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 生まれてからずっと住んでいる |
| 2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た |
| 3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た |

問2 大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

問4

あなたは、ここ1年間で仕事以外で社会活動や地域活動(自治体活動、PTAでの活動、花植え、草刈り、ゴミ拾いなどの環境保全活動、見守り活動など)に参加しましたか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. 参加した
活動の内容()

2. 参加していない
)

問5

10年後、あなたが大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介したいですか。

「1つだけ選ぶとしたら」と考えたとき、あなたの考えに最も近い番号**1つ**に○をつけてください。

1. 四季折々の豊かな自然があるまち
3. 花火のまち
5. 文化や歴史の豊かなまち
7. 高齢者が健康で楽しく暮らせるまち
9. 犯罪や自然災害の少ない安全なまち
11. みんなが地域のために活動しているまち
13. その他()

2. 美味しいお酒や食べ物があるまち
4. 面白いお祭りやイベントがあるまち
6. 教育が充実し学力水準が高いまち
8. 子どもが楽しく安全に暮らしているまち
10. 地域の人々の絆があるまち
12. 観光客や移住者を快く受け入れるまち

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・要望等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、幅広い市民の皆さまのご意見をお伺いし、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えくださいますようご協力をお願いいたします。

テーマ1 成人式について

市では、成人を迎える市内中学校卒業生及び市内在住者を対象に、「成人」という人生の節目をお祝いするとともに、成人者自身が社会的責任を自覚し、家族や地域への感謝と誇りを再認識する機会を提供するため、成人式を開催しています。

成人式は、各地方自治体の判断で実施されていますが、民法の一部改正により、令和4年（2022年）4月1日から成人の対象年齢が20歳から18歳に引き下げられるため、成人式の対象年齢や開催時期などについて改めて検討が必要となっています。

この調査では、広く市民の皆さまから成人式に対するご意見を伺い、令和4年度以降の成人式に向けての参考とさせていただきます。

※この調査とは別に、市内高校生を対象とした調査も予定しています。

【現行の成人式】

対象者	年度内に満21歳に達する市内中学校卒業生及び市内在住者
開催日/会場	8月15日 / 大仙市大曲市民会館
主催	大仙市、大仙市教育委員会、成人式実行委員会（各地域の成人者で構成）

問1

令和4年度以降、成人式を行う対象年齢としてどの年代が望ましいと思いますか。

あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

※現在、市では対象者が全員飲酒・喫煙が可能となる「1.年度内に21歳に達する人（20～21歳）」を対象としています。

1. 年度内に21歳に達する人（20～21歳）
2. 年度内に20歳に達する人（19～20歳）
3. 年度内に19歳に達する人（18～19歳）
4. 年度内に18歳に達する人（17～18歳）

（参考）

年齢	飲酒・喫煙	選挙権
20歳	可	有
19歳	不可	
18歳		無
17歳		

問2

成人式の開催時期はいつが望ましいと思いますか。

あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

※現在、市では冬期間の交通の乱れ等を考慮し、夏の帰省しやすい時期に合わせ、毎年8月15日（お盆）に実施しています。

1. お盆期間（8月）
2. 成人の日を含む3連休（1月）
3. 年末年始（12月～翌1月）
4. 春休み期間（3月）
5. ゴールデンウィーク期間（4月～5月）
6. その他（ ）

問3

今後、成人式の内容として重視すべきものは何だと思いますか。

あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 社会人としての意識を自覚させるような内容
2. 家族や地域への感謝の気持ちを育むような内容
3. ふるさとへの誇りと愛着を思い起こさせるような内容
4. 成人を祝福するような内容
5. より多くの参加者が集まるようなイベント的な内容
6. 友人と集う同窓会的な内容
7. わからない
8. その他（ ）

テーマ2 自殺対策啓発事業について

市では、これまで実施してきた自殺対策の取り組みをさらに強化していくため、平成31年3月に「大仙市いのち支える自殺対策計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない大仙市の実現」を目指して、自殺予防の普及啓発や自殺対策に携わる人材の育成など、自殺対策を総合的に推進しています。

自殺対策の啓発事業については、悩みを抱えた市民が早期に専門機関につながることでできる体制を整え、自殺や精神疾患に対する正しい知識を広げていくため、広報やFMはなび等により、市民に広く情報発信を行っています。

この調査では、市民の皆さまから市の自殺対策やこころの健康に関する取り組みについてご意見を伺い、今後、効果的に自殺対策啓発事業を展開していくための参考とさせていただきます。

問1 あなたは、こころの健康に関心がありますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. ある | 2. ややある |
| 3. あまりない | 4. ない |

【「3.あまりない」、「4.ない」の場合、その理由】

問2 市で行っている自殺対策やこころの健康に関する取り組みを知っていますか。あてはまる記号に○をつけてください。

自殺対策に関する事業	内 容	知っていますか
1) メンタルヘルスサポーター養成講座	こころの健康づくりや自殺予防活動に関する人材の育成	a) はい b) いいえ
2) 自殺予防街頭キャンペーン	自殺予防週間と自殺予防デーのある9月に、市内商業施設での自殺予防に関する啓発活動	a) はい b) いいえ
3) こころの体温計	市ホームページでのこころの健康状態チェック	a) はい b) いいえ
4) ほっとスペース	市の臨床心理士によるカウンセリング	a) はい b) いいえ
5) こころほっとセミナー	市民を対象としたこころの健康公開講座	a) はい b) いいえ
6) こころの健康講演会出前講座	小学生を対象としたこころの健康に関する講演会(生命誕生の神秘や命の尊さなどについて)	a) はい b) いいえ
7) 思春期こころの健康講演会	中学生を対象としたこころの健康に関する講演会(思春期に変化するこころと体や困ったときのSOSの出し方などについて)	a) はい b) いいえ
8) いのちの総合相談会	専門の相談員による相談会	a) はい b) いいえ
9) 保健師による健康相談	市の保健師による健康相談	a) はい b) いいえ
10) FMはなびによる放送	こころの健康に関する内容のラジオ放送	a) はい b) いいえ
11) 広報による自殺予防特集	年1回広報への掲載による自殺予防の啓発	a) はい b) いいえ

問3

問2で1つでも「a) はい」と答えた方にお聞きします。

市の自殺対策やこころの健康に関する情報をどこで見たり、聞いたりしましたか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 広報 | 2. ホームページ |
| 3. FMはなび | 4. 市役所(本庁または各支所) |
| 5. 健康増進センター | 6. 家族や知人 |
| 7. その他() | 8. 見たこと、聞いたことがない |

問4

あなたは、悩みがあったり困ったりしたときに誰に相談しますか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 家族や親族 | 2. 友人 |
| 3. 恋人 | 4. 近所の知り合い |
| 5. 学校の先生や同級生・先輩・後輩 | 6. 職場の同僚や上司・部下 |
| 7. メンタルヘルスサポーター | 8. 市の臨床心理士 |
| 9. 市の保健師 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. その他() | |
| 12. 誰にも相談しない → その理由() | |
| 13. 誰にも相談できない → その理由() | |

問5

市の自殺対策やこころの健康に関する啓発活動としてどのような取り組みをさらに進めていくべきだと思いますか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 学校での啓発活動(子どもの自殺予防 等)
2. 職場での啓発活動(職場でのメンタルヘルス対策の推進 等)
3. 地域や自治会、サークル等での啓発活動(地域やコミュニティを通じた見守りや支え合い 等)
4. 市ホームページの内容充実
5. 街頭でのキャンペーン活動
6. 市民を対象とした講演会
7. 広報による啓発活動
8. FMはなびによる啓発活動
9. SNS等による啓発活動(Twitter、Facebook、instagram、YouTube等)
10. その他()

テーマ3 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について

花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」は、大仙市花火産業構想第Ⅰ期に掲げる取り組みにおいて、花火の文化的価値の向上と花火の伝統文化を将来にわたる地域資源として継承・発信していく拠点として整備し、平成30年8月に開館しました。

この調査では、市民の皆さまから「はなび・アム」の利用状況やご意見を伺い、今後の施設運営の参考とさせていただきます。

【花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」】

1・2階	研修室などを備えた「生涯学習エリア」
3・4階	花火資料の展示や花火シアターなどのある「花火資料館エリア」

問1 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」を知っていましたか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. 知っていた → 問2へ 2. 知らなかった → 問4へ

問2 問1で「1.知っていた」と答えた方にお聞きします。
3・4階の「花火資料館エリア」をご覧になるために「はなび・アム」を訪れたことはありますか。
また、訪れたことがある場合は、何回来館されましたか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. 1回行ったことがある
2. 2～4回行ったことがある
3. 5回以上行ったことがある
4. 行ったことがない → 問4へ
- } → 問3へ

問3 問2で「1.1回行ったことがある」、「2.2～4回行ったことがある」、「3.5回以上行ったことがある」と答えた方にお聞きします。

来館された際に、印象に残ったところはどこですか。

あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1～3つ)

1. 3階「花火資料室」 2. 影絵「大曲の花火」レプリカ
3. 4階「展望展示ホール」 4. はなびシアター
5. はなび創作工房 6. その他()

問4

「はなび・アム」のホームページやSNS (facebook・twitter) では、来館案内の他に、花火や展示に関するお知らせ、周辺店舗の紹介などをしていますが、内容は充実していると思いますか。

あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う |
| 3. どちらとも言えない | 4. あまりそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. ホームページやSNSを見たことがない |

問5

「はなび・アム」のホームページやSNS上で他にお知らせしてほしい情報などはありますか。

あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 大仙市以外の花火イベントの紹介
2. 大仙市内の花火イベント以外のイベント情報
3. 花火資料の収集状況
4. その他()

問6

どのような展示や催し物などがあれば「はなび・アム」に行ってみたいと思いますか。

あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 大仙市の様々な花火イベントの資料や情報の展示
2. 大仙市以外の花火大会の資料や情報の展示
3. 花火に関連する古い資料の展示
4. 花火に関連するグッズや絵画の展示
5. 花火の写真や映像の展示
6. 市のマスコットキャラクターが登場するイベント
7. 風船プレゼントなど子どもが喜ぶ無料プレゼント
8. 展示を見て学び、花火クイズに答えるイベント
9. 花火師と花火について語れるイベント
10. 花火玉模型などをつくるワークショップ
11. 資料館のガイドツアー
12. はなびシアターの新作映像
13. 花火関連グッズ等の販売ブース
14. 軽食・喫茶コーナー
15. その他()

テーマ4 なかせん千本桜プロジェクトについて

中仙地域では、市を代表する桜の観光地の確立と地域の活性化を図るため、「なかせん千本桜プロジェクト」を計画し、桜の植樹などによる桜の再生や八乙女山、県道、斉内川堤、道の駅からなる「なかせん千本桜エリア」を拠点とした観光の振興に取り組んでいます。

この調査では、市民の皆さまからこのプロジェクトの認知度や地域の桜や桜まつりに関するご意見を伺い、今後、効果的に観光PR事業を展開していくための参考とさせていただきます。

【なかせん千本桜プロジェクト】

計画期間：平成30年度～令和9年度（10年間）

第Ⅰ期 (平成30～令和4年度)	八乙女山の再生植樹事業と主に市内向けのPRを行い、市民の皆さまの桜に対する関心を高め、更に桜が魅力的な資源として再認識されることを目指します。
第Ⅱ期 (令和5～9年度)	八乙女山の桜の再生状況に合わせ、市外、県外にも対象を拡大したPR活動を展開し、近隣の観桜名所や春季イベントと連携するなど、市を代表する桜の観光地の確立を目指します。

問1 市の「桜の名所」といえばどこを思い浮かべますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 余目公園(大曲) | 2. 中川原コミュニティ公園(神岡) |
| 3. 大佐沢公園(西仙北) | 4. 八乙女公園(中仙) |
| 5. 米ヶ森公園(協和) | 6. いこいの森南外さくら公園(南外) |
| 7. 真山公園(仙北) | 8. 大台スキー場(太田) |
| 9. その他() | |

問2 桜を見に行くとき、何から情報を得て行きますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. チラシ | 2. ポスター |
| 3. 雑誌 | 4. 新聞 |
| 5. テレビ | 6. ラジオ |
| 7. インターネット | 8. 広報 |
| 9. SNS | 10. 友人・知人から |
| 11. その他() | |

問3 桜まつりにより多くの方から訪れていただくためには、どのようなイベントなどが必要だと思いますか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 屋台が並ぶ飲食コーナー
2. 歌や踊りを披露する舞台
3. 子ども向けの無料イベント
4. マスコットキャラ着ぐるみの登場
5. 特産品やお土産の販売
6. 桜野球大会やマラソン大会など関連した事業
7. 桜の植樹イベント
8. 桜を守る活動への参加
9. 日没後の桜のライトアップ
10. 花火ショー
11. 他市、他県の桜の名所の関係者が集う集会
12. その他()

問4 花見を目的に「八乙女公園」を訪れたことはありますか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. ある
2. ない

問5 「なかせん千本桜プロジェクト」を知っていましたか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 知っていた
2. 聞いたことはある
3. 知らなかった

問6 地域の桜や桜まつりについて、ご自由にご意見をお書きください。

■あなたご自身のことについてお伺いします。

・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 |
| 9. 75～79歳 | 10. 80歳以上 | | |

・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 | 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 | 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月13日(水)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために
令和2年度市民による個別事業評価
「地域子育て支援拠点事業」に関するアンケート
ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市政運営の基礎資料とさせていただくための「市政評価」に加え、個別の事業や施策を対象とする「個別事業等評価」を毎年実施しています。

この「個別事業等評価」は、市が実施している個別の事業等に対して、市民の皆さまから評価やご意見をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、事業等の推進や見直し、新たな施策の立案に向けた大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和2年 4月
大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、令和2年度において、小学校3年生までのお子さんの中から無作為に300人を抽出させていただき、その保護者の方にお送りしています。
- ◆ このアンケートは、無記名形式で行い、回答については、保護者の方どなたがご回答いただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例)

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 電車 | 2. バス |
| 3. 自家用車 | 4. 徒歩 |
| ⑤. その他(友人の車での送迎) | |

《調査票の返送について》

- ◆ ご記入いただいたこの調査票は、**5月13日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

■ 属性について

問1 あなたのお住まいの地域はどこですか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 |
| 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 |
| 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

問2 この調査にご回答いただく方はどなたですか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 |
| 3. その他() | |

問3 お子さん以外で同居している家族はいますか。
あなたとの続柄で、あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母 |
| 3. 祖父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. おじ・おば | 6. 甥、姪 |
| 7. その他() | |

問4 小学校3年生以下(小学校3年生も含む)のお子さんは何人いらっしゃいますか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人以上 |

問5 問4でお答えいただいたお子さんは、普段日中どこで過ごしていますか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 小学校 | 2. 認定こども園 |
| 3. 保育所 | 4. 自宅 |
| 5. その他() | |

「地域子育て支援拠点事業」について

市では、子育て家族を地域で支える取り組みとして、子育て中の親子の交流や育児相談、子育てに関する講習等を実施する「子育て支援拠点施設」を開設しています。

この調査では、子育て世代の方に、子育て支援拠点施設の利用状況や子育てに関するご意見を伺い、今後の施設運営や子育て支援事業を推進していくための参考とさせていただきます。

【子育て支援拠点施設】

対象者：0歳から小学校3年生までの子ども及びその保護者

施設名	まるこのひろば	うさちゃんひろば	つなっこひろば
開設年度	平成21年8月	平成24年6月	平成25年6月
場所	大花都市再生住宅（大曲）	中仙市民会館「ドンパル」（中仙）	旧土川保育園（西仙北）※1
利用時間	9時～16時	10時～16時	10時～16時
利用日※ 2	水曜日以外	水・木・金・土曜日	水・木・金・土曜日

※1 令和2年10月から大綱交流館へ移転予定

※2 お盆、年末年始は休館

問1 市の「子育て支援拠点施設」を知っていましたか。

あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 知っていた(利用したことがある) | → 問2-1 ~ 2-3へ |
| 2. 知っていた(利用したことがない) | } → 問3へ |
| 3. 知らなかった | |

問2-1 問1で「1.知っていた(利用したことがある)」と答えた方にお聞きします。

どの施設を利用しましたか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. まるこのひろば | 2. うさちゃんひろば |
| 3. つなっこひろば | |

問2-2 問1で「1.知っていた(利用したことがある)」と答えた方にお聞きします。

どのようなサービスを利用しましたか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 親子遊び広場を利用 | 2. 子育てに関する相談 |
| 3. イベントの参加 | 4. 子育て関連情報の提供 |
| 5. その他() | |

問7 問6で「1.知っていた(利用したことがある)」と答えた方にお聞きします。
また利用したいと思いませんか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 利用したいと思う	その理由 →	【利用したいと思わない理由】 □
2. 利用したいと思わない		

→ 問9へ

問8 問6で「2.知っていた(利用したことがない)」、「3.知らなかった」と答えた方にお聞きします。
今後、利用したいと思いませんか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 利用したいと思う	その理由 →	【利用したいと思わない理由】 □
2. 利用したいと思わない		

問9 同じ年頃の子どもをもつ保護者との交流を主にどのような方法、場所で図っていますか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1~3つ)

1. 子育て支援拠点施設	2. 子育て支援センター
3. こども園や小学校等の行事や送迎時	4. 児童館、児童センター
5. 市内のイベント	6. 市外のイベント
7. 子育てサークル	8. SNS
9. その他()	

問10 子育て支援環境の充実のためには、どのような支援策が必要だと思いますか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1~3つ)

1. 親子が安心して集まれる身近な場所の提供やイベントの開催
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる身近な場所の提供
3. 冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所の提供
4. 子育てに困った時に相談や情報を得ることができる場所の提供や仕組みづくり
5. 多様な保育ニーズ(延長保育、一時保育など)に対応できる施設の提供
6. 誰でも気軽に利用できるNPOなどによる保育サービス
7. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備
8. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境改善の働きかけ
9. 子育てについて学べる機会の提供
10. 特にない
11. その他()

○福祉医療費助成事業(マル福)について

市では、子育て世代への経済的支援として、福祉医療費助成事業(マル福)を行っています。市が行っている福祉医療費助成事業(マル福)では、秋田県の基準を拡大し、これまで中学校修了までの子ども(親の所得制限あり)の医療費自己負担分を全額助成してきましたが、令和2年8月診療分からは、対象年齢を18歳年度末までに拡充するとともに所得制限を撤廃して実施することとしています。

18歳年度末までのすべての子どもの医療費の自己負担分を全額助成することにより、子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりをさらに推進していきます。

問11 あなたは、福祉医療費助成事業(マル福)に満足していますか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 |
| 3. どちらともいえない | 4. やや不満 |
| 5. 不満 | |

問12 市が行っている子育て支援事業へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月13日(水)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために
令和2年度市民による個別事業等評価
「結婚・出産・子育て」に関するアンケート
ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市政運営の基礎資料とさせていただくための「市政評価」に加え、個別の事業や施策を対象とする「個別事業等評価」を毎年実施しています。

この「個別事業等評価」は、市が実施している個別の事業等に対して、市民の皆さまから評価やご意見をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、事業等の推進や見直し、新たな施策の立案に向けた大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和2年 4月
大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいの18歳以上49歳以下(令和2年4月1日現在)の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に300人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例)

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 電車 | 2. バス |
| 3. 自家用車 | 4. 徒歩 |
| ⑤. その他(友人の車での送迎) | |

《調査票の返送について》

- ◆ ご記入いただいたこの調査票は、**5月13日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

■ 属性について

問1 あなたの性別について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢(令和2年4月1日現在)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 | 4. 30～34歳 |
| 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 | 7. 45～49歳 | 8. 50歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地域について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 | 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 | 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

問4 あなたの同居の家族構成について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------|---------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦世帯 | 3. 二世帯世帯(親・子) |
| 4. 三世帯世帯(親・子・孫) | 5. その他() | |

問5 あなたの職業について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 正規社員・職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 派遣・契約社員 | 4. 自営業主・家族従業者(農林業含む) |
| 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職(退職者含む) | 8. その他() |

問6 あなたは、現在結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 結婚している(事実婚含む) | → 2ページへ |
| 2. 独身(離別・死別含む) | → 3ページへ |

問6で「1.結婚している（事実婚含む）」と回答した方のみお答えください。

問7 結婚相手の方との出会いのきっかけは何でしたか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 職場や仕事
2. 学校
3. 幼なじみ・隣人(住む地域が近かった)
4. 学校以外のクラブ、サークル、ボランティア活動
5. 合コン、婚活パーティ
6. 結婚相談所などの結婚支援サービス
7. 友人・知人等の紹介
8. お見合い
9. 旅先や街なか
10. インターネット、SNS (facebook 等)
11. その他()

問8 夫婦の就業状況についてお聞きします。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 夫婦共働き(夫婦とも正規社員・職員、派遣・契約社員、自営業主・家族従事者)
2. 夫婦共働き(夫婦とも、または一方がパート・アルバイト)
3. 夫または妻のどちらか一人のみが働いている
4. 夫婦とも働いていない(退職を含む)

→ 5ページへ

問6で「2.独身（離別・死別含む）」と回答した方のみお答えください。

問9 あなたが、結婚することを考えたとき、どのようなことが気になりますか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。（○は1～3つ）

1. 経済的にやっていけるか
2. お金を自由に使えるか
3. 職業を自由に選べるか
4. 仕事(または学業)の時間を自由に取れるか
5. 余暇や遊びの時間を自由に取れるか
6. 住む場所が制約されないか
7. 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか
8. ファッションや食物などの好み が制約されないか
9. 自由な人生設計ができるか
10. 結婚相手の家族と仲良くできるか
11. その他()

問10 結婚に関するあなたの考えに近いものはどれですか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---|--------------|
| 1. 早めに結婚したい | } | → 問11へ |
| 2. いずれ結婚したい | | |
| 3. 結婚したいができそうにない | } | → 問12(4ページ)へ |
| 4. 結婚するつもりはない | | |

問11 問10で「1.早めに結婚したい」、「2.いずれ結婚したい」と答えた方にお聞きます。
あなたが結婚したいと考える年齢は何歳くらいですか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 20代前半 | 2. 20代後半 | 3. 30代前半 |
| 4. 30代後半 | 5. 40代前半 | 6. 40代後半 |
| 7. その他() | | |

→ 問13(4ページ)へ

問12 問10で「3.結婚したいができそうにない」、「4.結婚するつもりはない」と答えた方にお聞きします。

結婚できそうにない、または結婚するつもりはない理由は何ですか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1~3つ)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 結婚したいと思える相手がいない | 2. 一人で暮らしたい |
| 3. 出会いの機会がない | 4. 家族を養うほどの収入がない |
| 5. 結婚資金が足りない | 6. 趣味など余暇活動に時間を使いたい |
| 7. 経済的な自由がなくなる | 8. 仕事(学業)に専念できなくなる |
| 9. 精神的に自由でいられなくなる | 10. 異性とうまく付き合えない |
| 11. 結婚相手の家族等との付き合いが面倒 | 12. 職場や周囲に未婚の異性がない |
| 13. 仕事が忙しく、時間(休み)がとれない | 14. 結婚生活に希望を見出せない |
| 15. 親の介護などにより結婚する環境でない | 16. 必要性を感じない |
| 17. その他() | |

問13 結婚に関する支援策として、どのような取り組みが重要だと思いますか。

あてはまる番号を**3つまで**選び、**最も重要だと思ふ番号には◎を、2番目に重要だと思ふ番号には○**をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 安定した雇用の確保 |
| 2. 結婚祝金の支給 |
| 3. 婚活イベントなどによる出会いの場の提供 |
| 4. 交際術やマナーなどを学ぶ講座 |
| 5. 結婚相談窓口(仲立ち) |
| 6. 結婚を奨励するようなPR |
| 7. 住宅取得や賃貸、リフォームへの経済的支援 |
| 8. 奨学金の返還助成の充実 |
| 9. 男女共働参画や女性活躍の促進 |
| 10. 男性の家事や育児への参加を促すPR |
| 11. 地域や職場の理解の促進に向けたPR |
| 12. 結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない |
| 13. その他() |

→ 5ページへ

問16 あなたは、子育てにおいてどの時期の支援が最も重要だと思いますか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|--------|-----------------|
| 1. 妊娠・出産期 | 2. 就学前 | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生 | 6. 高校卒業後(大学生など) |
| 7. その他() | | |

問17 あなたは、出産・子育て支援において、どのような取り組みが重要だと思いますか。
あてはまる番号を**3つまで**選び、**最も重要だと思う番号には◎を、2番目、3番目に重要だと思う番号には○**をつけてください。

- | |
|-----------------------------------------------------------------|
| 1. 安定した雇用機会の提供 |
| 2. 妊娠・出産に関する情報提供・相談体制の充実 |
| 3. 不妊治療などへの支援 |
| 4. 出産一時金(祝い金)など出産時の経済的支援 |
| 5. 小児医療・保健体制の充実 |
| 6. 保育園、放課後児童クラブなどの施設整備・内容の充実 |
| 7. 一時預かり、夜間保育など、多様な保育の充実 |
| 8. 屋内や屋外で安心して子どもを遊ばせることができる場の充実 |
| 9. 子育てに関する身近な相談や親同士が交流できる場の充実 |
| 10. 子どもの教育環境の充実 |
| 11. 子育て世帯に対する経済的支援
(医療費の無料化や保育料の軽減化、現金給付、奨学金制度等) |
| 12. 育児休業の取得や労働時間の短縮、職場の理解促進など、職場環境の充実による仕事と家庭生活や子育てが両立しやすい環境づくり |
| 13. 男性の家事や育児への参加の促進 |
| 14. 地域公共交通の充実など利便性の高い生活環境の整備 |
| 15. 子育てに対する地域の理解や支援体制の充実 |
| 16. 子育てしやすい住宅の供給・支援 |
| 17. 男女共働参画や女性活躍の促進 |
| 18. 3世代など多世代同居の促進 |
| 19. その他() |

問18 大仙市は子育てしやすい環境であると思いますか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない | |

次の問19と問20は、「現在お仕事をされている方」のみお答えください。

→ 現在お仕事をされていない方は、問21へお進みください。

問19 あなたの職場は、仕事と家庭などの生活が両立しやすい環境(ワーク・ライフ・バランスがとりやすい環境)ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

※ ワーク・ライフ・バランス:仕事と生活の調和

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない | |

問20 あなたの職場は、結婚や子育てに理解があると思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない | |

ここからは皆さんにお聞きします。

問21 あなたは、家庭での育児の関わり方について、どうあるべきだと思いますか。また、現在お子さんがいる方は、お子さんの育児に対して主に関わっている方はどなたですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

全員お答えください

現在お子さんがいる方のみお答えください

理想の育児への関わり方

- | |
|----------------------------------|
| 1. 母親がほぼ全て担うべき |
| 2. どちらかといえば母親が多く担うべきだが、父親も一部担うべき |
| 3. 父親と母親で平等に分担するべき |
| 4. どちらかといえば父親が多く担うべきだが、母親も一部担うべき |
| 5. 父親がほぼ全て担うべき |
| 6. 父母以外(祖父母、親族等)が主に育児を行うべき |
| 7. その他() |

実際の育児への関わり方

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 母親がほぼ全て担っている |
| 2. どちらかといえば母親が多く担っているが、父親も一部担っている |
| 3. 父親と母親で平等に分担している |
| 4. どちらかといえば父親が多く担っているが、母親も一部担っている |
| 5. 父親がほぼ全て担っている |
| 6. 父母以外(祖父母、親族等)が主に育児を行っている |
| 7. その他() |

問22 市が行っている結婚、出産、子育て支援事業へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月13日(水)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。